

協働のまちづくりに関する 区民意識調査 報告書



平成 17 年 6 月

豊 島 区

目 次

・ 調査の概要

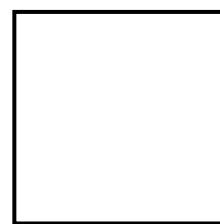
1. 調査の目的	1
2. 調査の設計	1
3. 調査内容	2
4. 回収結果	2
5. 基本的な表記等	2
6. 調査対象者の基本属性	2
7. 地域団体等調査対象者の基本属性	6

・ 調査結果

第1章 豊島区の印象について.....	9
（1）住み心地	9
（2）定住意向	12
（3）地域への愛着	13
第2章 生活環境の評価と今後の優先度について.....	14
〔調査方法〕	14
（1）目指すべき生活環境に対する「現在の評価」	18
保健・福祉・医療	18
子育て・教育	20
コミュニティ・協働	22
みどり・環境・リサイクル	23
都市整備	24
池袋副都心	26
観光・産業	27
安心・安全	28
文化・生涯学習	29
行政サービス	30
グループ全体を通して見た「現在の評価」	31
（2）「4～5年前と比べた評価の変化」	34
保健・福祉・医療	34
子育て・教育	36
コミュニティ・協働	38
みどり・環境・リサイクル	39
都市整備	40
池袋副都心	42
観光・産業	43

安心・安全	44
文化・生涯学習	45
行政サービス	46
グループ全体を通して見た「4～5年前と比べた評価の変化」	47
(3)「今後の優先度」	50
保健・福祉・医療	50
子育て・教育	51
コミュニティ・協働	52
みどり・環境・リサイクル	53
都市整備	54
池袋副都心	55
観光・産業	56
安心・安全	57
文化・生涯学習	58
行政サービス	59
(4)「4～5年前と比べた評価の変化」と「現在の評価」をクロスさせた	
総合分析	60
保健・福祉・医療	61
子育て・教育	62
コミュニティ・協働	63
みどり・環境・リサイクル	64
都市整備	65
池袋副都心	66
観光・産業	67
安心・安全	68
文化・生涯学習	69
行政サービス	70
グループごとの総合評価	71
(5)「現在の評価」と「今後の優先度」をクロスさせた総合分析	72
保健・福祉・医療	73
子育て・教育	74
コミュニティ・協働	75
みどり・環境・リサイクル	76
都市整備	77
池袋副都心	78
観光・産業	79
安心・安全	80
文化・生涯学習	81
行政サービス	82

第3章 地域におけるコミュニティや協働について.....	83
(1) 近隣住民(ご近所)が自主的に力を合わせて地域の課題に取り組むこと について	83
(2) 近隣住民が主体的に、また区民と行政が協働するかたちで行われている 地域活動のうち重要と思うもの	84
(3) 地域活動への参加状況	87
(4) 地域活動により多くの人に参加できるようにするために必要なこと.....	92
(5) 地域の課題を解決していくために活発になるべき地域活動.....	94
(6) これからの地域のまちづくりを担っていく主体	95
(7) 地域の課題を解決する場合の住民と行政の役割分担のあり方.....	97
第4章 区政について	98
(1) 区政全般への要望	98
(2) これからの行政のあり方	102
(3) 区民参加	105
(4) 区職員のイメージ	110
(5) 豊島区の将来像	112
(6) 豊島区のイメージカラー	115
(7) 豊島区独自の自動車ナンバーの考え	116
. 調査票	117



調査の概要

1 . 調査の目的

この調査は、区民をはじめ、町会や自治会、商店街、NPO、企業、学校など、地域の多様な主体との協働を基本とした新しい区民運営を実現するため、区民や団体等の地域の生活環境や身近なまちづくりへの参加・協働のあり方等について意見や要望を把握し、これからの計画づくりや行政サービスのあり方の検討、区民との協働の仕組みづくり等に活用するための基礎資料を得ることを目的とする。

2 . 調査の設計

この調査は以下のように設計した。

- (1) 調査区域：豊島区全域
- (2) 調査対象：区内に在住する 20 歳以上の区民
- (3) 標 本 数：区 民 3 , 0 0 0 人
- (4) 抽出方法：住民基本台帳より無作為抽出
- (5) 調査方法：自記式調査票による郵送配布・郵送回収
- (6) 調査時期：平成 1 7 年 3 月 1 1 日～ 3 月 2 3 日

なお、区内で活動する団体等についても、比較検討の参考とするため、以下のとおり調査を実施した。

- (1) 調査区域：豊島区全域
- (2) 調査対象：区内で活動する団体等の代表者
- (3) 標 本 数：団体等 4 6 5 人
- (4) 抽出方法：次の区内活動団体より任意抽出

団体名	抽出数
町会	1 3 0
商店会	9 9
N P O 法人	5 0
企業	3 7
小中学校 P T A	3 4
民生委員	3 3
まちづくり協議会	2 1
文化・スポーツ団体	1 8
福祉活動団体	8
その他団体	3 5
計	4 6 5

- (5) 調査方法：自記式調査票による郵送配布・郵送回収
- (6) 調査時期：平成 1 7 年 3 月 1 1 日～ 3 月 2 3 日

3 . 調査内容

調査内容は以下のとおりである。

豊島区の印象について
地域の生活環境について
地域におけるコミュニティや協働について
区政について
調査対象者の基本属性について

4 . 回収結果

回収結果は以下のとおりである。

発 送 数	回 収 数	回 収 率
人	人	%
3,000	805	26.8

地域団体回収結果

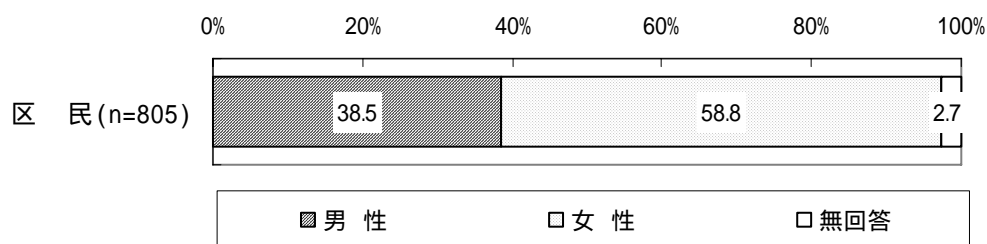
発 送 数	回 収 数	回 収 率
人	人	%
465	261	56.1

5 . 基本的な表記等

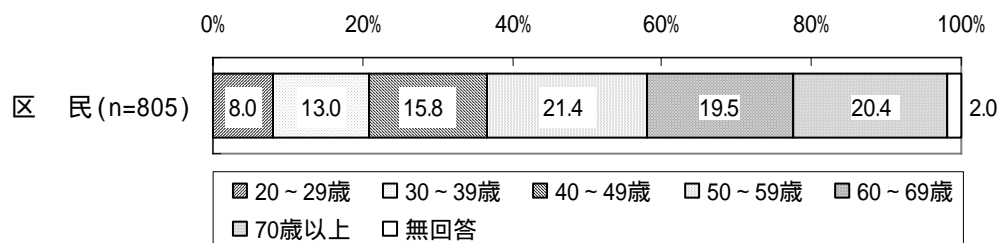
- (1) 図・表中のn、件数とは、基数となる実数のことである。
- (2) 回答はn、件数を 100%として百分率で算出してある。
小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、百分率の合計全体の示す数値と一致しないことがある。
なお、回答者を絞った質問では、質問該当者を 100%とするのを原則とした。
- (3) 図・表中の“ - ”は当該選択肢を選んだ回答者がいないことを示す。
- (4) 複数回答ができる質問では、回答者比率の合計が 100%を越える。なお、グラフ中に「 複数回答」と記載している質問以外は単純回答の質問である。
- (5) 各質問において、居住地区別など調査対象者の基本属性にかかわる図・表については、基本属性に「無回答」があるため、全体の示す数値と一致しない。
- (6) 図・表において、回答の選択肢表記を簡略化している場合がある。
- (7) 地域団体等の調査結果については、必要に応じそれぞれの調査項目について枠で囲うかたちで表記している。

6. 調査対象者の基本属性

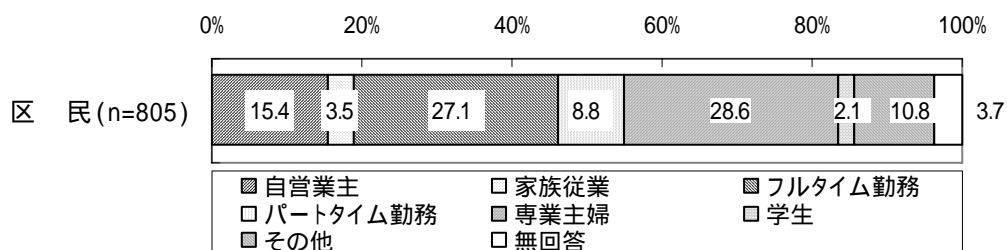
(1) 性別



(2) 年齢

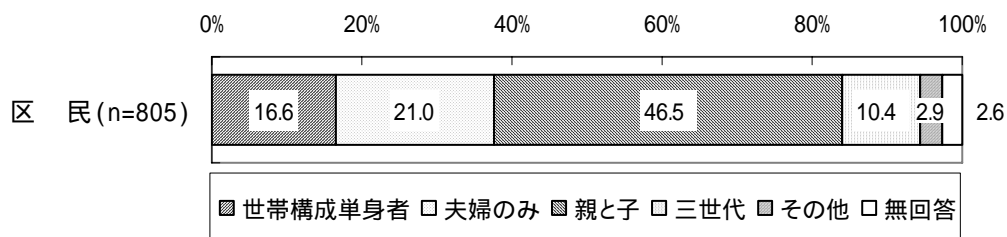


(3) 職業

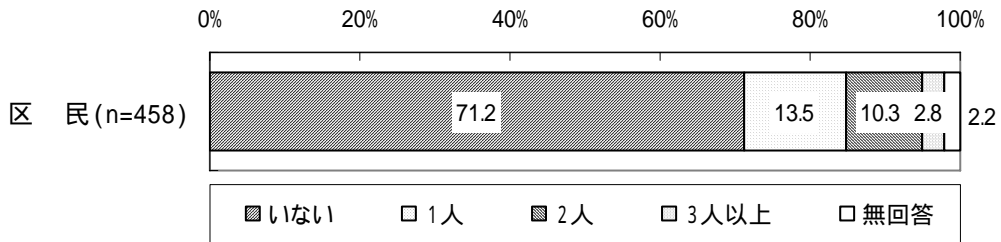


(4) 世帯構成

世帯構成

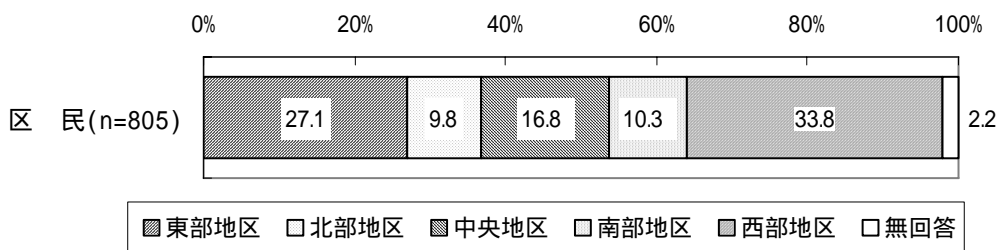


中学生以下の子どもの有無

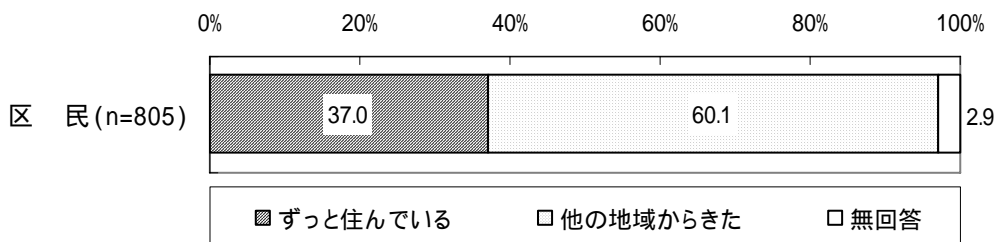


(5) 居住地区

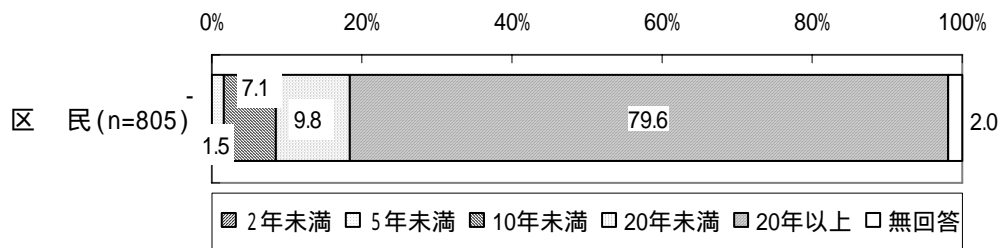
件数	東部地区					北部地区		中央地区			
	駒込	巣鴨	西巣鴨	北大塚	南大塚	上池袋	池袋本町	東池袋	南池袋	西池袋	池袋
n=805	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
	5.6	7.7	4.7	3.7	5.3	4.8	5.0	5.8	2.9	3.4	4.7
	27.1					9.8		16.8			
	南部地区			西部地区					無回答		
	雑司が谷	高田	目白	千早	要町	高松	千川	南長崎		長崎	
%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	
3.7	2.0	4.6	6.3	4.7	2.7	2.9	7.1	10.1		2.2	
10.3			33.8								



(6) 居住年数
居住歴

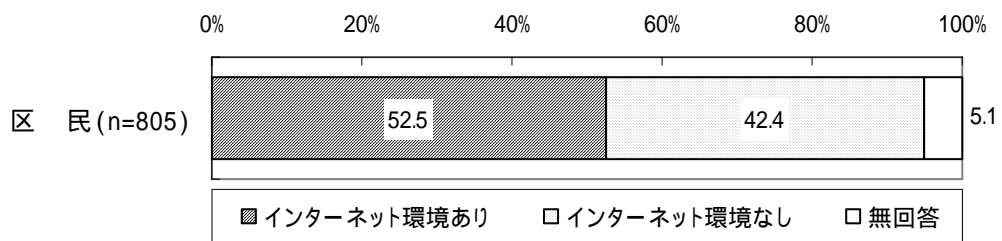


居住年数

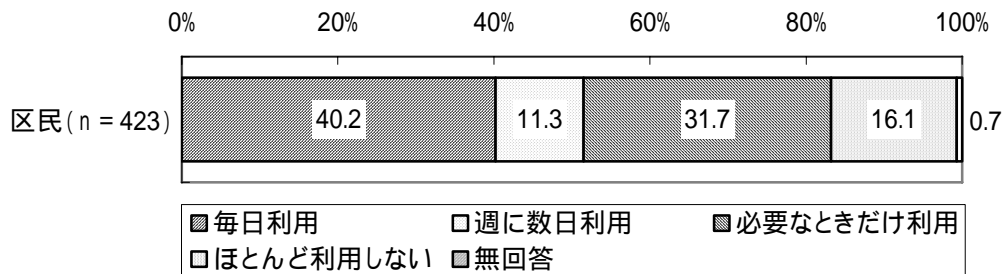


(7) インターネットの利用状況

インターネットの利用環境

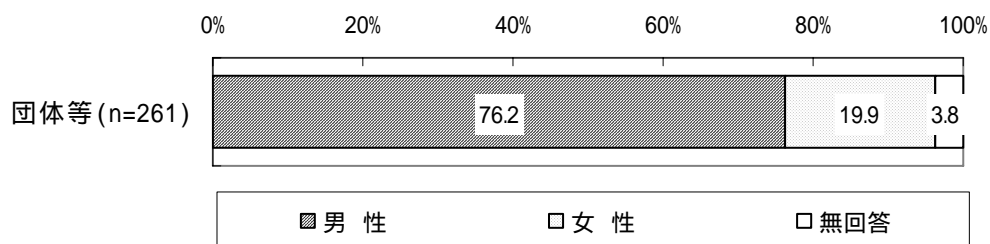


インターネットの利用頻度

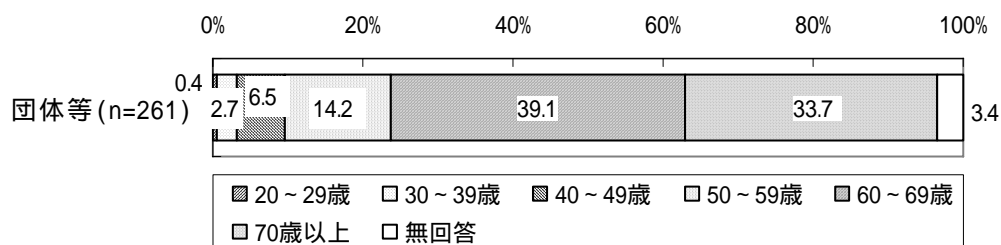


7. 地域団体等調査対象者の基本属性

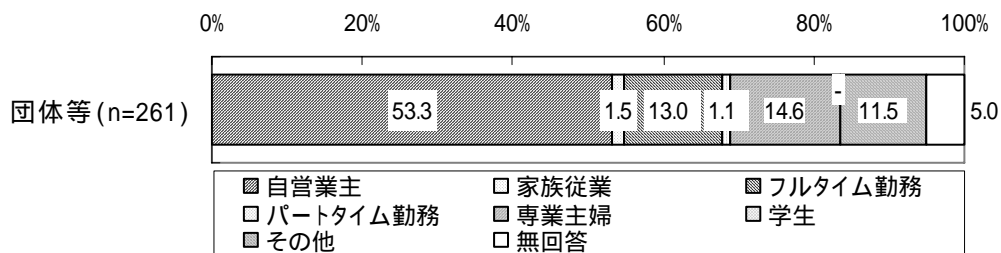
(1) 性別



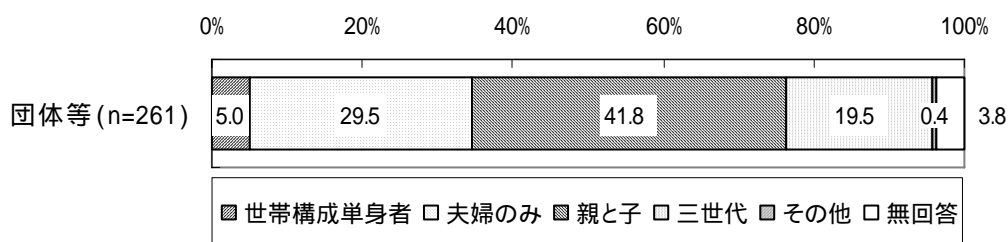
(2) 年齢



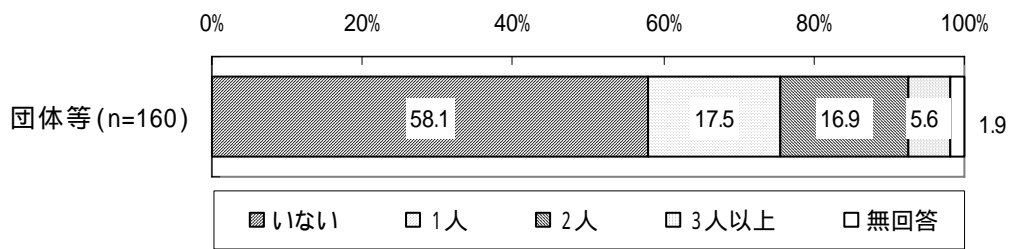
(3) 職業



(4) 世帯構成 世帯構成

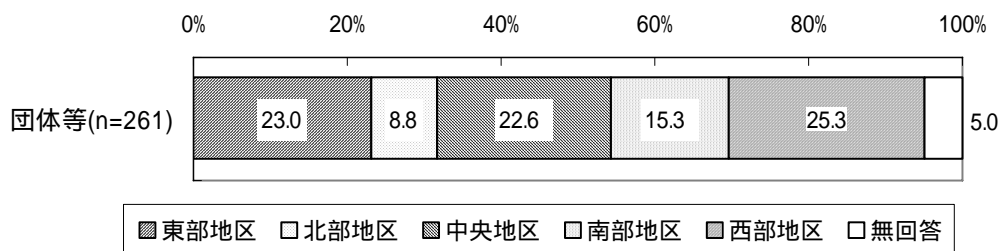


中学生以下の子どもの有無

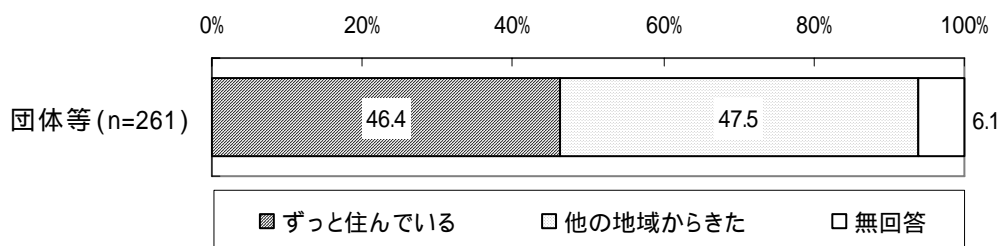


(5) 居住地区

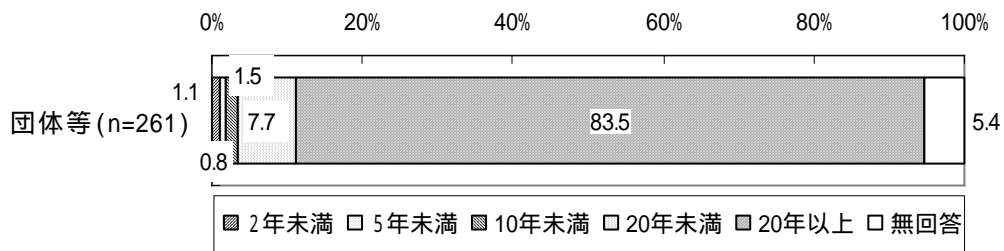
件数	東部地区					北部地区		中央地区			
	駒込	巣鴨	西巣鴨	北大塚	南大塚	上池袋	池袋本町	東池袋	南池袋	西池袋	池袋
n=261	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
	3.8	5.7	3.4	2.7	7.3	3.4	5.4	5.0	2.7	3.1	11.9
	23.0					8.8		22.6			
	南部地区			西部地区				無回答			
	雑司が谷	高田	目白	千早	要町	高松	千川		南長崎	長崎	
	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
5.4	5.7	4.2	5.0	3.8	0.0	2.7	6.9	6.9	5.0		
15.3			25.3								



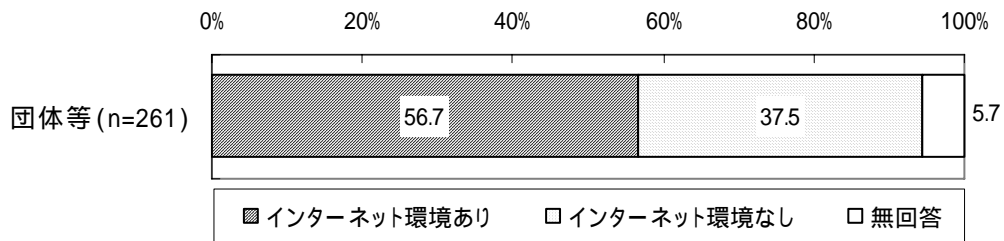
(6) 居住年数
居住歴



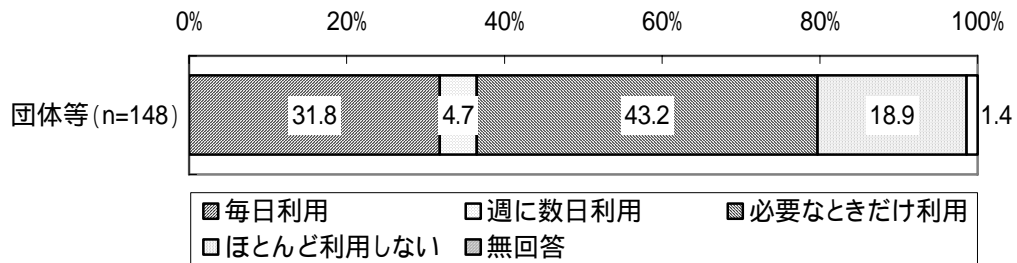
居住年数

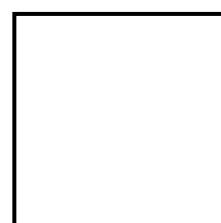


(7) インターネットの利用状況 インターネットの利用環境



インターネットの利用頻度



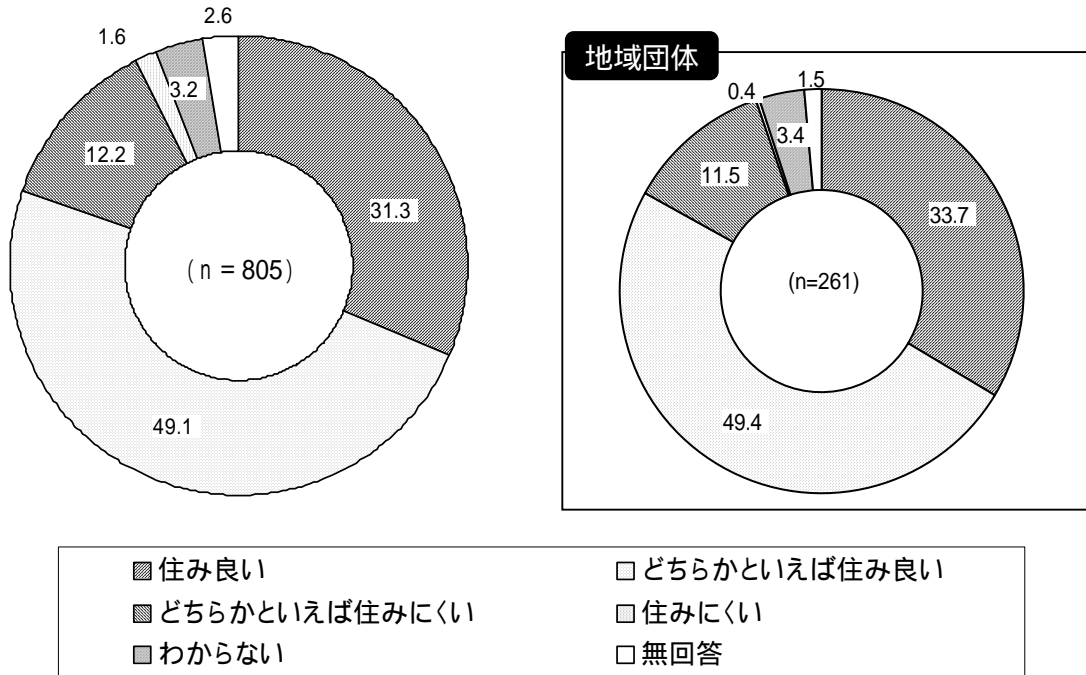


調查結果

第1章 豊島区の印象について

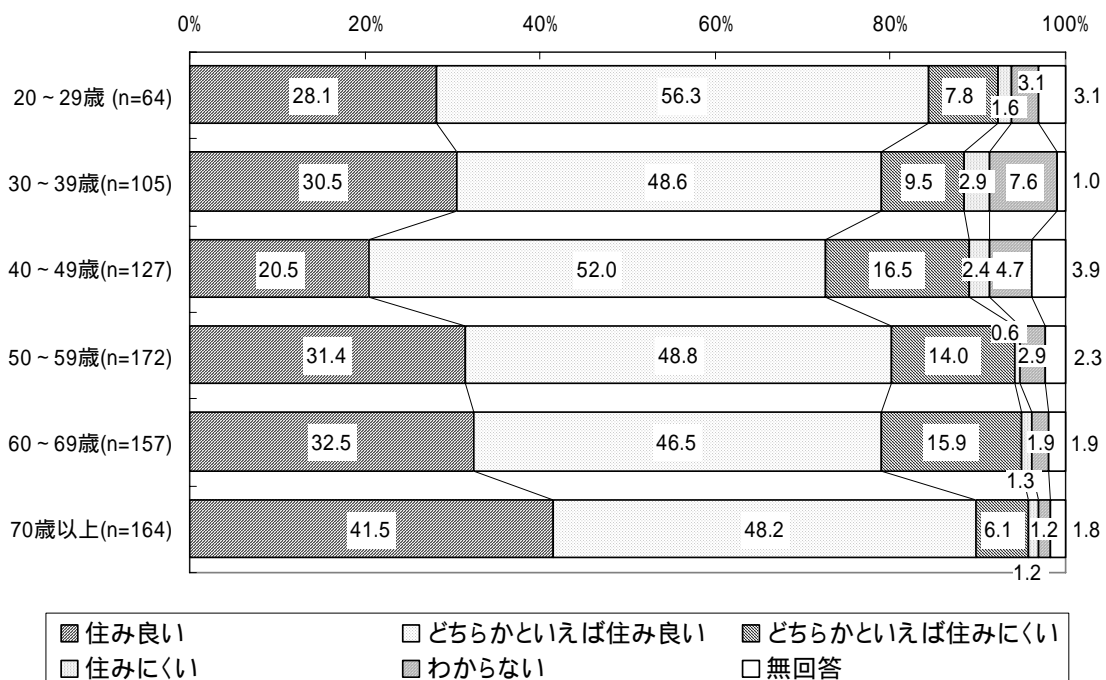
(1) 住み心地

豊島区の住み心地について聞いたところ、“住み良い”が80.4%（「住みよい」31.3% + 「どちらかといえば住み良い」49.1%）“住みにくい”が13.8%（「どちらかといえば住みにくい」12.2% + 「住みにくい」1.6%）、「わからない」が3.2%となっている。



【年齢別】

年齢別にみると、20～29歳および70歳以上の年代で“住み良い”の割合が他の年代に比べて高くなっている。一方、40～49歳では“住みにくい”の割合が高い。



(1) 住み心地が良い又は住みにくいと感ずる理由

(1) - で答えた理由について自由記入で聞いた。
記入内容の分類は以下のとおりである。

住み心地についての理由

区 分		件 数
住みやすいと思つ理由	交通の便が良い	229 件
	長年住んでいて、慣れ親しんでいるから	93 件
	生活に便利	65 件
	買い物に便利	63 件
	都心のわりに静か	48 件
	住民同士の助け合いや協力がある	25 件
	わりあい治安が良い	17 件
	物価が安い	17 件
	文化施設や教育施設が整っていて、子育てに適している	10 件
	緑が多い	8 件
住みにくいと想つ理由	繁華街があるので治安が悪く、街がきたない	27 件
	安心して遊べる場所が少なく、子育てしにくい。	27 件
	緑が少ない	15 件
	マナーの悪い人が多くなつた	12 件
	大気汚染が進んでいる	9 件
	細い道路が多く住環境が悪い	9 件
	マンションが多く建ち、日当たりが悪い	6 件
	治安が悪い	5 件
わからない	長年住んでいて、他のところと比べられない	8 件
	長年住んでいる人には住みやすいが、これから住む人にはきびしい	6 件
	考えたことがない	2 件

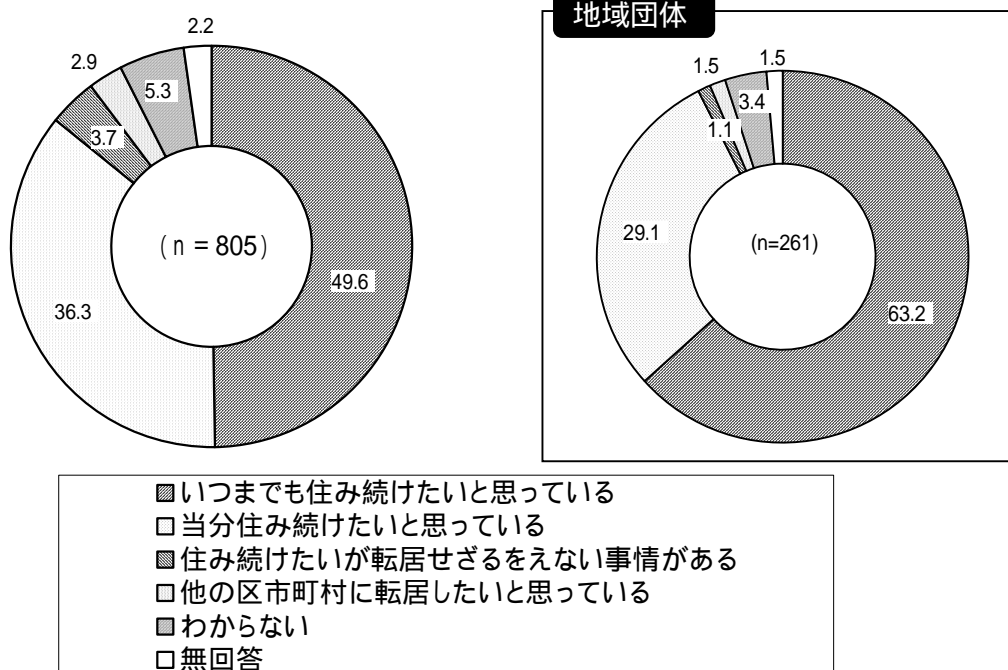
地域団体

住み心地についての理由

区 分		件 数
住みやすいと思う理由	交通の便がよい	63件
	生まれた土地だから、長く住んでいるから住み慣れている	29件
	衣食住すべてにおいて便利、日常の生活環境が良い	19件
	買い物が便利（デパートや百貨店が多い）	14件
	友だち（仲間）が多い、地域住民とのコミュニケーションが取りやすい	11件
	下町の風情があり情緒がある、庶民的で親しみやすい（都心のわりに落ち着いている）	9件
	地域生活が安心（防犯・防災等）	6件
	歩道がきれい、街が清潔である	5件
	静かで住みやすい	4件
	緑が多く自然環境がよい	4件
	教育環境がよい	3件
	町会と地域の結び付きが強い	2件
	行政と民間の間が比較的円滑（身近である）	2件
	住みにくいと思う理由	治安・環境が悪い（風紀上良くない）
区政サービス（福祉等）の低下、区の財政難		7件
緑や公園が少ない		3件
街全体が雑然としている		2件
わからない	他区に住んだことがない、他区を知らない	7件
	街全体が雑然としている	1件
	住みやすくもあり、住みにくくもある	1件

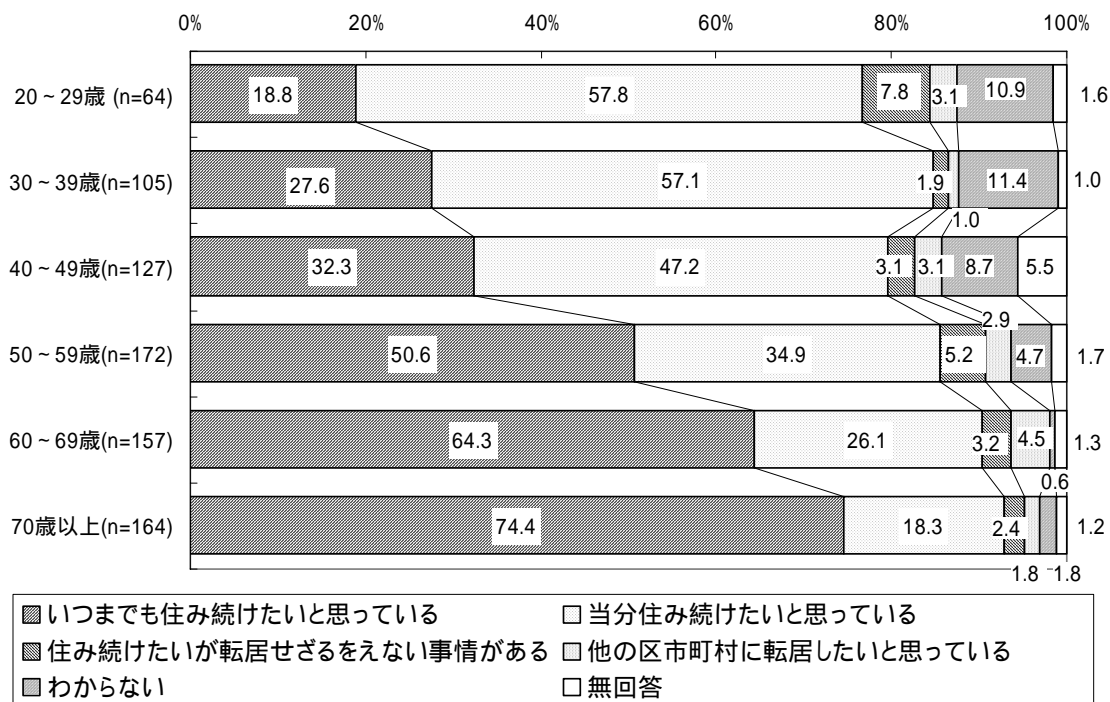
(2) 定住意向

定住意向について聞いたところ、「住み続けたい」が 85.9%（「いつまでも住み続けたいと思っている」49.6% + 「当分住み続けたいと思っている」36.3%）、「転居したい」が 6.6%（「住み続けたいが転居せざるをえない事情がある」3.7% + 「他の区市町村に転居したいと思っている」2.9%）、「わからない」が 5.3%となっている。



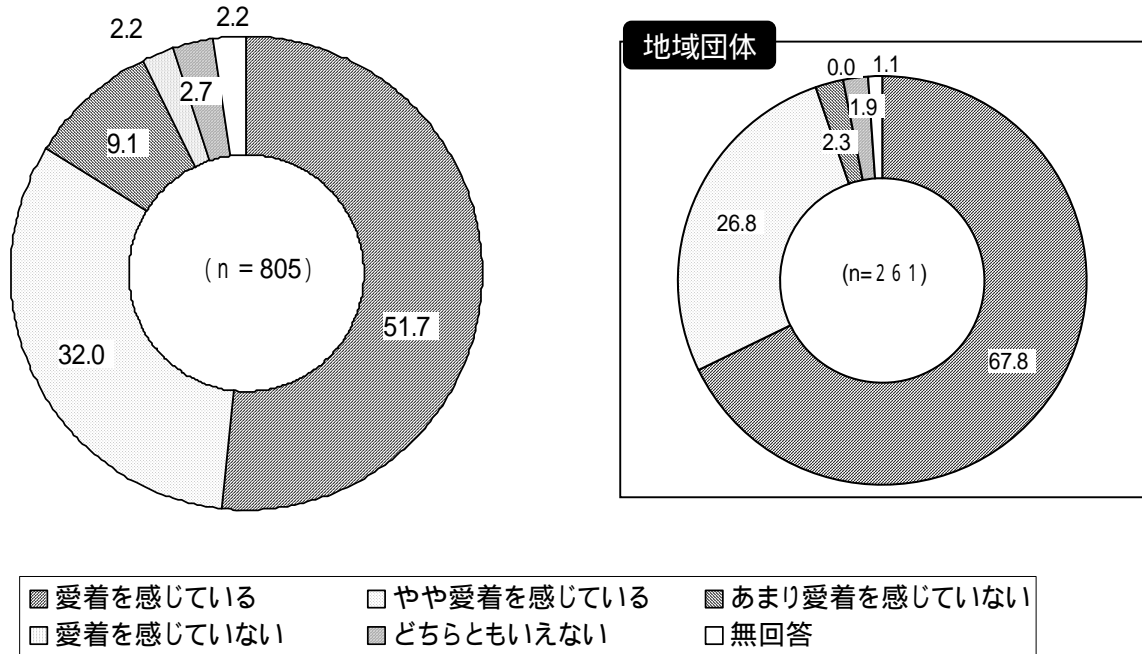
【年齢別】

年齢別にみると、高齢者の人ほど「住み続けたい」の割合が全体に比べて高く、70歳以上では92.7%と9割を超えている。



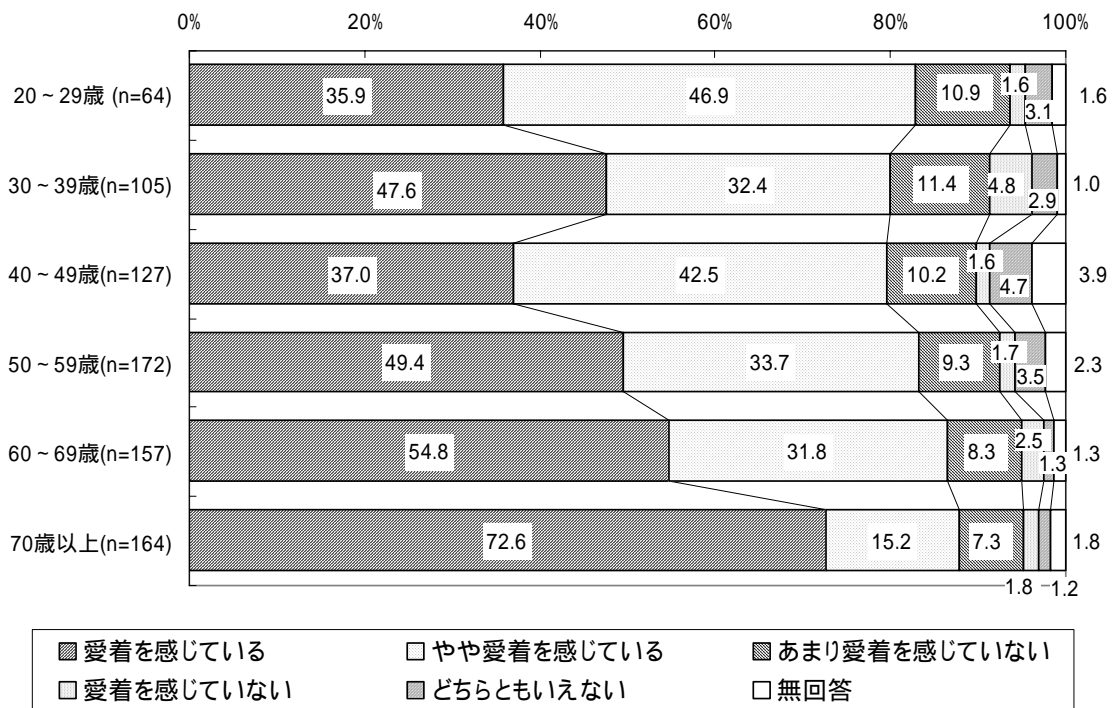
(3) 地域への愛着

地域への愛着について聞いたところ、“愛着を感じる”が83.7%（「愛着を感じている」51.7% + 「やや愛着を感じている」32.0%）、「愛着を感じていない」が11.3%（「あまり愛着を感じていない」9.1% + 「愛着を感じていない」2.2%）、「どちらともいえない」が2.7%となっている。



【年齢別】

年齢別にみると、30～39歳および40～49歳では他の年代と比べ“愛着を感じる”の割合が低めである。「(1) 豊島区の住み心地」で他の年代に比べ“住み良い”割合が低いこととの相関がみられる。



第2章 生活環境の評価と今後の優先度について

〔調査方法〕

調査にあたっては、地域の生活環境に対する評価及び、今後改善すべき生活環境の優先度を探るため、生活環境に関して大きく10のグループを設定し、各グループにおいて複数の「目指すべき生活環境の姿」を設定、体系化した。設定した「目指すべき生活環境の姿」の合計は65項目である。

その上で、その65項目について、実際に地域で生活しているなかでの実感やイメージに基づき、次の三つについて回答を求めた。

<p>目指すべき生活環境に対する「現在の評価」</p> <p>(“どちらかというと思う” “どちらともいえない” “どちらかというと思わない” の3つから実感に近いものを選択)</p>
<p>「4～5年前と比べた評価の変化」</p> <p>(“良くなっている” “あまり変わらない” “悪くなっている” の3つから実感に近いものを選択)</p>
<p>「今後の優先度」</p> <p>(各グループにおける複数の「目指すべき生活環境の姿」の中から、今後優先的に良くしていくべきと考える項目の番号を3つまで選択)</p>

また、10のグループについても、総合評価として、そのグループ全体として機能が高まっているかどうかについて、「現在の評価」「4～5年前と比べた評価の変化」について、同様に回答を求めた。

調査結果について、10のグループごとにその内容を概観した上で、以下の2つの分析を行った。

- (1) 「4～5年前と比べた評価の変化」と「現在の評価」をクロスさせた総合分析
- (2) 「現在の評価」と「今後の優先度」のクロスさせた総合分析

調査にあたり設定した10のグループ

保健・福祉・医療	池袋副都心
子育て・教育	観光・産業
コミュニティ・協働	安心・安全
みどり・環境・リサイクル	文化・生涯学習
都市整備	行政サービス

調査にあたり設定した65項目の目指すべき生活環境の姿

グループ	評価の対象となる(目指すべき)生活環境の姿
保健・福祉・医療	1：健康づくりに取り組むための、多様な機会や場、情報がある 2：介護予防に取り組むための、多様な機会や場、情報がある 3：保健福祉や介護等に関するボランティア活動が活発である 4：保健福祉や介護等に関する情報や相談窓口が多様である 5：ホームヘルプサービスなどの在宅福祉サービスが安心して利用できる 6：高齢者や障害者が自立した生活ができ、社会参加もしやすい 7：道路の段差解消や駅施設へのエレベーターの設置など、街のバリアフリー化が進んでいる 8：食品衛生や化学物質等に不安を感じることがない 9：地域の医療機関やサービスが充実している (総合評価)全体として保健・福祉・医療の機能が高まっている
子育て・教育	10：いじめや虐待がなく、家庭や学校、地域の中で子どもの人間性が尊重されている 11：子どもが、友だちと安心してのびのびと遊ぶことができる 12：地域社会が子どもを見守り、子育てを支援している 13：保護者が子育てに関して気軽に相談する場や交流できる機会がある 14：一時保育や延長保育など多様な保育サービスが利用できる 15：学校では子どもの学習意欲を高める授業をしている 16：子どもたちがいきいきと学校生活を送っている 17：保護者や地域住民と連携した学校づくりが行われている 18：学校施設や通学路が安全である (総合評価)全体として子育て・教育の機能が高まっている
コミュニティ・協働	19：地域における住民主体の活動が活発であり、参加する機会も多い 20：NPO(特定非営利団体)が地域で活発に活動している 21：高齢者と若い世代など多様な世代が交流している 22：地域で外国人との交流があり、共生している 23：地域活動のための施設やスペースがある 24：男女が共同で社会に参画できる (総合評価)全体としてコミュニティ・協働の機能が高まっている
みどり・環境・リサイクル	25：小規模な公園やひろばが身近にある 26：子どもから高齢者までがそれぞれが楽しむ事のできるような規模の大きな公園がある 27：街の中に緑が多く、小鳥や昆虫など自然と触れ合うことができる 28：騒音、大気汚染などに悩まされることがない 29：道路や公園、街角などにポイ捨て等がなくきれいである 30：ごみを減らす努力やリサイクル活動が活発に行われている (総合評価)全体としてみどり・環境・リサイクルの機能が高まっている

グループ	評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿
都市整備	31：住宅地が落ち着いた街並みで景観が美しい 32：商業地や鉄道駅周辺地域の街並みが美しく、にぎわっている 33：まちの中で地域の個性や文化、歴史を感じることができる 34：良質な住宅を適切な負担で購入、賃貸することができる 35：地震や火災などの災害に強い安全な市街地が形成されている 36：身近な道路が快適に歩行できる 37：幹線道路が整備され、都市内の移動がスムーズに行える 38：駅周辺に駐輪場が整備され放置自転車がない 39：鉄道・バス等の交通が便利である （総合評価）全体として都市整備の機能が高まっている
池袋副都心	40：街並みが美しく、歩きやすい 41：多くの来外者でにぎわい、快適にショッピングや食事ができる 42：ひったくりや客引き、風俗店等が少なく安心できる 43：若者に人気のあるお店や情報が多い 44：大人がゆっくり楽しめるお店や情報が多い 45：劇場や映画館など、魅力ある文化芸術施設が多い （総合評価）全体として池袋副都心の機能が高まっている
観光・産業	46：区内に訪れたいと思える観光スポットや名所・旧跡が多い 47：魅力やアピール性のある祭りやイベントが活発である 48：テレビや新聞などで、豊島区をイメージアップする情報がよく紹介される 49：中小企業が元気に事業展開している 50：身近な地域に、活力ある商店街がある 51：消費生活でトラブルに悩まされない （総合評価）全体として観光・産業の機能が高まっている
安心・安全	52：各家庭で防災意識や災害発生時の行動力が高い 53：震災時の避難、救援体制など街全体で備えができています 54：犯罪の不安がなく、安心して暮らせる 55：交通事故が少ない （総合評価）全体として安心・安全の機能が高まっている
文化・生涯学習	56：地域での文化・芸術活動が活発である 57：歴史的文化財や文化資源が保存・活用されている 58：芸術・文化に親しむことのできる機会が多様である 59：興味や関心に応じた多様な生涯学習の機会がある 60：地域でスポーツに親しむ環境や機会がある （総合評価）全体として文化・生涯学習の機能が高まっている

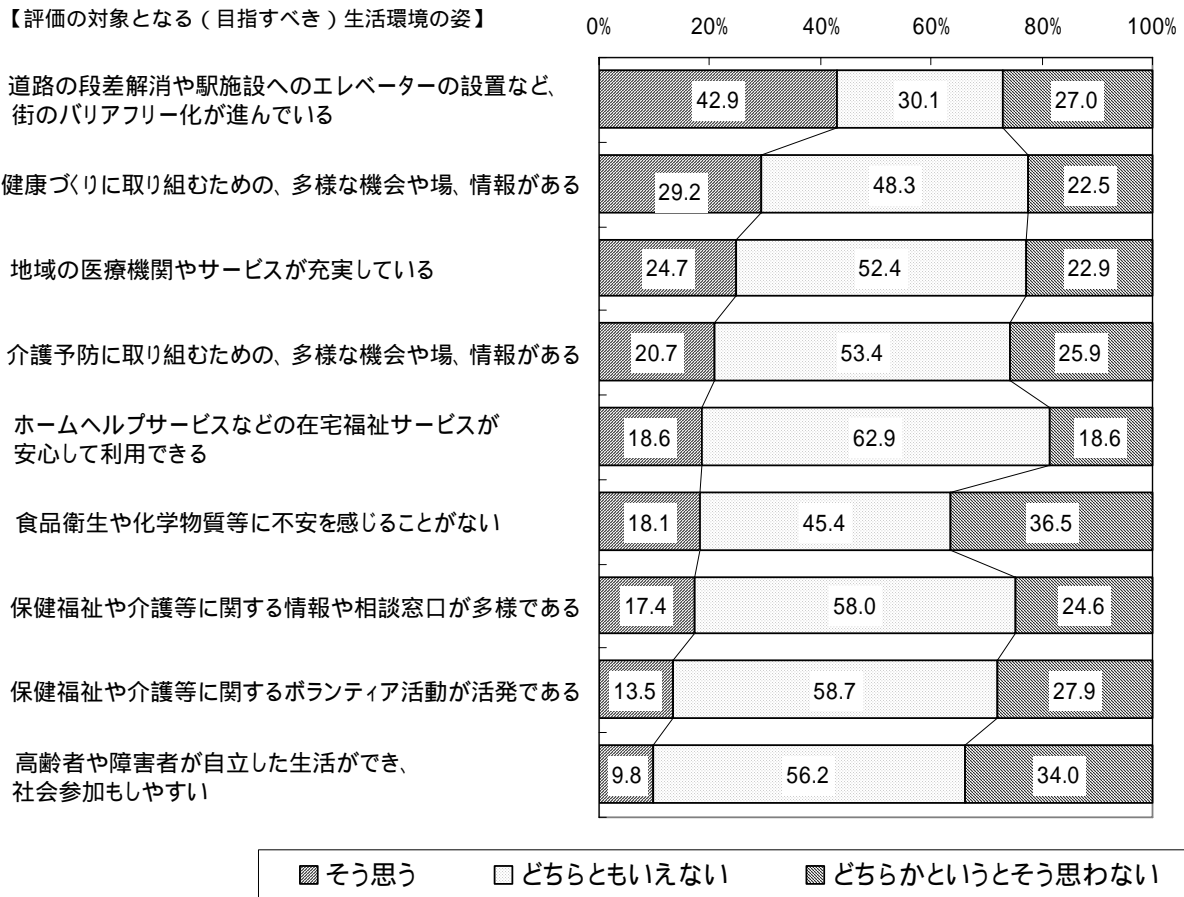
グループ	評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿
行政サービス	61：公共施設やサービス、計画・財政など、区政に関する分かりやすい情報が提供されている 62：区政に参加・参画する機会が多く、区民に開かれた行政運営が行われている 63：区民の声が区政に反映され、活かされている 64：生活に関する様々なことで区に気軽に相談できる 65：区職員の接客姿勢がよい
	(総合評価)全体として行政サービスの機能が高まっている

(1) 目指すべき生活環境に対する「現在の評価」

保健・福祉・医療

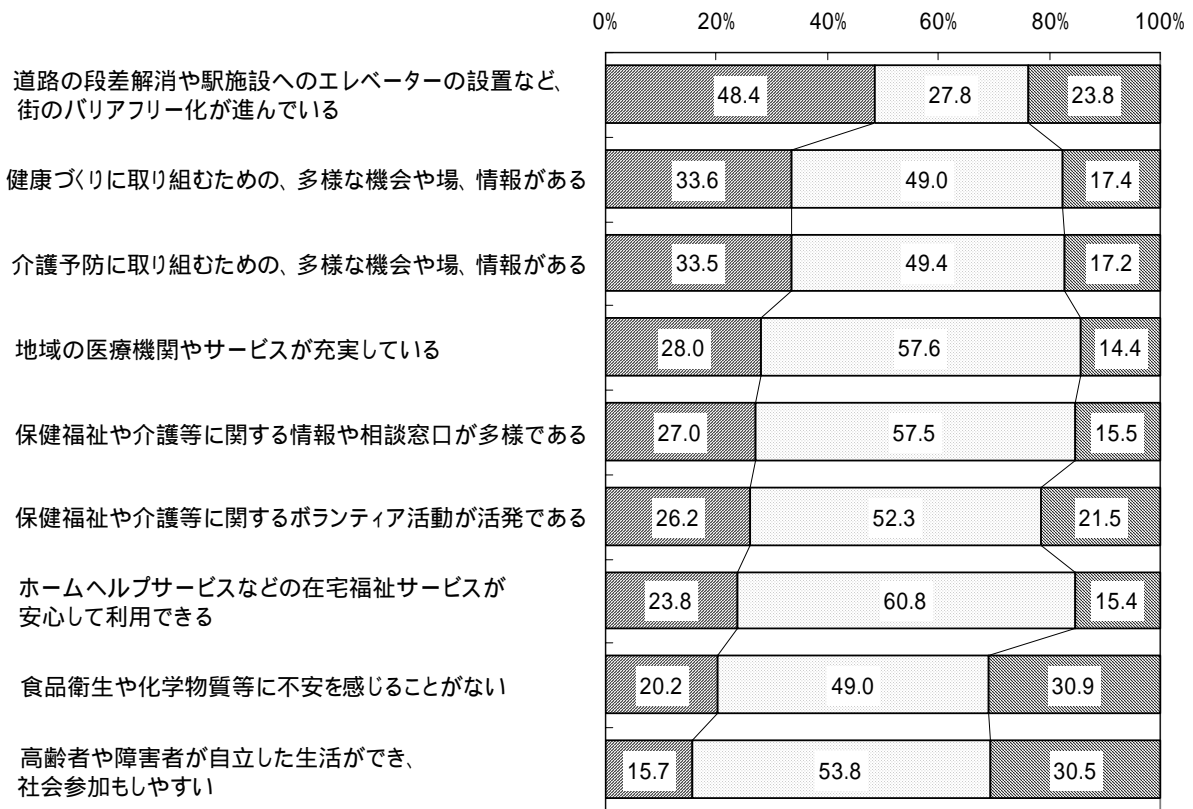
「道路の段差解消や駅施設へのエレベーターの設置など、街のバリアフリー化が進んでいる」が最も高く42.9%を示している。次いで「健康づくりに取り組むための、多様な機会や場、情報がある」(29.2%)、「地域の医療環境やサービスが充実している」(24.7%)と続いている。

一方、評価が低い(「どちらかということそう思わない」の割合が高い)のは、「食品衛生や化学物質等に不安を感じることがない」(36.5%)や「高齢者や障害者が自立した生活ができ、社会参加もしやすい」(34.0%)等である。



各設問に対する割合は、無回答を除く母数で除した割合を算出している。

地域団体



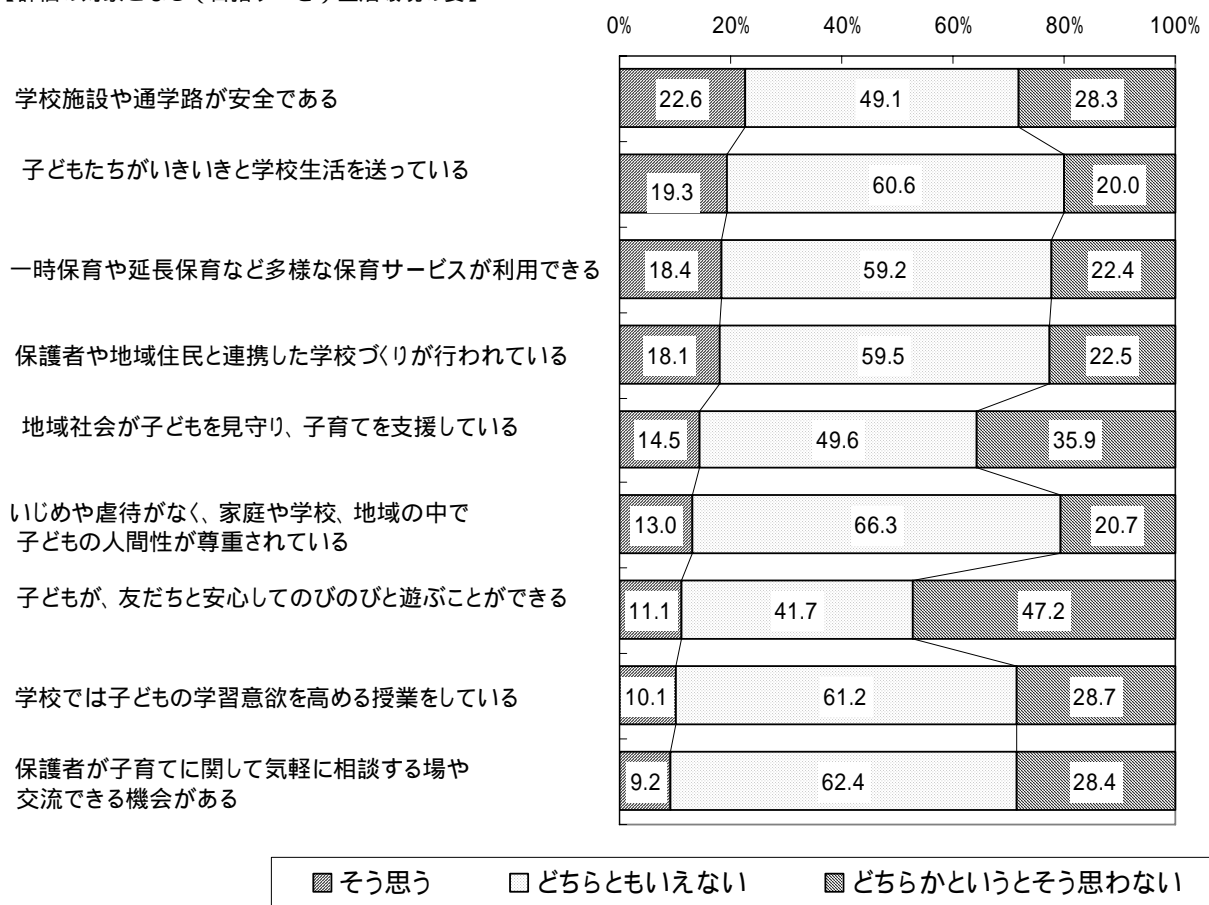
どちらかというと思う
 どちらともいえない
 どちらかというと思わない

子育て・教育

「学校施設や通学路が安全である」が最も高く 22.6%となっている。次いで「子どもたちがいきいきと学校生活を送っている」、「一時保育や延長保育など多様な保育サービスが利用できる」、「保護者や地域住民と連携した学校づくりが行われている」がほぼ同割合となっている（それぞれ 19.3%、18.4%、18.1%）

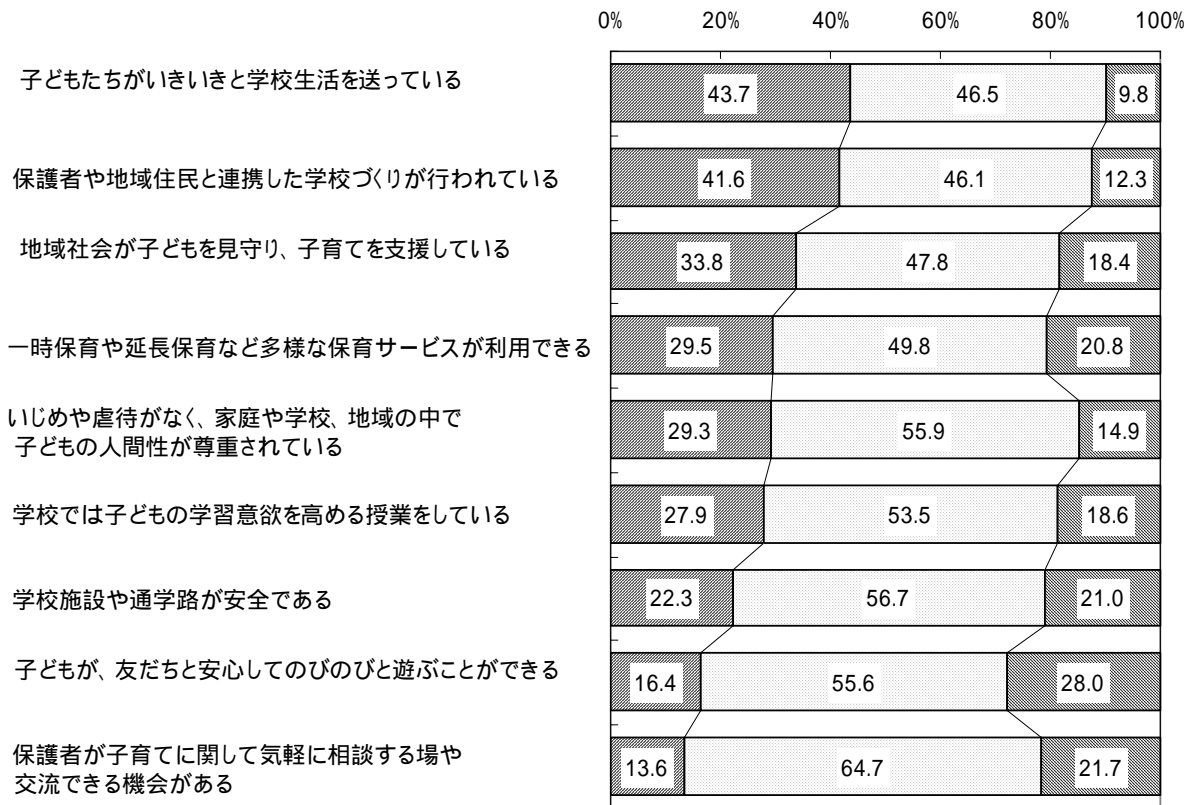
一方、評価が低いのは、「子どもが、友だちと安心してのびのびと遊ぶことができる」（47.2%）や「地域社会が子どもを見守り、子育てを支援している」（35.9%）等である。

【評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿】



各設問に対する割合は、無回答を除く母数で除した割合を算出している。

地域団体



どちらかというと思う

 どちらともいえない

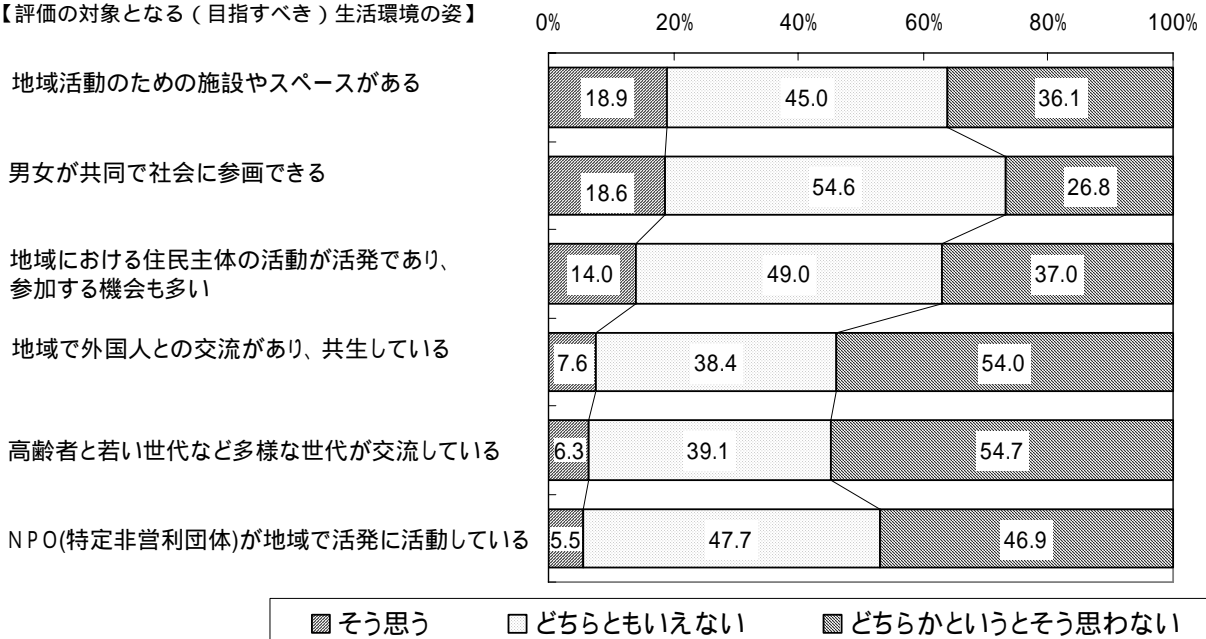
 どちらかというと思わない

コミュニティ・協働

「地域活動のための施設やスペースがある」「男女が共同で社会に参画できる」がほぼ同割合となっている（それぞれ 18.9%、18.6%）。次いで「地域における住民主体の活動が活発であり、参加する機会も多い」（14.0%）と続いている。

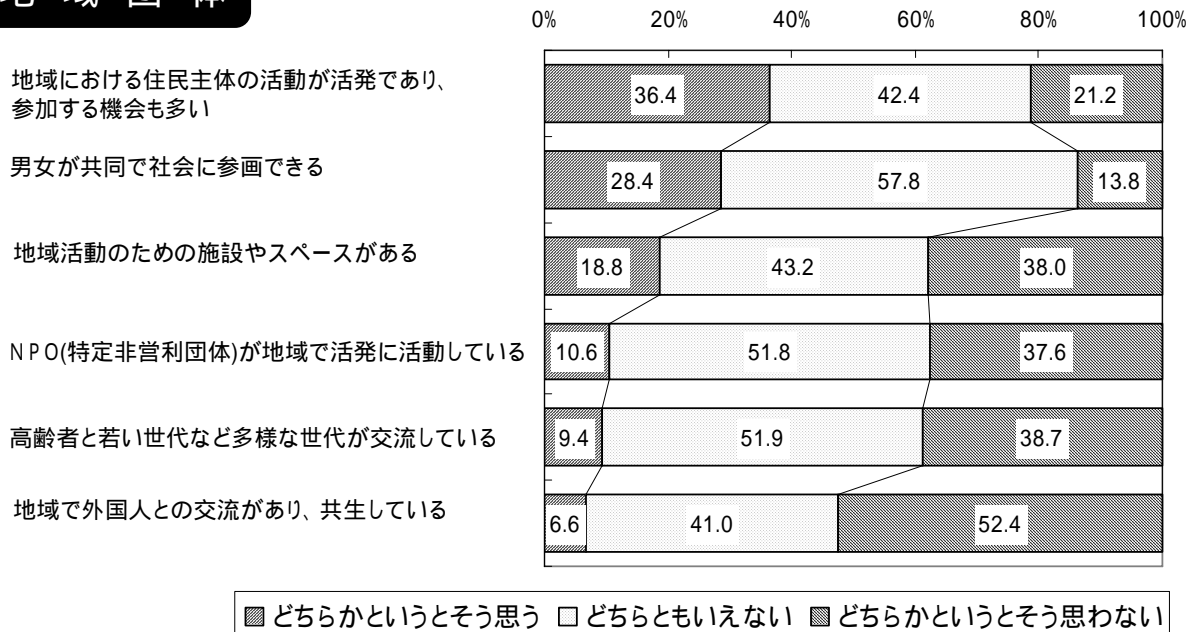
一方、評価が低いのは、「高齢者と若い世代など多様な世代が交流している」（54.7%）「地域で外国人との交流があり、共生している」（54.0%）等である。

【評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿】



各設問に対する割合は、無回答を除く母数で除した割合を算出している。

地域団体

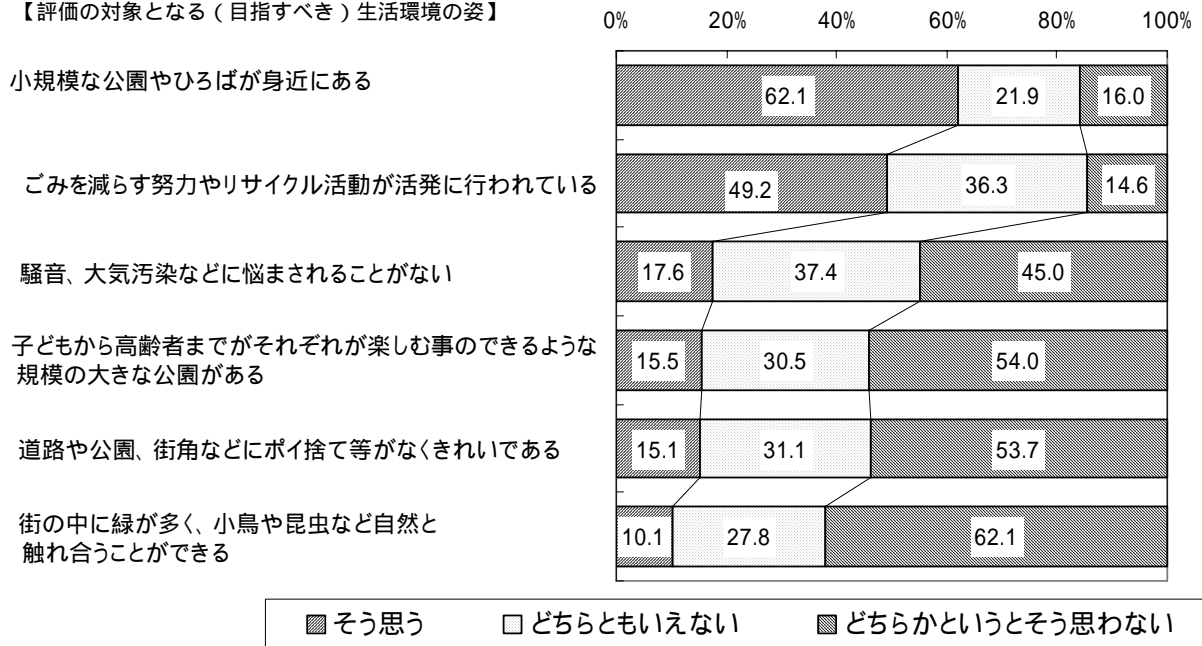


みどり・環境・リサイクル

「小規模な公園やひろばが身近にある」、「ごみを減らす努力やリサイクル活動が活発に行われている」が高い割合を示している（それぞれ62.1%、19.2%）。

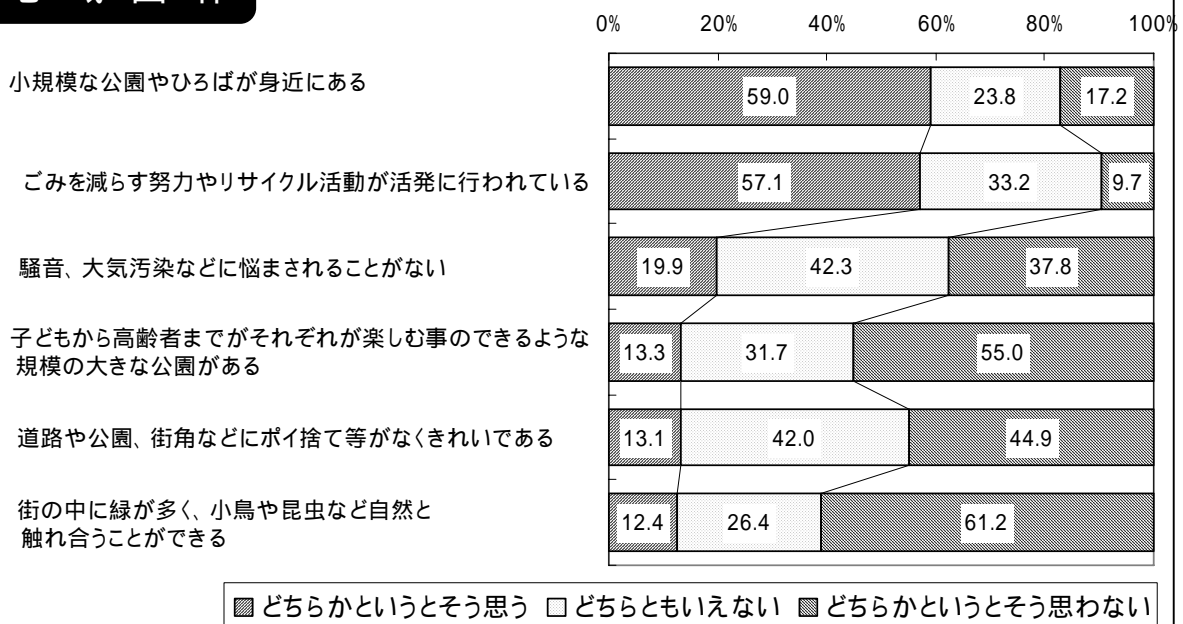
一方、評価が低いのは、「街の中に緑が多く、小鳥や昆虫など自然と触れ合うことができる」（62.1%）や「子どもから高齢者までそれぞれが楽しむことのできるような規模の大きな公園がある」（54.0%）、「道路や公園、街角などにポイ捨て等がなくきれいである」（53.7%）等である。

【評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿】



各設問に対する割合は、無回答を除く母数で除した割合を算出している。

地域団体

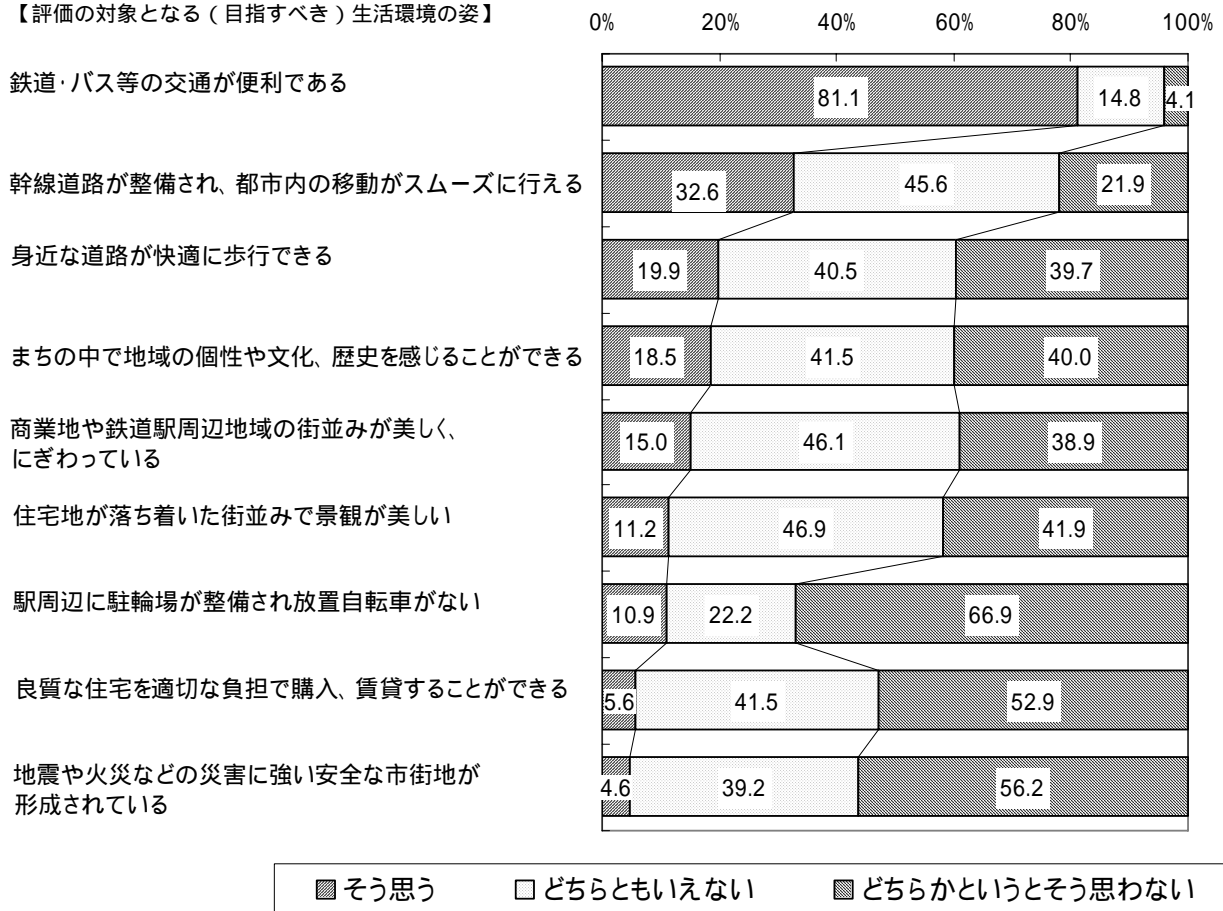


都市整備

都市整備のグループでは、「鉄道・バスの交通が便利である」が81.1%と8割以上を占め非常に高い割合を示している。次いで「幹線道路が整備され、都市内の移動がスムーズに行える」(32.6%)、「身近な道路が快適に歩行できる」(19.9%)、「まちの中で地域の個性や文化、歴史を感じることができる」(18.5%)となっている。

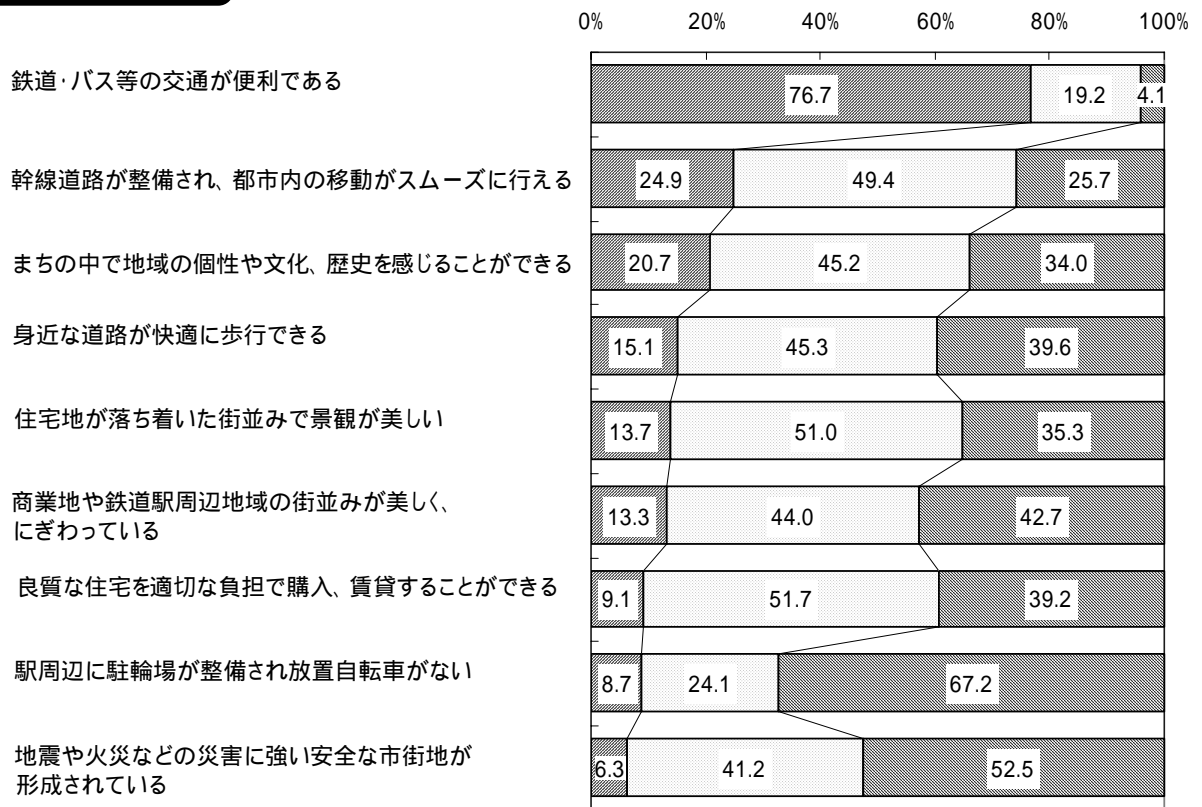
一方、評価が低いのは、「駅周辺に駐輪場が整備され放置自転車がない」(66.9%)や「地震や火災などの災害に強い安全な市街地が形成されている」(56.2%)、「良質な住宅を適切な負担で購入、賃貸することができる」(52.9%)等である。

【評価の対象となる(目指すべき)生活環境の姿】



各設問に対する割合は、無回答を除く母数で除した割合を算出している。

地域団体

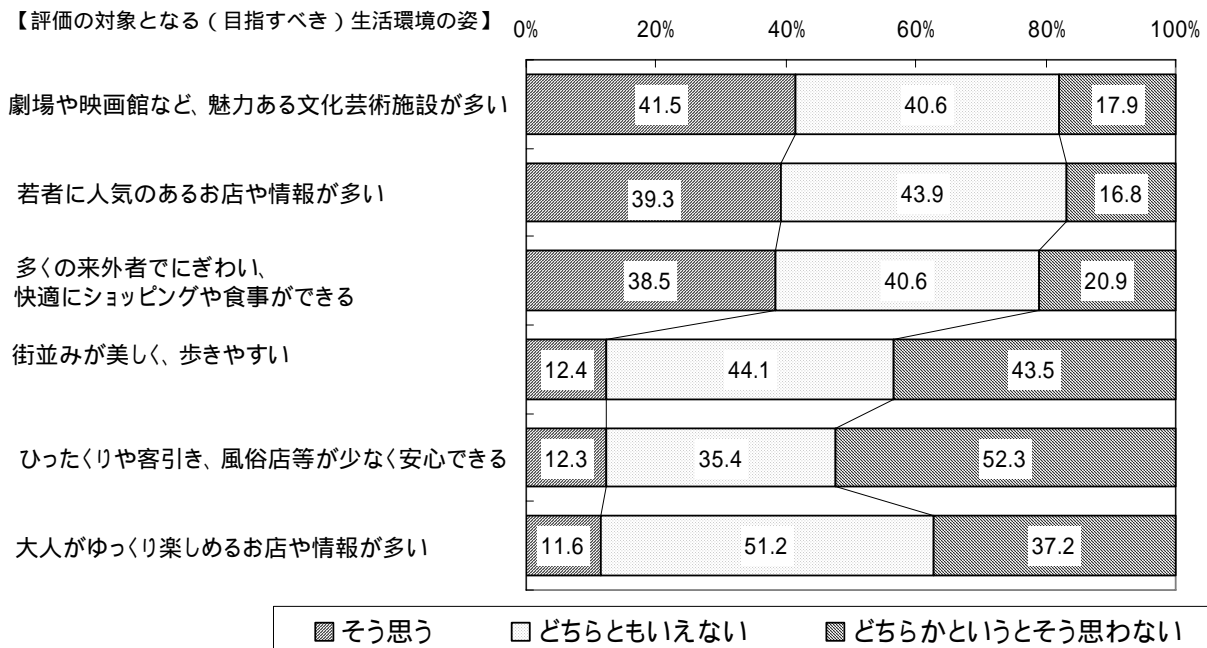


■ どちらかというと思う □ どちらともいえない ■ どちらかというと思わない

池袋副都心

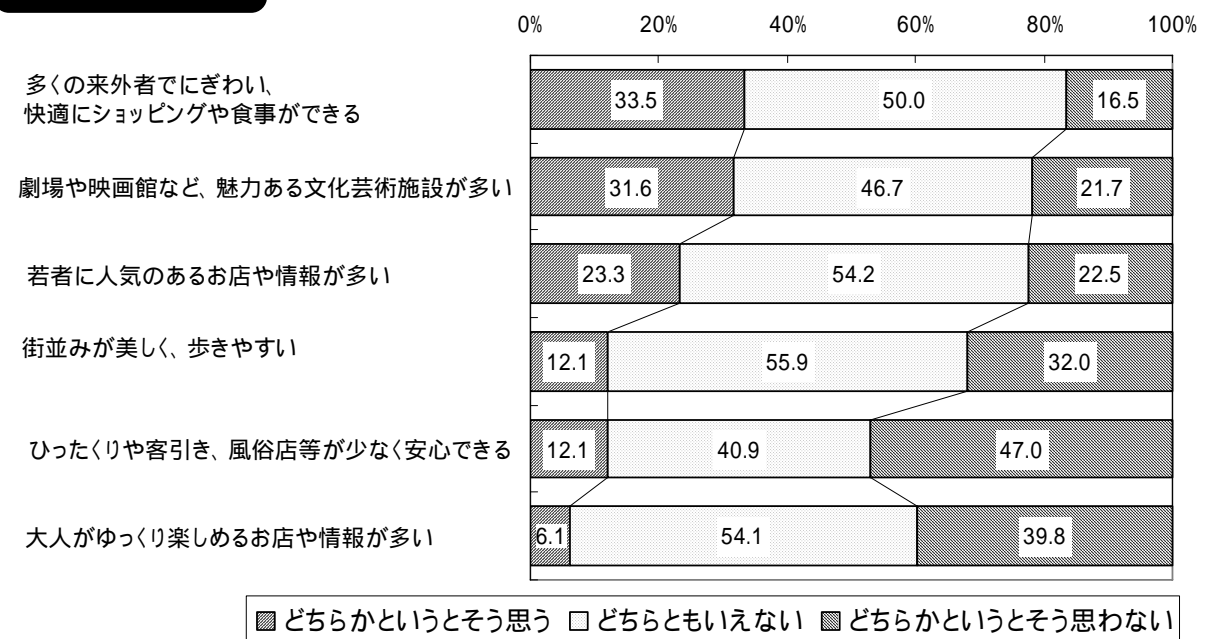
池袋副都心のグループにおいては、「劇場や映画館など、魅力ある文化施設が多い」「若者に人気のあるお店や情報が多い」「多くの来外客でにぎわい、快適にショッピングや食事ができる」がそれぞれ3割を超える結果となっている（それぞれ、41.5%、39.3%、38.5%）。

一方、評価が低いのは、「ひったくりや客引き、風俗店等が少なく安心できる」（52.3%）や「街並みが美しく、歩きやすい」（43.5%）等である。



各設問に対する割合は、無回答を除く母数で除した割合を算出している。

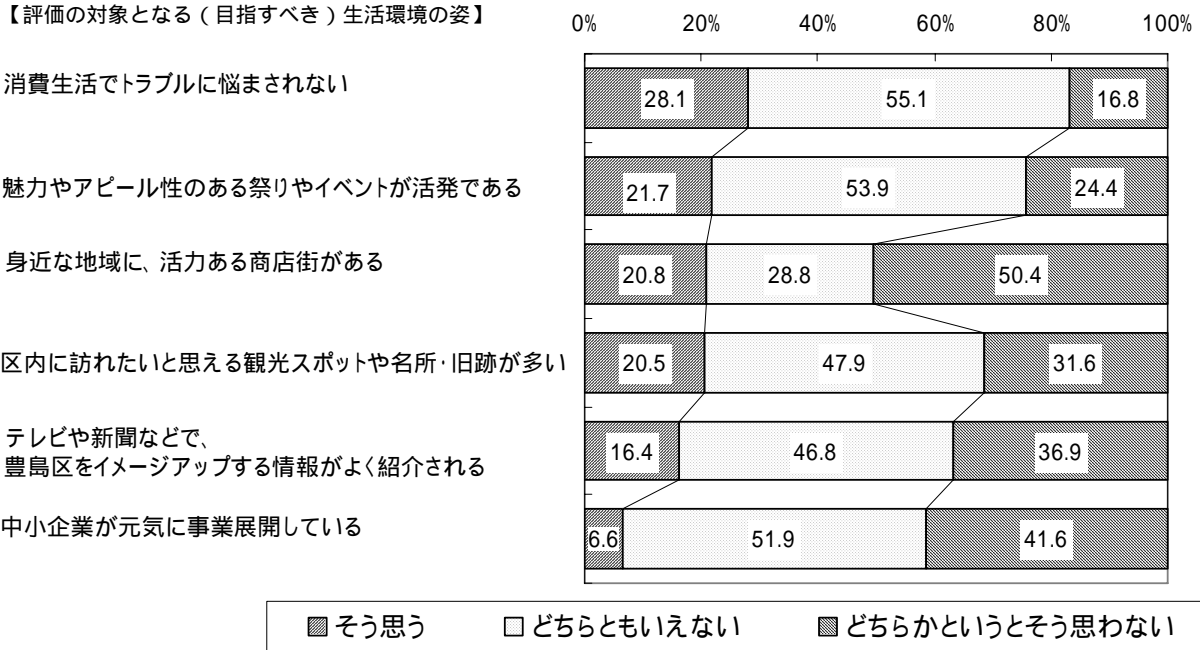
地域団体



観光・産業

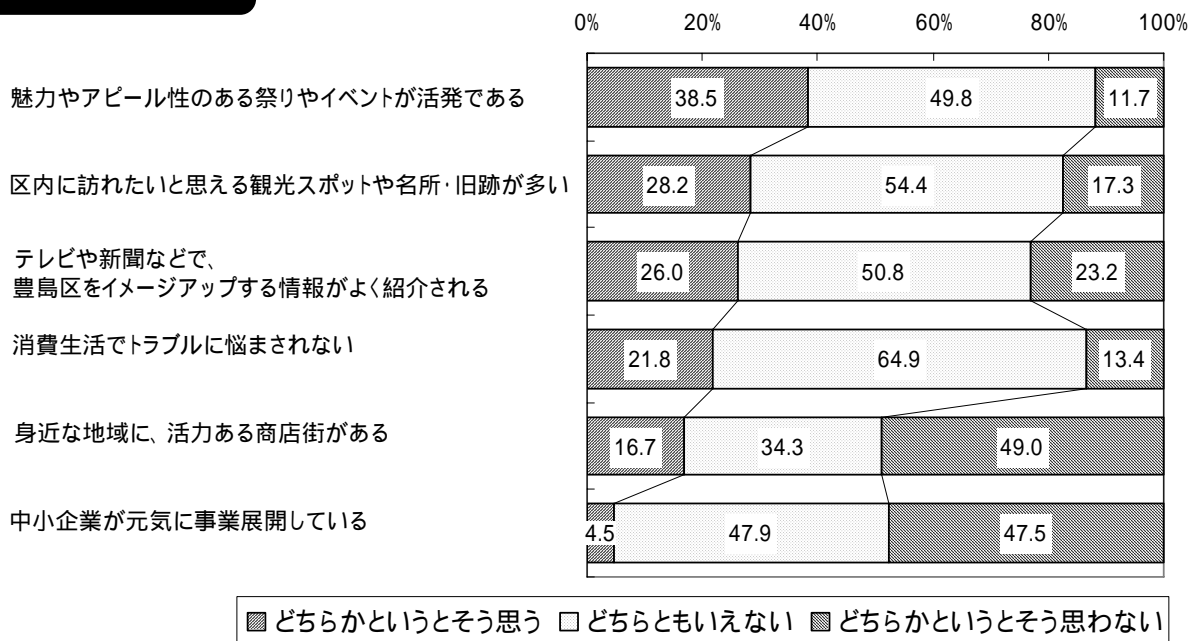
観光・産業のグループでは、「消費生活でトラブルに悩まされない」が28.1%を占め最も高い。次いで「魅力やアピール性のある祭りやイベントが活発である」が21.7%と続いている。

一方、評価が低いのは、「身近な地域に、活力ある商店街がある」(50.4%)や「中小企業が元気に事業展開している」(41.6%)等である。



各設問に対する割合は、無回答を除く母数で除した割合を算出している。

地域団体

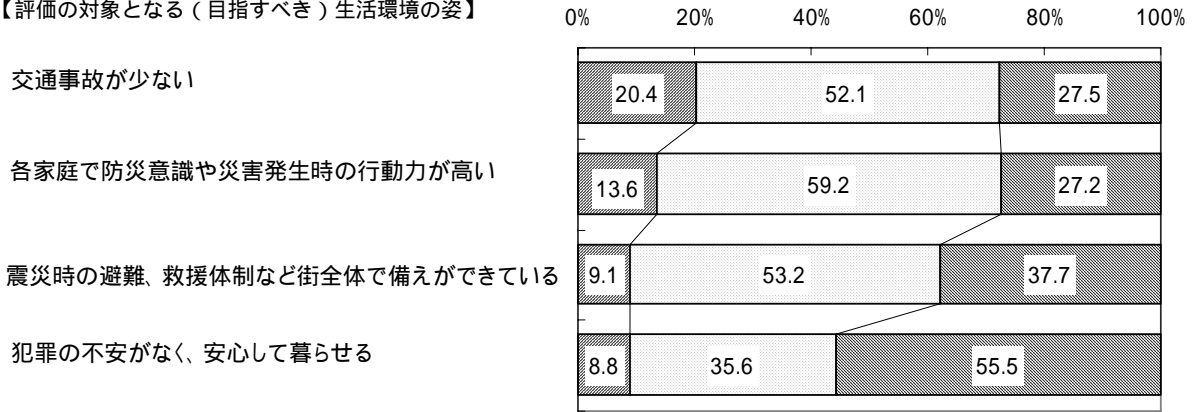


安心・安全

安心・安全のグループでは「交通事故が少ない」が20.4%で最も高く、次いで「各家庭で防災意識や災害発生時の行動力が高い」が12.5%と続いている。

一方、評価が低いのは、「犯罪の不安がなく、安心して暮らせる」(55.5%)となっている。

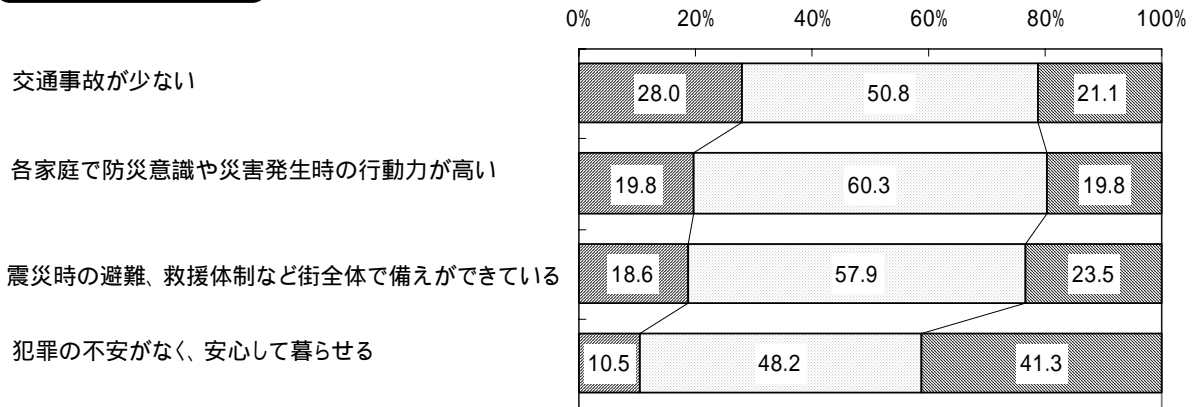
【評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿】



■ そう思う □ どちらともいえない ▨ どちらかというと思わない

各設問に対する割合は、無回答を除く母数で除した割合を算出している。

地域団体

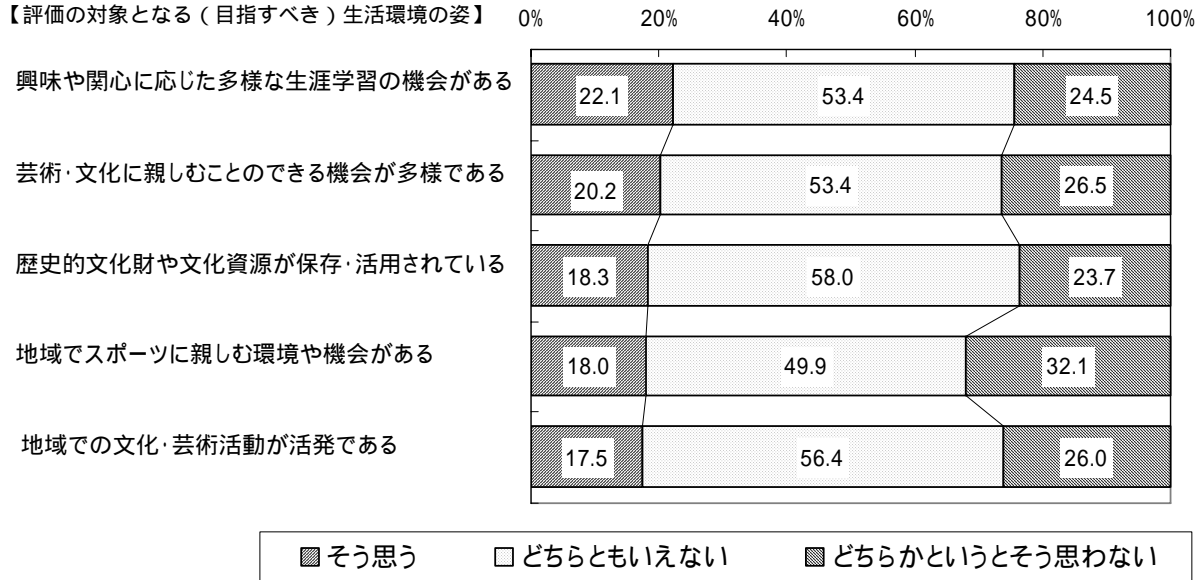


▨ どちらかというと思おう □ どちらともいえない ■ どちらかというと思わない

文化・生涯学習

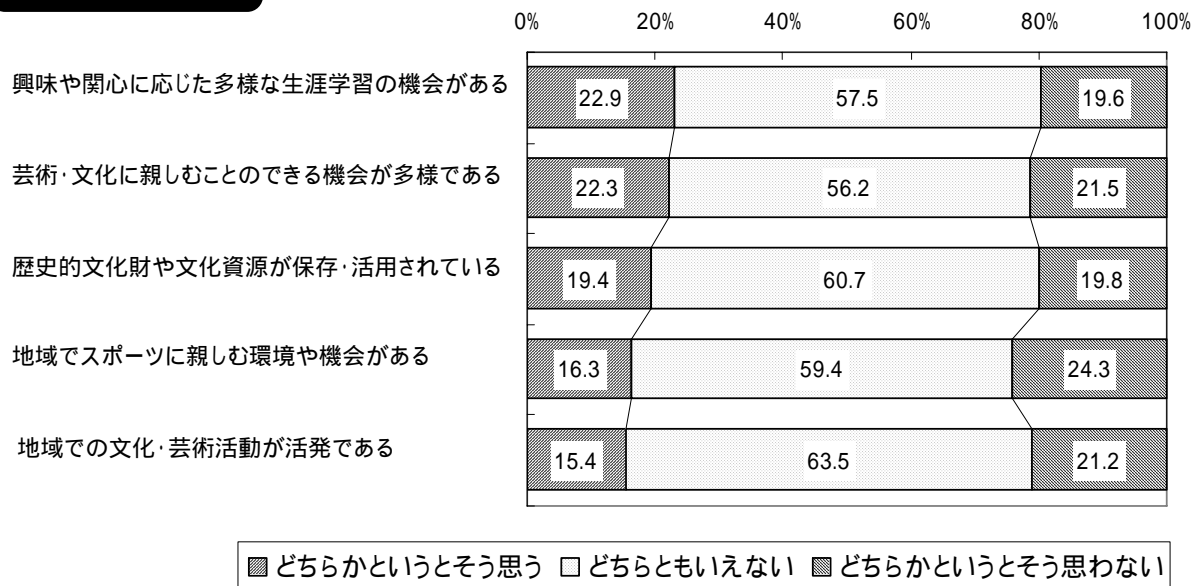
文化・生涯学習のグループではほぼ同様の割合となり、最も高いのは「興味や関心に応じた多様な生涯学習の機会がある」の 22.1%で、「芸術・文化に親しむことのできる機会が多様である」が 20.2%と続く。

一方、評価が低いのは、「地域でスポーツに親しむ環境や機会がある」(32.1%) である。



各設問に対する割合は、無回答を除く母数で除した割合を算出している。

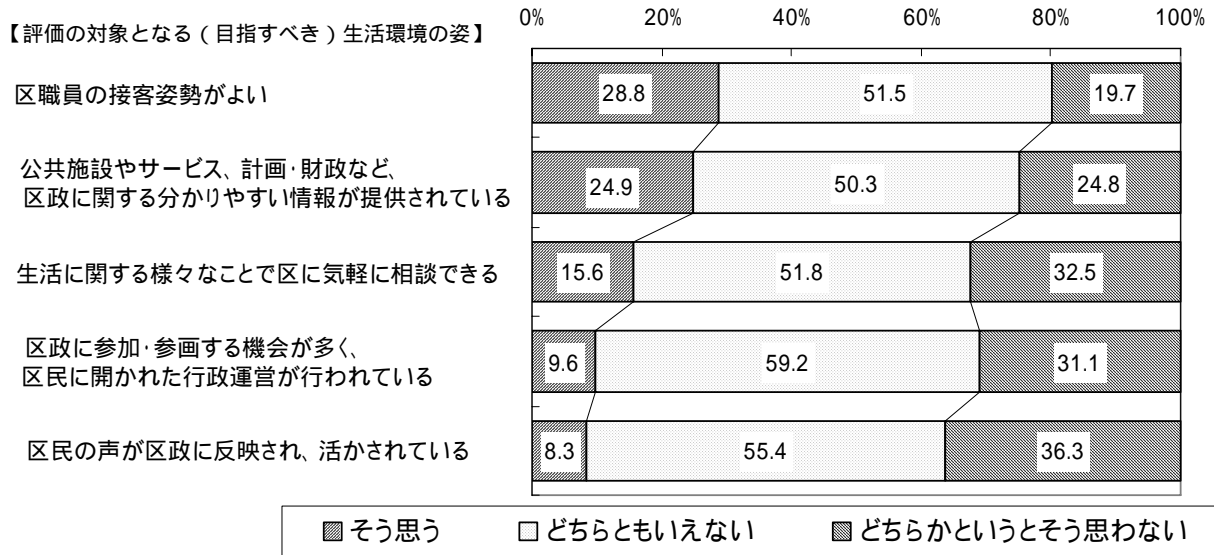
地域団体



行政サービス

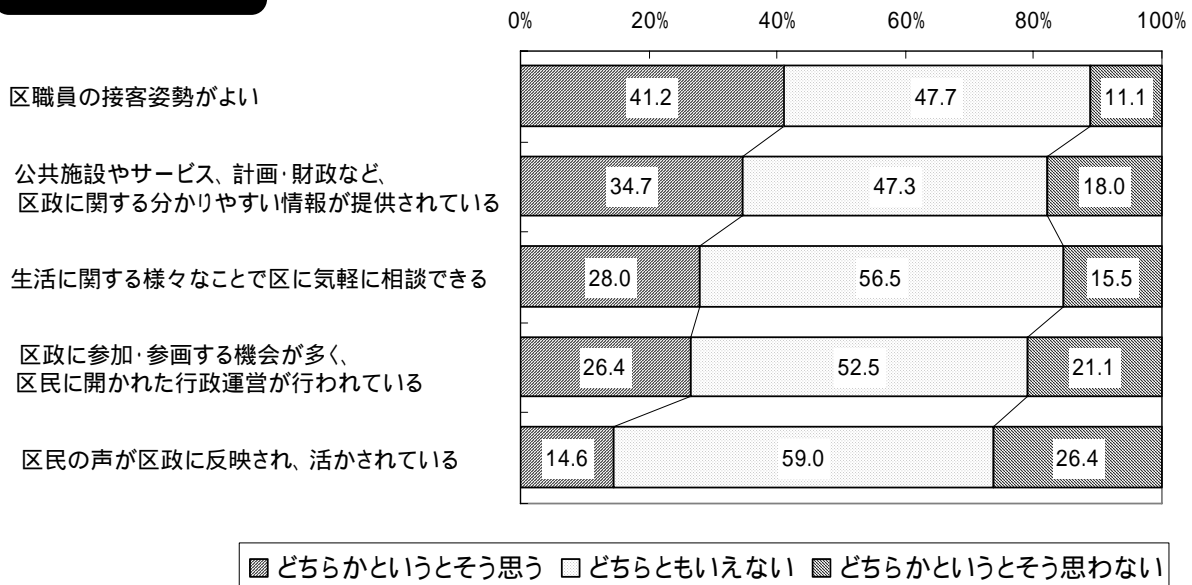
行政サービスのグループでは、「区職員の接客姿勢がよい」が最も高く 28.8%を示している。次いで「公共施設やサービス、計画・財政など、区政に関する分かりやすい情報が提供されている」が 24.9%と続く。

一方、評価が低いのは、「区民の声が区政に反映され、活かされている」(36.3%)や「生活に関する様々なことで区に気軽に相談できる」(32.5%)等である。



各設問に対する割合は、無回答を除く母数で除した割合を算出している。

地域団体



グループ全体を通して見た「現在の評価」

ア 現在の評価が高い項目（「どちらかというと思う」の割合が高い項目）

65項目のうち、「現在の評価」が高い上位10項目は以下のとおりである。

順位	分野	評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿	割合(%)
第1位	都市整備	鉄道・バス等の交通が便利である	81.1
第2位	みどり・環境 ・リサイクル	小規模な公園やひろばが身近にある	62.1
第3位	みどり・環境 ・リサイクル	ごみを減らす努力やリサイクル活動が活発に行われている	49.2
第4位	保健・福祉 ・医療	道路の段差解消や駅施設へのエレベーターの設置など、街のバリアフリー化が進んでいる	42.9
第5位	池袋副都心	劇場や映画館など、魅力ある文化芸術施設が多い	41.5
第6位	池袋副都心	若者に人気のあるお店や情報が多い	39.3
第7位	池袋副都心	多くの来外者でにぎわい、快適にショッピングや食事ができる	38.5
第8位	都市整備	幹線道路が整備され、都市内の移動がスムーズに行える	32.6
第9位	保健・福祉 ・医療	健康づくりに取り組むための、多様な機会や場、情報がある	29.2
第10位	行政サービス	区職員の接客姿勢がよい	28.8

各設問に対する割合は、無回答を除く母数で除した割合を算出している。

地域団体

順位	グループ	評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿	割合(%)
第1位	都市整備	鉄道・バス等の交通が便利である	76.7
第2位	みどり・環境 ・リサイクル	小規模な公園やひろばが身近にある	59.0
第3位	みどり・環境 ・リサイクル	ごみを減らす努力やリサイクル活動が活発に行われている	57.1
第4位	保健・福祉 ・医療	道路の段差解消や駅施設へのエレベーターの設置など、街のバリアフリー化が進んでいる	48.4
第5位	子育て・教育	子どもたちがいきいきと学校生活を送っている	43.7
第6位	子育て・教育	保護者や地域住民と連携した学校づくりが行われている	41.6
第7位	行政サービス	区職員の接客姿勢がよい	41.2
第8位	観光・産業	魅力やアピール性のある祭りやイベントが活発である	38.5
第9位	コミュニティ ・協働	地域における住民主体の活動が活発であり、参加する機会も多い	36.4
第10位	行政サービス	公共施設やサービス、計画・財政など、区政に関する分かりやすい情報が提供されている	34.7

イ 現在の評価が低い項目（「どちらかというと思わない」の割合が高い項目）

65項目のうち、「現在の評価」が低い下位10項目は以下のとおりである。

順位	分野	評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿	割合(%)
第1位	都市整備	駅周辺に駐輪場が整備され放置自転車がいない	66.9
第2位	みどり・環境 ・リサイクル	街の中に緑が多く、小鳥や昆虫など自然と触れ合うことができる	62.1
第3位	都市整備	地震や火災などの災害に強い安全な市街地が形成されている	56.2
第4位	安心・安全	犯罪の不安がなく、安心して暮らせる	55.5
第5位	コミュニティ ・協働	高齢者と若い世代など多様な世代が交流している	54.7
第6位	コミュニティ ・協働	地域で外国人との交流があり、共生している	54.0
第7位	みどり・環境 ・リサイクル	子どもから高齢者までがそれぞれが楽しむ事のできるような規模の大きな公園がある	54.0
第8位	みどり・環境 ・リサイクル	道路や公園、街角などにポイ捨て等がなくきれいである	53.7
第9位	都市整備	良質な住宅を適切な負担で購入、賃貸することができる	52.9
第10位	池袋副都心	ひったくりや客引き、風俗店等が少なく安心できる	52.3

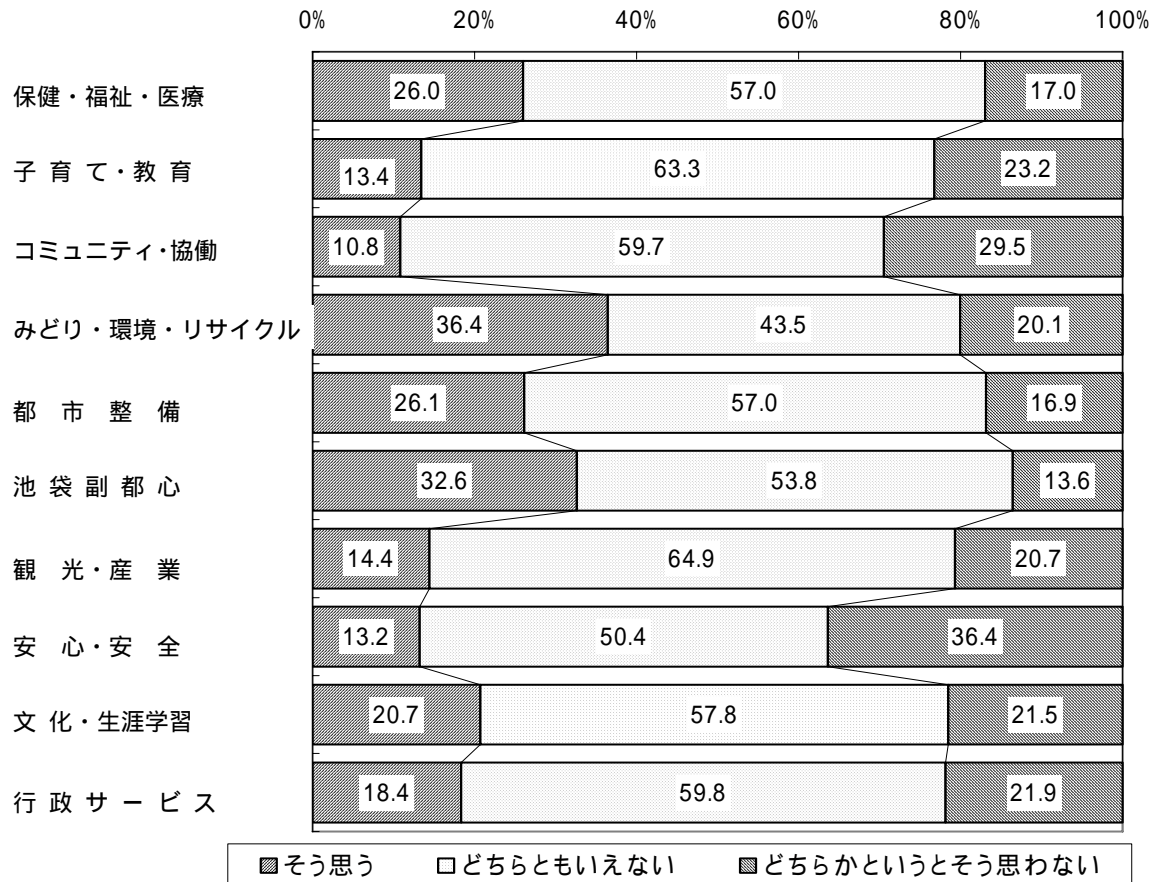
各設問に対する割合は、無回答を除く母数で除した割合を算出している。

地域団体

順位	グループ	評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿	割合(%)
第1位	都市整備	駅周辺に駐輪場が整備され放置自転車がいない	67.2
第2位	みどり・環境 ・リサイクル	街の中に緑が多く、小鳥や昆虫など自然と触れ合うことができる	61.2
第3位	みどり・環境 ・リサイクル	子どもから高齢者までがそれぞれが楽しむ事のできるような規模の大きな公園がある	55.0
第4位	都市整備	地震や火災などの災害に強い安全な市街地が形成されている	52.5
第5位	コミュニティ ・協働	地域で外国人との交流があり、共生している	52.4
第6位	観光・産業	身近な地域に、活力ある商店街がある	49.0
第7位	観光・産業	中小企業が元気に事業展開している	47.5
第8位	池袋副都心	ひったくりや客引き、風俗店等が少なく安心できる	47.0
第9位	みどり・環境 ・リサイクル	道路や公園、街角などにポイ捨て等がなくきれいである	44.9
第10位	都市整備	商業地や鉄道駅周辺地域の街並みが美しく、にぎわっている	42.7

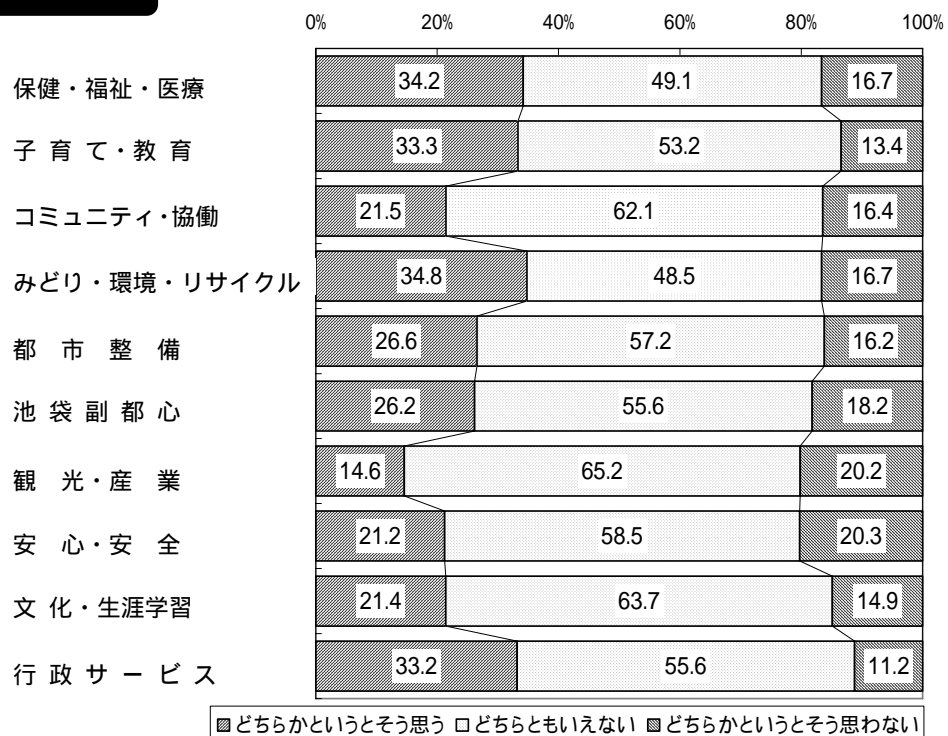
ウ. グループごとの総合評価

質問：全体としてそのグループの機能が高まっているか



各設問に対する割合は、無回答を除く母数で除した割合を算出している。

地域団体



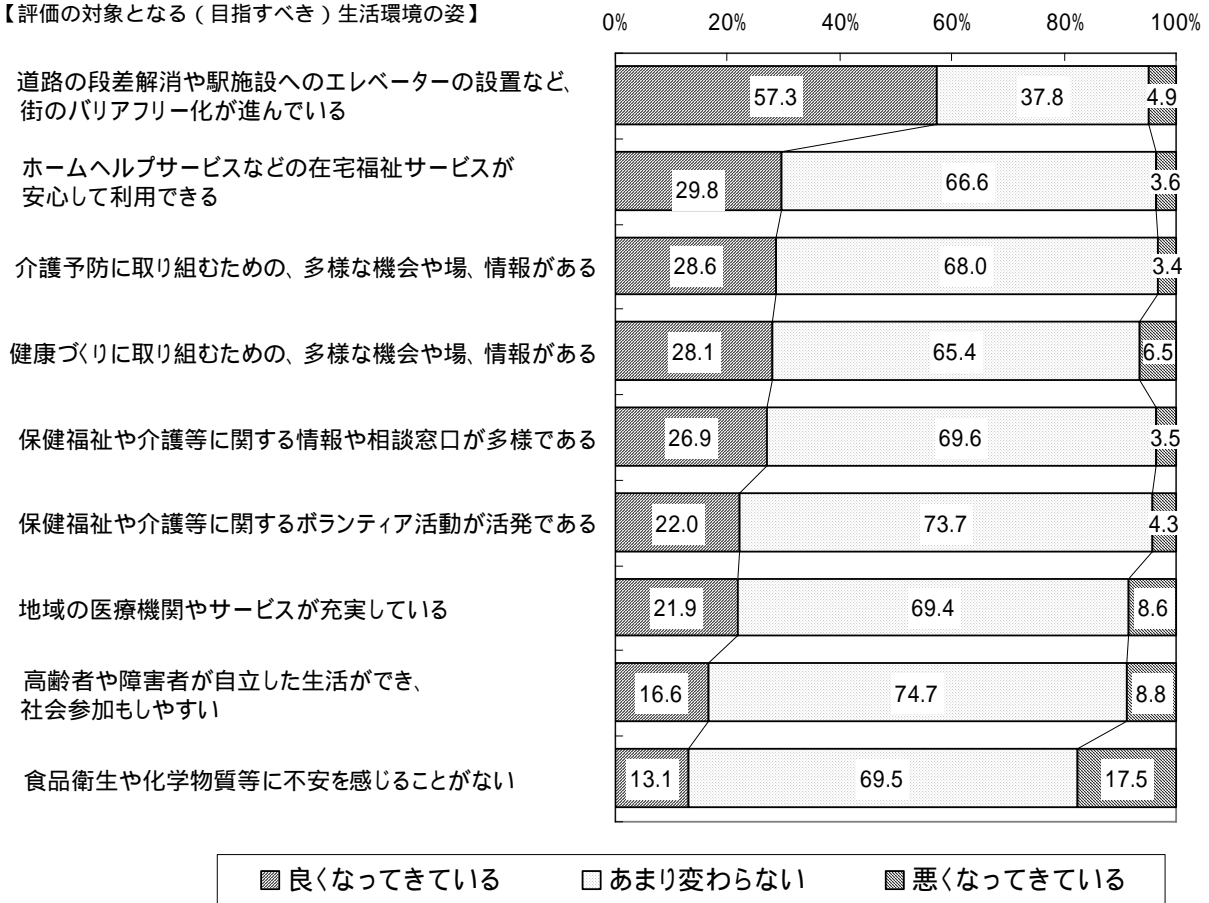
(2) 「4～5年前と比べた評価の変化」

保健・福祉・医療

保健・福祉・医療のグループについては、「道路の段差解消や駅施設へのエレベーターの設置など、街のバリアフリー化が進んでいる」が最も高く57.3%と半数以上を占めている。次いで「ホームヘルプサービスなどの在宅福祉サービスが安心して利用できる」「介護予防に取り組むための、多様な機会や場、情報がある」「健康づくりに取り組むための、多様な機会や場、情報がある」がこれに続きほぼ同じ割合を示している(それぞれ29.8%、28.6%、28.1%)。

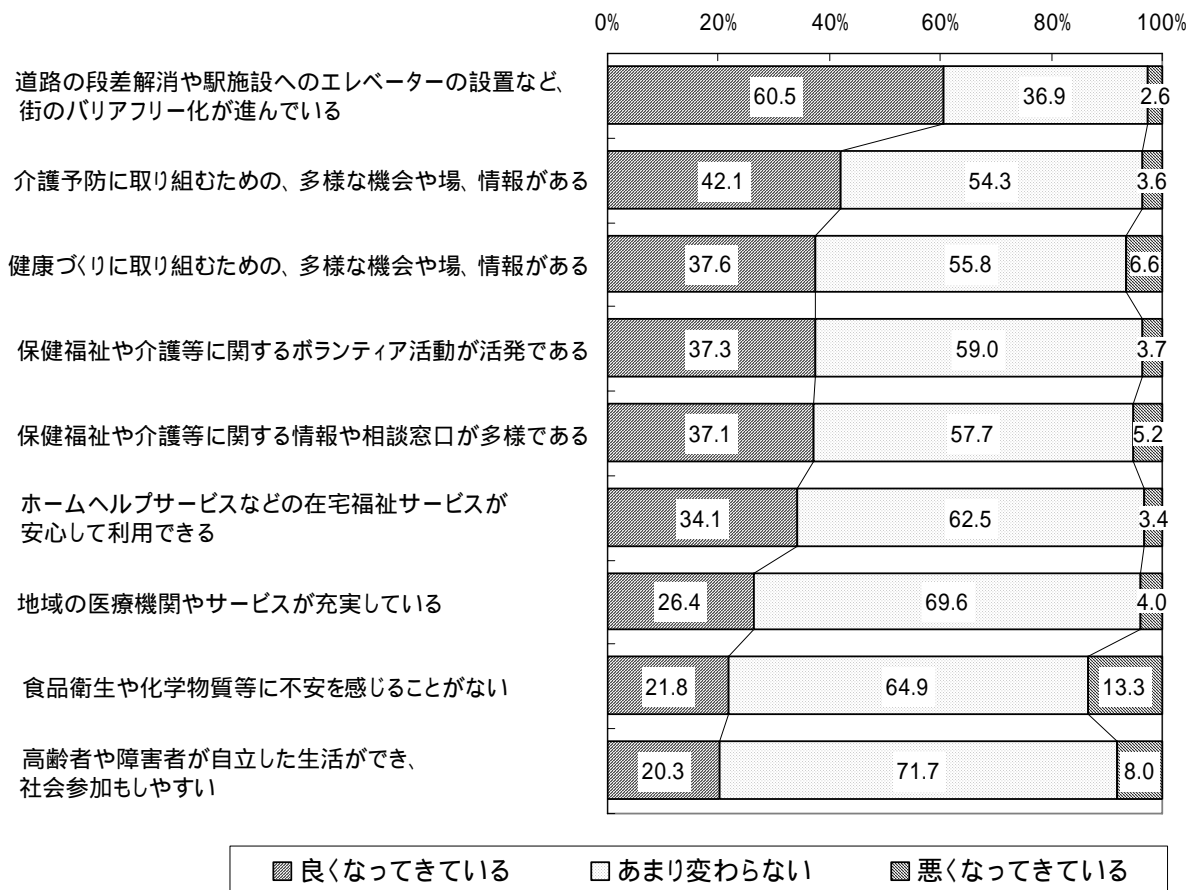
一方、悪くなってきていると評価された項目は、「食品衛生や化学物質等に不安を感じることがない」(17.5%)である。

【評価の対象となる(目指すべき)生活環境の姿】



各設問に対する割合は、無回答を除く母数で除した割合を算出している。

地域団体

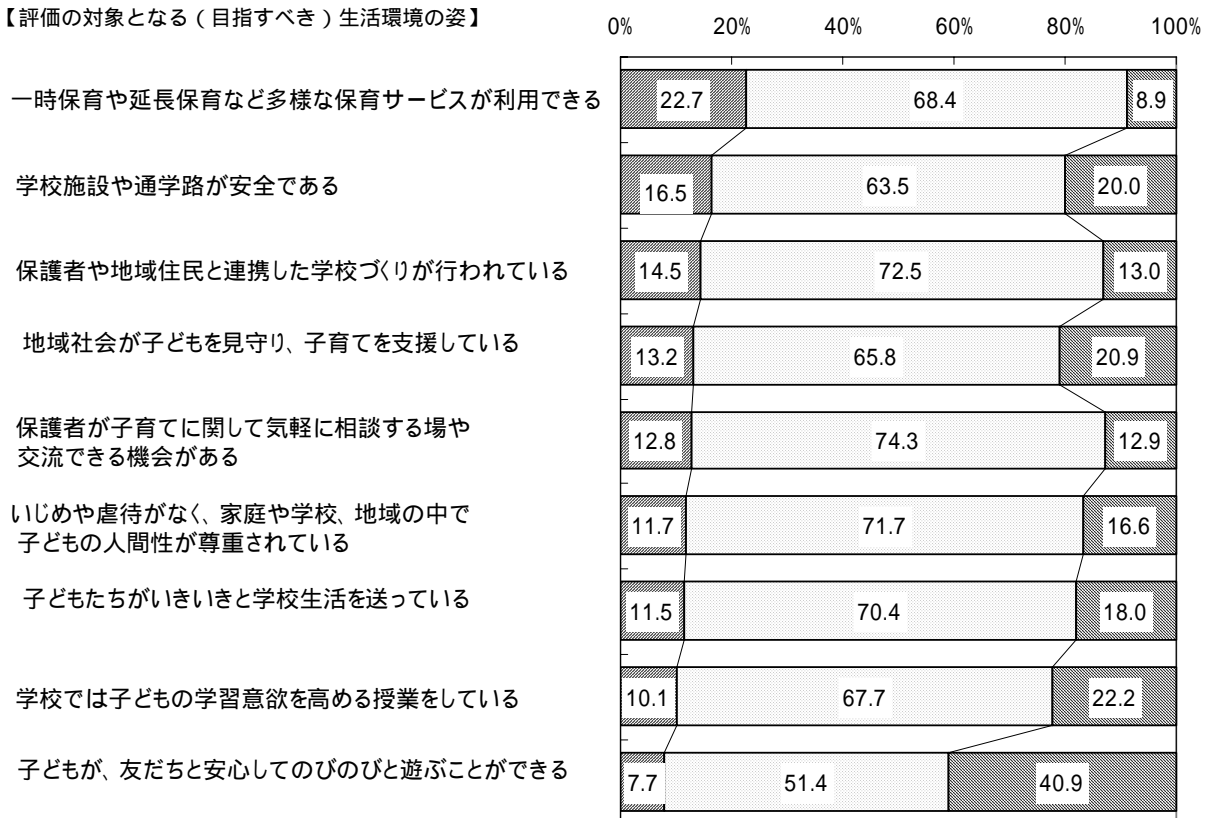


子育て・教育

子育て・教育のグループにおいては、「一時保育や延長保育など多様な保育サービスが利用できる」が最も多く 22.7%となっている。次いで「学校施設や通学路が安全である」(16.5%)、「保護者や地域住民と連携した学校づくりが行われている」(14.5%)、「地域社会が子どもを見守り、子育てを支援している」(13.2%)等が続くが、全体的に「あまり変わらない」と評価する人の割合が高い。

一方、悪くなってきていると評価された項目は、「子どもが、友だちと安心してのびのびと遊ぶことができる」(40.9%)となっている。

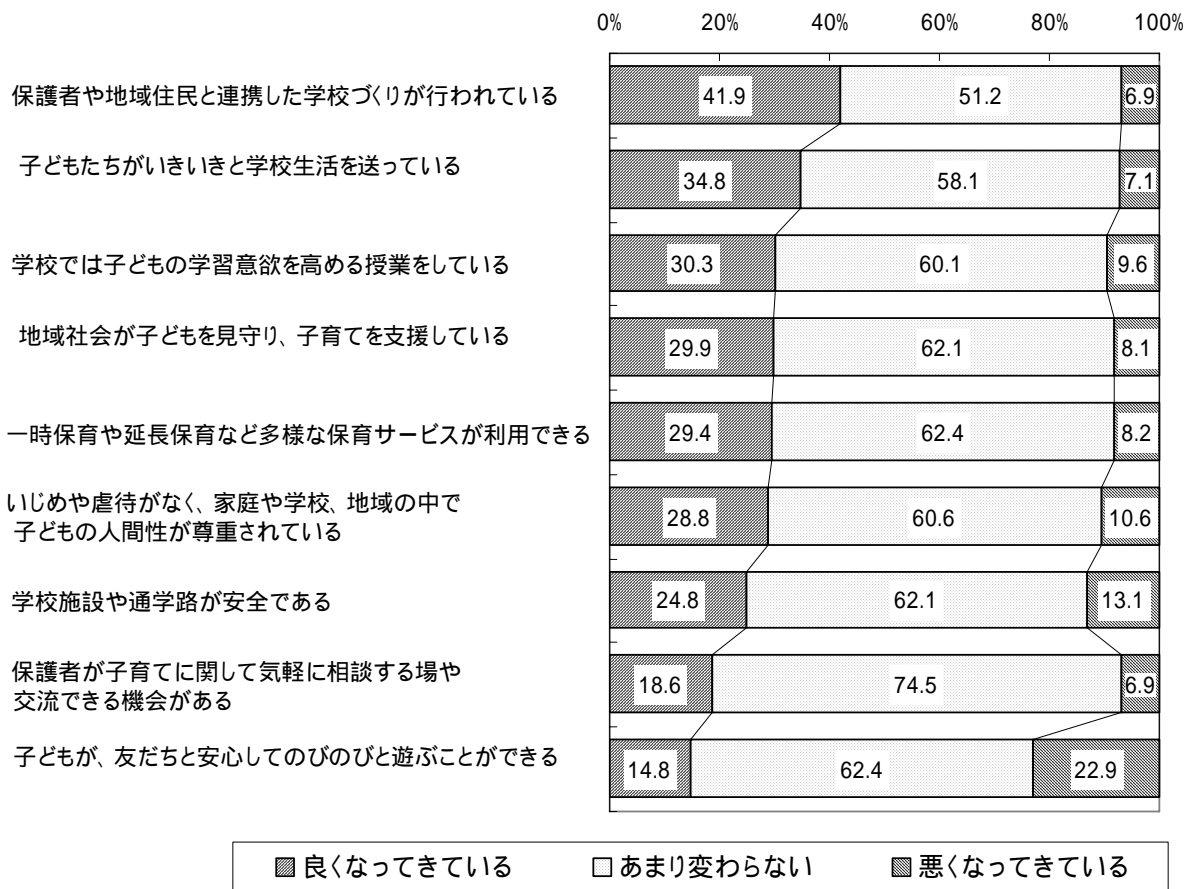
【評価の対象となる(目指すべき)生活環境の姿】



■良くなっている □あまり変わらない ■悪くなっている

各設問に対する割合は、無回答を除く母数で除した割合を算出している。

地域団体

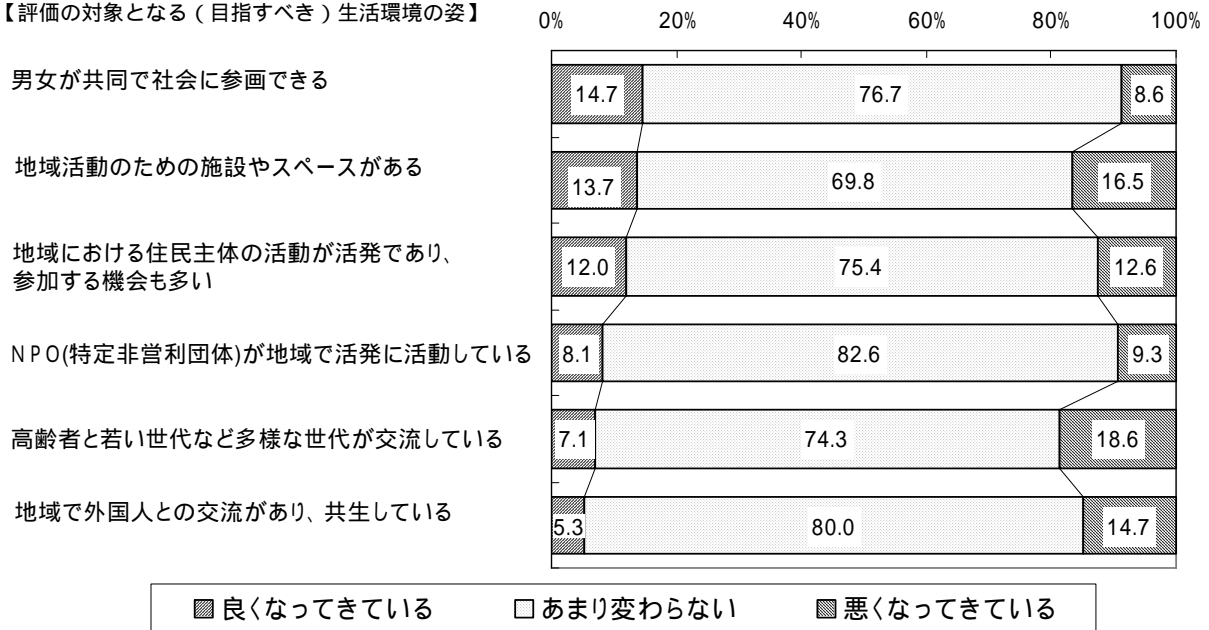


コミュニティ・協働

コミュニティ・協働のグループでは、「男女が共同で社会に参画できる」「地域活動のための施設やスペースがある」がほぼ同割合となっている（それぞれ14.7%、13.7%）が、子育て・教育のグループと同様に、全体的に「あまり変わらない」と評価する人が多くなっている。

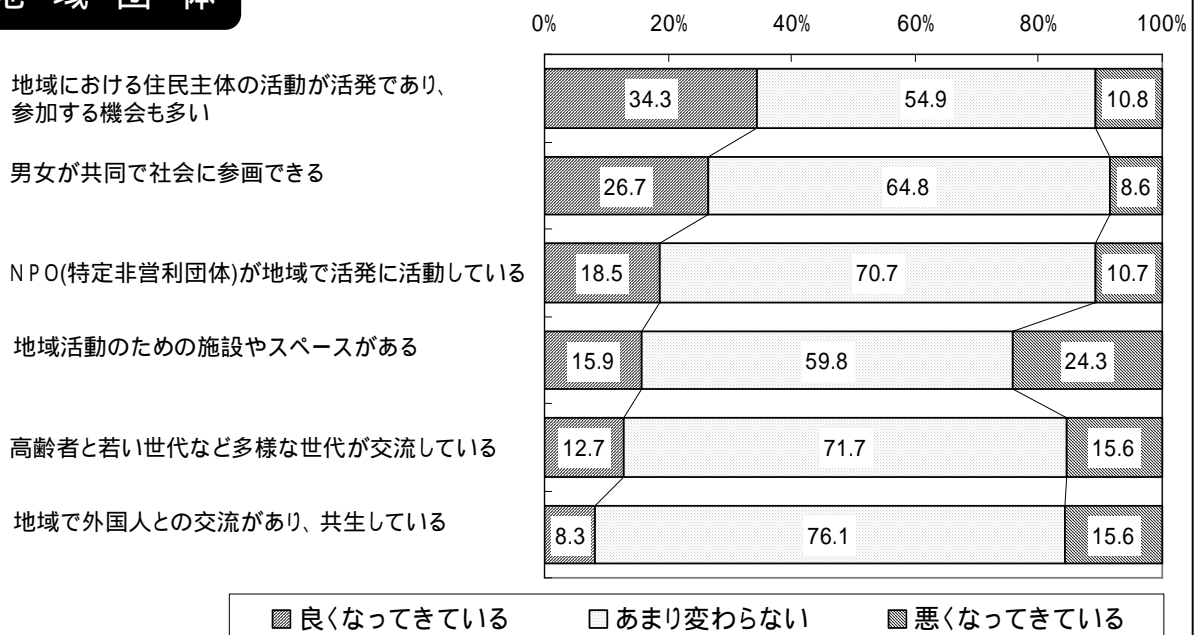
一方、悪くなってきていると評価された項目は、「高齢者と若い世代など多様な世代が交流している」（18.6%）となっている。

【評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿】



各設問に対する割合は、無回答を除く母数で除した割合を算出している。

地域団体

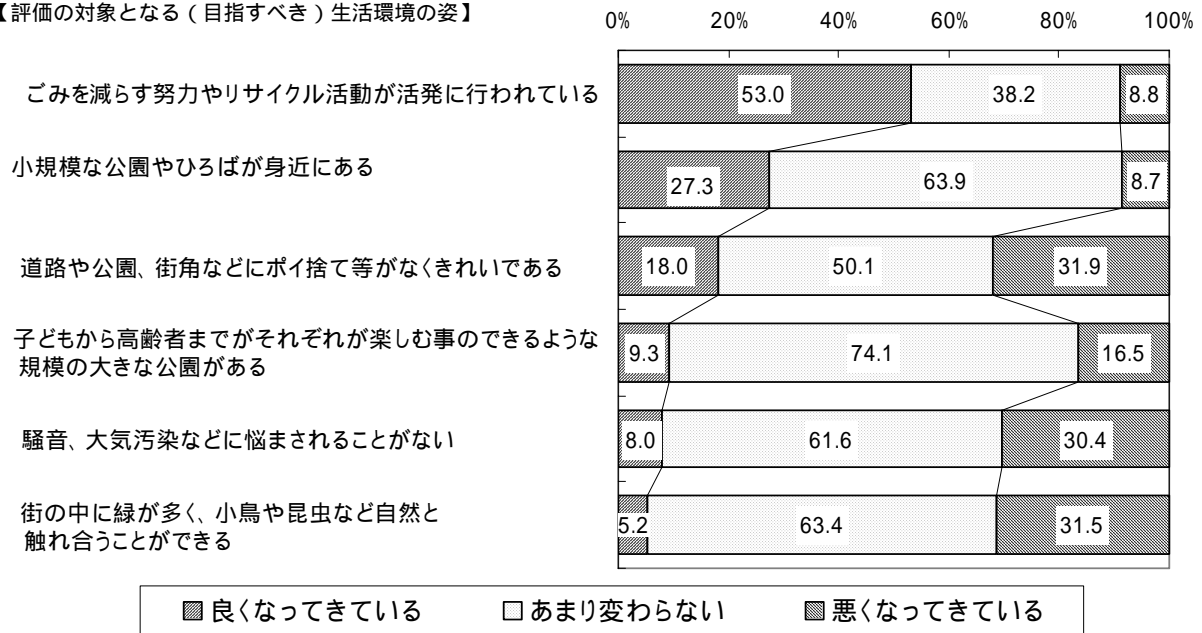


みどり・環境・リサイクル

みどり・環境・リサイクルのグループでは、「ごみを減らす努力やリサイクル活動が活発に行われている」が53.0%と半数以上を占め、次いで「小規模な公園やひろばが身近にある」(27.3%)となっている。

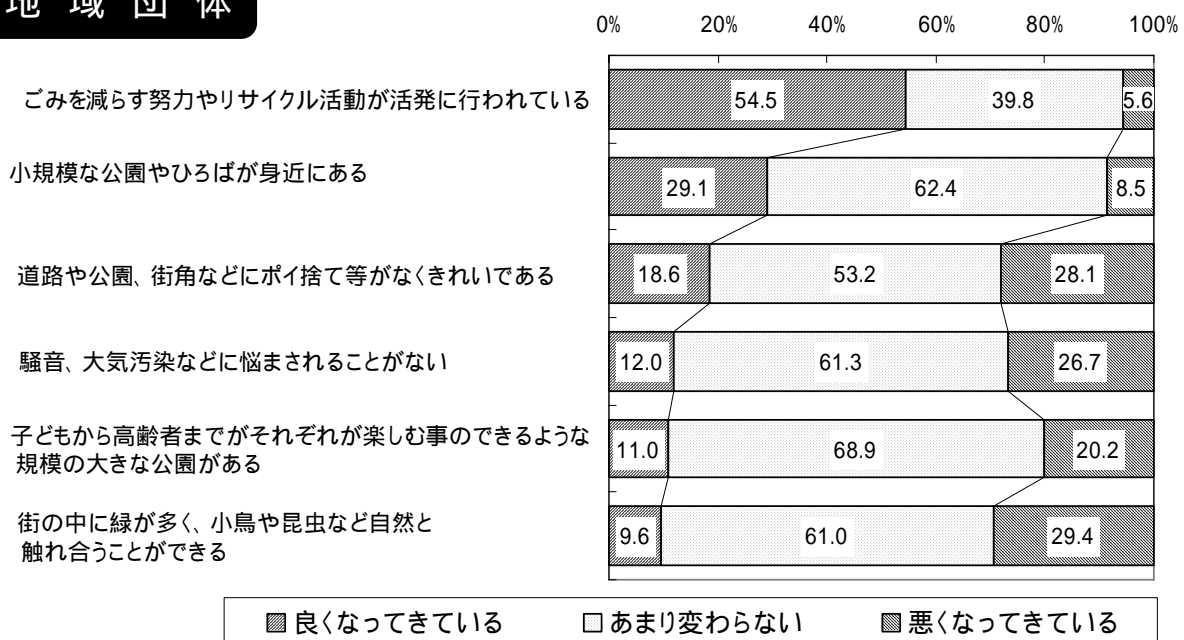
一方、悪くなってきていると評価された項目は、「道路や公園、街角などにポイ捨て等がなくきれいである」(31.9%)、「街の中に緑が多く、小鳥や昆虫など自然と触れ合うことができる」(31.5%)、「騒音、大気汚染などに悩まされることがない」(30.4%)となっている。

【評価の対象となる(目指すべき)生活環境の姿】



各設問に対する割合は、無回答を除く母数で除した割合を算出している。

地域団体

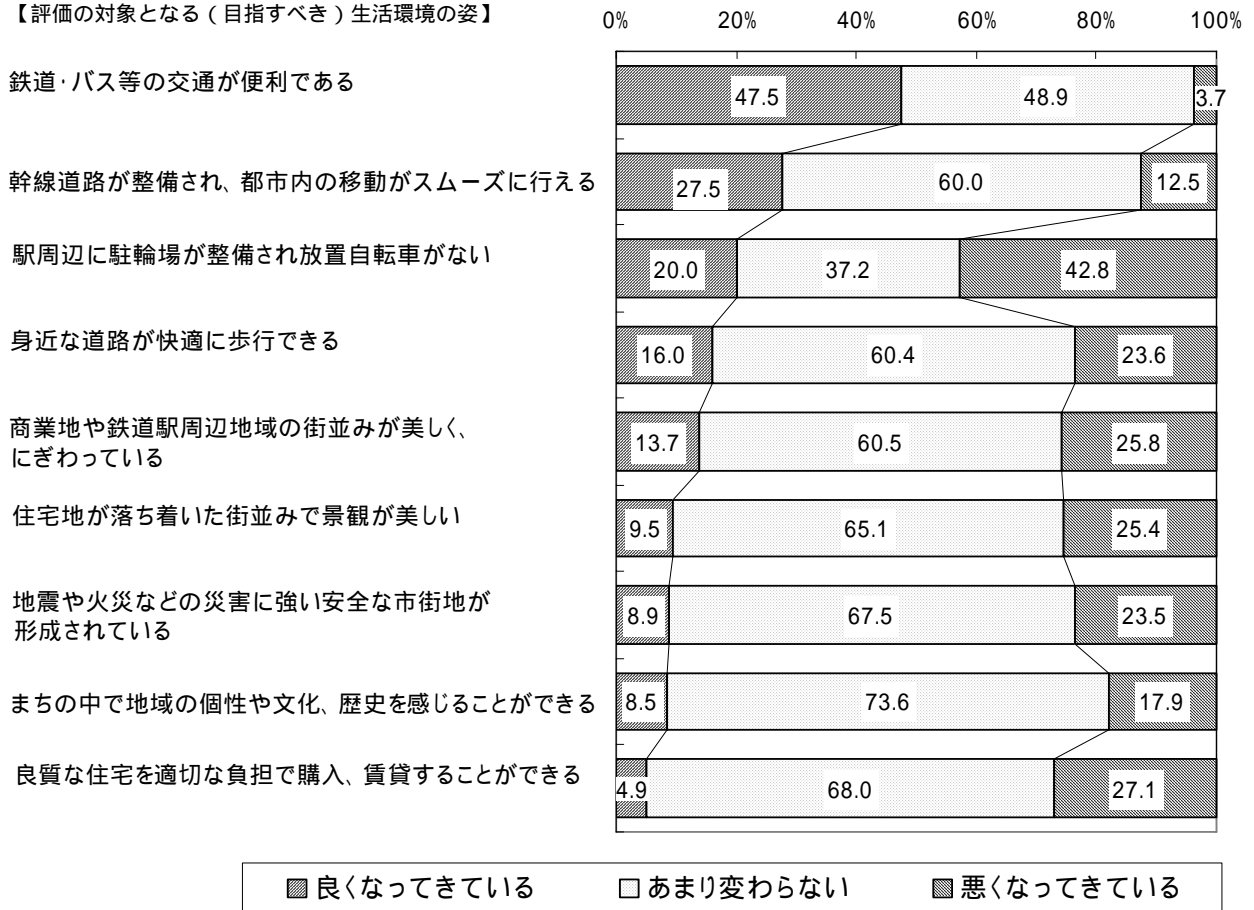


都市整備

都市整備のグループでは、「鉄道・バス等の交通が便利である」が47.5%と5割近くを占め高い割合を示している。次いで「幹線道路が整備され、都市内の移動がスムーズに行える」(27.5%)、「駅周辺に駐輪場が整備され放置自転車がない」(20.0%)となっている。

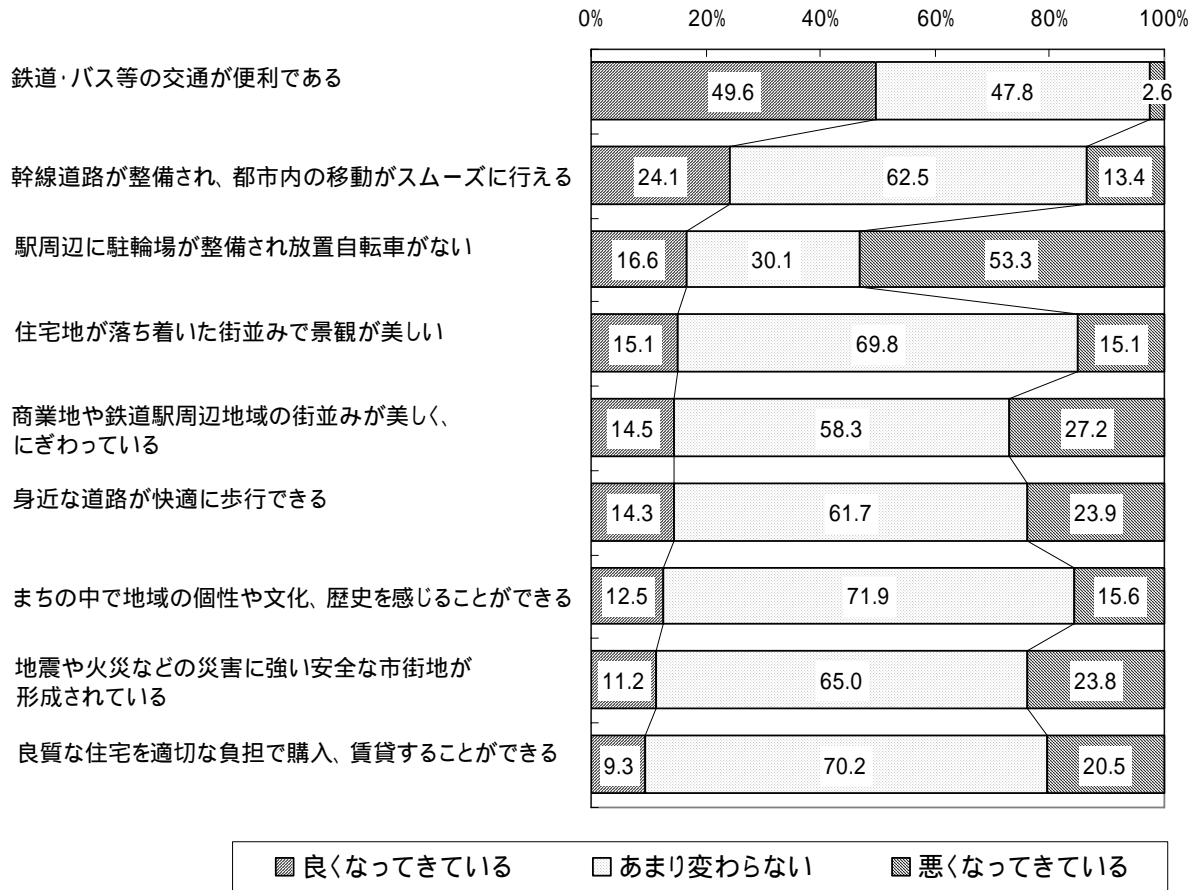
一方、悪くなっているという評価された項目は、「良くなっている」の3番目に評価された「駅周辺に駐輪場が整備され放置自転車がない」が42.8%と最も高く、意見が分かれている。

【評価の対象となる(目指すべき)生活環境の姿】



各設問に対する割合は、無回答を除く母数で除した割合を算出している。

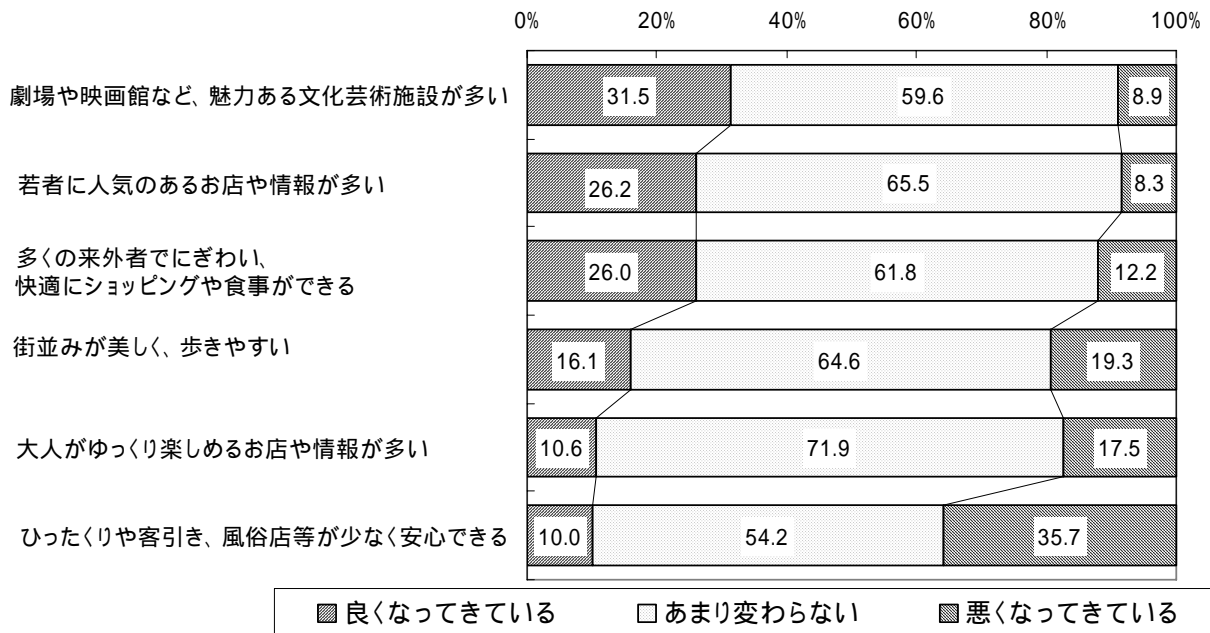
地域団体



池袋副都心

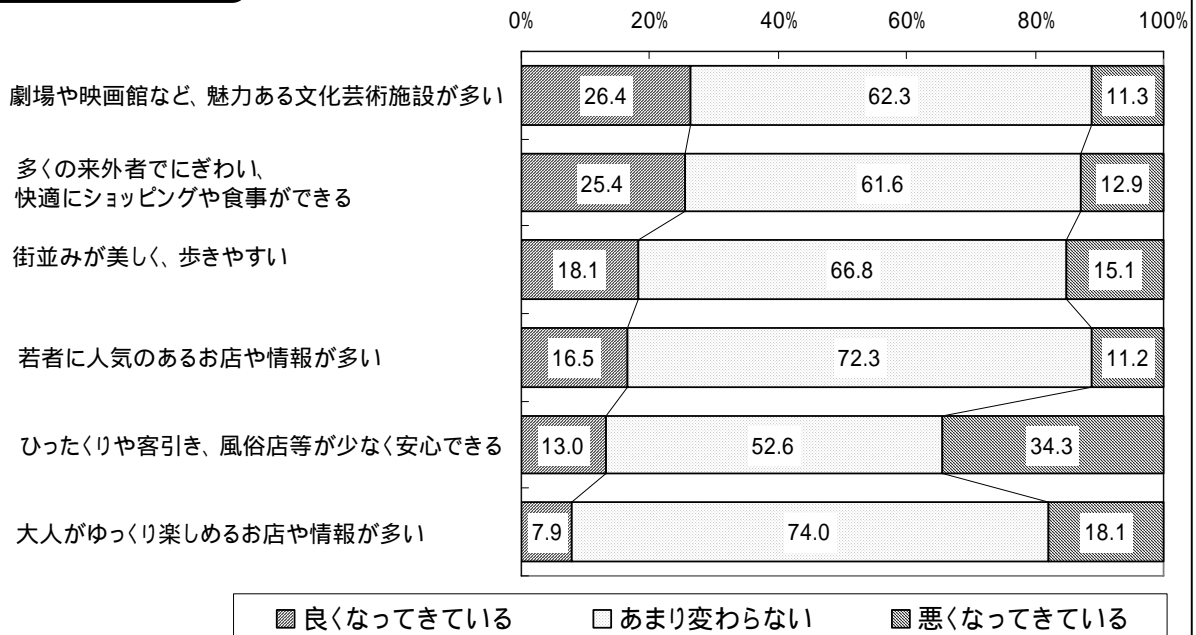
池袋副都心のグループにおいては、「劇場や映画館など、魅力ある文化芸術施設が多い」が最も多く31.5%を示している。次いで「若者に人気のあるお店や情報が多い」(26.2%)、「多くの来外者でにぎわい、快適にショッピングや食事ができる」(26.0%)となっている。

一方、悪くなってきていると評価された項目は、「ひったくりや客引き、風俗店等が少なく安心できる」(35.7%)となっている。【評価の対象となる(目指すべき)生活環境の姿】



各設問に対する割合は、無回答を除く母数で除した割合を算出している。

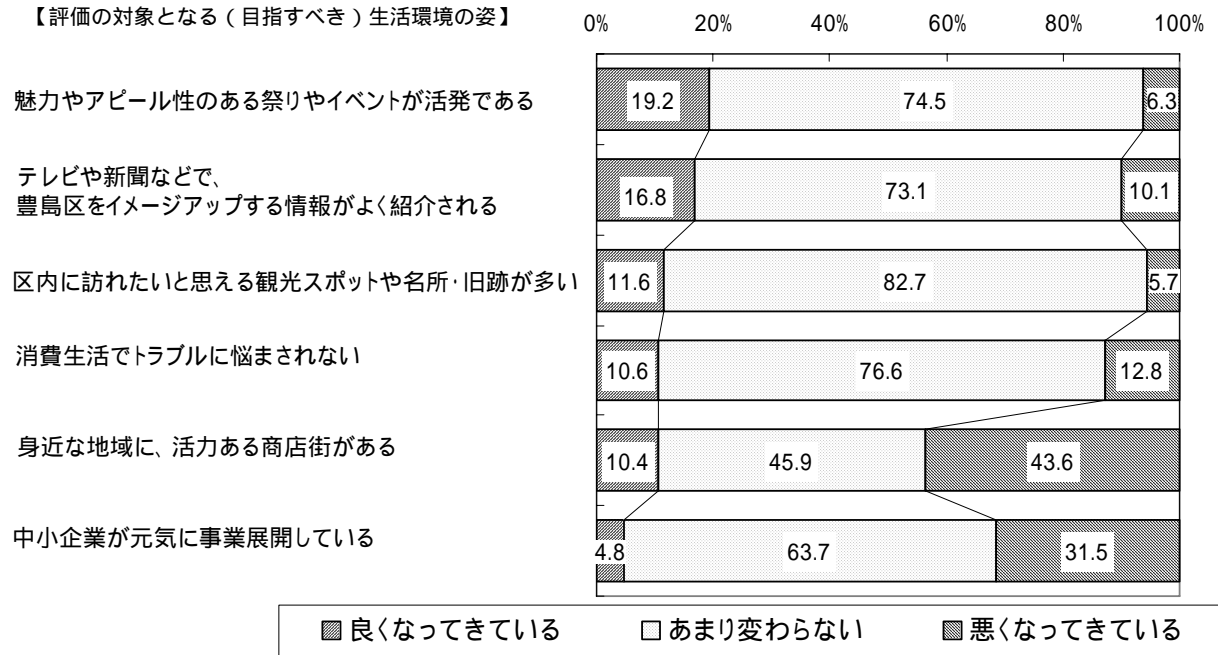
地域団体



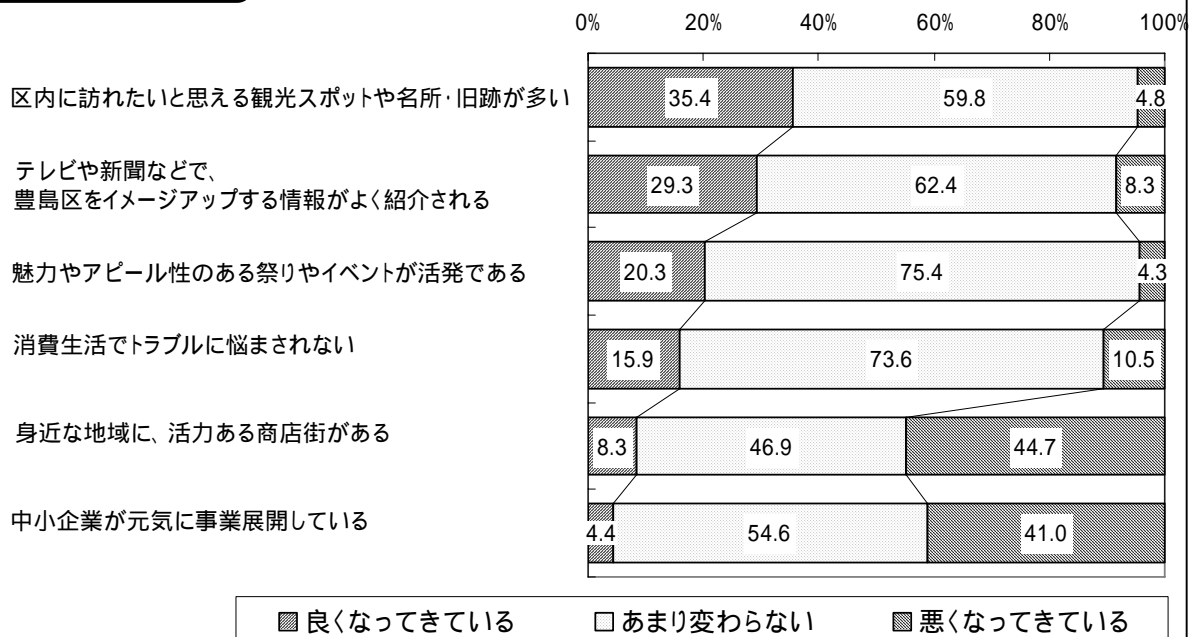
観光・産業

観光・産業のグループでは、「魅力やアピール性のある祭りやイベントが活発である」が19.2%を占め最も多い。次いで「テレビや新聞などで、豊島区をイメージアップする情報がよく紹介される」(16.8%)、「区内に訪れたいと思える観光スポットや名所・旧跡が多い」(11.6%)となっている。

一方、悪くなってきていると評価された項目は、「身近な地域に、活力ある商店街がある」(43.6%)、「中小企業が元気に事業展開している」(31.5%)となっている。



地域団体



安心・安全

安心・安全のグループでは「各家庭で防災意識や災害発生時の行動力が高い」の割合が最も高く、16.8%となっている。次いで「震災時の避難、救援体制など街全体で備えができている」が12.9%で続く。

一方、悪くなってきていると評価された項目は、「犯罪の不安がなく、安心して暮らせる」（48.7%）となっている。

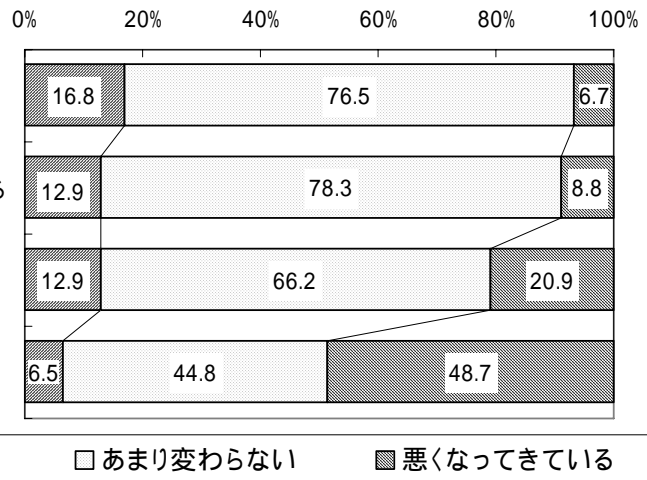
【評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿】

各家庭で防災意識や災害発生時の行動力が高い

震災時の避難、救援体制など街全体で備えができている

交通事故が少ない

犯罪の不安がなく、安心して暮らせる



各設問に対する割合は、無回答を除く母数で除した割合を算出している。

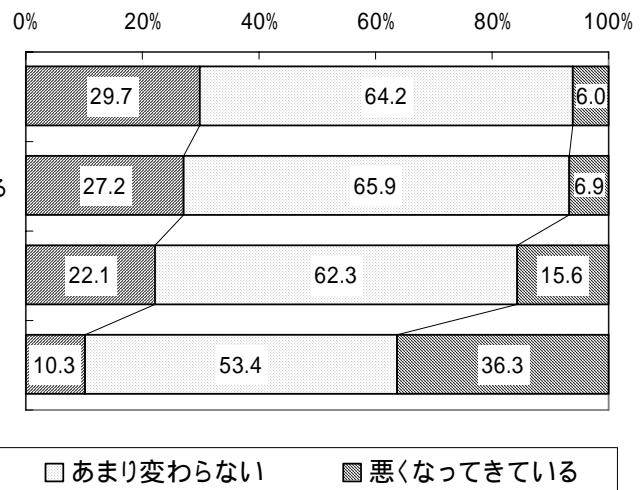
地域団体

各家庭で防災意識や災害発生時の行動力が高い

震災時の避難、救援体制など街全体で備えができている

交通事故が少ない

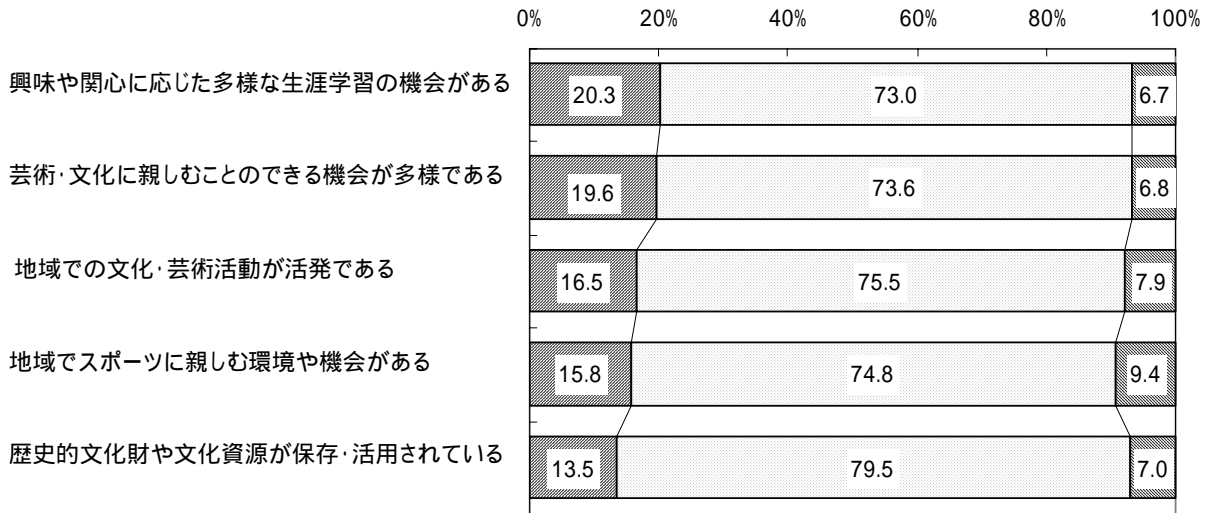
犯罪の不安がなく、安心して暮らせる



文化・生涯学習

文化・生涯学習のグループでは、どの項目も大きな違いはなく、また「あまり変わらない」と回答する人が多い。「良くなってきている」割合が比較的高いものとしては、「興味や関心に
 応じた多様な生涯学習の機会がある」(20.3%)、「芸術・文化に親しむことのできる機会が多
 様である」(19.6%)等である。

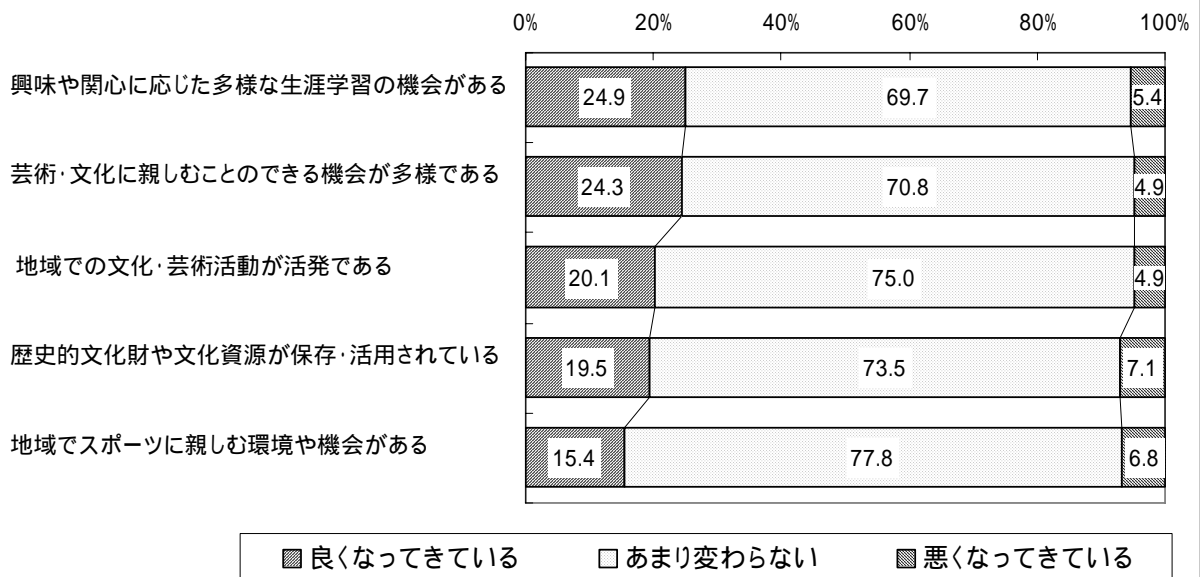
【評価の対象となる(目指すべき)生活環境の姿】



■良くなってきている □あまり変わらない ■悪くなってきている

各設問に対する割合は、無回答を除く母数で除した割合を算出している。

地域団体



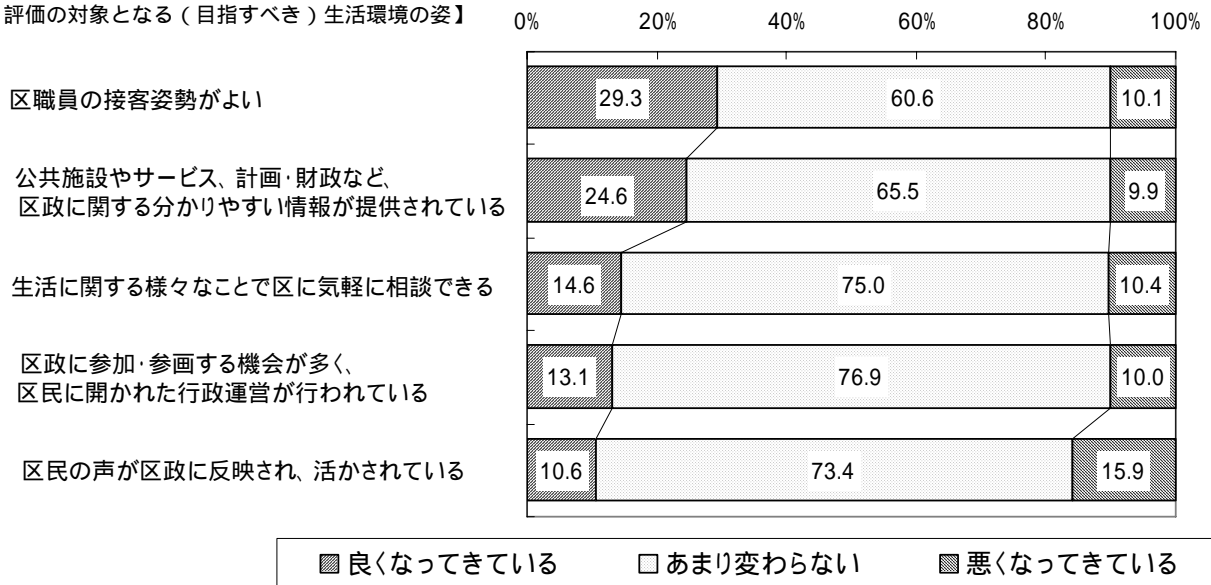
■良くなってきている □あまり変わらない ■悪くなってきている

行政サービス

行政サービスのグループでは、「区職員の接客態度がよい」が最も高く 29.5%を示している。次いで公共施設やサービス、計画・財政など、区政に関する分かりやすい情報が提供されている(24.6%)、「生活に関する様々なことで区に気軽に相談できる」(14.6%)が続いている。

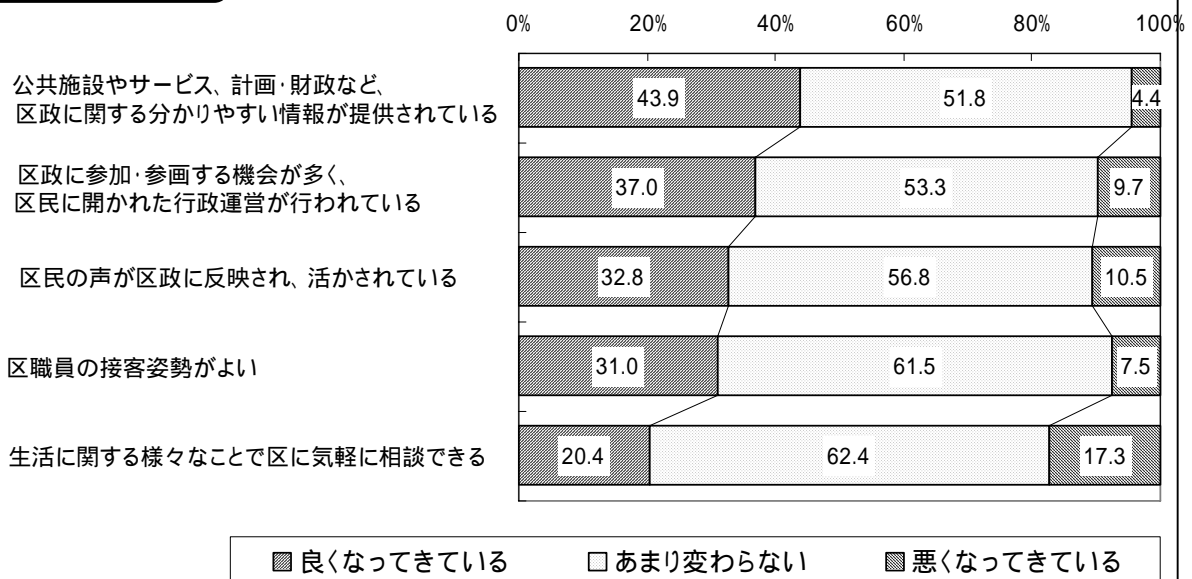
一方、悪くなってきていると評価された項目は、「区民の声が区政に反映され、活かされている」(15.9%)が他に比べてやや高くなっている。

【評価の対象となる(目指すべき)生活環境の姿】



各設問に対する割合は、無回答を除く母数で除した割合を算出している。

地域団体



グループ全体を通して見た「4～5年前と比べた評価の変化」

ア. 4～5年前と比べて良くなっていると評価された項目

65項目のうち、「4～5年前と比べた評価」が高い上位10項目は以下のとおりである。

順位	分野	評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿	割合(%)
第1位	保健・福祉 ・医療	道路の段差解消や駅施設へのエレベーターの設置など、街のバリアフリー化が進んでいる	57.3
第2位	みどり・環境 ・リサイクル	ごみを減らす努力やリサイクル活動が活発に行われている	53.0
第3位	都市整備	鉄道・バス等の交通が便利である	47.5
第4位	池袋副都心	劇場や映画館など、魅力ある文化芸術施設が多い	31.5
第5位	保健・福祉 ・医療	ホームヘルプサービスなどの在宅福祉サービスが安心して利用できる	29.8
第6位	行政サービス	区職員の接客姿勢がよい	29.3
第7位	保健・福祉 ・医療	介護予防に取り組むための、多様な機会や場、情報がある	28.6
第8位	保健・福祉 ・医療	健康づくりに取り組むための、多様な機会や場、情報がある	28.1
第9位	都市整備	幹線道路が整備され、都市内の移動がスムーズに行える	27.5
第10位	みどり・環境 ・リサイクル	小規模な公園やひろばが身近にある	27.3

各設問に対する割合は、無回答を除く母数で除した割合を算出している。

地域団体

順位	グループ	評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿	割合(%)
第1位	保健・福祉 ・医療	道路の段差解消や駅施設へのエレベーターの設置など、街のバリアフリー化が進んでいる	60.5
第2位	みどり・環境 ・リサイクル	ごみを減らす努力やリサイクル活動が活発に行われている	54.5
第3位	都市整備	鉄道・バス等の交通が便利である	49.6
第4位	行政サービス	公共施設やサービス、計画・財政など、区政に関する分かりやすい情報が提供されている	43.9
第5位	保健・福祉 ・医療	介護予防に取り組むための、多様な機会や場、情報がある	42.1
第6位	子育て・教育	保護者や地域住民と連携した学校づくりが行われている	41.9
第7位	保健・福祉 ・医療	健康づくりに取り組むための、多様な機会や場、情報がある	37.6
第8位	保健・福祉 ・医療	保健福祉や介護等に関するボランティア活動が活発である	37.3
第9位	保健・福祉 ・医療	保健福祉や介護等に関する情報や相談窓口が多様である	37.1
第10位	行政サービス	区政に参加・参画する機会が多く、区民に開かれた行政運営が行われている	37.0

イ. 4～5年前と比べて悪くなってきていると評価された項目

65項目のうち、「4～5年前と比べた評価」が低い下位10項目は以下のとおりである。

順位	分野	評価の対象となる(目指すべき)生活環境の姿	割合(%)
第1位	安心・安全	犯罪の不安がなく、安心して暮らせる	48.7
第2位	観光・産業	身近な地域に、活力ある商店街がある	43.6
第3位	都市整備	駅周辺に駐輪場が整備され放置自転車がない	42.8
第4位	子育て・教育	子どもが、友だちと安心してのびのびと遊ぶことができる	40.9
第5位	池袋副都心	ひたたくりや客引き、風俗店等が少なく安心できる	35.7
第6位	みどり・環境 ・リサイクル	道路や公園、街角などにポイ捨て等がなくきれいである	31.9
第7位	観光・産業	中小企業が元気に事業展開している	31.5
第8位	みどり・環境 ・リサイクル	街の中に緑が多く、小鳥や昆虫など自然と触れ合うことができる	31.5
第9位	みどり・環境 ・リサイクル	騒音、大気汚染などに悩まされることがない	30.4
第10位	都市整備	良質な住宅を適切な負担で購入、賃貸することができる	27.1

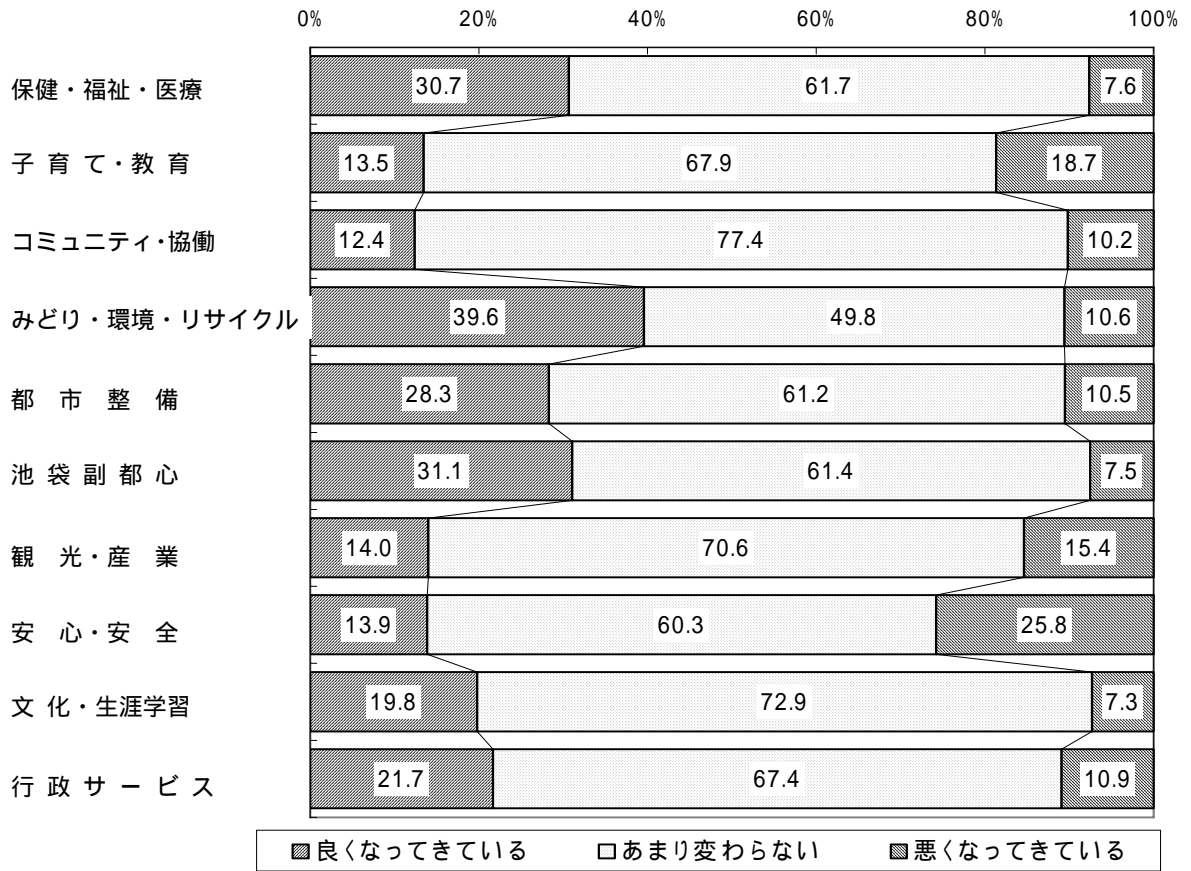
各設問に対する割合は、無回答を除く母数で除した割合を算出している。

地域団体

順位	グループ	評価の対象となる(目指すべき)生活環境の姿	割合(%)
第1位	都市整備	駅周辺に駐輪場が整備され放置自転車がない	53.3
第2位	観光・産業	身近な地域に、活力ある商店街がある	44.7
第3位	観光・産業	中小企業が元気に事業展開している	41.0
第4位	安心・安全	犯罪の不安がなく、安心して暮らせる	36.3
第5位	池袋副都心	ひたたくりや客引き、風俗店等が少なく安心できる	34.3
第6位	みどり・環境 ・リサイクル	街の中に緑が多く、小鳥や昆虫など自然と触れ合うことができる	29.4
第7位	みどり・環境 ・リサイクル	道路や公園、街角などにポイ捨て等がなくきれいである	28.1
第8位	都市整備	商業地や鉄道駅周辺地域の街並みが美しく、にぎわっている	27.2
第9位	みどり・環境 ・リサイクル	騒音、大気汚染などに悩まされることがない	26.7
第10位	コミュニティ ・協働	地域活動のための施設やスペースがある	24.3

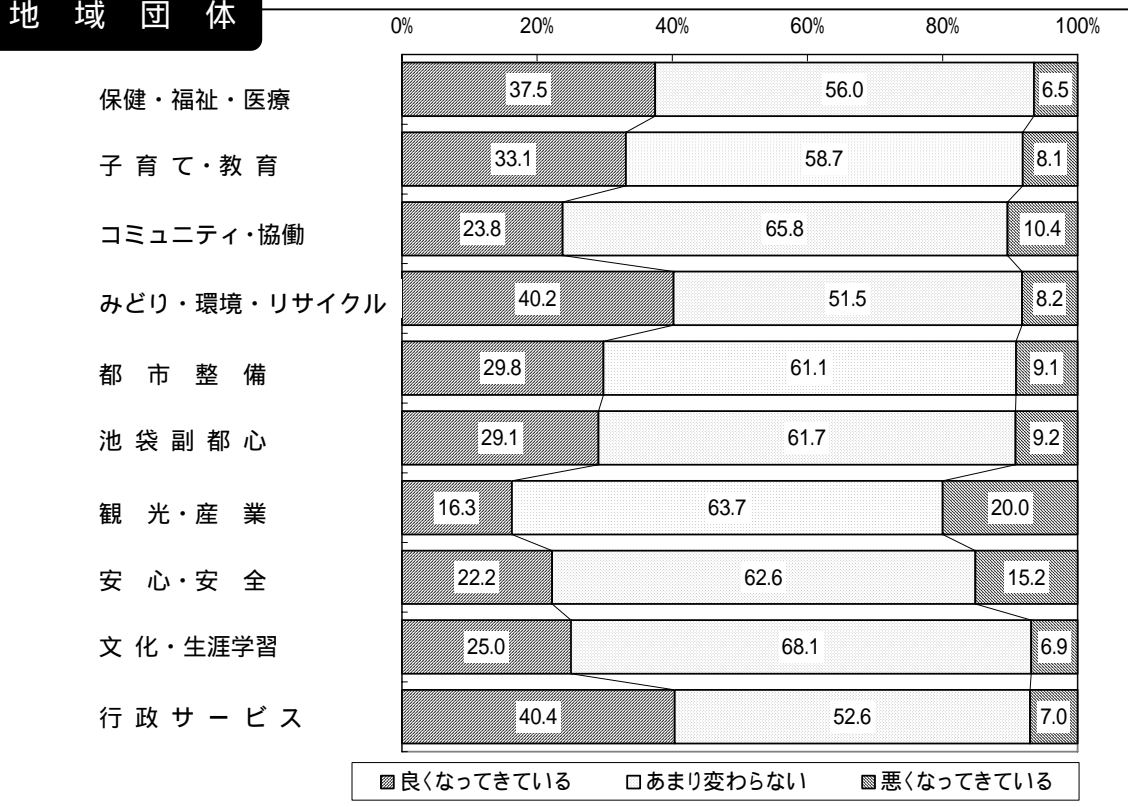
ウ. グループごとの総合評価

質問：4～5年前と比べ、全体としてそのグループの機能が良くなっているか



各設問に対する割合は、無回答を除く母数で除した割合を算出している。

地域団体



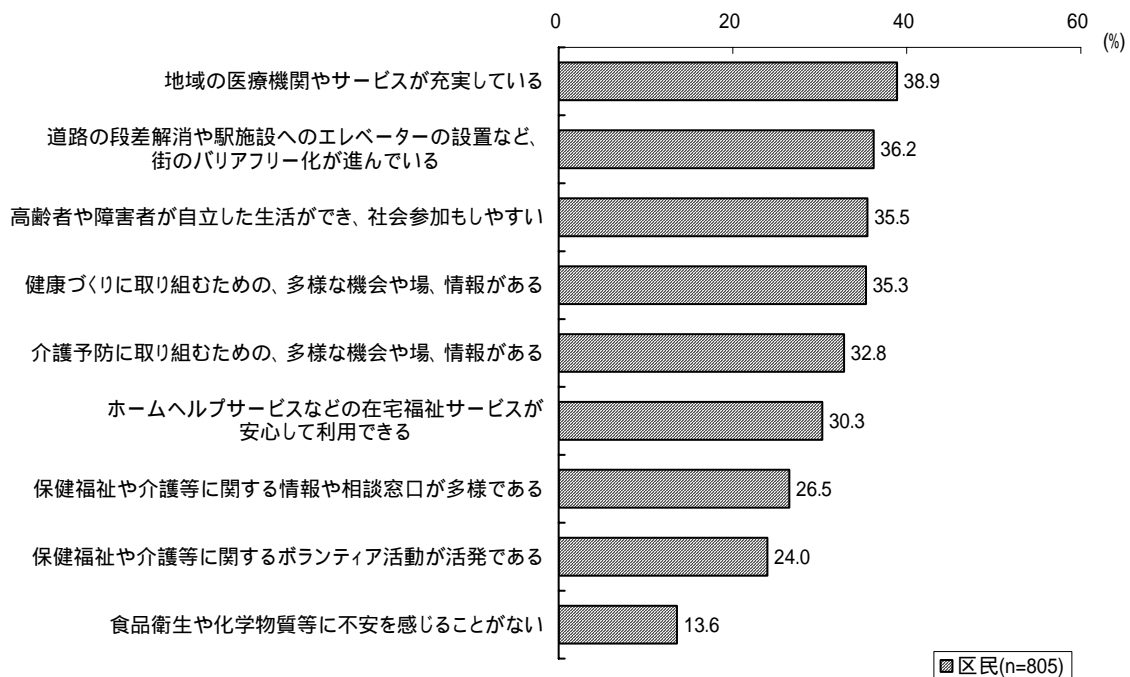
(3) 「今後の優先度」

保健・福祉・医療

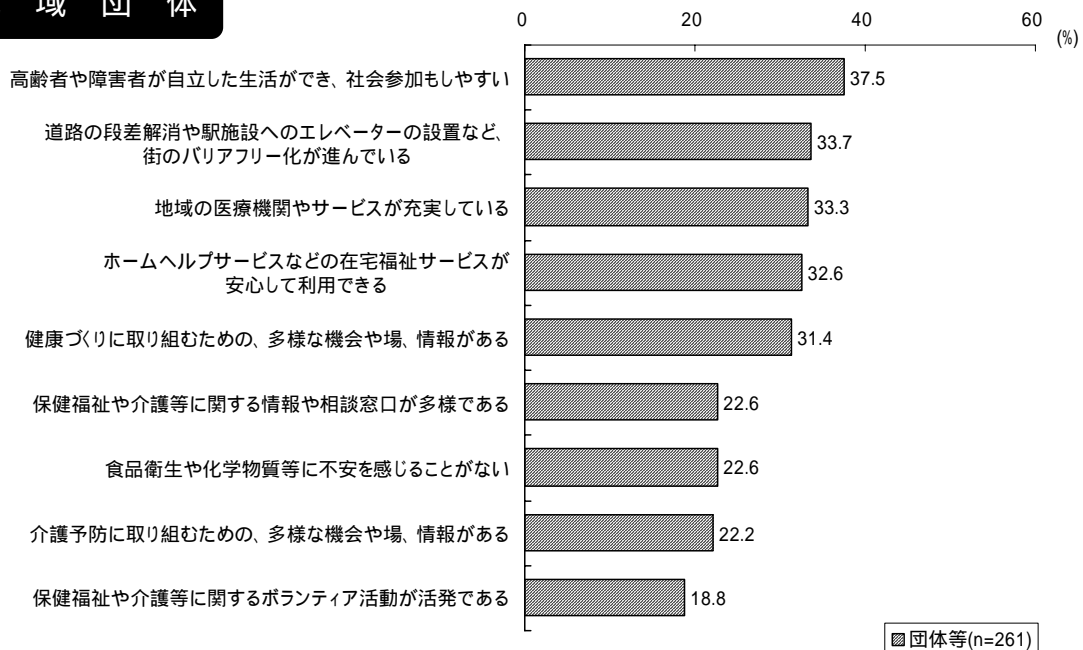
保健・福祉・医療のグループの優先度については、「地域の医療機関やサービスが充実している」が最も多く 38.9%であり、「道路の段差解消や駅施設へのエレベーターの設置など、街のバリアフリー化が進んでいる」(36.2%)、「高齢者や障害者が自立した生活ができ、社会参加もしやすい」(35.5%)、「健康づくりに取り組むための、多様な機会や場、情報がある」(35.3%) もほぼ同じ割合を示している。

【評価の対象となる(目指すべき)生活環境の姿】

今後の優先度(3つまで選択)



地域団体

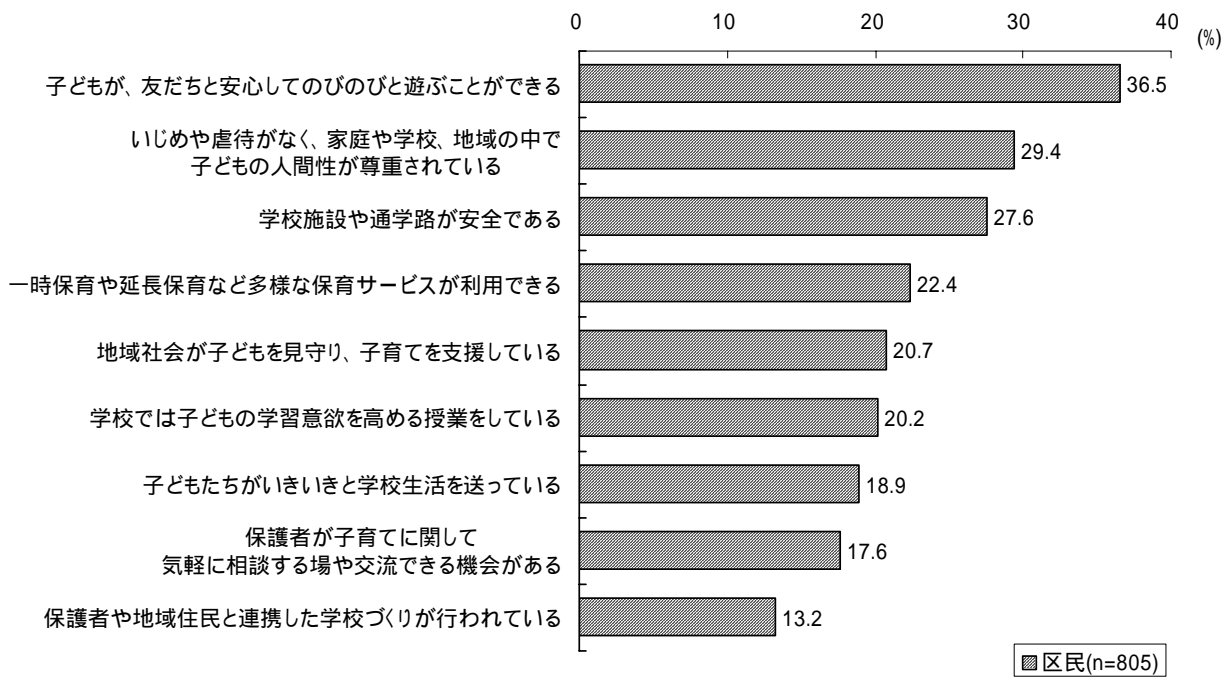


子育て・教育

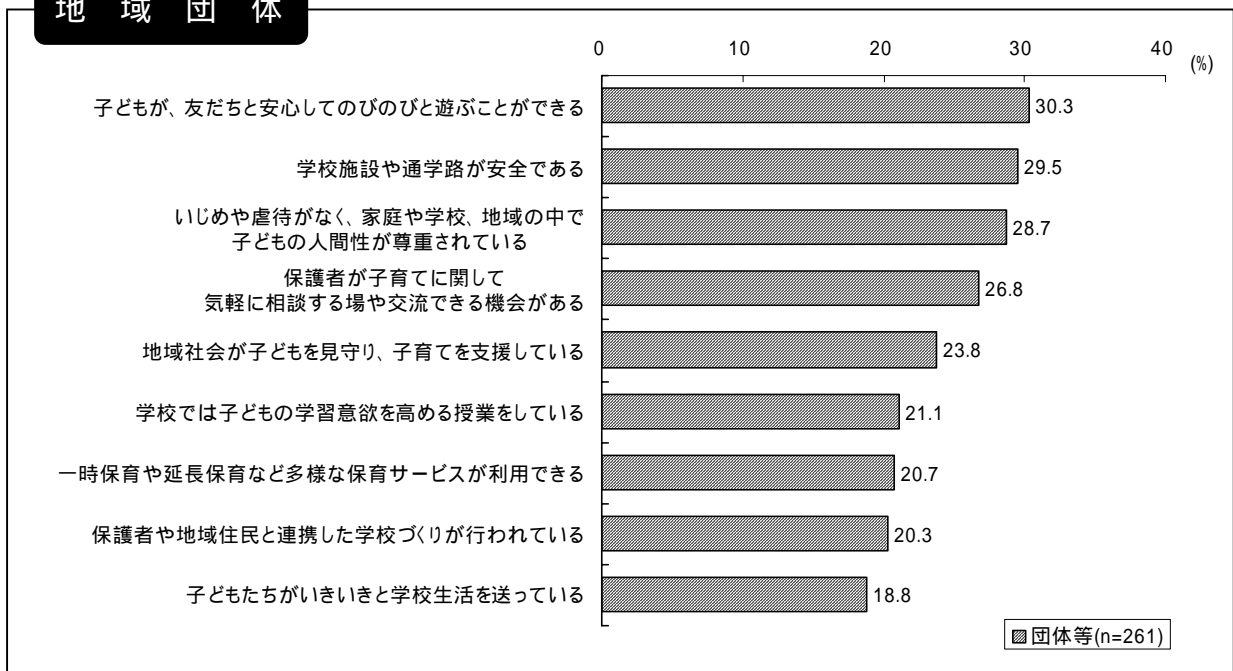
子育て・教育のグループにおいては、「子どもが、友達と安心してのびのびと遊ぶことができる」が最も多く36.5%となっている。次いで「いじめや虐待がなく、家庭や学校、地域の中で子どもの人間性が尊重されている」(29.4%)、「学校施設や通学路が安全である」(27.6%)、「一時保育や延長保育など多様な保育サービスが利用できる」(22.4%)、「地域社会が子どもを見守り、子育てを支援している」(20.7%)、「学校では子どもの学習意欲を高める授業をしている」(20.2%)が2～3割の割合となっている。

【評価の対象となる(目指すべき)生活環境の姿】

今後の優先度(3つまで選択)



地域団体

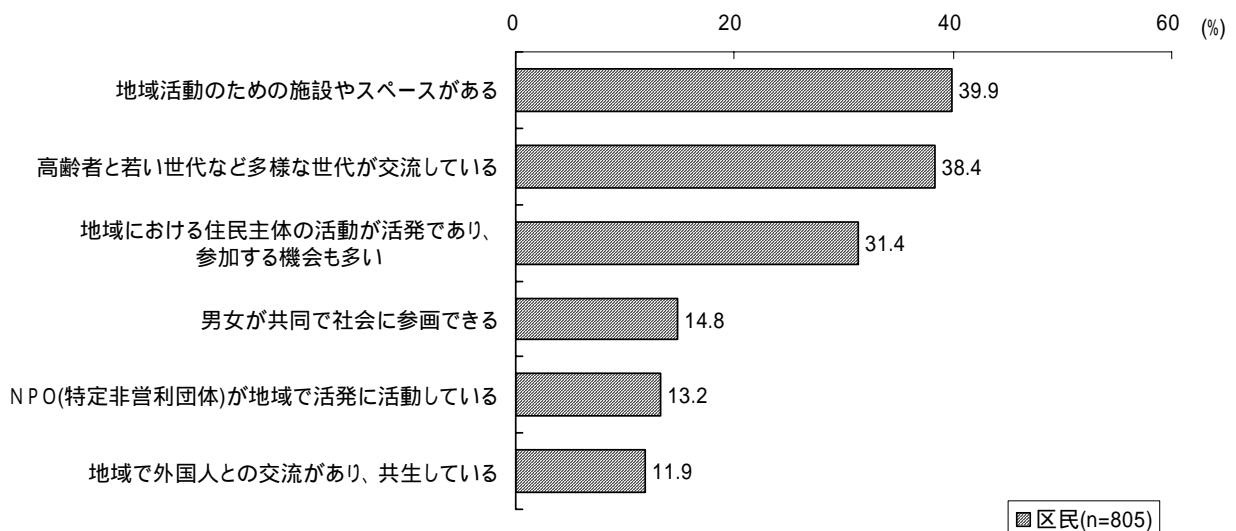


コミュニティ・協働

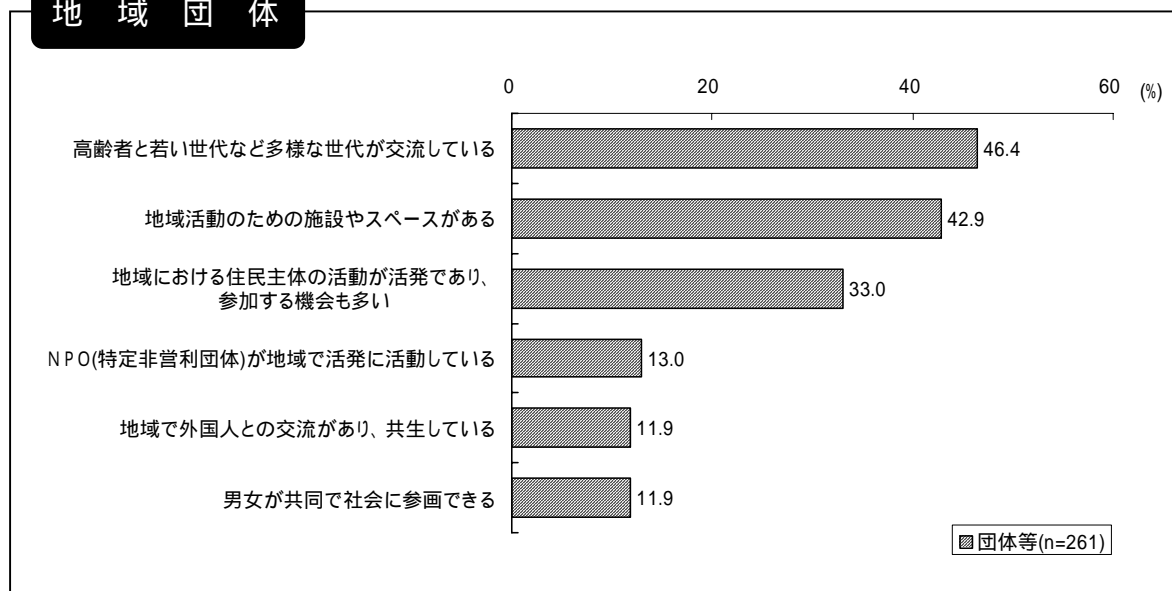
コミュニティ・協働のグループでは、「地域活動のための施設やスペースがある」「高齢者や若い世代など多様な世代が交流している」がほぼ同割合となっている（それぞれ 39.9%、38.4%）。次いで「地域における住民主体の活動が活発であり、参加する機会も多い」（31.4%）までが3割を上回り優先度が高い。

【評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿】

今後の優先度（2つまで選択）



地域団体

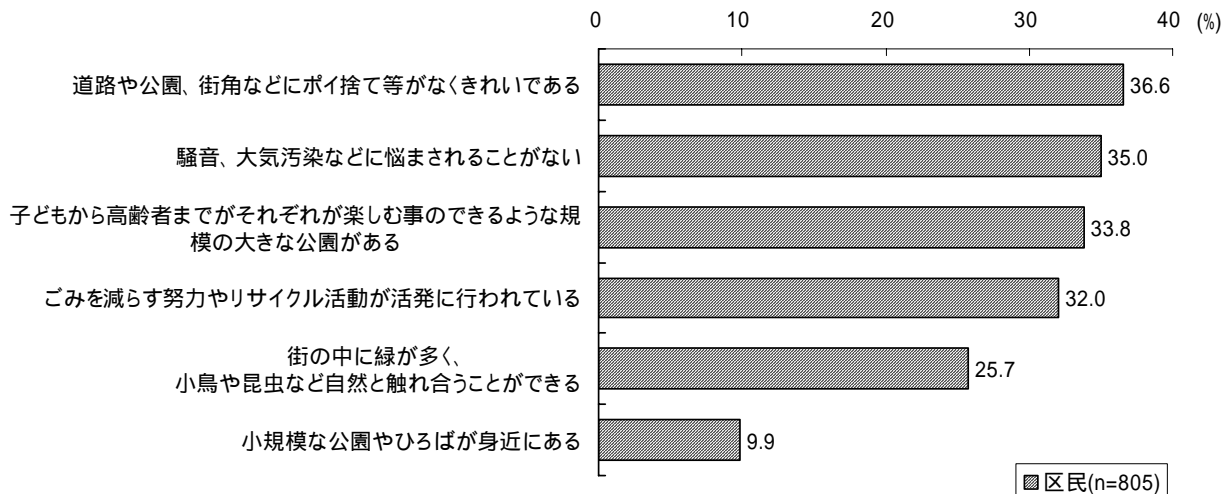


みどり・環境・リサイクル

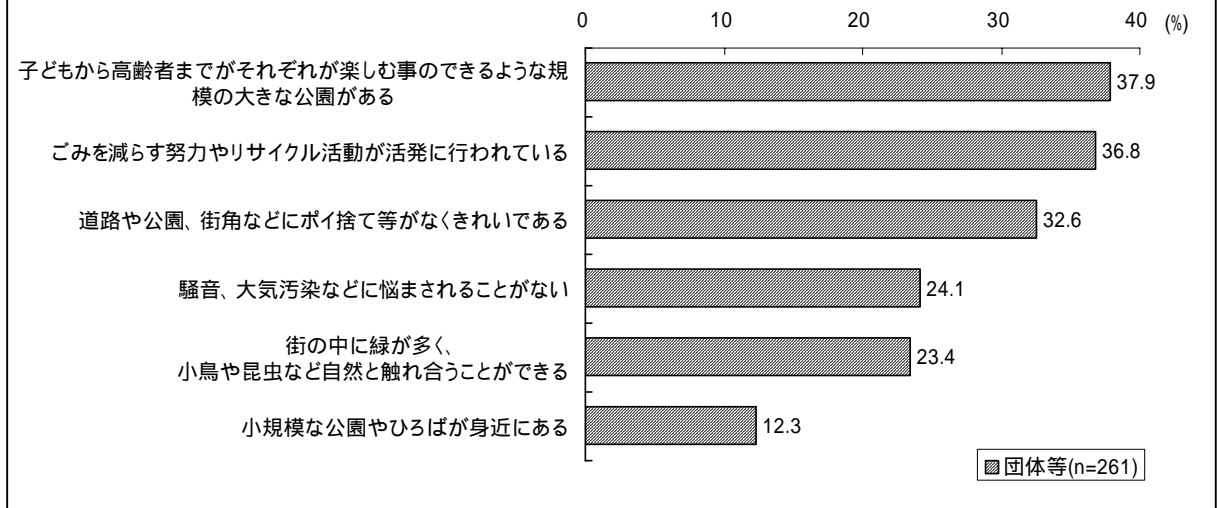
みどり・環境・リサイクルのグループでは回答が分かれ、「道路や公園、街角などにポイ捨て等がなくきれいである」(36.6%)、「騒音、大気汚染などに悩まされることがない」(35.0%)、「子どもから高齢者までがそれぞれ楽しむことのできるような規模の大きな公園がある」(33.8%)、「ごみを減らす努力やリサイクル活動が活発に行われている」(32.0%)となっている。

【評価の対象となる(目指すべき)生活環境の姿】

今後の優先度(2つまで選択)



地域団体

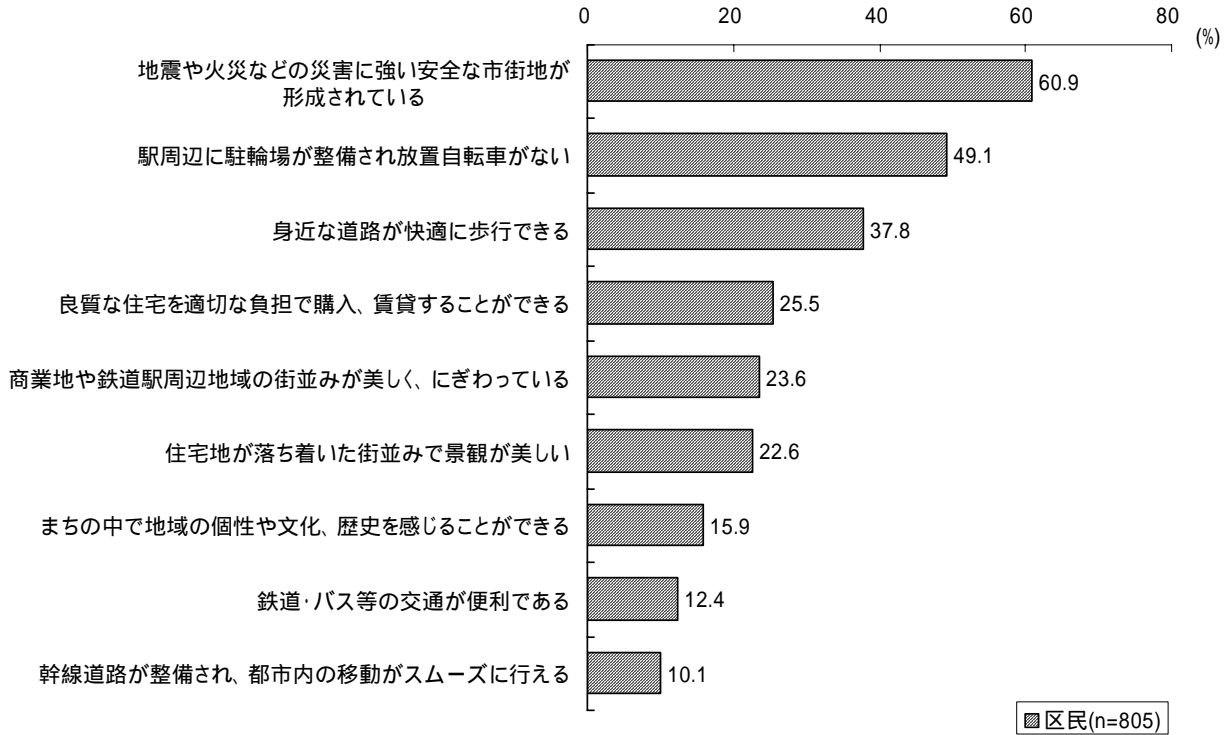


都市整備

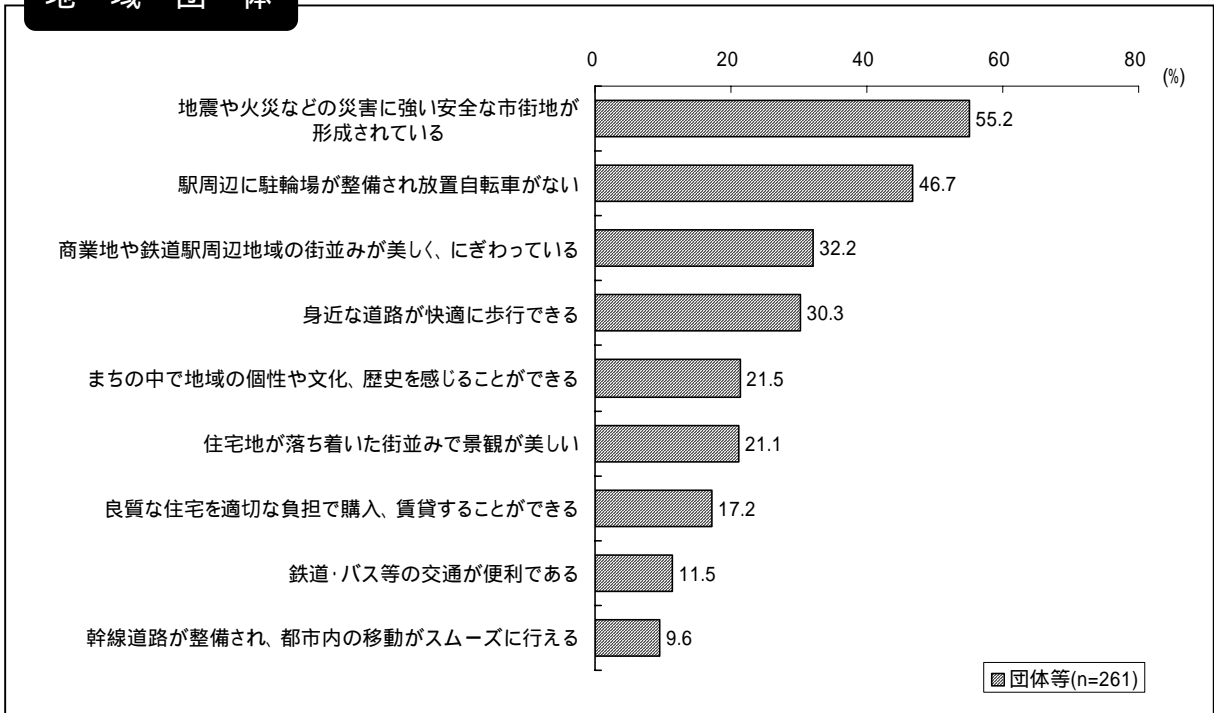
都市整備のグループでは、「地震や火災などの災害に強い安全な市街地が形成されている」が60.9%と6割以上を占め非常に高い割合を示している。次いで「駅周辺に駐輪場が整備され放置自転車がない」(49.1%)、「身近な道路が快適に歩行できる」(37.8%)となっている。

【評価の対象となる(目指すべき)生活環境の姿】

今後の優先度(3つまで選択)



地域団体

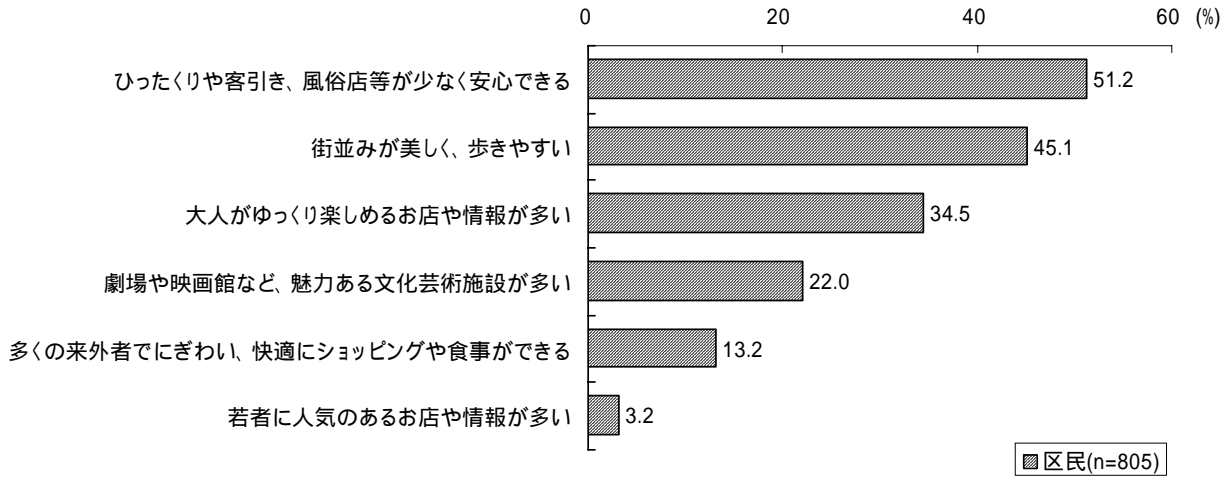


池袋副都心

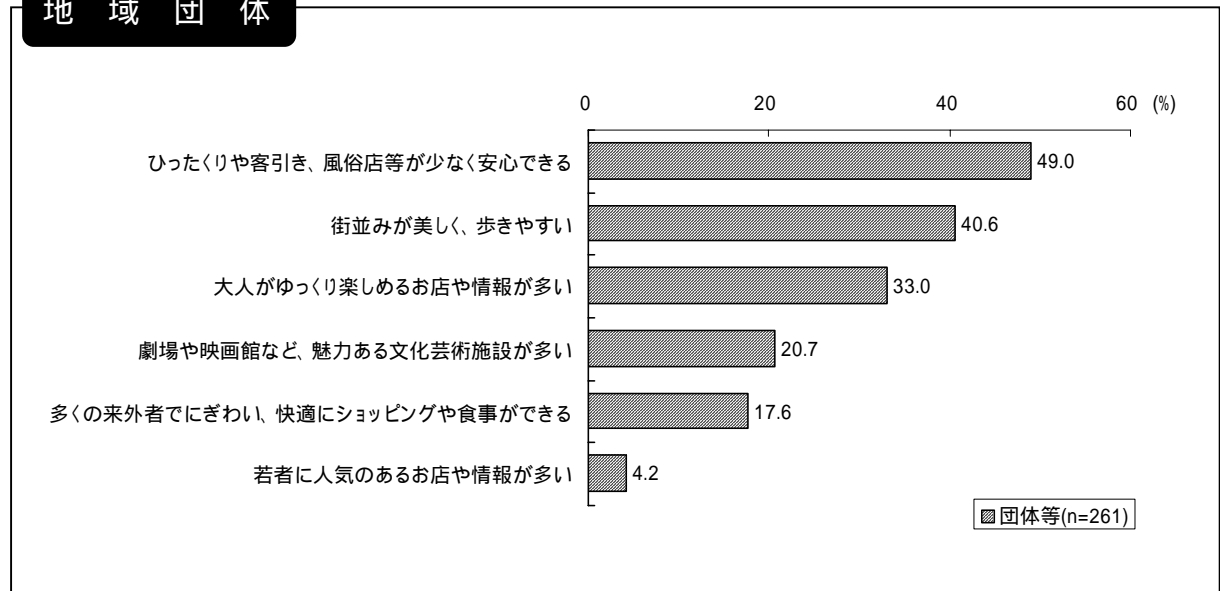
「池袋副都心」のグループにおいては、「ひったくりや客引き、風俗店等が少なく安心できる」が最も多く 51.2%を示している。次いで「街並みが美しく、歩きやすい」(45.1%)、「大人がゆっくり楽しめるお店や情報が多い」(34.5%)となっている。

【評価の対象となる(目指すべき)生活環境の姿】

今後の優先度(2つまで選択)



地域団体

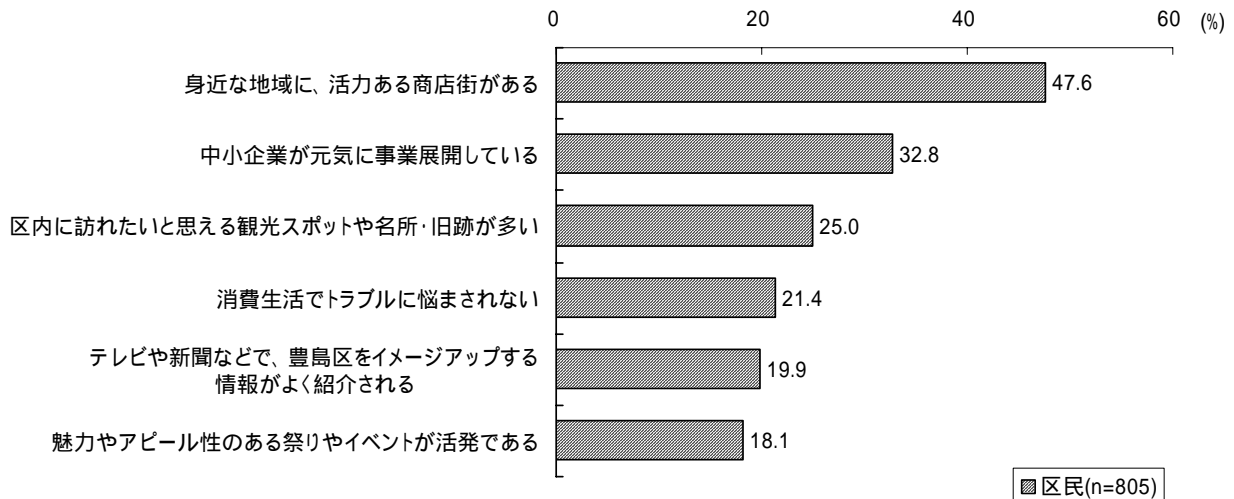


観光・産業

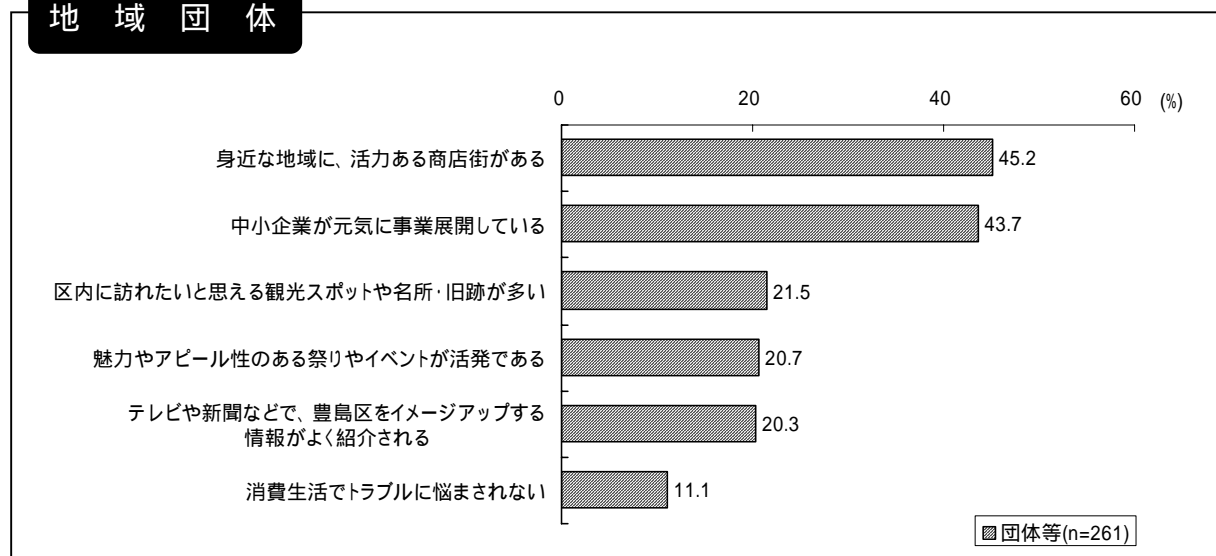
観光・産業のグループでは、「身近な地域に、活力ある商店街がある」が47.6%を占め最も多い。次いで「中小企業が元気に事業展開している」(32.8%)、「区内に訪れたいと思える観光スポットや名所・旧跡が多い」(25.0%)となっている。

【評価の対象となる(目指すべき)生活環境の姿】

今後の優先度(2つまで選択)



地域団体

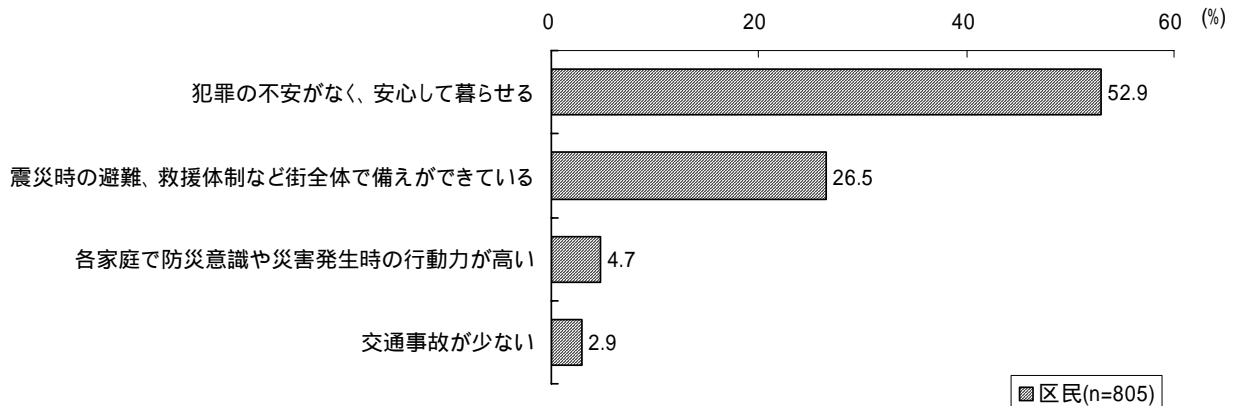


安心・安全

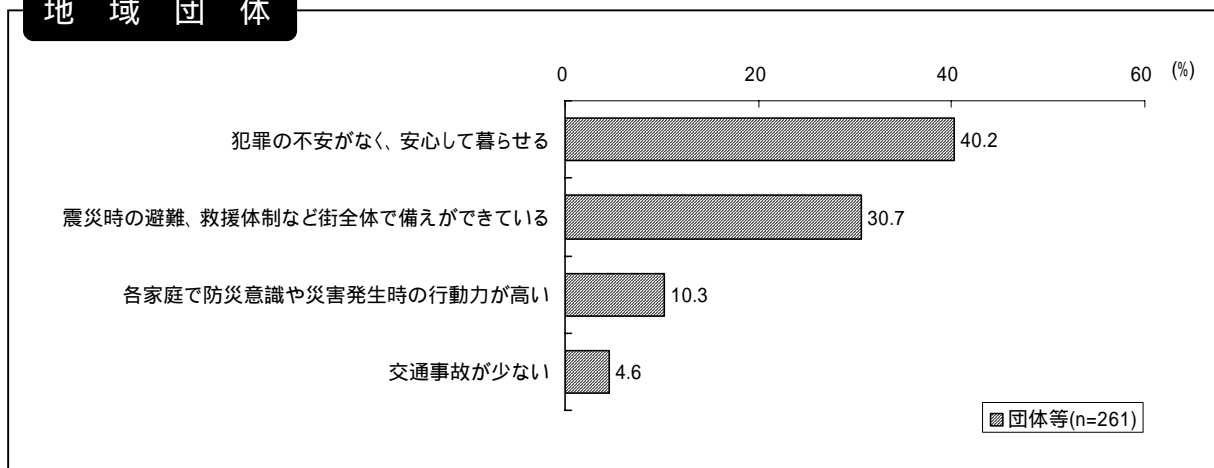
安心・安全のグループでは「犯罪の不安がなく、安心して暮らせる」の回答が非常に多く、52.9%と5割を上回る。次いで「震災時の避難、救援体制など街全体で備えができてい」が26.5%と続いている。

【評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿】

今後の優先度（1つ選択）



地域団体

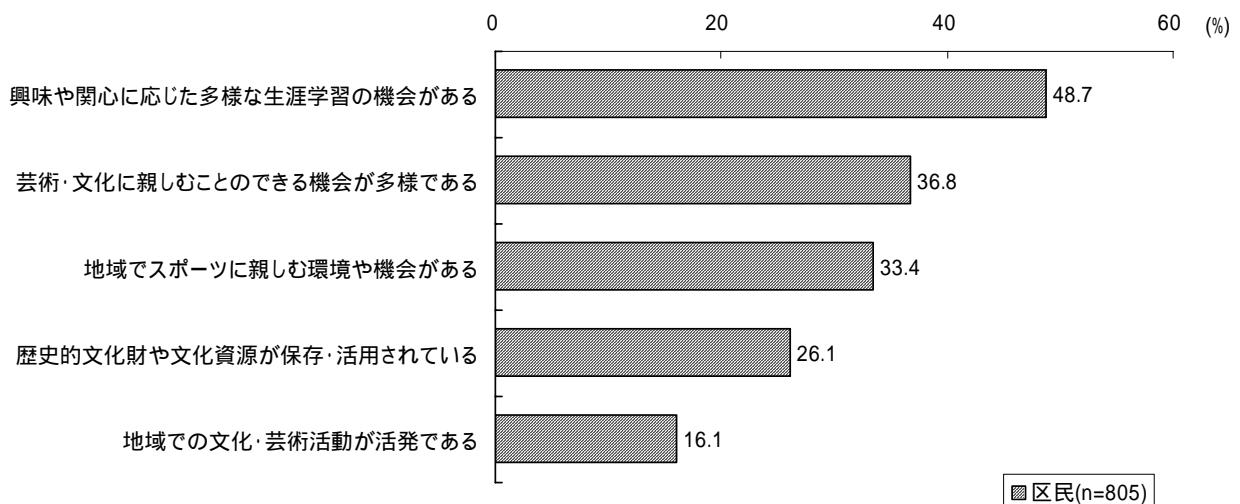


文化・生涯学習

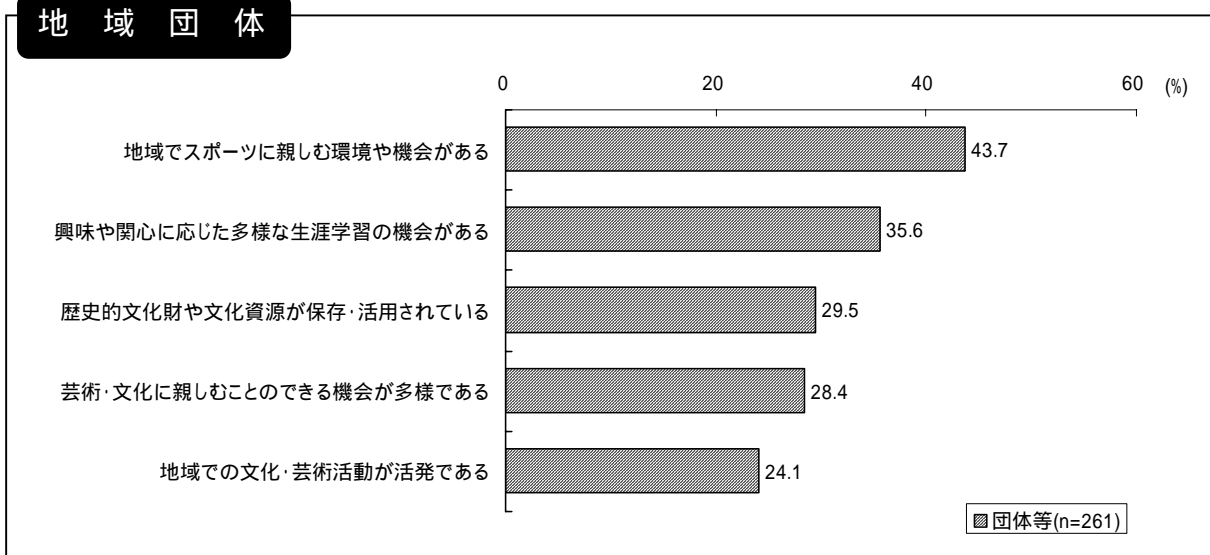
文化・生涯学習のグループでは、「興味や関心に応じた多様な生涯学習の機会がある」が最も多く48.7%を示している。次いで「芸術・文化に親しむことのできる機会が多様である」(36.8%)、「地域でスポーツに親しむ環境や機会がある」(33.4%)、「歴史的文化財や文化資源が保存・活用されている」(26.1%)と続いている。

【評価の対象となる(目指すべき)生活環境の姿】

今後の優先度(2つまで選択)



地域団体

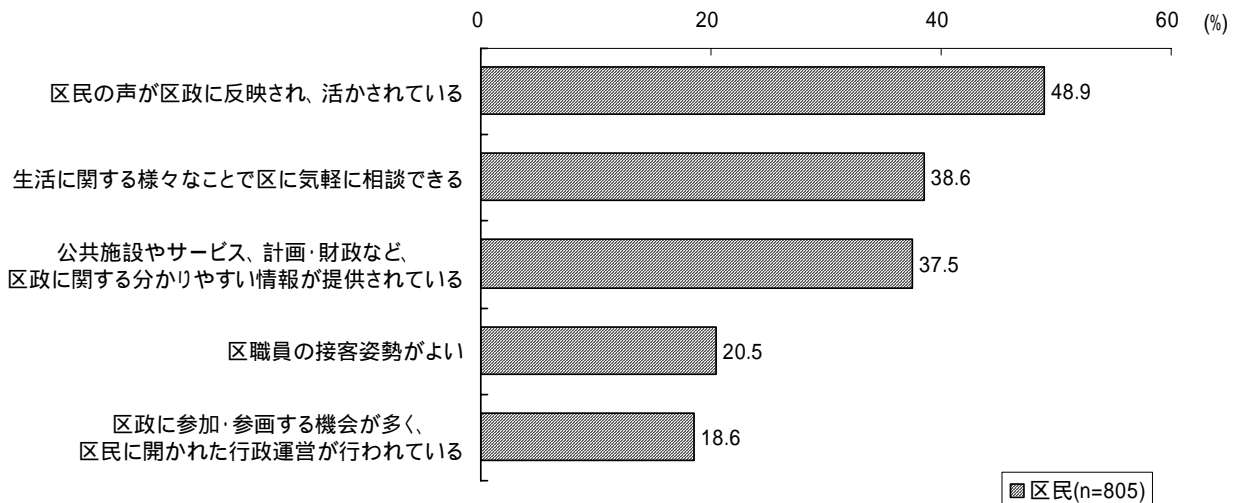


行政サービス

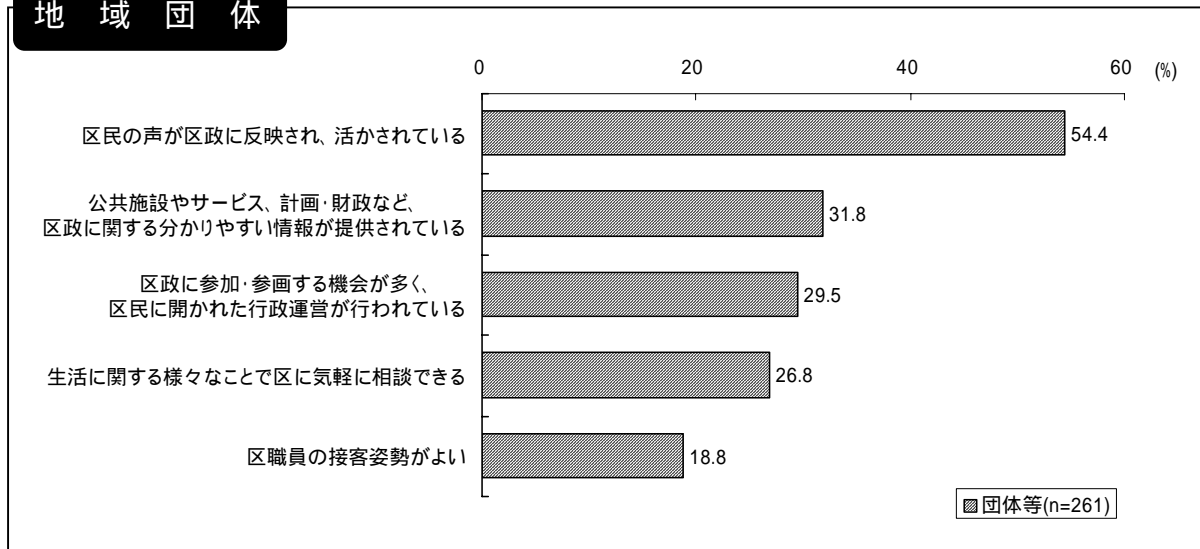
行政サービスのグループでは、「区民の声が区政に反映され、活かされている」が最も多く48.9%を示している。次いで「生活に関する様々なことで区に気軽に相談できる」「公共施設やサービス、計画・財政など、区政に関する分かりやすい情報が提供されている」がほぼ同割合で続いている（それぞれ38.6%、37.5%）。

【評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿】

今後の優先度（2つまで選択）



地域団体



(4) 「4～5年前と比べた評価の変化」と「現在の評価」をクロスさせた総合分析

「4～5年前と比べた評価」と「現在の評価」の調査結果を下記により数値化し、この二つの評価を軸として、総合分析を行った。

【数値化の方法】	
それぞれの設問について、下記のとおり配点し、回答数に配点を乗じた数値の合計を、総回答数で除して数値化している。	
現在の評価（目指すべき生活環境の姿に近いか）	
「どちらかというと思う」	1点
「どちらともいえない」	0点
「どちらかというと思わない」	-1点
4～5年前と比べた評価（目指すべき生活環境の姿に対する評価の変化）	
「良くなってきている」	1点
「あまり変わらない」	0点
「悪くなってきている」	-1点
基準軸の設定	
現在の評価、4～5年前と比べた評価ともに = 0（ゼロ）を基準	

「4～5年前と比べた評価」を横軸、「現在の評価」を縦軸とし、上記の基準軸設定により、下記のとおり、「A」「B」「C」「D」の4つの領域を設定して、グループごとに評価、分析を行った。

「現在の評価」の軸	(+)	<p style="text-align: center;">C</p> <p>以前より問題が大きくなってきているが 現在の評価はまだ高い方である</p> <p>以前との比較 (-) マイナス 現在の評価 (+) プラス</p>	<p style="text-align: center;">A</p> <p>以前より改善しており 現在の評価も高い</p> <p>以前との比較 (+) プラス 現在の評価 (+) プラス</p>
	(-)	<p style="text-align: center;">D</p> <p>以前より問題が大きくなってきており 現在の評価も低い方である</p> <p>以前との比較 (-) マイナス 現在の評価 (-) マイナス</p>	<p style="text-align: center;">B</p> <p>以前より改善してきているが 現在の評価はまだ低い方である</p> <p>以前との比較 (+) プラス 現在の評価 (-) マイナス</p>
		(-)	(+)

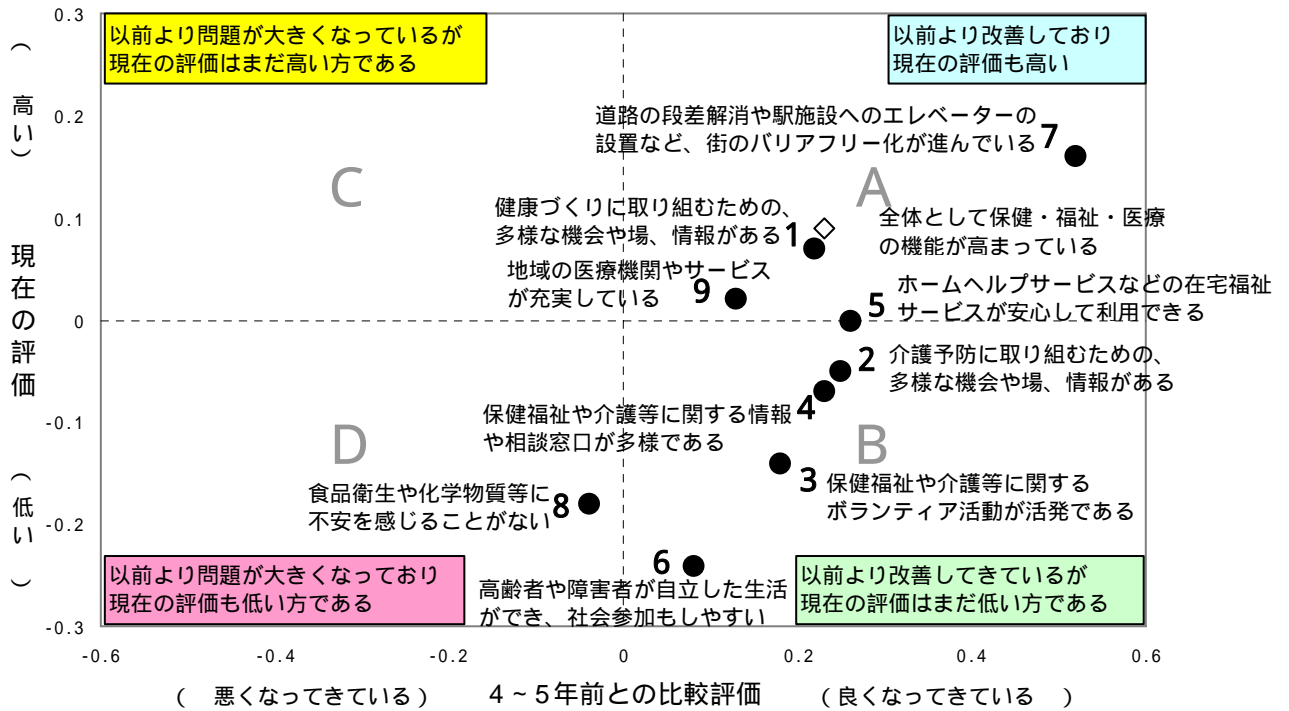
「4～5年前と比べた評価の変化」の軸

保健・福祉・医療

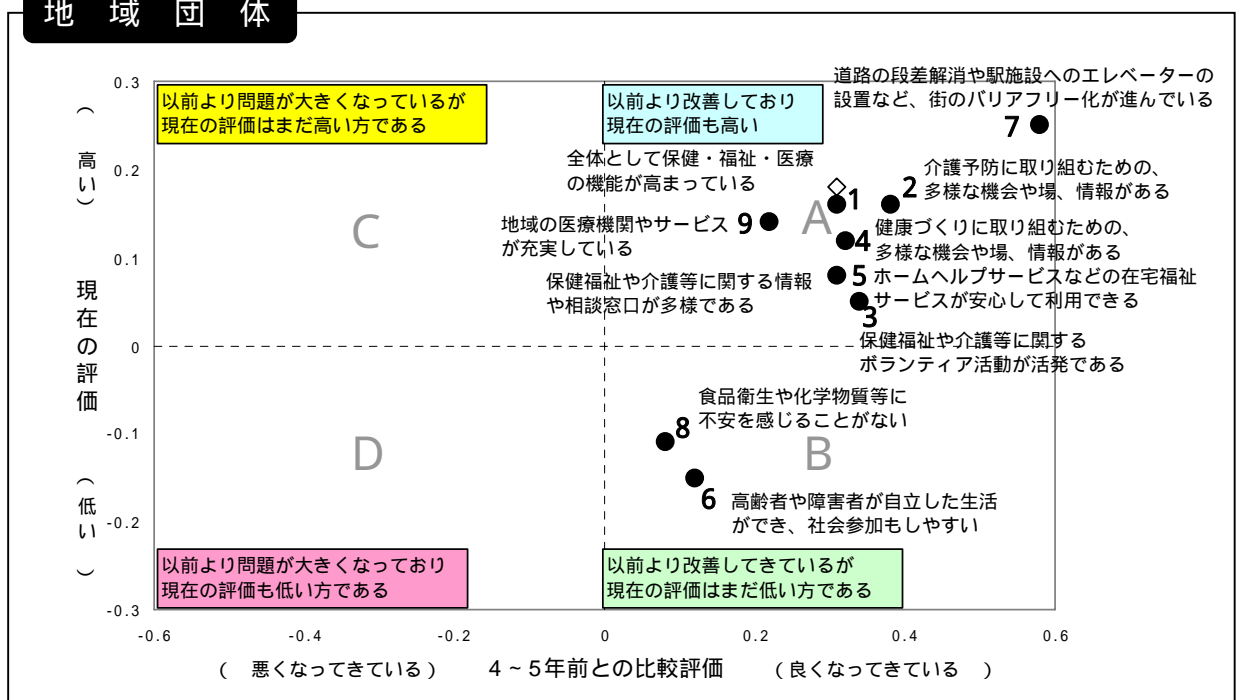
保健・福祉・医療のグループでは、9項目のうち4項目が「以前より改善しており現在の評価も高い(A)」に位置している。

また、5項目が以前より改善してきているが現在の評価はまだ低い方である(B)に、1項目が以前より問題が大きくなっており現在の評価も低い方である(D)に位置している。Dに位置しているのは項目8の「食品衛生や化学物質等に不安を感じることがない」である。

AまたはBに位置する項目が主であり、4～5年前と比べて「良くなってきている」と評価されている。



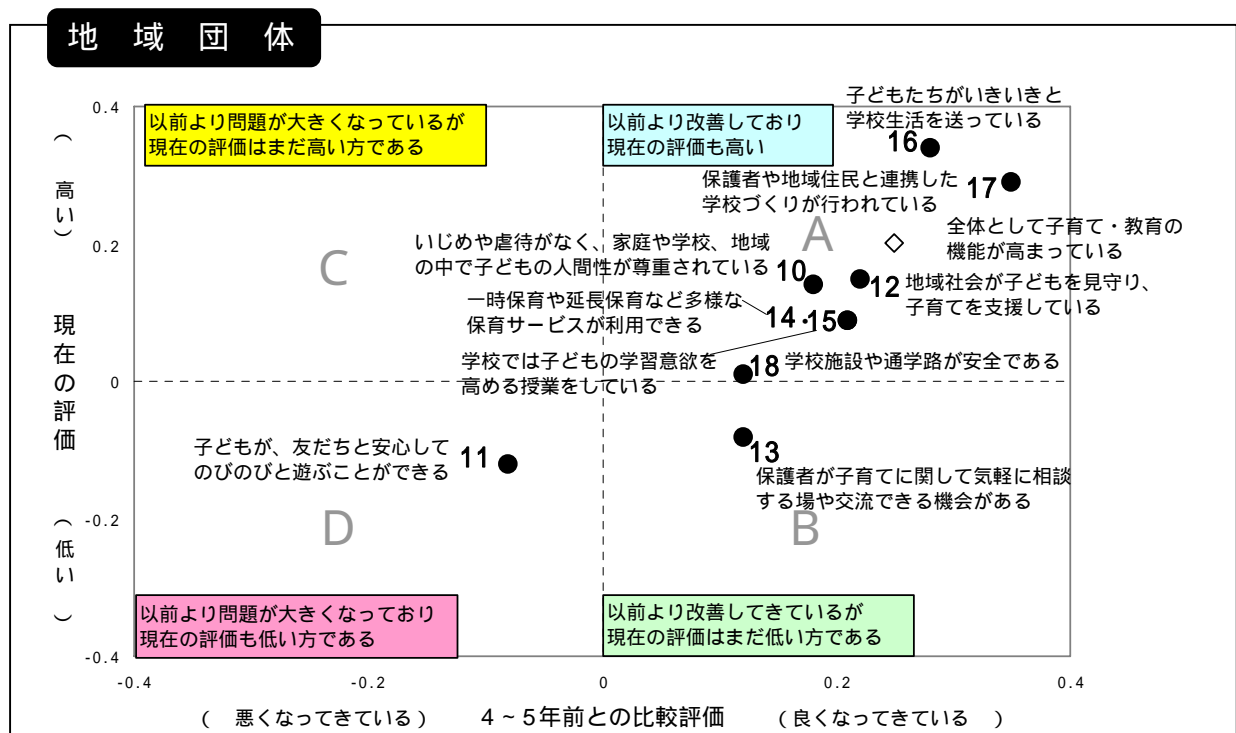
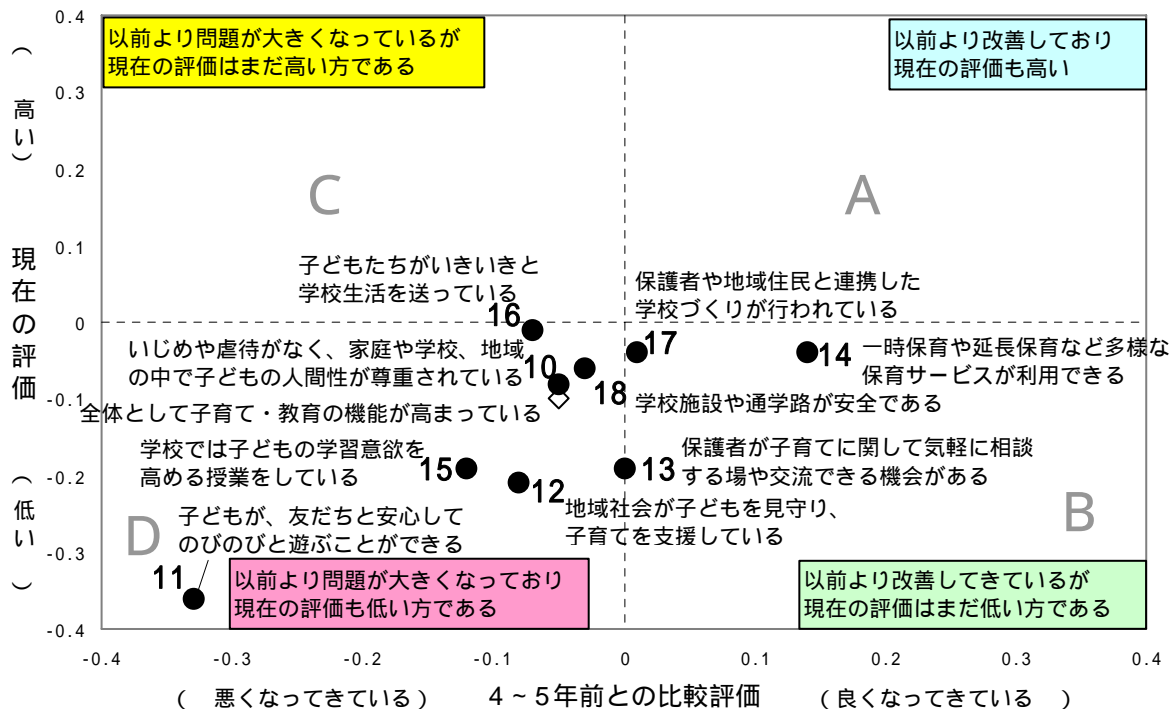
地域団体



子育て・教育

子育て・教育のグループでは、9項目のうち「以前より改善しており現在の評価も高い(A)」と「以前より問題が大きくなってきているが、現在の評価はまだ高い方である(C)」に位置するものはみられない。

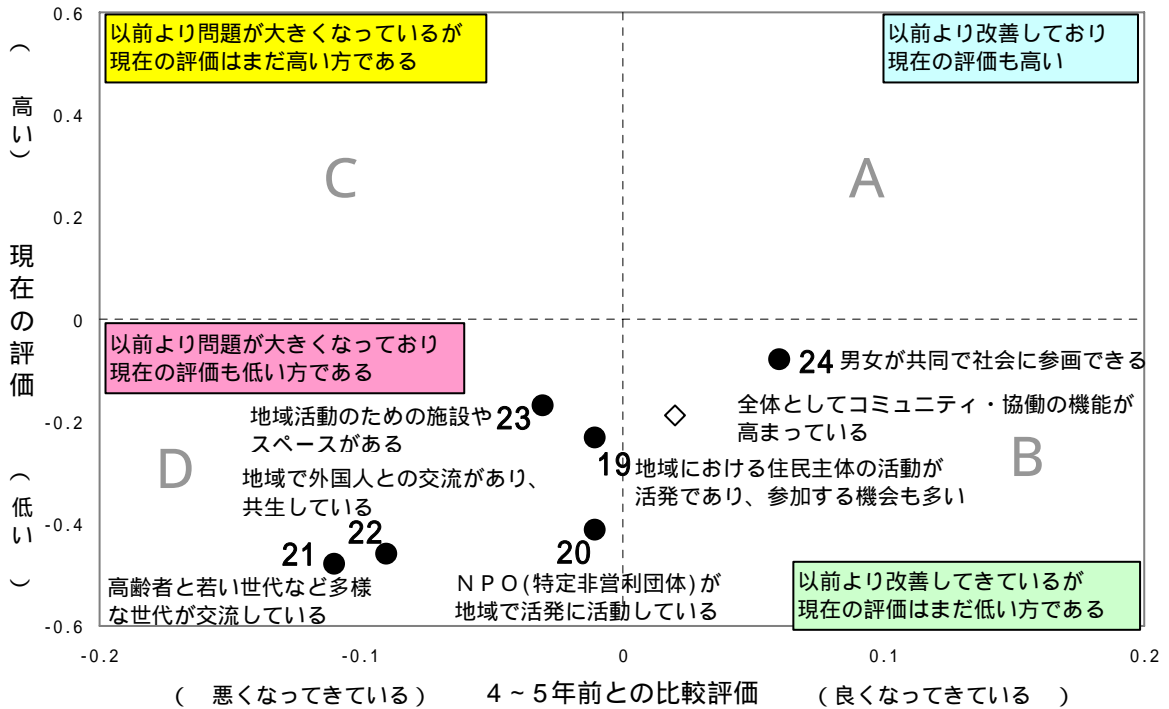
3項目が「以前より改善してきているが現在の評価はまだ低い方である(B)」に、8項目が「以前より問題が大きくなっており現在の評価も低い方である(D)」に位置しており、全体的に評価が低い。



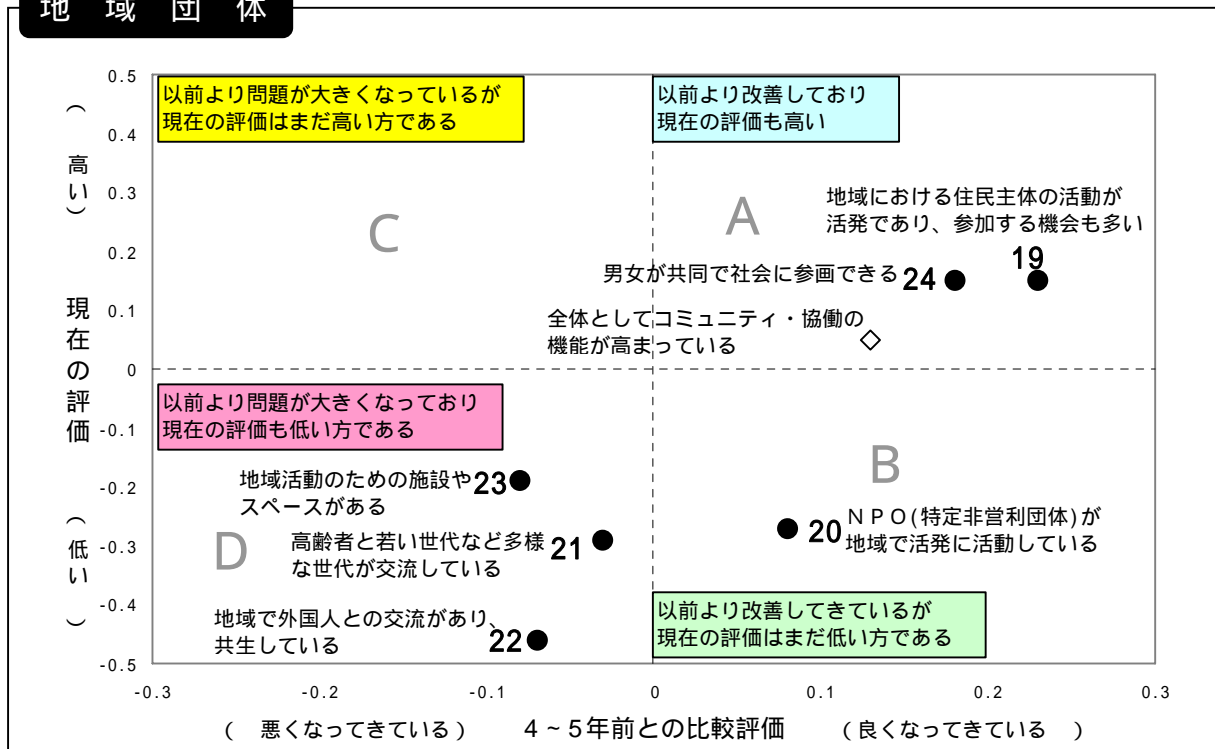
コミュニティ・協働

コミュニティ・協働のグループでは、子育て・教育グループと同様に「以前より改善しており現在の評価も高い(A)」と「以前より問題が大きくなってきているが、現在の評価はまだ高い方である(C)」に位置する項目はみられない。

1項目が「以前より改善してきているが現在の評価はまだ低い方である(B)」に、残り5項目が「以前より問題が大きくなっており現在の評価も低い方である(D)」に位置している。

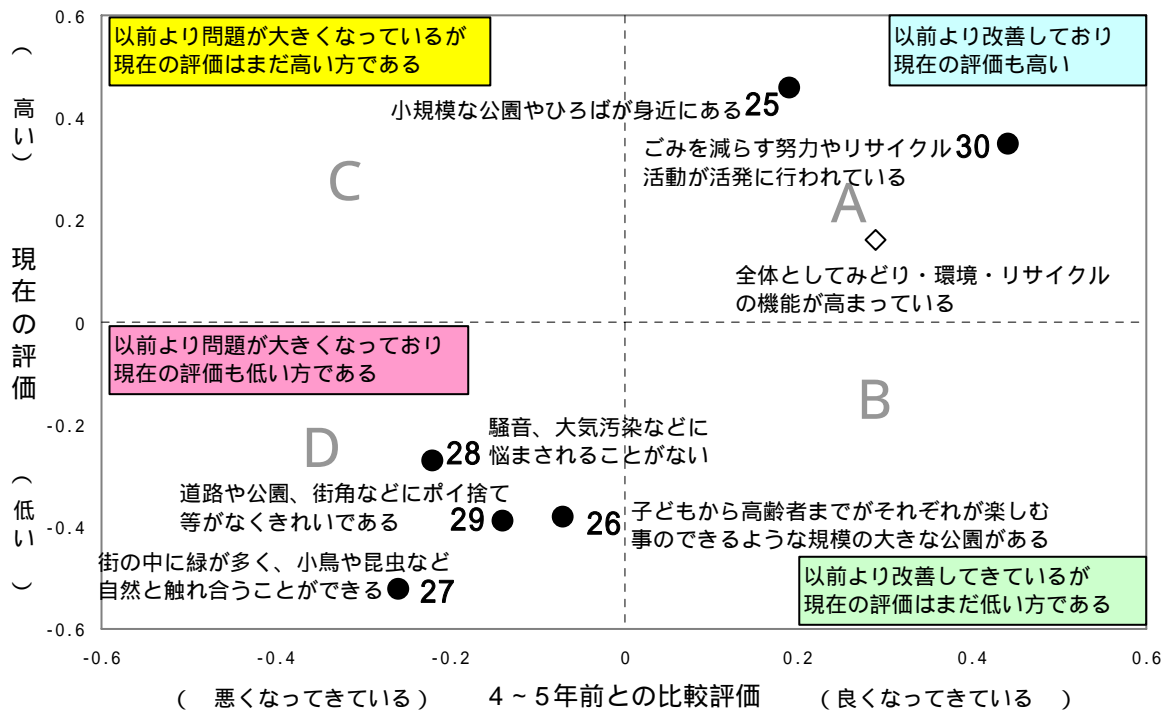


地域団体

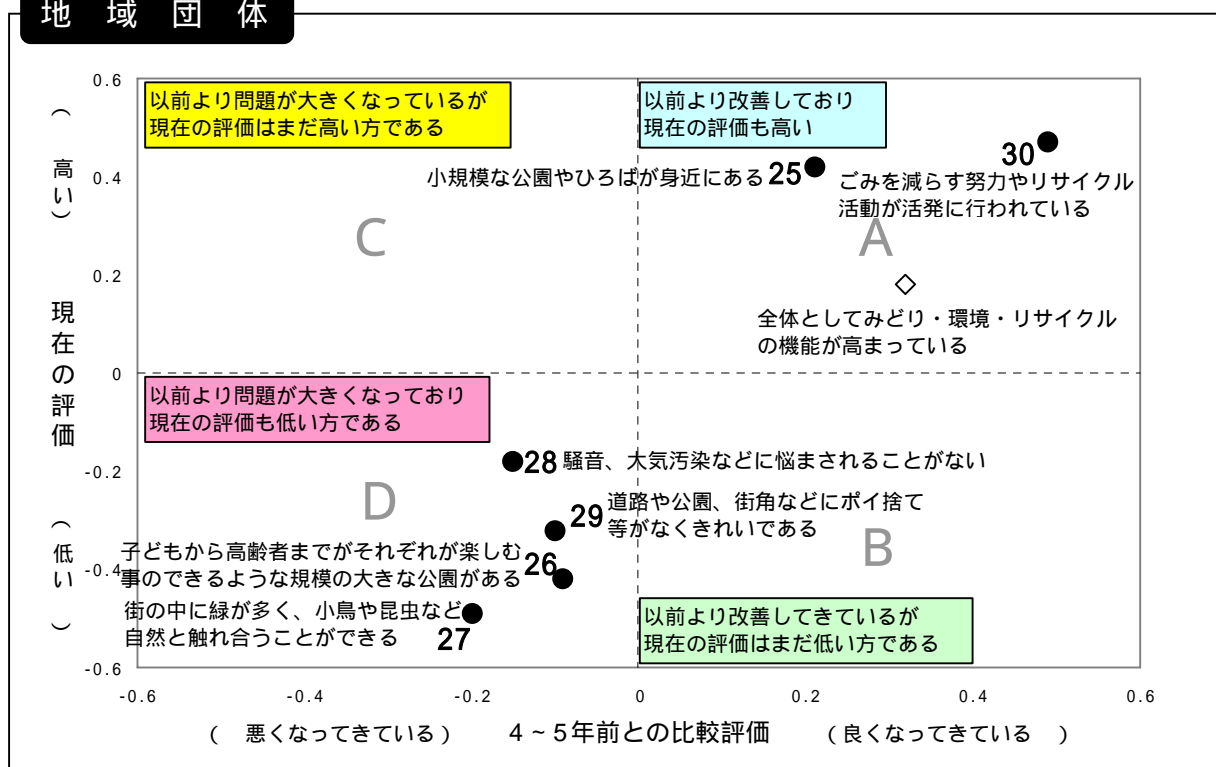


みどり・環境・リサイクル

みどり・環境・リサイクルのグループでは、6項目の評価が極端に分かれ、2項目が「以前より改善しており現在の評価も高い(A)」に、4項目が「以前より問題が大きくなっており現在の評価も低い方である(D)」に位置している。

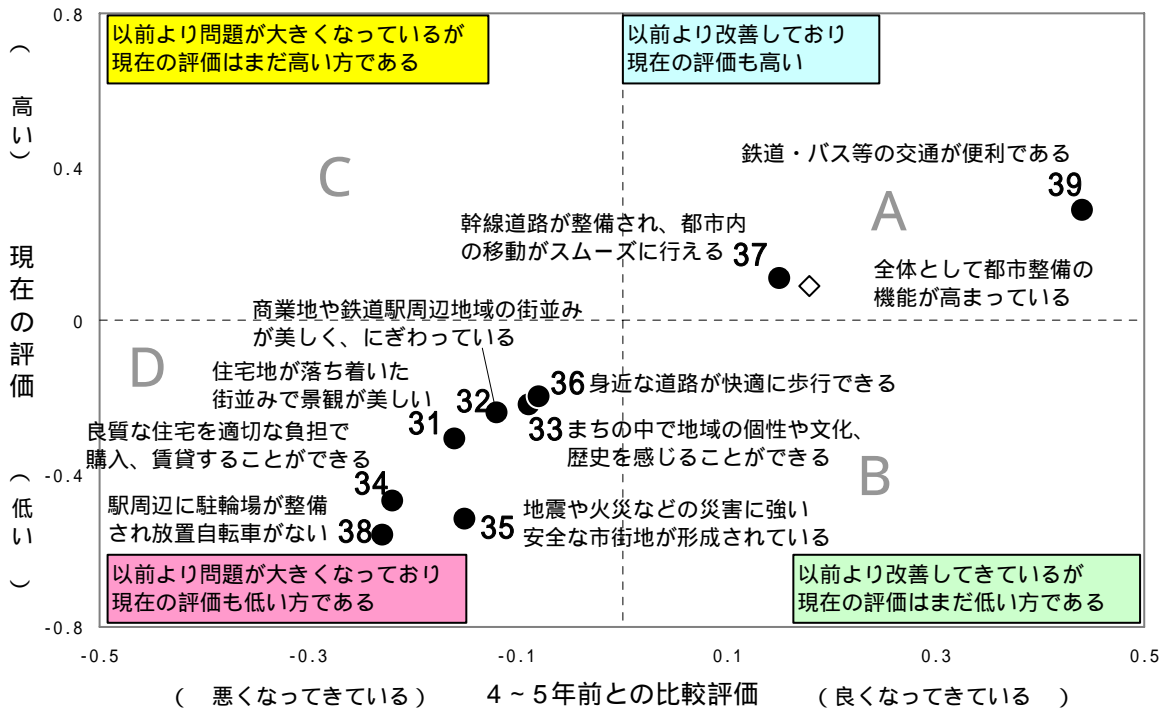


地域団体

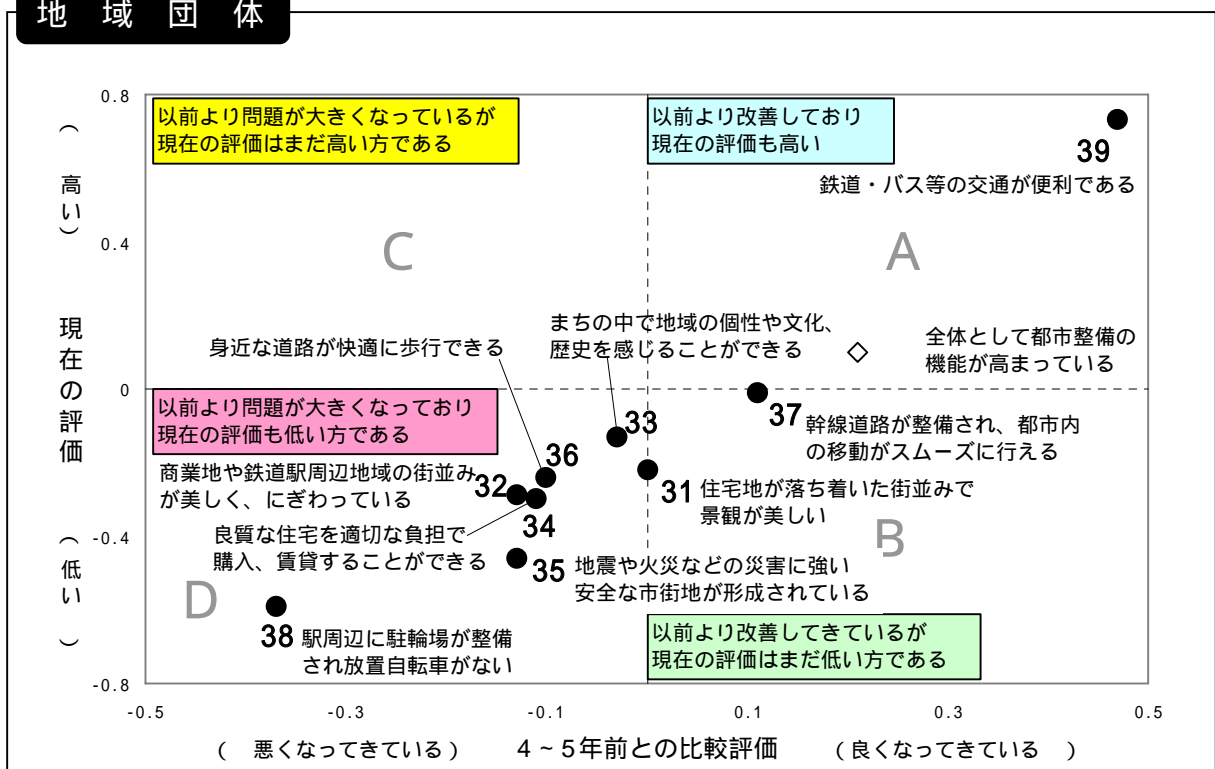


都市整備

都市整備のグループも「みどり・環境・リサイクル」のグループと同様に評価が極端に分かれているが、「以前より問題が大きくなっており現在の評価も低い方である（D）」に位置する項目数がより多くなっている（9項目中7項目）。残り2項目が「以前より改善しており現在の評価も高い（A）」に位置している。

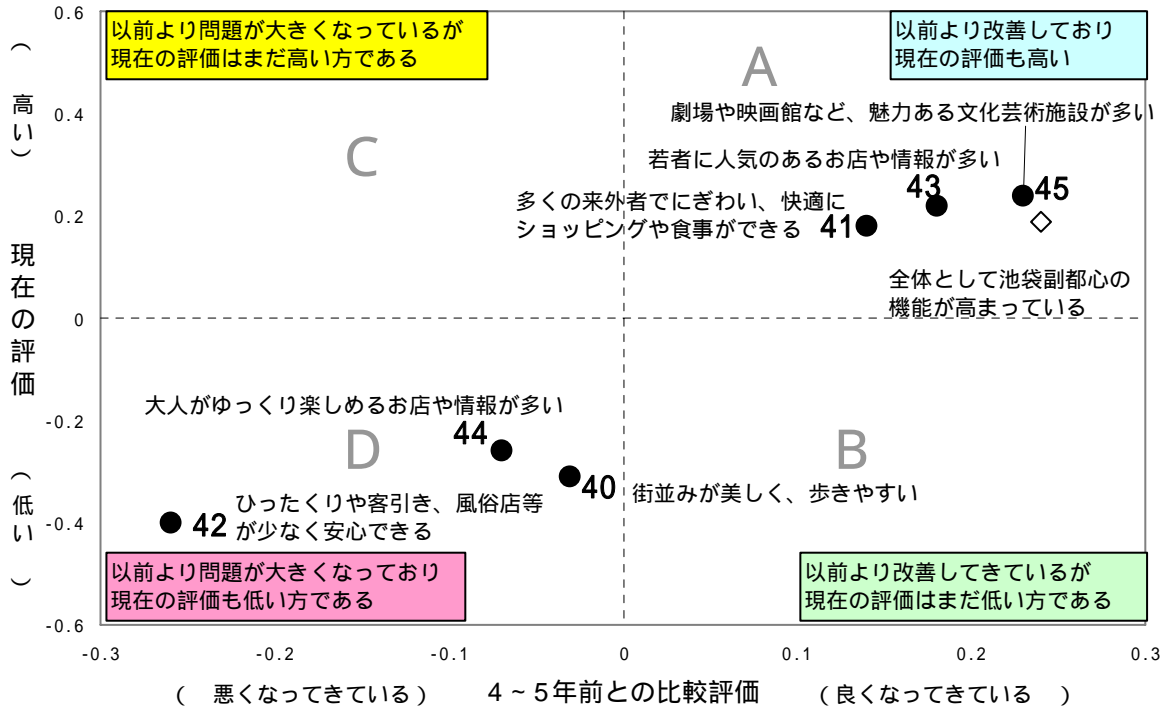


地域団体

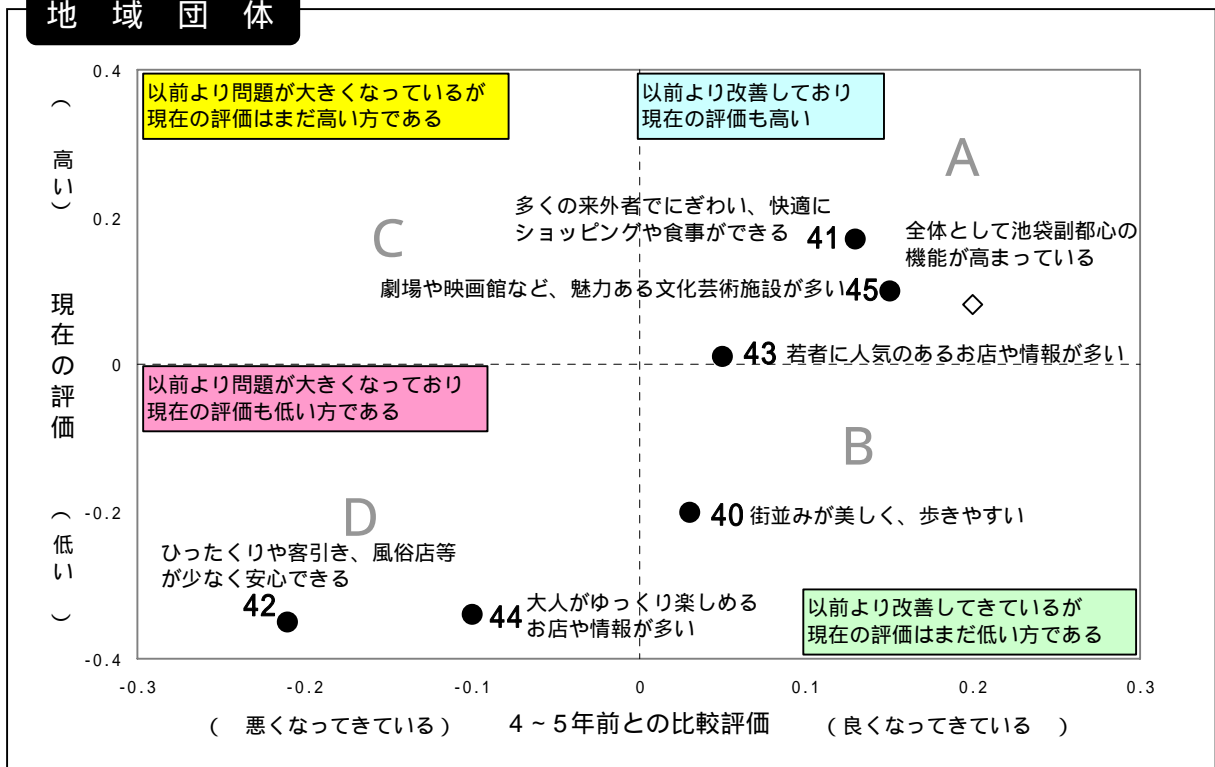


池袋副都心

池袋副都心のグループも、「みどり・環境・リサイクル」「都市整備」のグループと同様の傾向を示している。7項目中3項目が「以前より改善しており現在の評価も高い(A)」に、4項目が「以前より問題が大きくなっており現在の評価も低い方である(D)」に位置している。



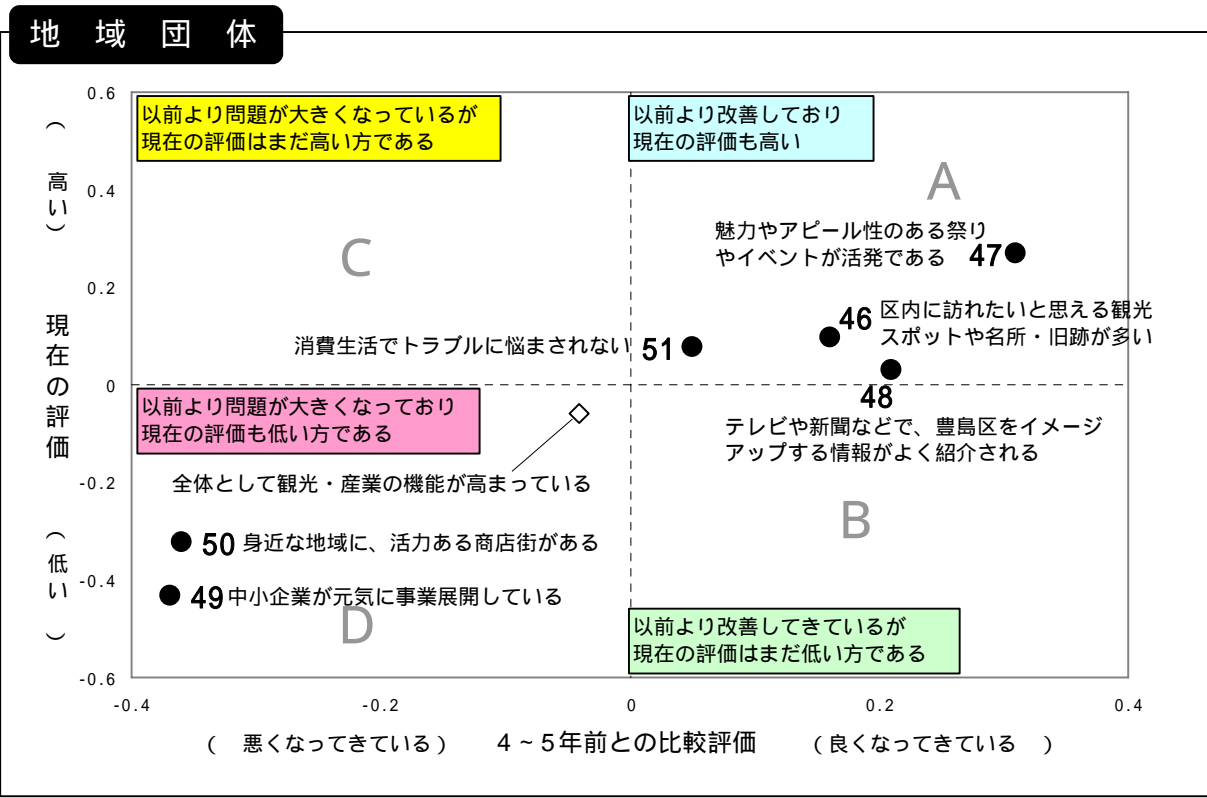
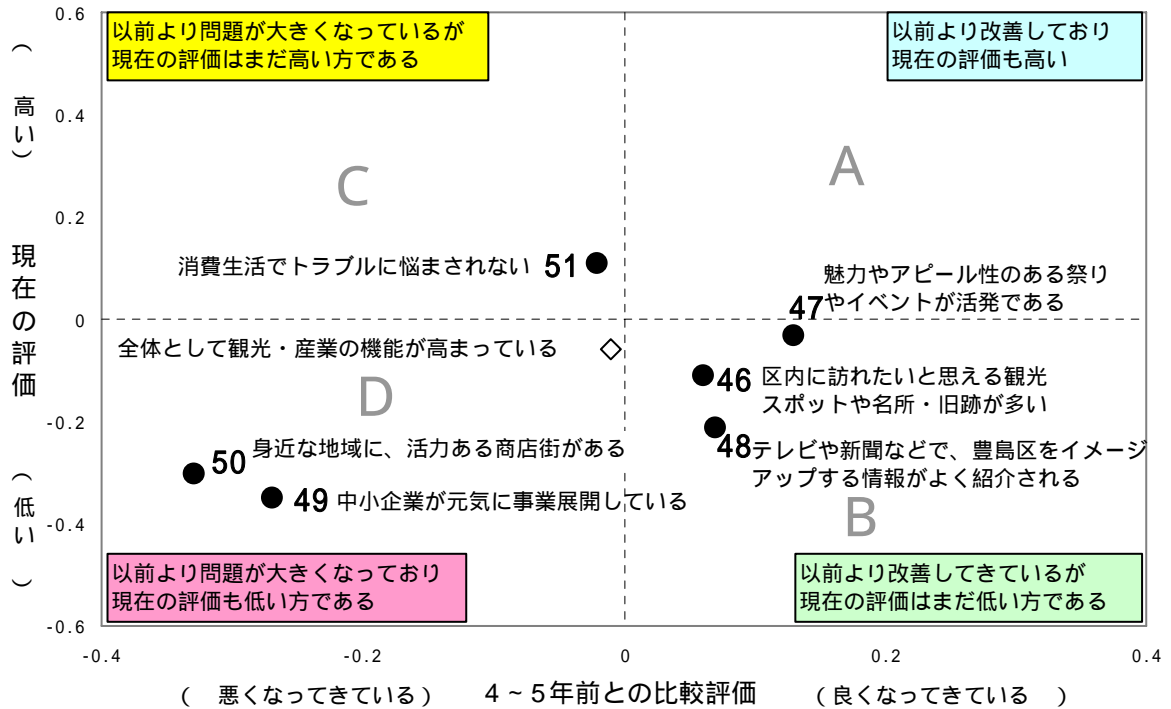
地域団体



観光・産業

観光・産業のグループでは評価が分散し、6項目のうち3項目が「以前より改善してきているが現在の評価はまだ低い方である（B）」に、2項目が「以前より問題が大きくなっており現在の評価も低い方である（D）」に位置している。

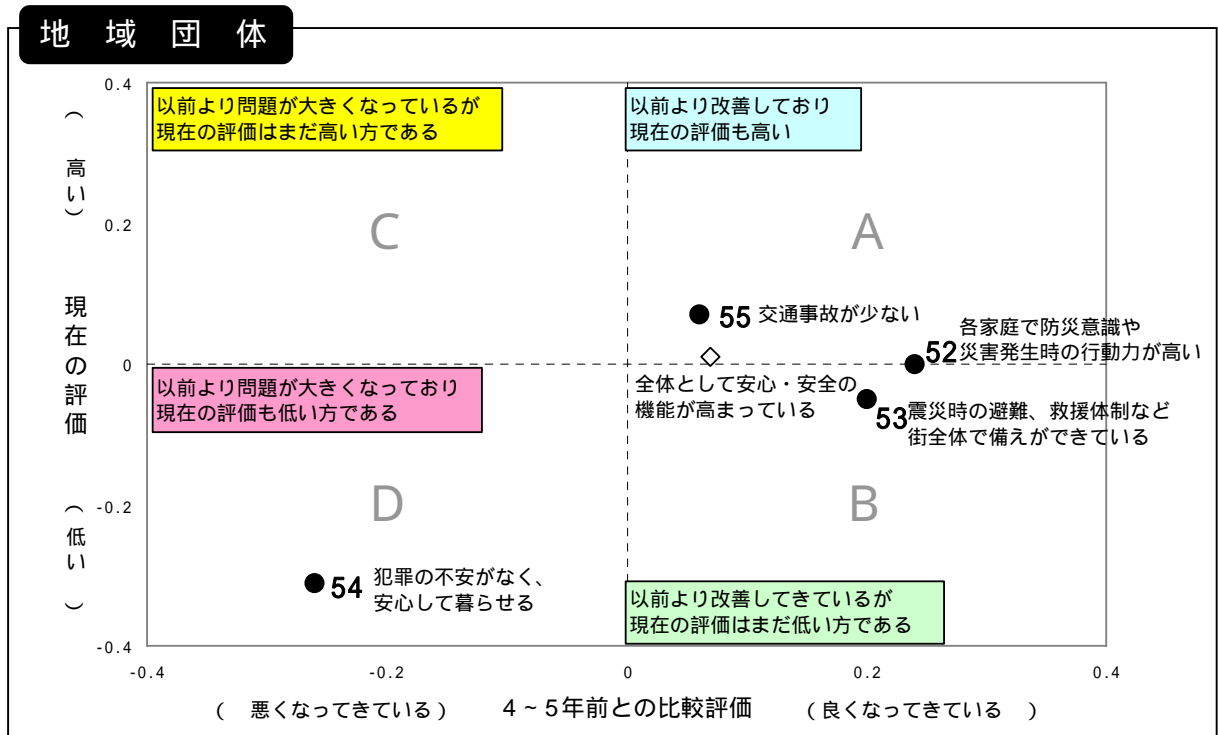
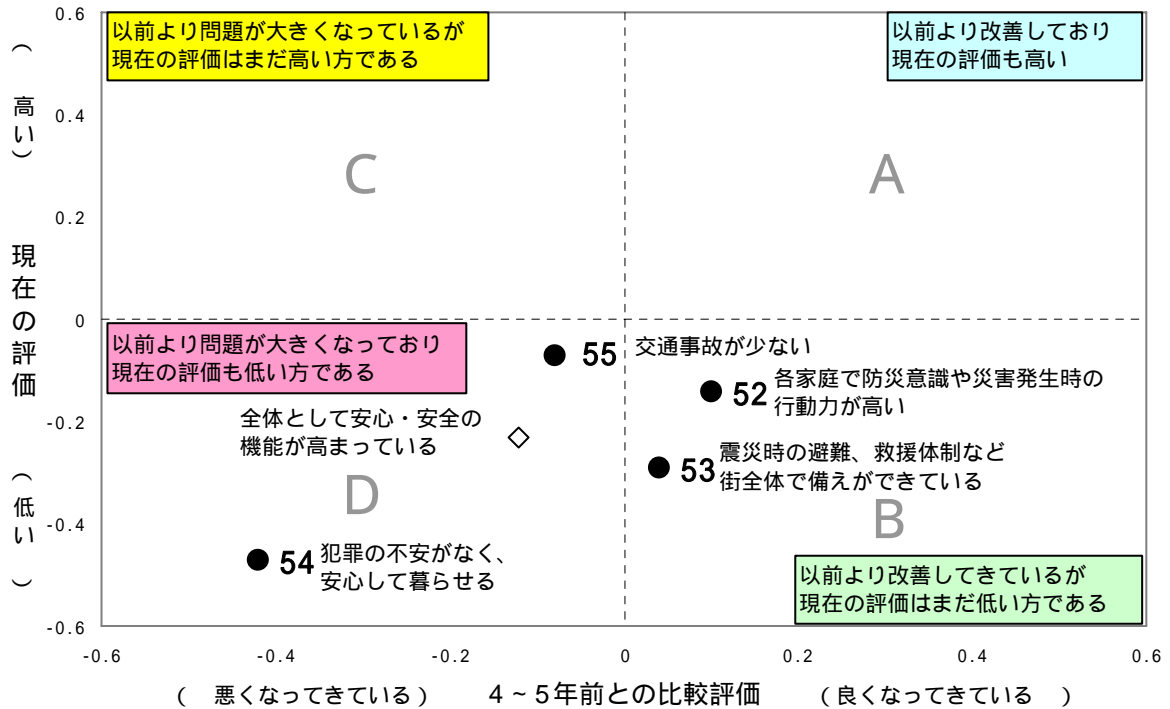
また、1項目が「以前より問題が大きくなってきているが、現在の評価はまだ高い方である（C）」に位置している。



安心・安全

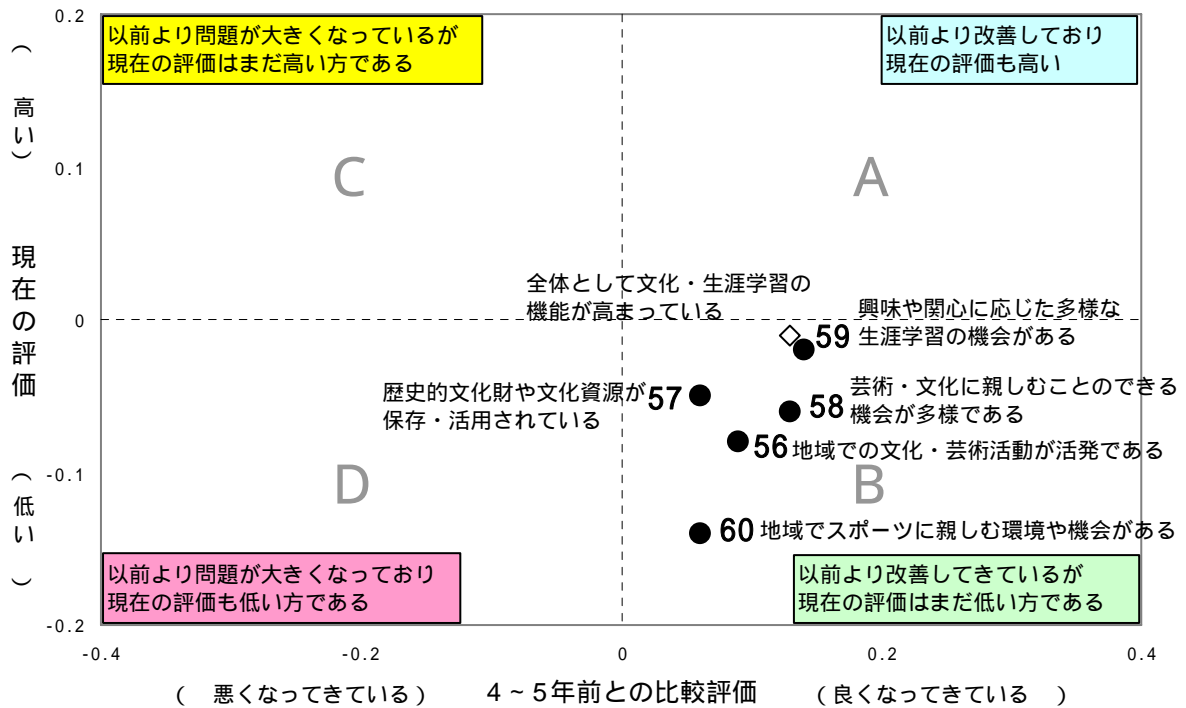
安心・安全のグループでは、4項目のうち「以前より改善しており現在の評価も高い(A)」と「以前より問題が大きくなってきているが、現在の評価はまだ高い方である(C)」に位置するものはみられない。

2項目が「以前より改善してきているが現在の評価はまだ低い方である(B)」に、2項目が「以前より問題が大きくなっており現在の評価も低い方である(D)」に位置しており、全体的に評価が低い。特に項目54「犯罪の不安がなく、安心して暮らせる」については、他の項目と評価に大きな差がみられる。

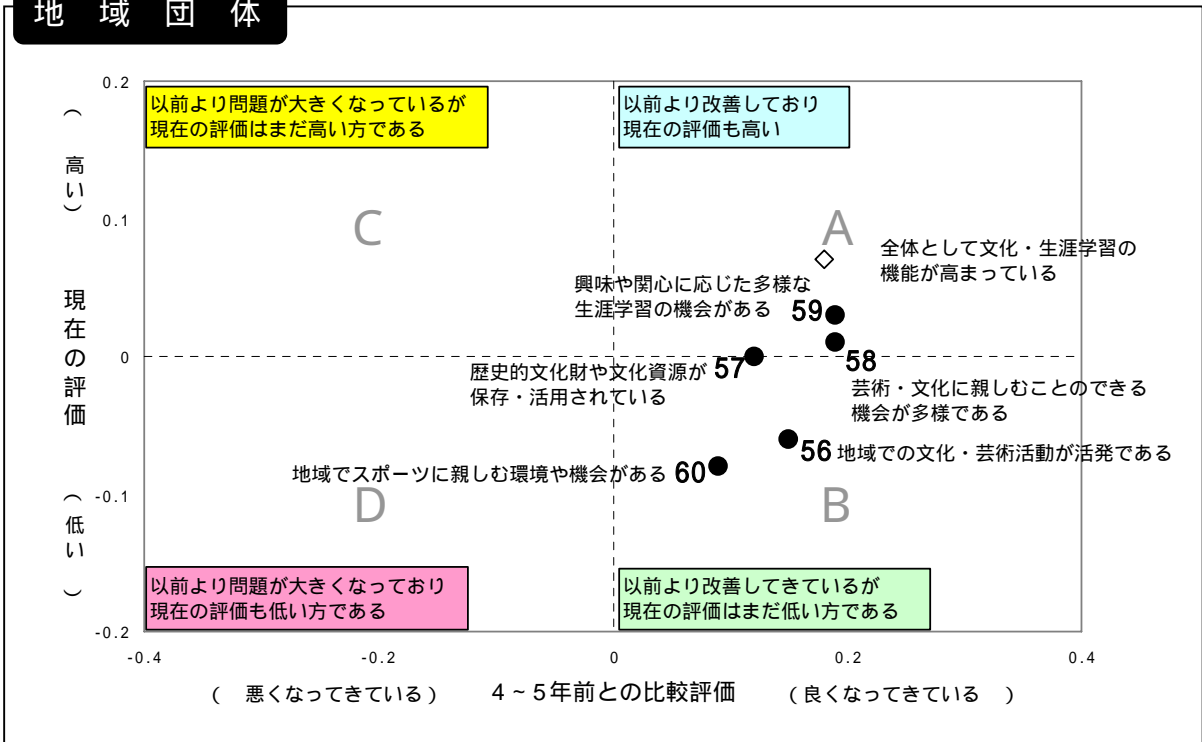


文化・生涯学習

文化・生涯学習のグループは、5項目すべてが「以前より改善してきているが現在の評価はまだ低い方である（B）」に位置している。



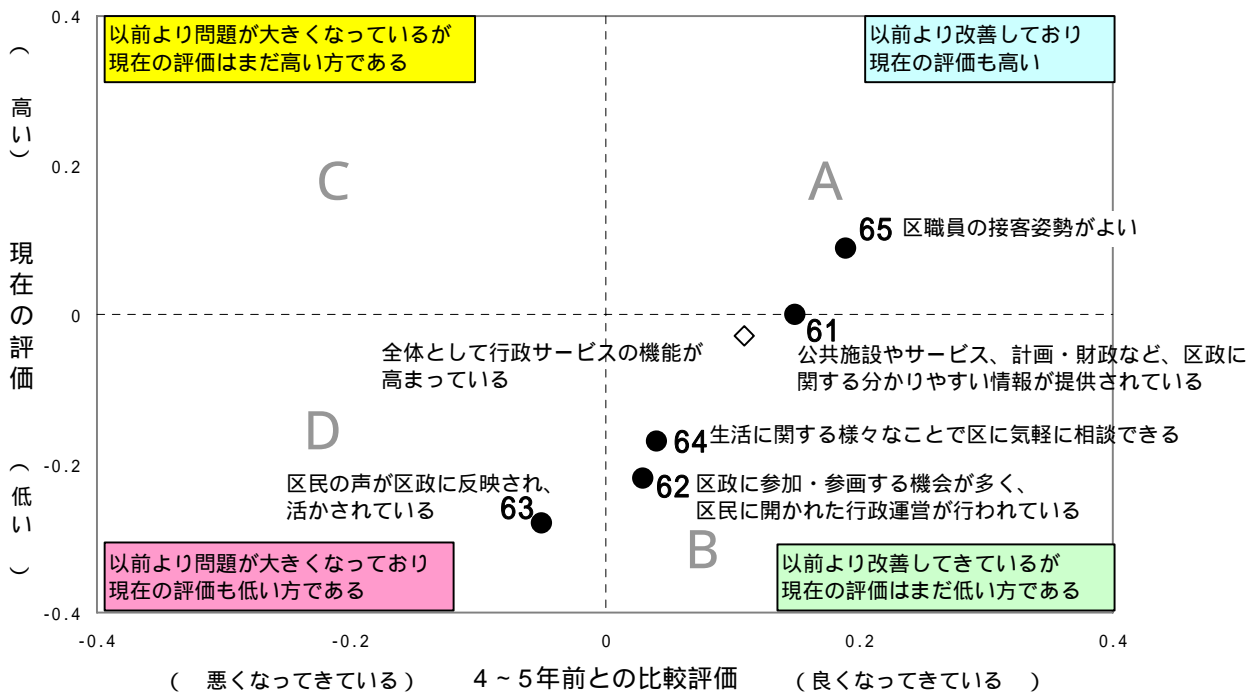
地域団体



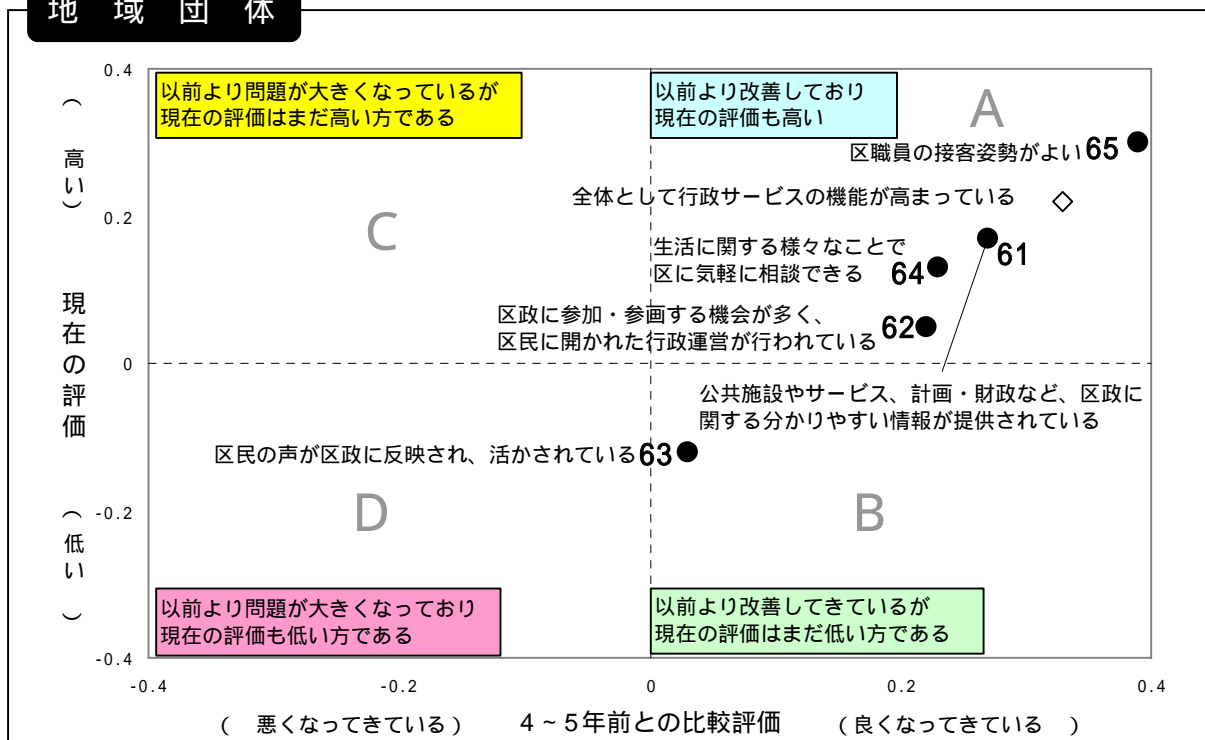
行政サービス

行政サービスのグループでは、5項目のうち2項目が「以前より改善しており現在の評価も高い(A)」に位置している(項目61「公共施設やサービス、計画・財政など、区政に関する分かりやすい情報が提供されている」についてはA B双方に位置している)。

また、2項目が「以前より改善してきているが現在の評価はまだ低い方である(B)」に、1項目が「以前より問題が大きくなっており現在の評価も低い方である(D)」に位置している。Dに位置しているのは項目63の「区民の声が区政に反映され、活かされている」である。



地域団体

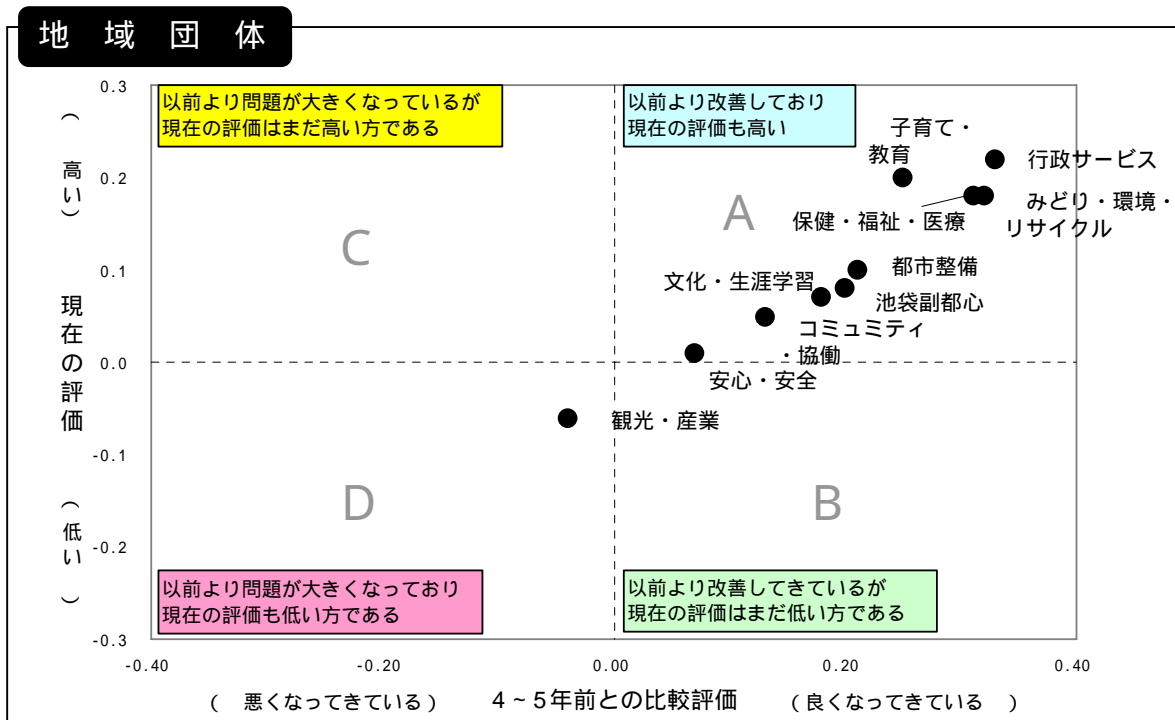
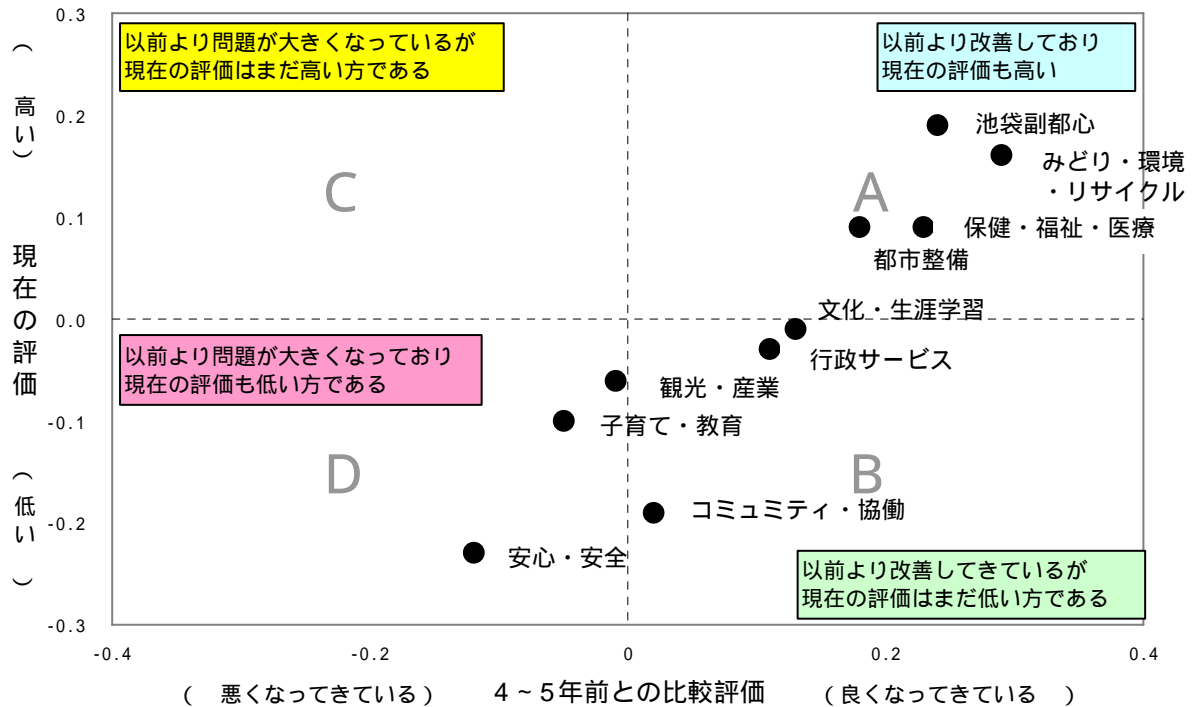


グループごとの総合評価

「以前より改善しており現在の評価も高い(A)」という項目は10項目のうち、『保健・福祉・医療』『みどり・環境・リサイクル』『都市整備』『池袋副都心』の4項目である。

「以前より改善してきているが現在の評価はまだ低い方である(B)」については、『コミュニティ・協働』『文化・生涯学習』『行政サービス』の3項目である。

「以前より問題が大きくなってきており現在の評価も低い方である(D)」については、『子育て・教育』『観光・産業』『安心・安全』の3項目となっている。



(5) 「現在の評価」と「今後の優先度」をクロスさせた総合分析

「現在の評価」と「今後の優先度」の調査結果を下記により数値化し、この二つの評価を軸として、総合分析を行った。

<p>【数値化の方法】</p> <p>それぞれの設問について、下記のとおり数値化した。</p> <p>現在の評価（目指すべき生活環境の姿に近いか）</p> <p>「どちらかというと思う」と回答した者の数 -（マイナス）「どちらいうとそう思わない」と回答した者の数</p> <p>今後の優先度</p> <p>各項目の回答割合（％）に 100 を乗じた数値</p> <p>基準軸の設定</p> <p>現在の評価 = 0（ゼロ）を基準</p> <p>今後の優先度 = グループごとの各項目の平均優先度を基準</p>
--

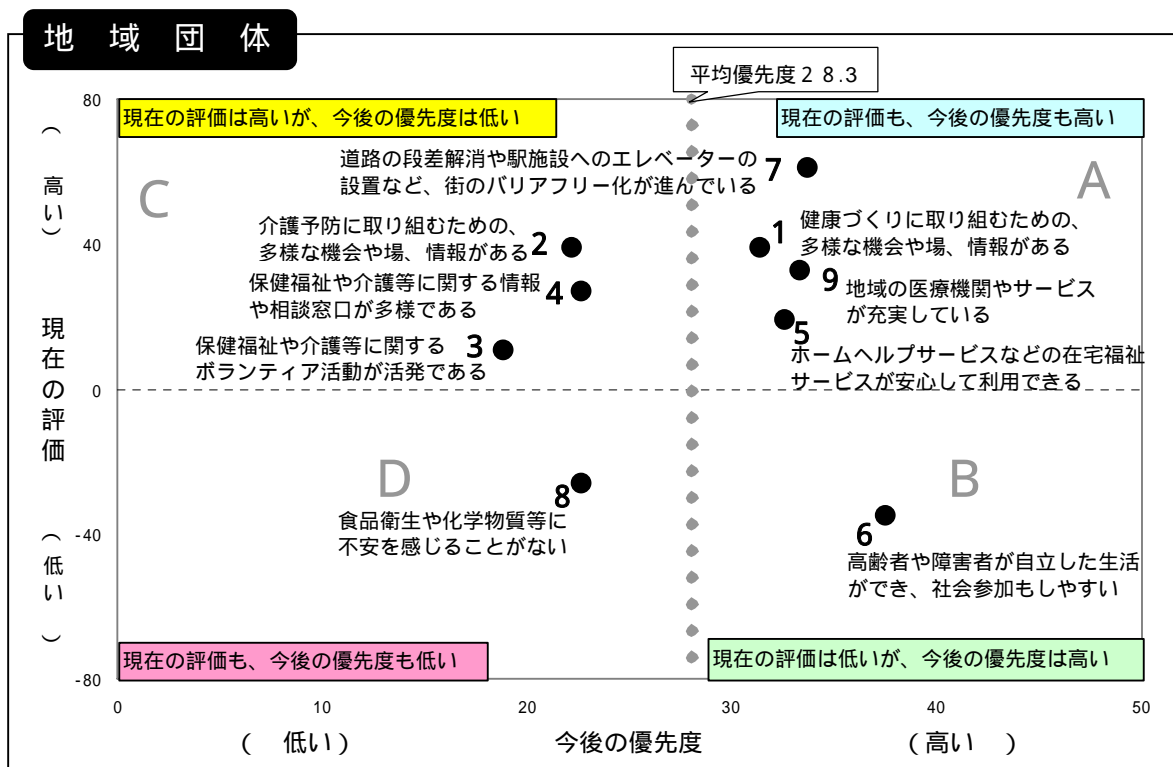
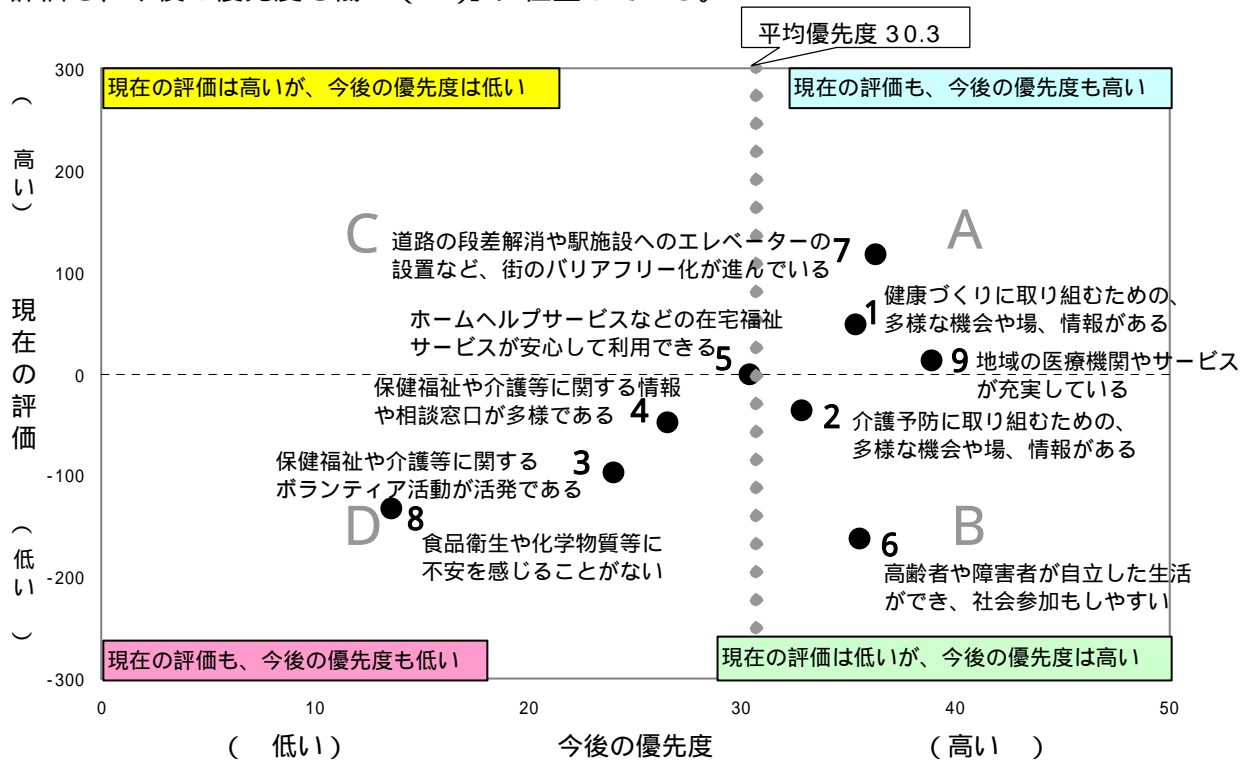
「今後の優先度」を横軸、「現在の評価」を縦軸とし、上記の基準軸設定により、下記のとおり、「A」「B」「C」「D」の4つの領域を設定して、グループごとに評価、分析を行った。

「現在の評価」の軸 (+) (-)	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 30px; margin: 0 auto;">C</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 30px; margin: 0 auto;">A</div>
	現在の評価は高いが、今後の優先度は低い 現在の評価 (+) プラス 各項目の優先度 (<) 平均優先度	現在の評価も、今後の優先度も高い 現在の評価 (+) プラス 各項目の優先度 (>) 平均優先度
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 30px; margin: 0 auto;">D</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 30px; margin: 0 auto;">B</div>
	現在の評価も、今後の優先度も低い 現在の評価 (-) マイナス 各項目の優先度 (<) 平均優先度	現在の評価は低い、今後の優先度は高い 現在の評価 (-) マイナス 各項目の優先度 (>) 平均優先度
	(-)	(+)
	「今後の優先度」の軸	

保健・福祉・医療

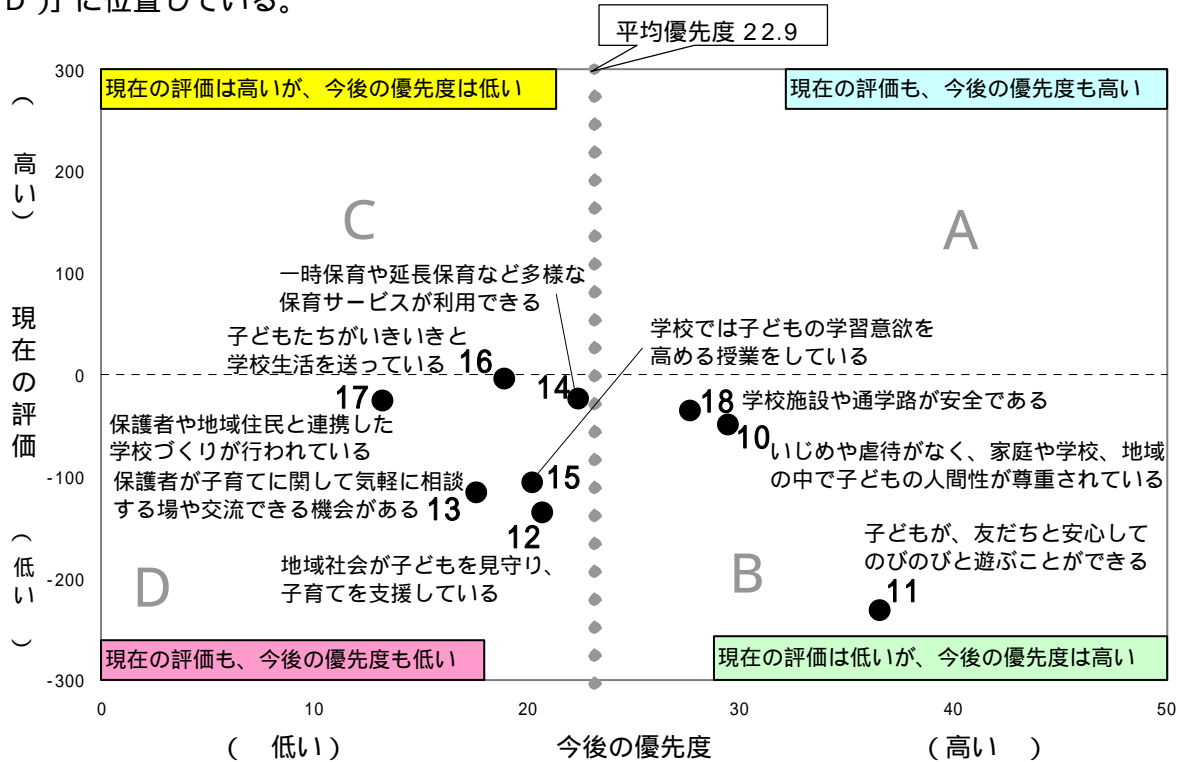
保健・福祉・医療のグループでは、各項目に対する評価および優先度が分散しており、9項目のうち3項目が「現在の評価も、今後の優先度も高い（A）」に位置している（「ホームヘルプサービスなどの在宅福祉サービスが安心して利用できる」についてはちょうど縦横軸に乗っている）。

また、2項目が「現在の評価は低いが、今後の優先度は高い（B）」に、3項目が「現在の評価も、今後の優先度も低い（D）」に位置している。

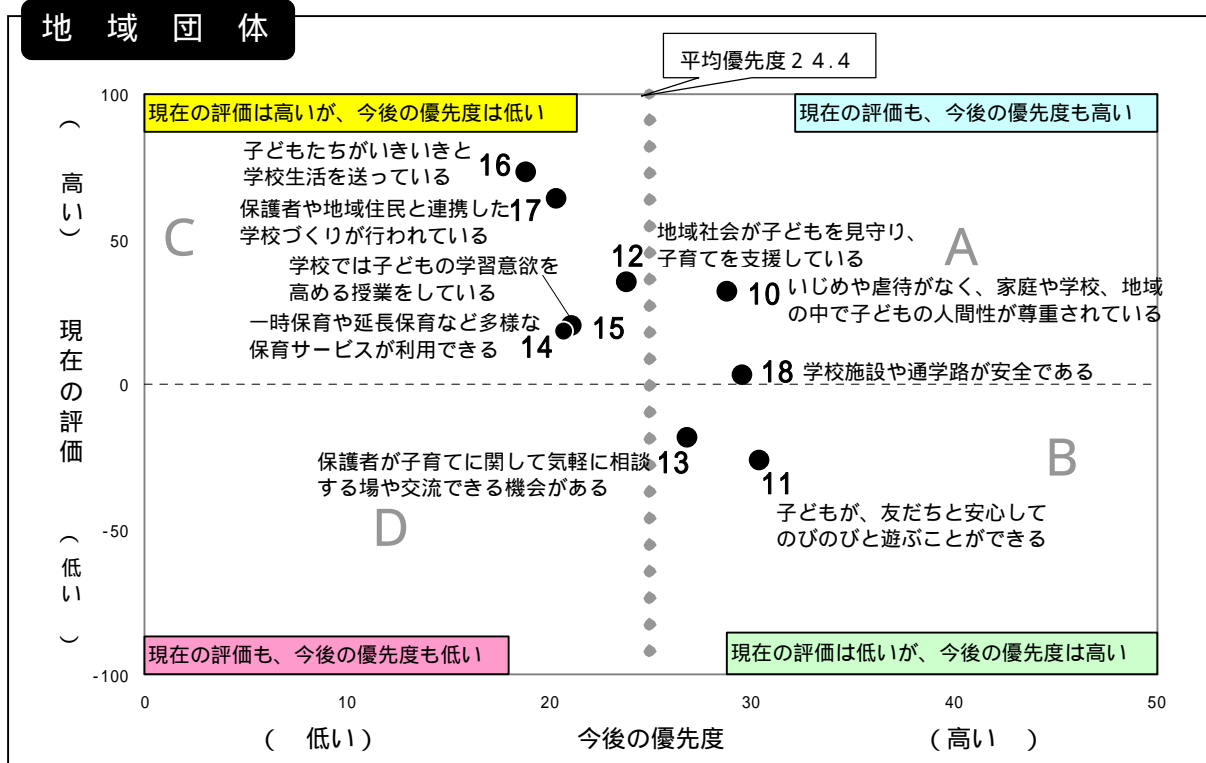


子育て・教育

子育て・教育のグループでは、「現在の評価も、今後の優先度も高い（A）」と「現在の評価は高いが、今後の優先度は低い（C）」に位置する項目はみられない。3項目が「現在の評価は低いが、今後の優先度は高い（B）」に、6項目が「現在の評価も、今後の優先度も低い（D）」に位置している。



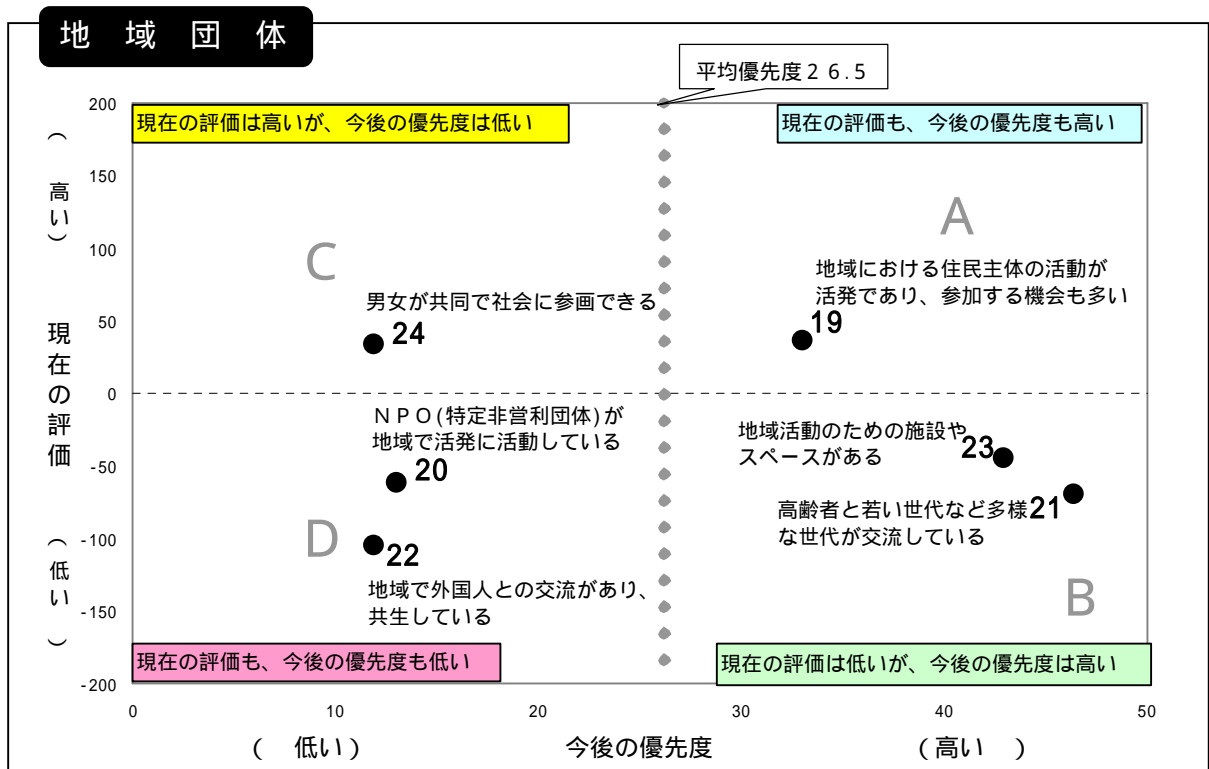
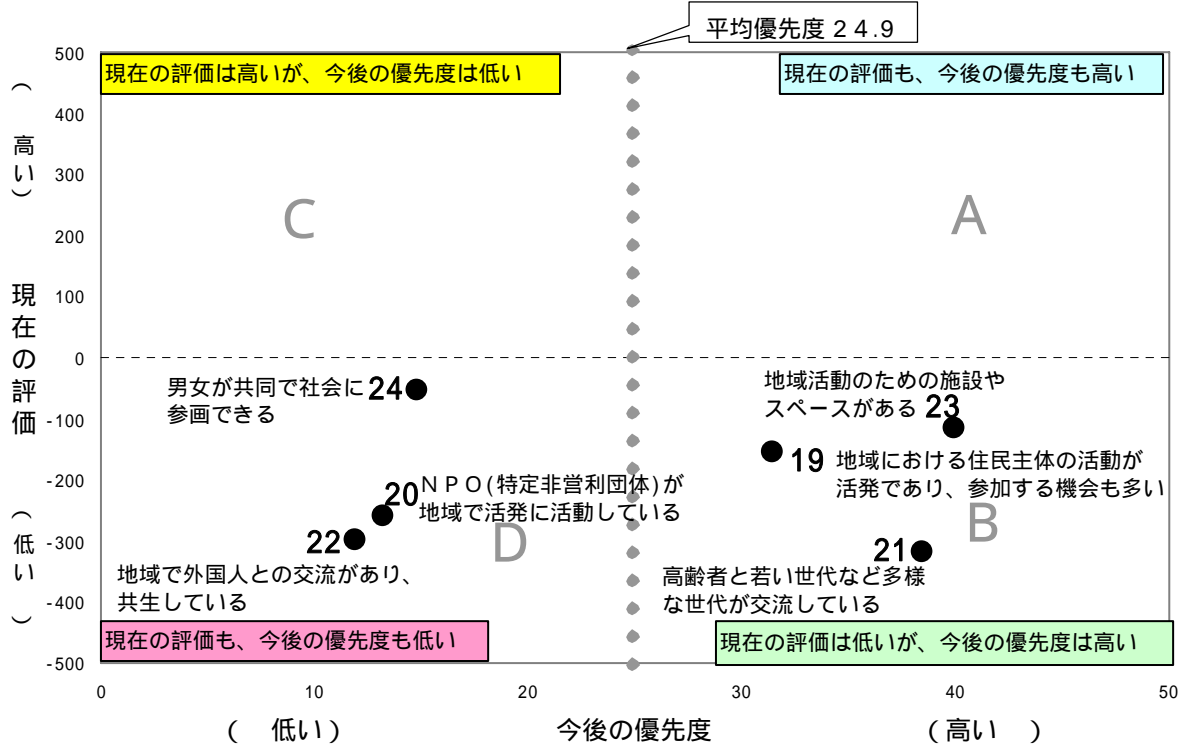
地域団体



コミュニティ・協働

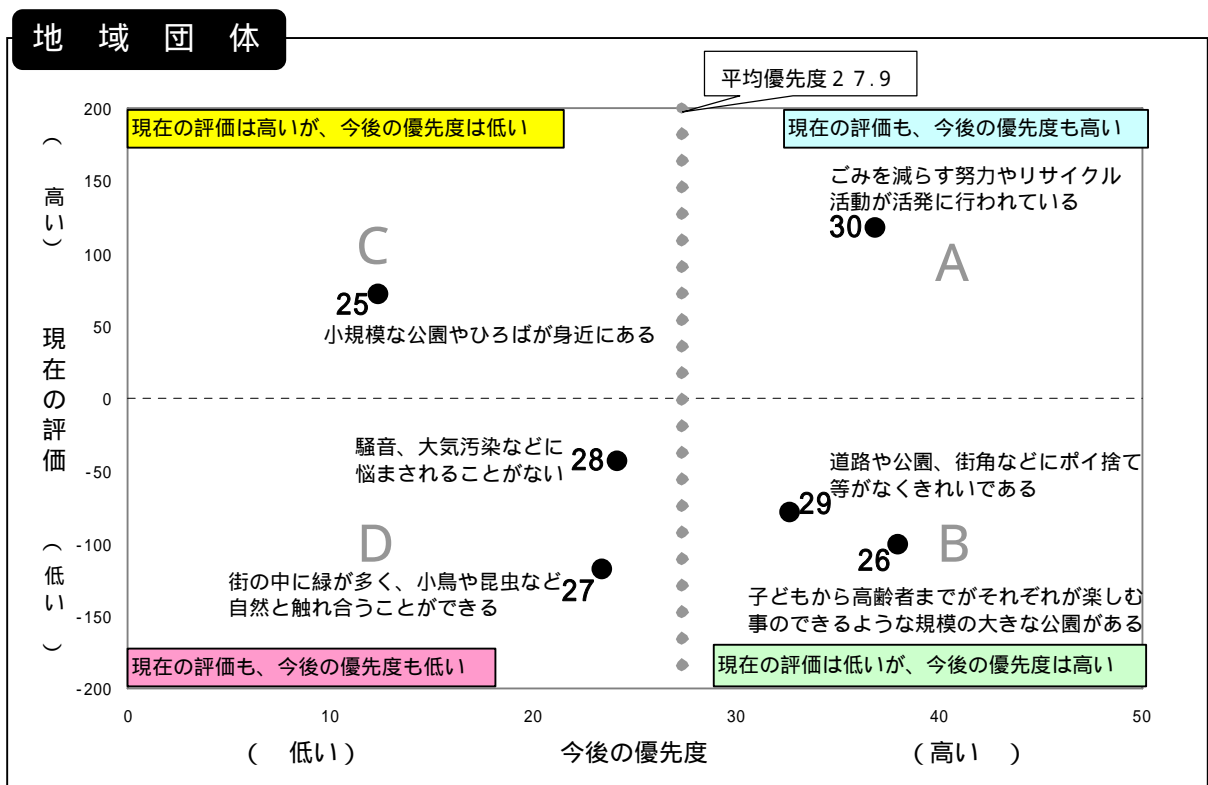
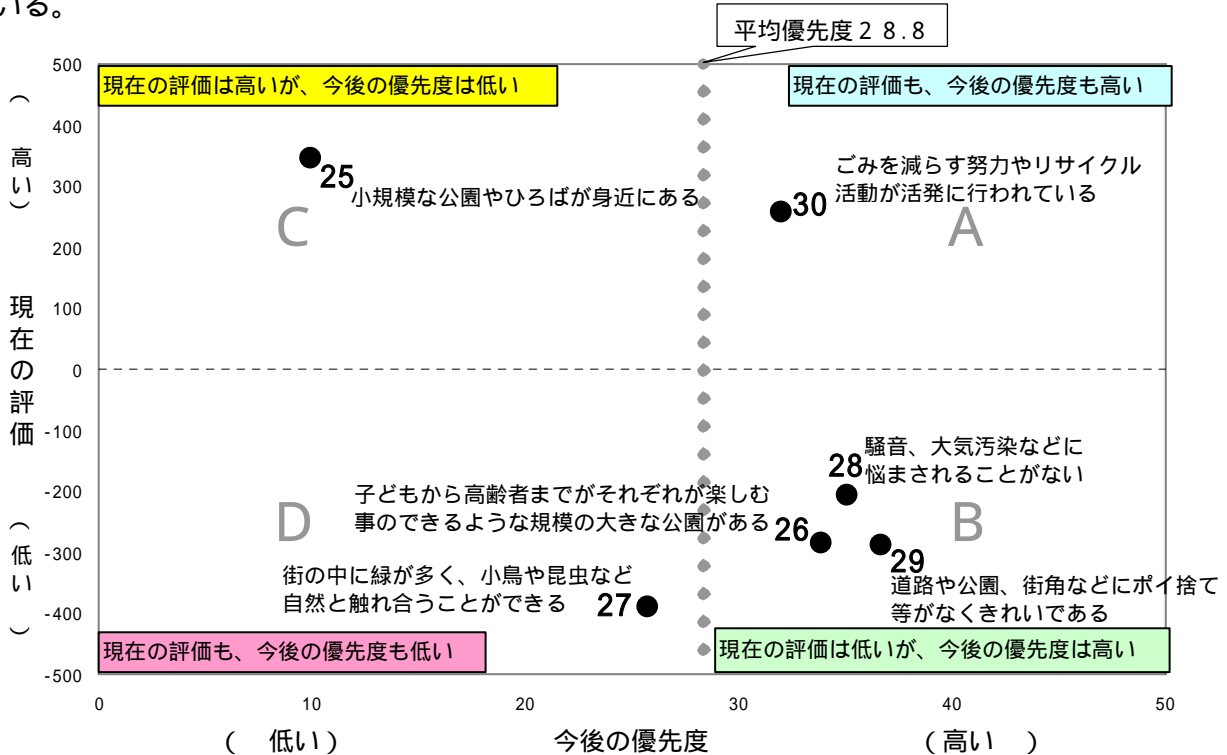
コミュニティ・協働のグループでは、子育て・教育のグループと同様に「現在の評価も、今後の優先度も高い（A）」と「現在の評価は高いが、今後の優先度は低い（C）」に位置する項目はみられない。

3項目が「現在の評価は低いが、今後の優先度は高い（B）」に、同じく3項目が「現在の評価も、今後の優先度も低い（D）」に位置している。



みどり・環境・リサイクル

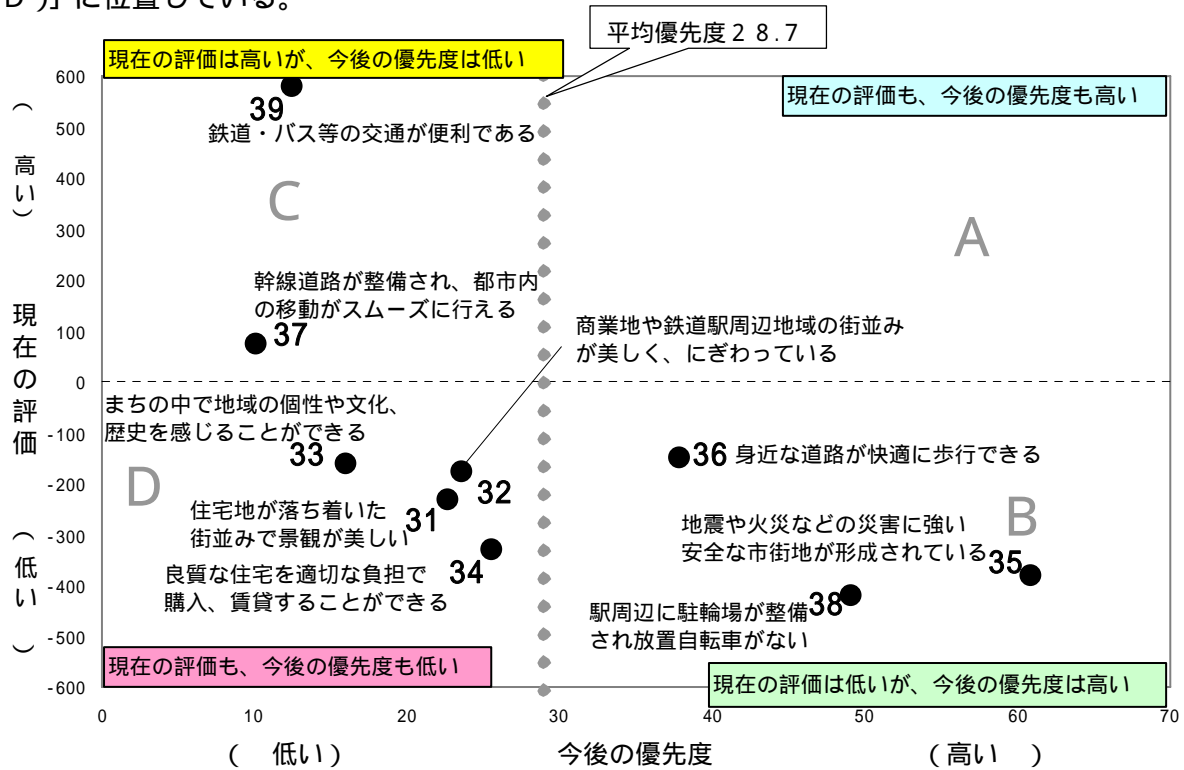
みどり・環境・リサイクルのグループでは各項目に対する評価および優先度が分散しており、6項目のうち3項目が「現在の評価は低い、今後の優先度は高い(B)」に位置する他は、それぞれ1項目ずつ「現在の評価も、今後の優先度も高い(A)」と「現在の評価は高いが、今後の優先度は低い(C)」と「現在の評価も、今後の優先度も低い(D)」に位置している。



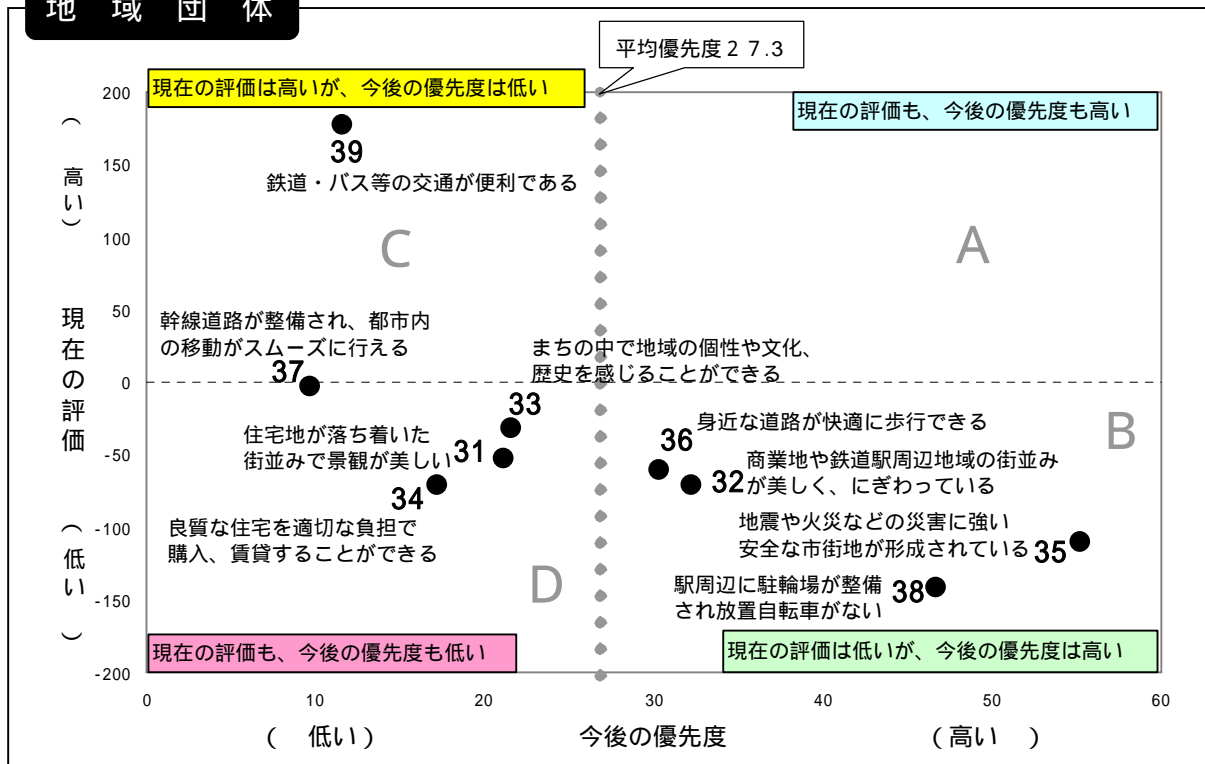
都市整備

都市整備のグループでは、「現在の評価も、今後の優先度も高い (A)」に位置する項目はみられない。

2項目が「現在の評価は高いが、今後の優先度は低い (C)」に、3項目が「現在の評価は低いが、今後の優先度は高い (B)」に、残り4項目が「現在の評価も、今後の優先度も低い (D)」に位置している。



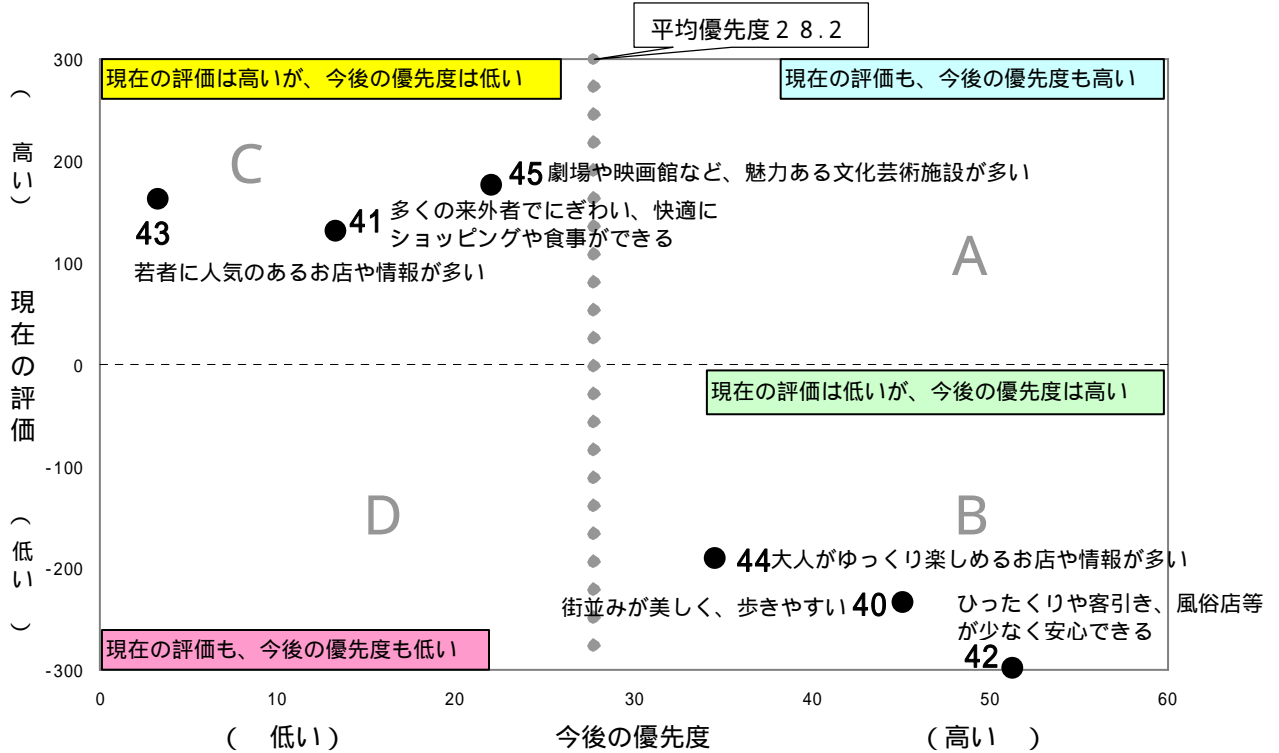
地域団体



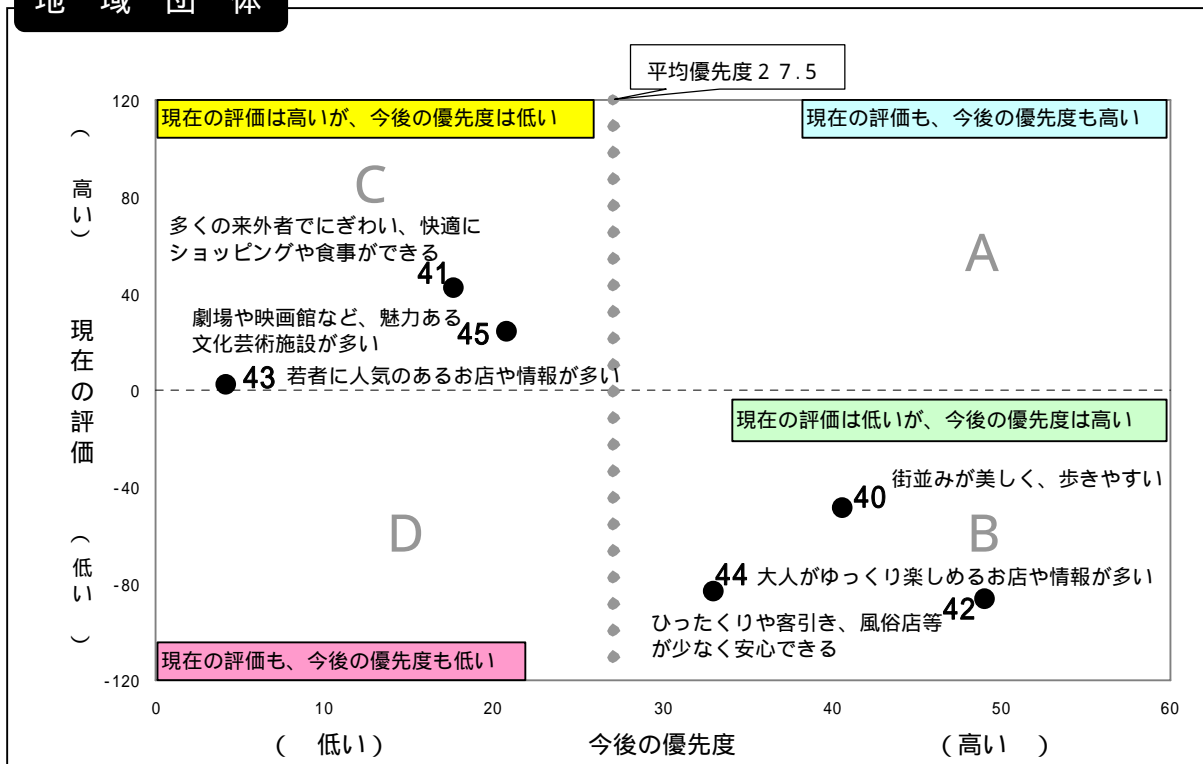
池袋副都心

池袋副都心のグループでは、各項目に対する評価および優先度が極端に分かれ、「現在の評価も、今後の優先度も高い（A）」と「現在の評価も、今後の優先度も低い（D）」に位置する項目はみられない。

6項目のうち3項目が「現在の評価は高いが、今後の優先度は低い（C）」に、同じく3項目が「現在の評価は低いが、今後の優先度は高い（B）」に位置している。



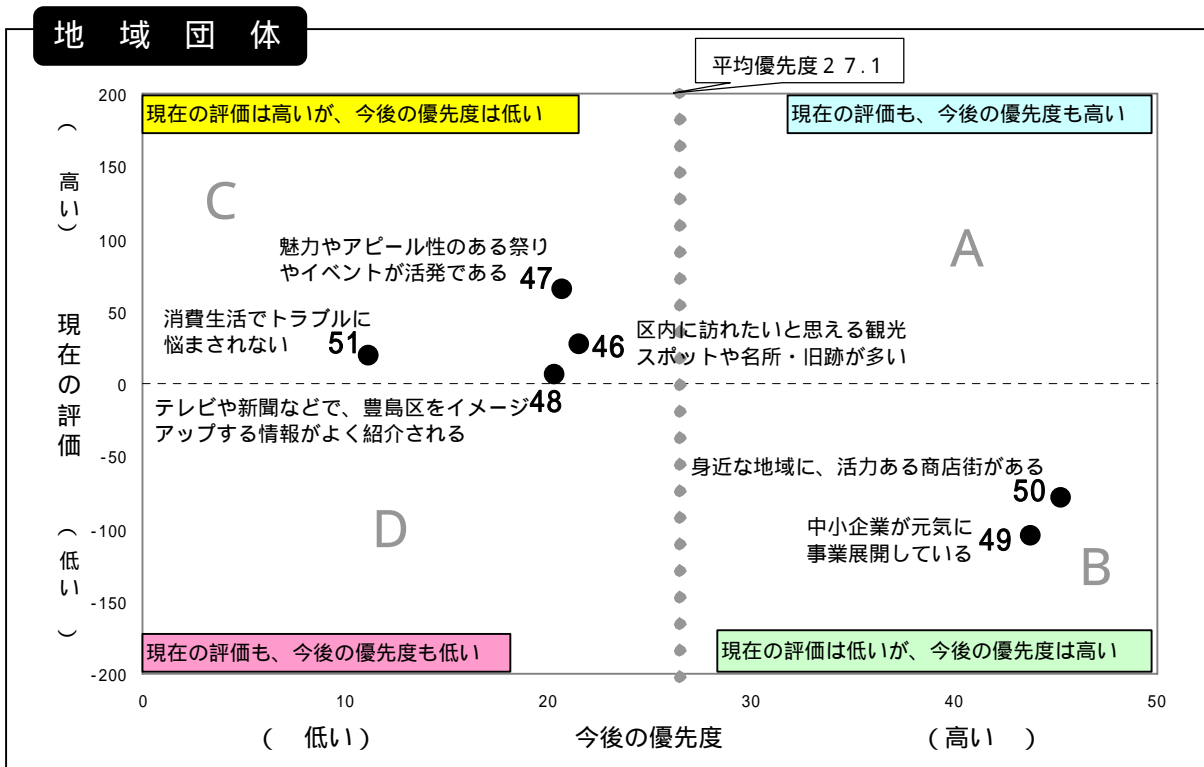
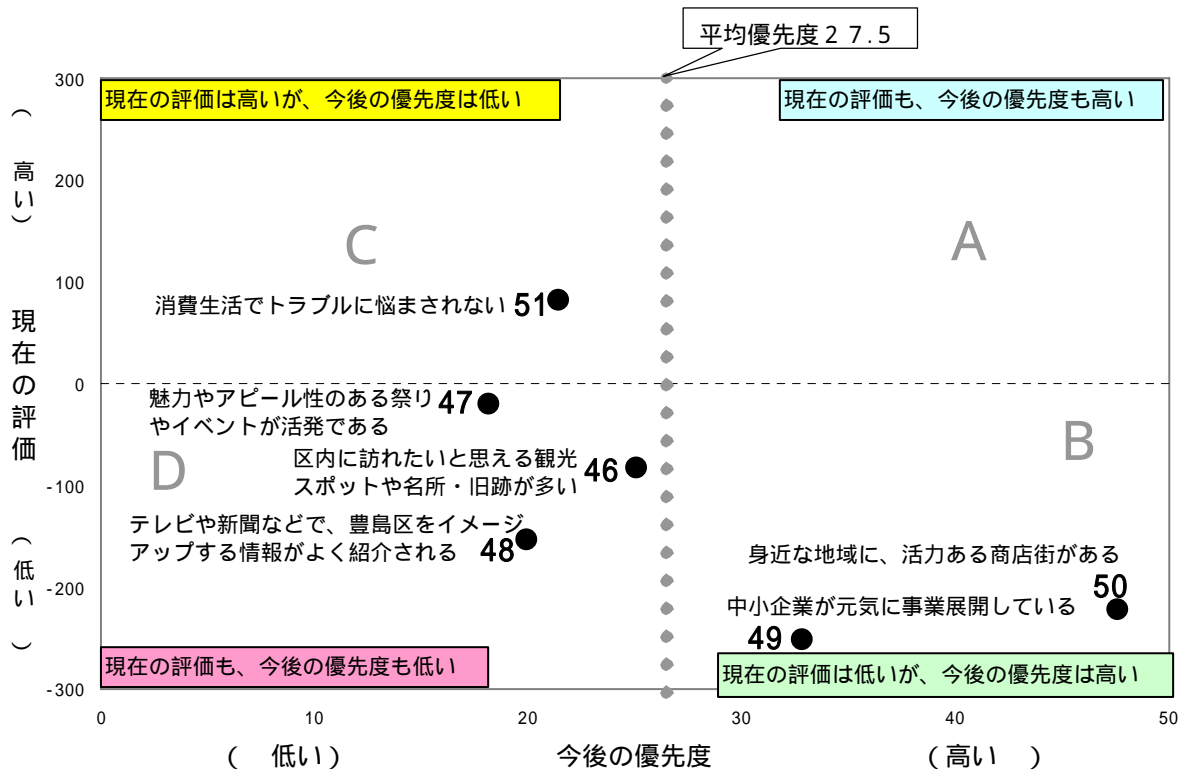
地域団体



観光・産業

観光・産業のグループでは、「現在の評価も、今後の優先度も高い（A）」に位置する項目はみられない。

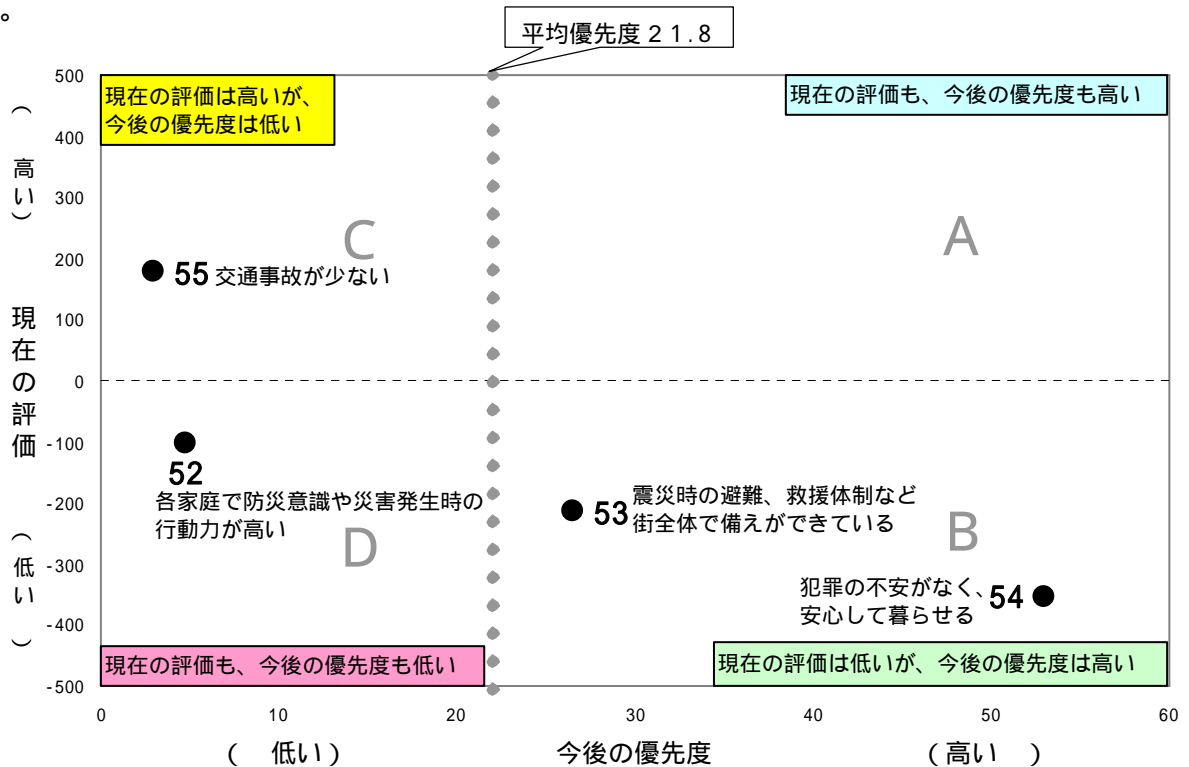
1項目が「現在の評価は高いが、今後の優先度は低い（C）」に、2項目が「現在の評価は低いが、今後の優先度は高い（B）」に、3項目が「現在の評価も、今後の優先度も低い（D）」に位置している。



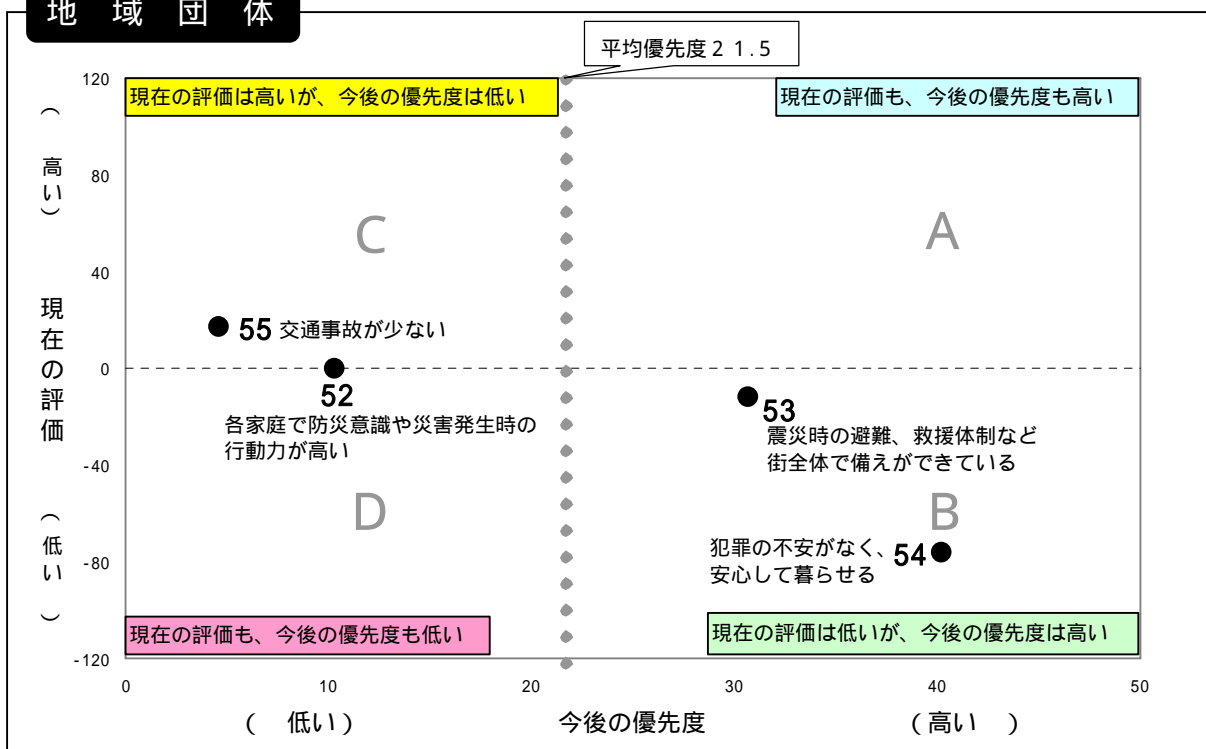
安心・安全

項目数が少ないが、評価及び優先度が分かれたのが安心・安全のグループである。

「現在の評価も、今後の優先度も高い (A)」に位置する項目はみられず、1項目が「現在の評価は高いが、今後の優先度は低い (C)」に、2項目が「現在の評価は低いが、今後の優先度は高い (B)」に、1項目が「現在の評価も、今後の優先度も低い (D)」に位置している。

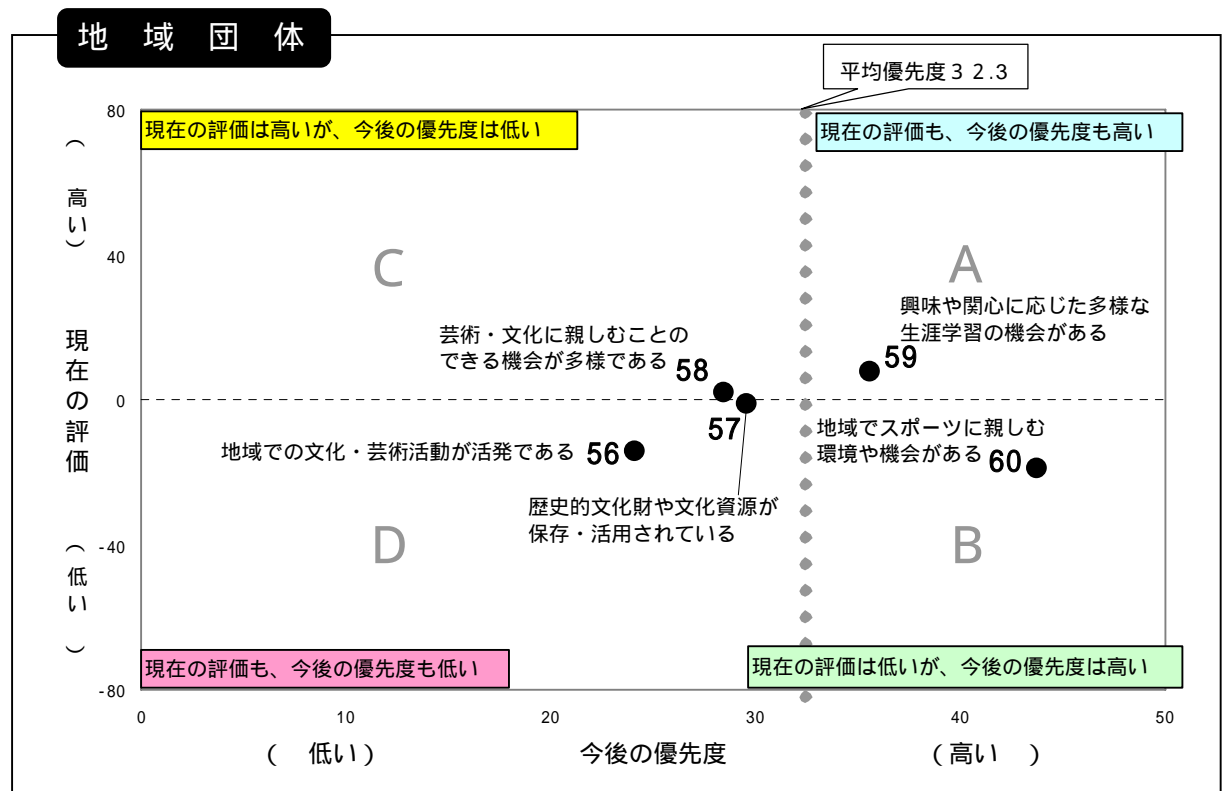
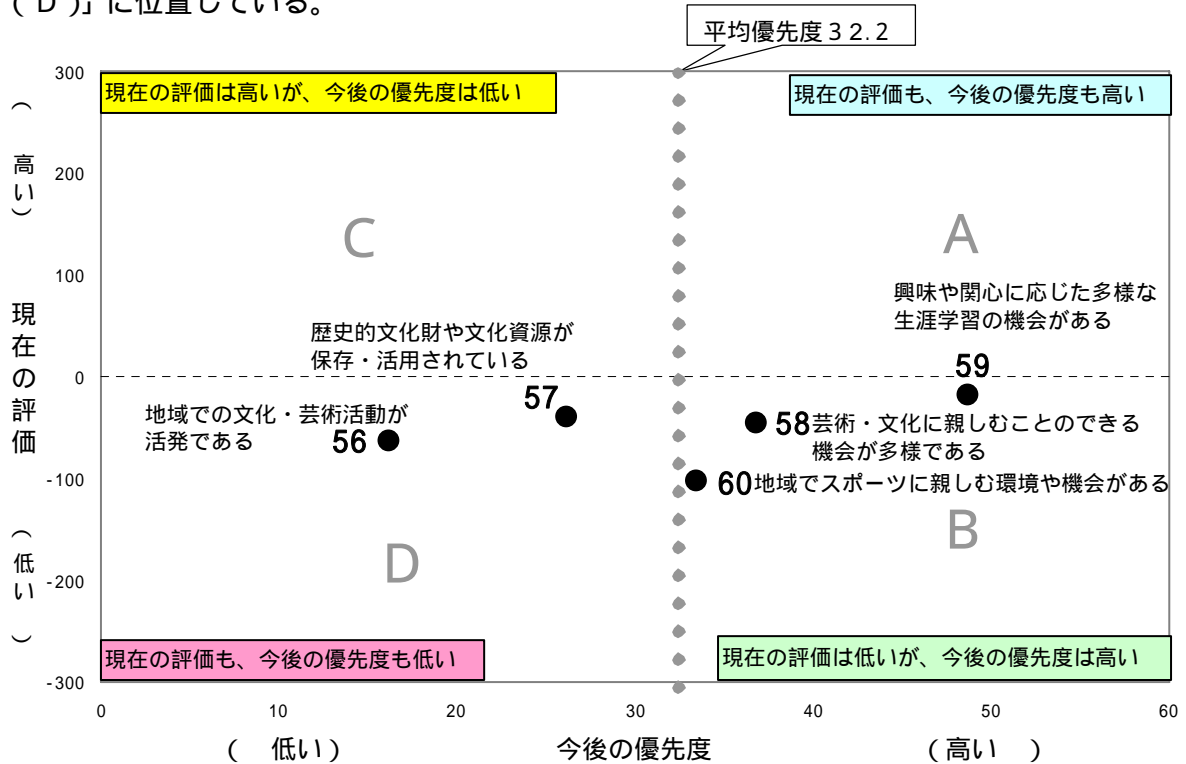


地域団体



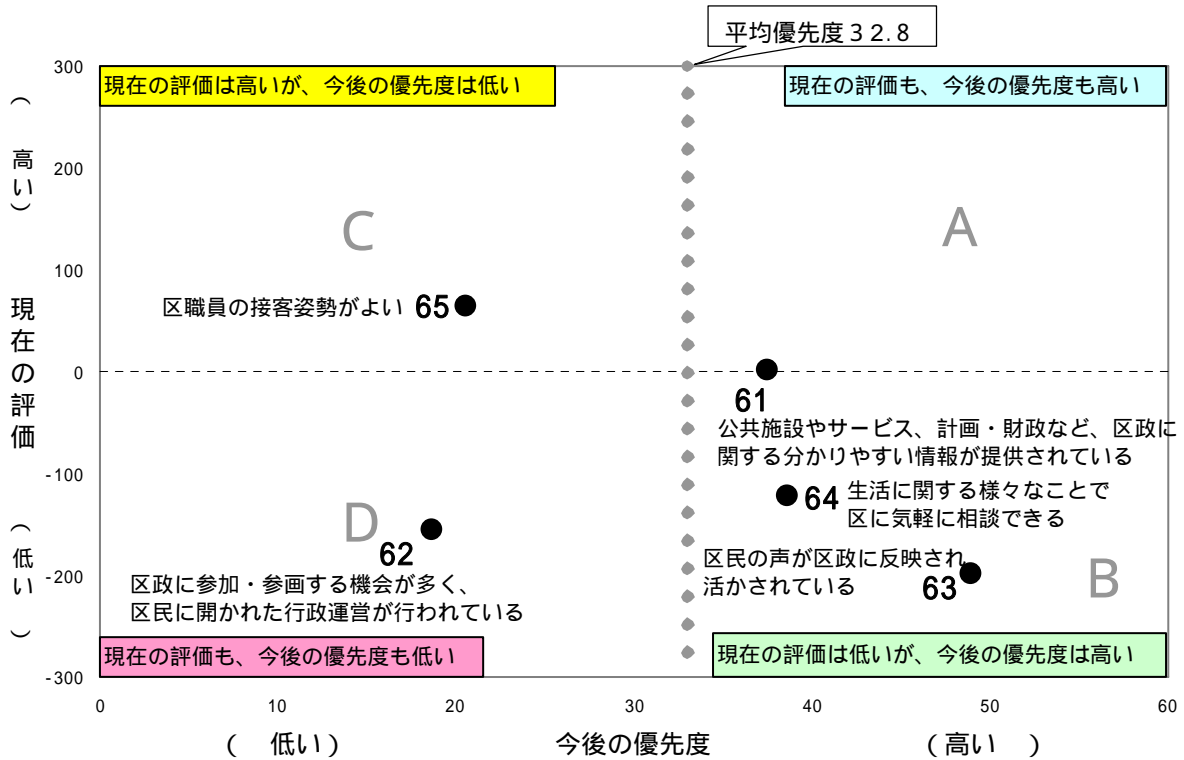
文化・生涯学習

文化・生涯学習のグループでは、「現在の評価も、今後の優先度も高い（A）」と「現在の評価は高いが、今後の優先度は低い（C）」に位置する項目はみられない。3項目が「現在の評価は低いが、今後の優先度は高い（B）」に、2項目が「現在の評価も、今後の優先度も低い（D）」に位置している。

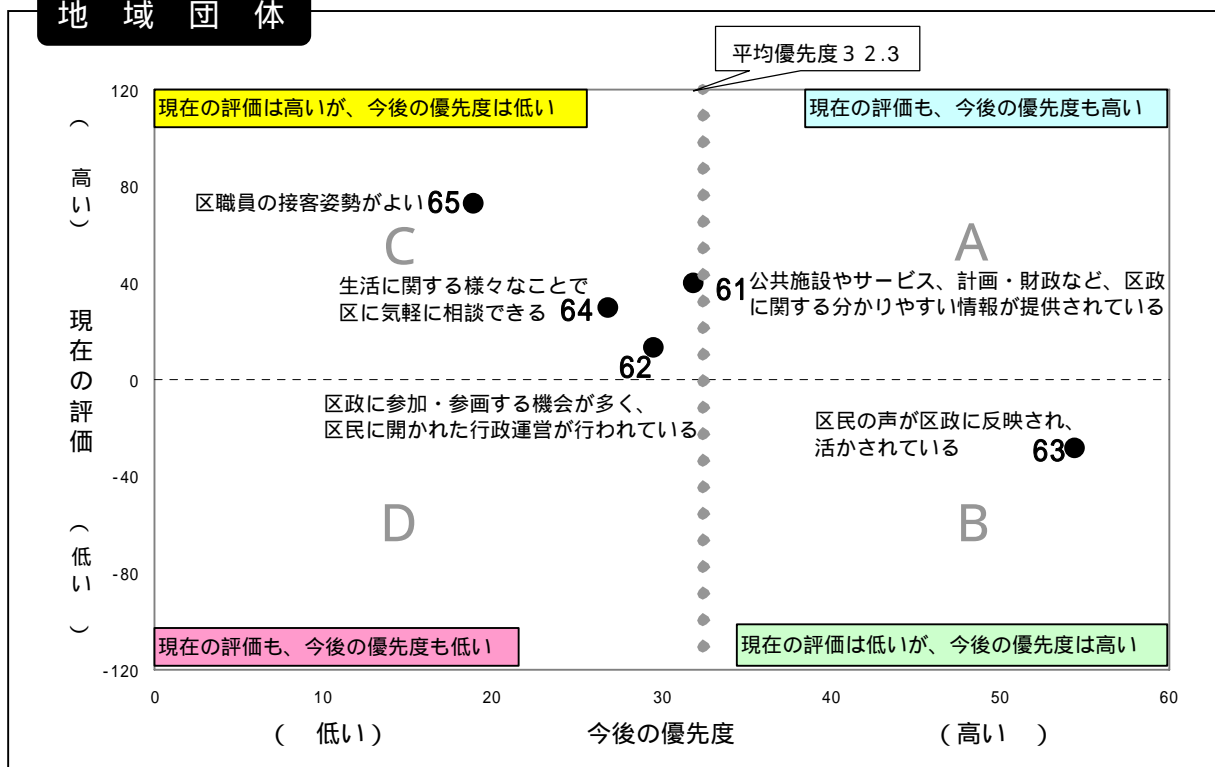


行政サービス

行政サービスのグループでは、各項目に対する評価および優先度が分散しており、5項目のうち1項目が「現在の評価も、今後の優先度も高い(A)」に、1項目が「現在の評価は高いが、今後の優先度は低い(C)」に、2項目が「現在の評価は低い、今後の優先度は高い(B)」に、1項目が「現在の評価も、今後の優先度も低い(D)」に位置している。



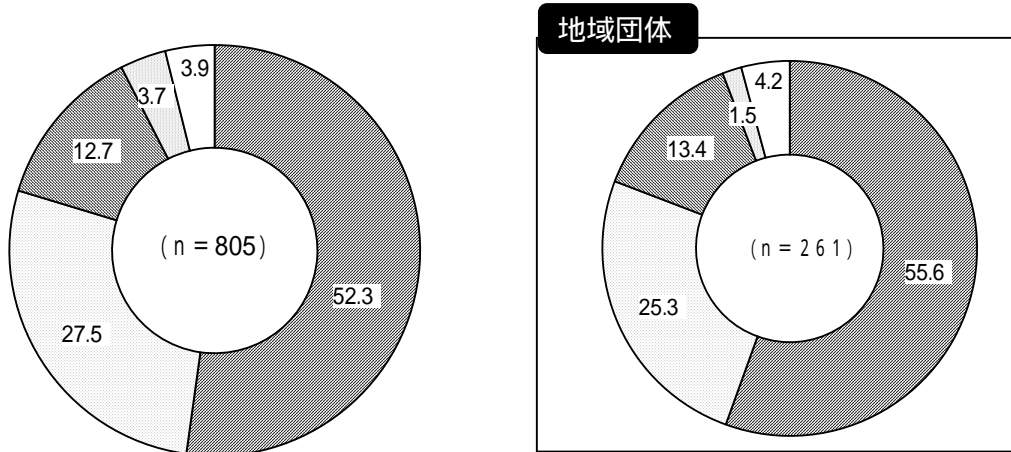
地域団体



第3章 地域におけるコミュニティや協働について

(1) 近隣住民（ご近所）が自主的に力を合わせて地域の課題に取り組むことについて

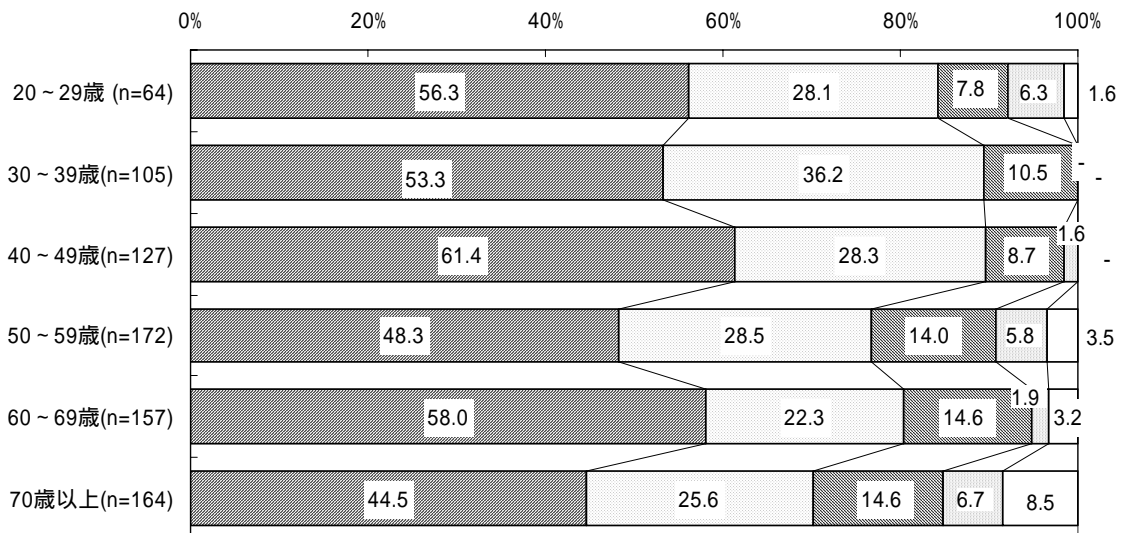
近隣住民による地域の課題への取り組みについては、「身近な問題を解決する上で重要な取り組みだと思う」が 52.3%、「重要だとは思うが、近所の力を合わせることは難しい」が 27.5%、「近所で力を合わせても解決できない問題の方が多いと思う」が 12.7%、「どちらともいえない」が 3.7%となっている。



身近な問題を解決する上で重要な取り組みだと思う 重要だとは思うが、近所の力を合わせることは難しい
 近所で力を合わせても解決できない問題の方が多いと思う どちらともいえない
 無回答

【年齢別】

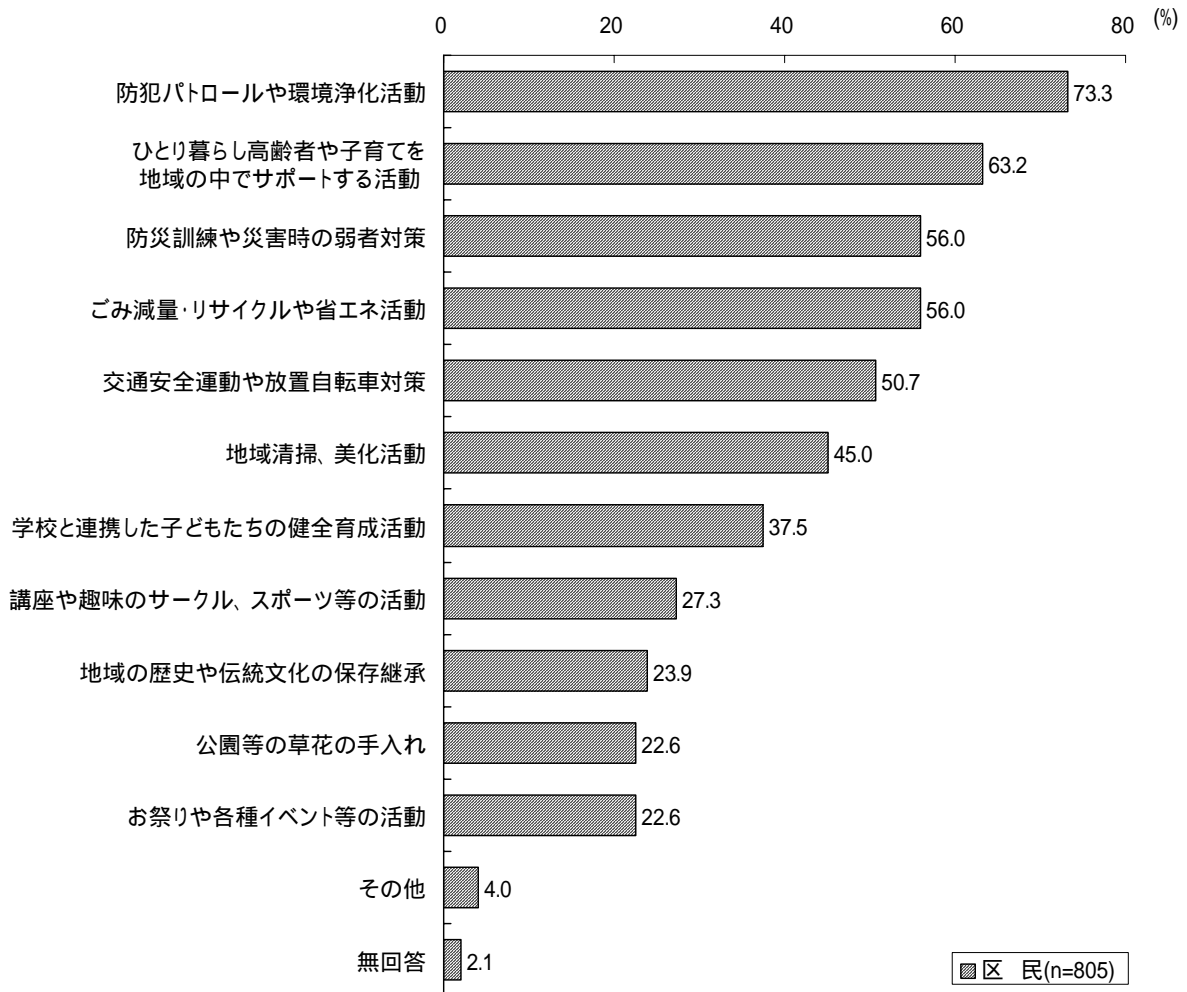
年齢別にみると、30～34歳では「重要だとは思うが、近所の力を合わせることは難しい」(34.8%)の割合が全体に比べて高い。また、50歳以上は「近所で力を合わせても解決できない問題の方が多いと思う」の割合が高めである。



身近な問題を解決する上で重要な取り組みだと思う
 重要だとは思うが、近所の力を合わせることは難しい
 近所で力を合わせても解決できない問題の方が多いと思う
 どちらともいえない
 無回答

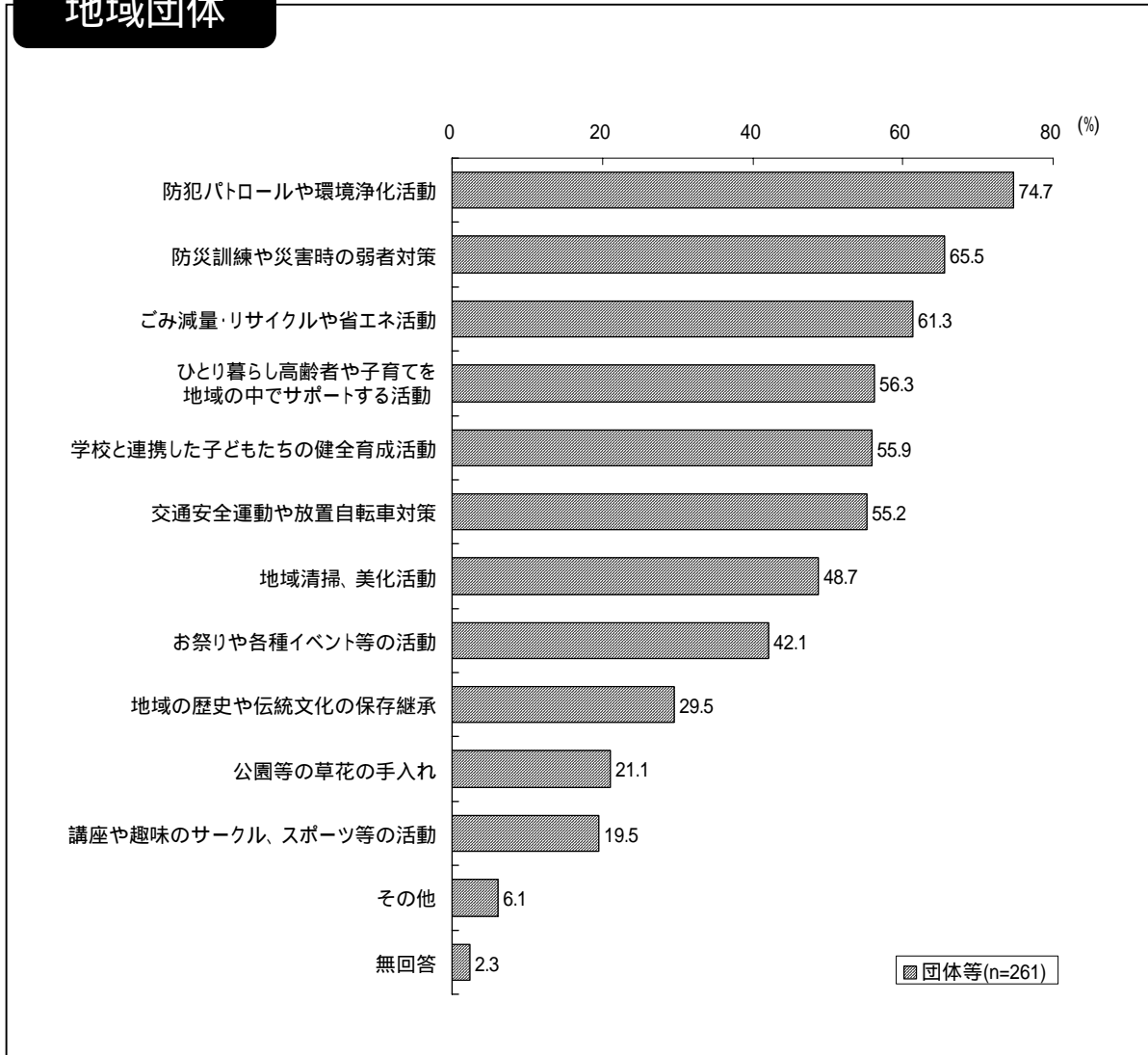
(2) 近隣住民が主体的に、また区民と行政とが協働するかたちで行われている地域活動のうち重要と思うもの

近隣住民による地域活動で重要と思うものについては、「防犯パトロールや環境浄化活動」が最も多く 73.3%あり、次いで「ひとり暮らし高齢者や子育てを地域の中でサポートする活動」(63.2%)、「防災訓練や災害時の弱者対策」「ごみ減量・リサイクルや省エネ活動」(ともに 56.0%)、「交通安全運動や放置自転車対策」(50.7%)が5割～6割台で続く。



複数回答

地域団体



【年齢別】

年齢別にみると、全体で割合が高い「防犯パトロールや環境浄化活動」については特に30～39歳での割合が高く（84.8%）、「ひとり暮らし高齢者や子育てを地域の中でサポートする活動」については50～59歳における割合が高い（71.5%）。

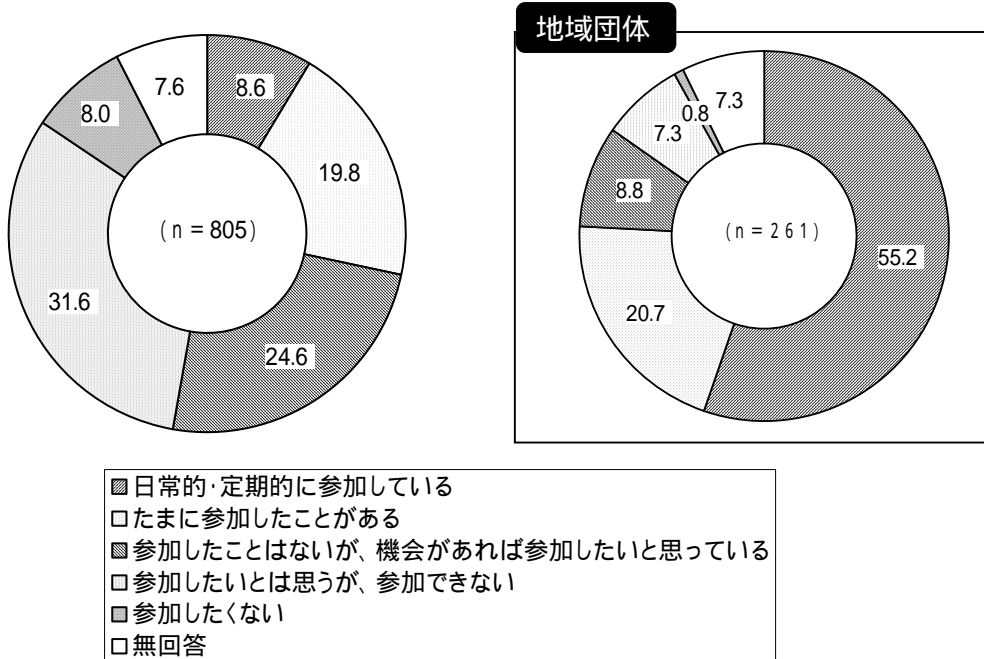
各年齢で全体に比べて目立つ項目としては、20～29歳で「お祭りや各種イベント等の活動」（29.7%）、30～39歳では「地域清掃、美化活動」（57.1%）、40～49歳では「学校と連携した子どもたちの健全育成活動」（50.0%）、50～59歳では前述の「ひとり暮らし高齢者や子育てを地域の中でサポートする活動」、60～69歳では「交通安全や放置自転車対策」（56.7%）、「講座や趣味のサークル、スポーツ等の活動」（38.2%）、70歳以上では「交通安全や放置自転車対策」（55.5%）の割合がそれぞれ全体に比べて高い。

	件数	防犯パトロールや環境浄化活動	交通安全運動や放置自転車対策	防災訓練や災害時の弱者対策	地域清掃、美化活動	活ごみ減量・リサイクルや省エネ	公園等の草花の手入れ	ひとり暮らし高齢者や子育てを地域の中でサポートする活動
全体	805	73.3	50.7	56.0	45.0	56.0	22.6	63.2
20～29歳	64	71.9	42.2	42.2	51.6	51.6	21.9	51.6
30～39歳	105	84.8	47.6	63.8	57.1	60.0	24.8	67.6
40～49歳	127	77.2	48.0	63.0	40.2	59.1	11.0	66.9
50～59歳	172	69.8	48.3	62.2	43.6	61.6	23.3	71.5
60～69歳	157	72.6	56.7	49.0	49.0	53.5	29.9	63.7
70歳以上	164	70.1	55.5	52.4	37.2	51.8	23.2	55.5
	件数	学校と連携した子どもたちの健全育成活動	地域の歴史や伝統文化の保存継承	講座や趣味のサークル、スポーツ等の活動	お祭りや各種イベント等の活動	その他	無回答	
全体	805	37.5	23.9	27.3	22.6	4.0	2.1	
20～29歳	64	26.6	29.7	23.4	29.7	0.0	1.6	
30～39歳	105	40.0	21.9	25.7	23.8	6.7	0.0	
40～49歳	127	46.5	18.9	18.1	19.7	1.6	0.0	
50～59歳	172	36.0	24.4	26.7	23.8	2.9	0.0	
60～69歳	157	41.4	23.6	38.2	21.0	4.5	1.3	
70歳以上	164	32.9	27.4	28.0	23.2	5.5	6.7	

複数回答

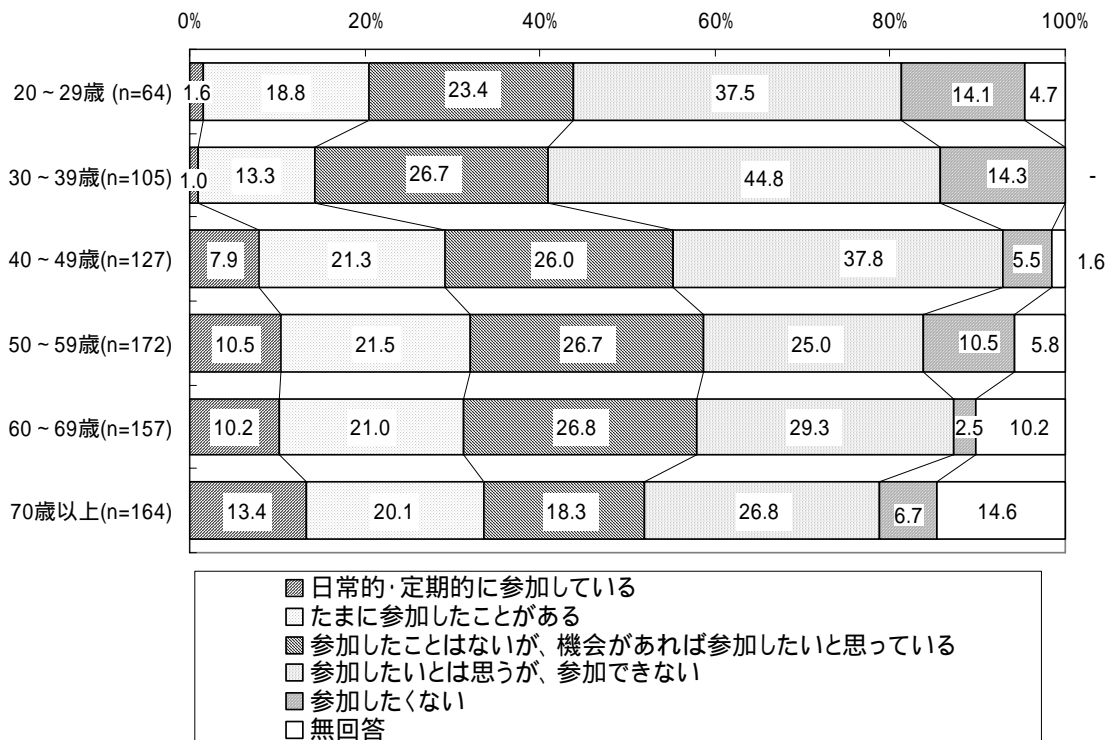
(3) 地域活動への参加状況

地域活動への参加状況については、“参加している・参加したことがある”が28.4%（「日常的・定期的に参加している」8.6% + 「たまに参加したことがある」19.8%）、「参加したことはないが、機会があれば参加したいと思っている」が24.6%、「参加したいと思うが、参加できない」が31.6%、「参加したくない」が8.0%となっている。



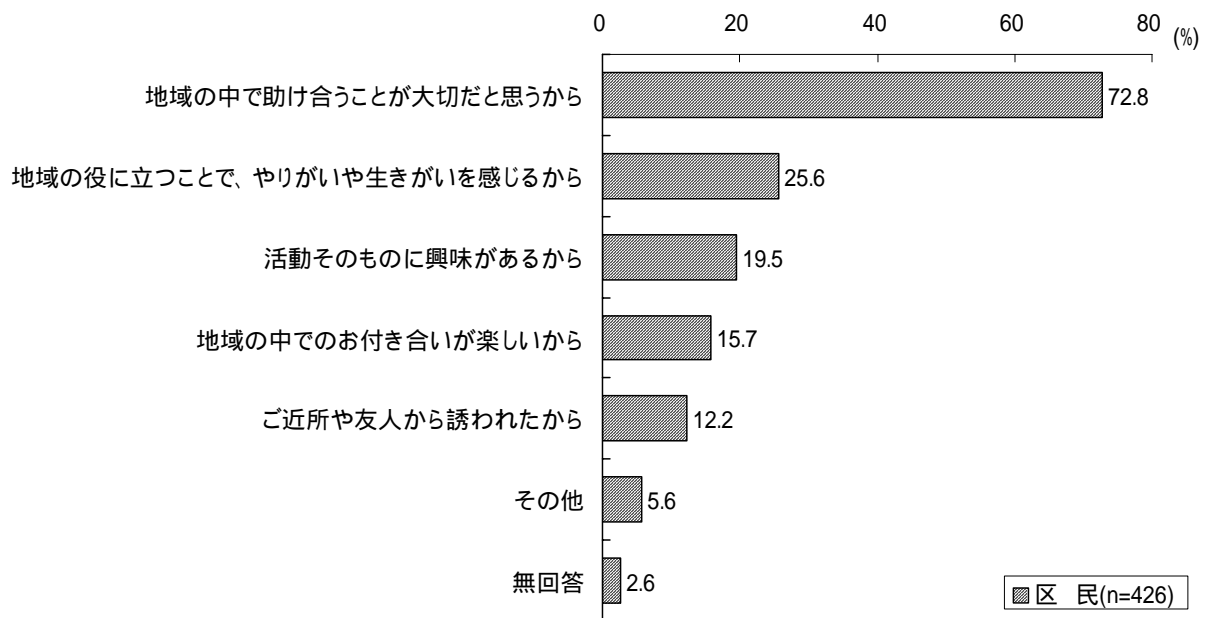
【年齢別】

年齢別にみると、40歳以上では“参加している・参加したことがある”の割合が全体に比べて高めであるが、20～29歳、30～39歳では「参加したいと思うが、参加できない」「参加したくない」の割合が高い。



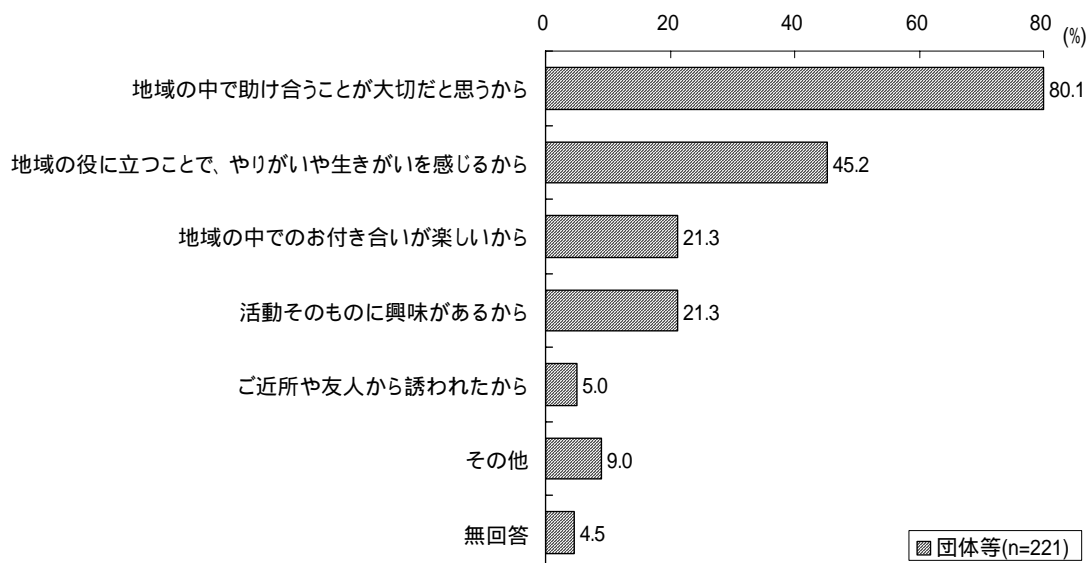
(3) - 参加している・参加したいと思う理由

参加している・参加したいと思う理由については、「地域の中で助け合うことが大切だと思うから」が最も多く 72.8%、次いで「地域の役に立つことで、やりがいや生きがいを感じるから」(25.6%)、「活動そのものに興味があるから」(19.5%)、「地域の中での付き合いが楽しいから」(15.7%)となっている。



複数回答

地域団体



【年齢別】

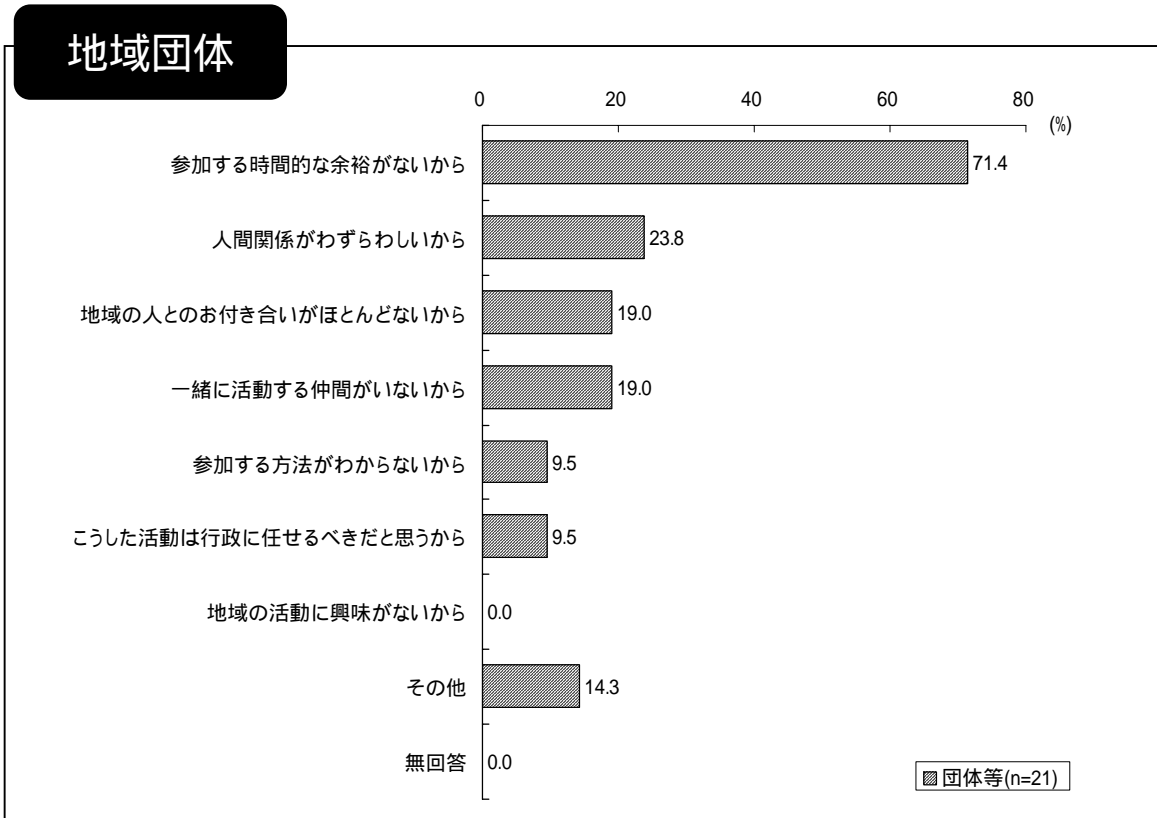
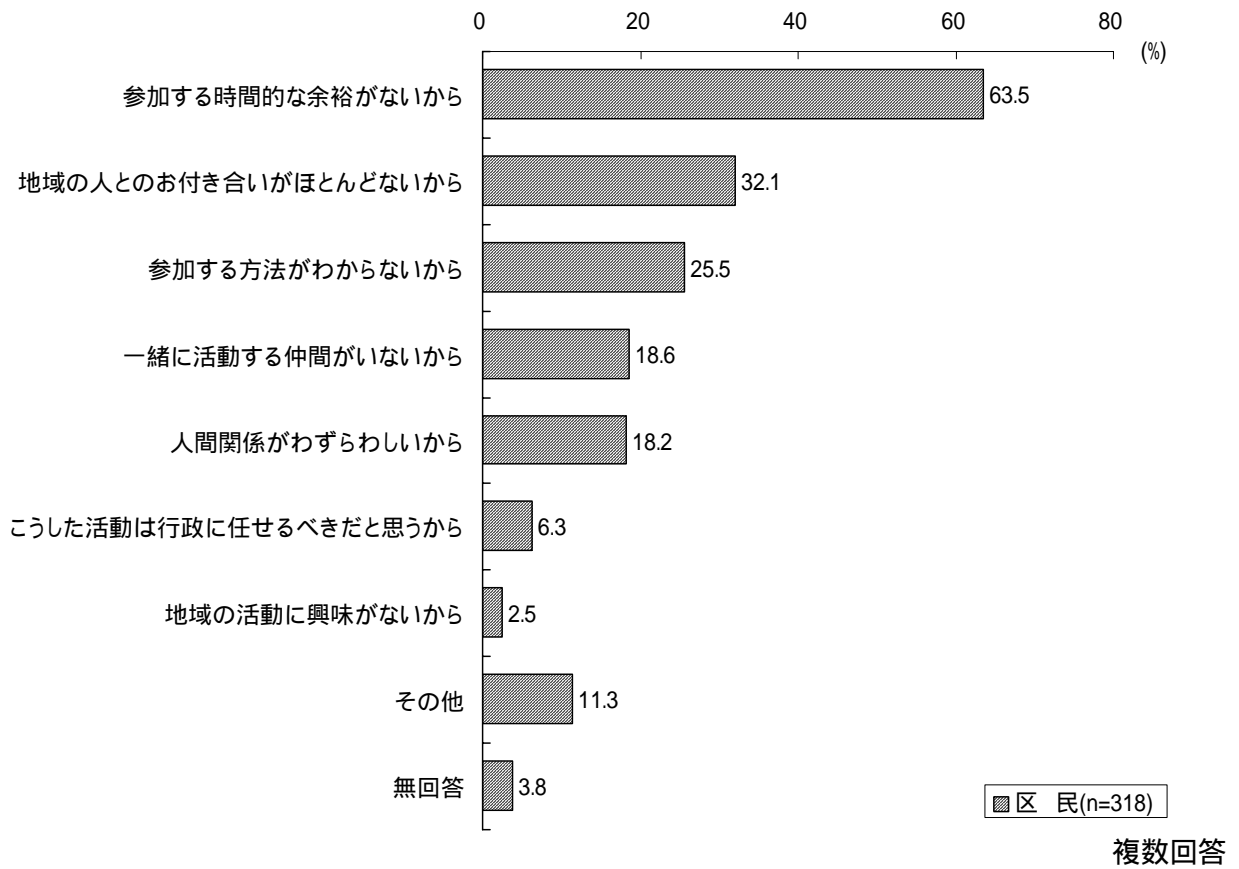
年齢別にみると、全体での割合が高い「地域の中で助け合うことが大切だと思うから」については、60～69歳、70歳以上では割合が低い（それぞれ60.0%、32.7%）。また、「地域の役に立つことで、やりがいや生きがいを感じるから」については特に30～39歳、40～49歳での割合が高くなっている（それぞれ46.8%、38.2%）。「活動そのものに興味があるから」での割合が高いのは60～69歳（30.0%）、「地域の中でのお付き合いが楽しいから」での割合が高いのは20～29歳（42.4%）、30～39歳（30.6%）、40～49歳（36.4%）となっている。

	件数	かこ地域 らとの がの中 大切で だ助け と思合 うう	合地 い域 がの 楽中 しで いのお ら付き	がで地 い、域 を感の じり役 るに立 かやつ ら生こ きと	わご れ近 た所 かや ら友 人 か ら誘	が活 あ動 るそ か ら もの に 興味	そ の 他	無 回 答
全体	426	72.8	15.7	25.6	12.2	19.5	5.6	2.6
20～29歳	28	75.8	42.4	24.2	33.3	21.2	3.0	0.0
30～39歳	43	74.2	30.6	46.8	11.3	21.0	4.8	1.6
40～49歳	70	67.3	36.4	38.2	25.5	12.7	5.5	0.0
50～59歳	101	73.8	24.6	21.3	13.1	18.0	8.2	3.3
60～69歳	91	60.0	16.0	32.0	18.0	30.0	22.0	0.0
70歳以上	85	32.7	7.3	25.5	18.2	9.1	23.6	16.4

複数回答

(3) - 参加できない・参加したくない理由

参加できない・参加したくない理由については、「参加する時間的な余裕がないから」が最も多く63.5%、次いで「地域の人とお付き合いがほとんどないから」(32.1%)、「一緒に活動する仲間がないから」(18.6%)、「人間関係がわずらわしいから」(18.2%)と続く。



【居住歴】

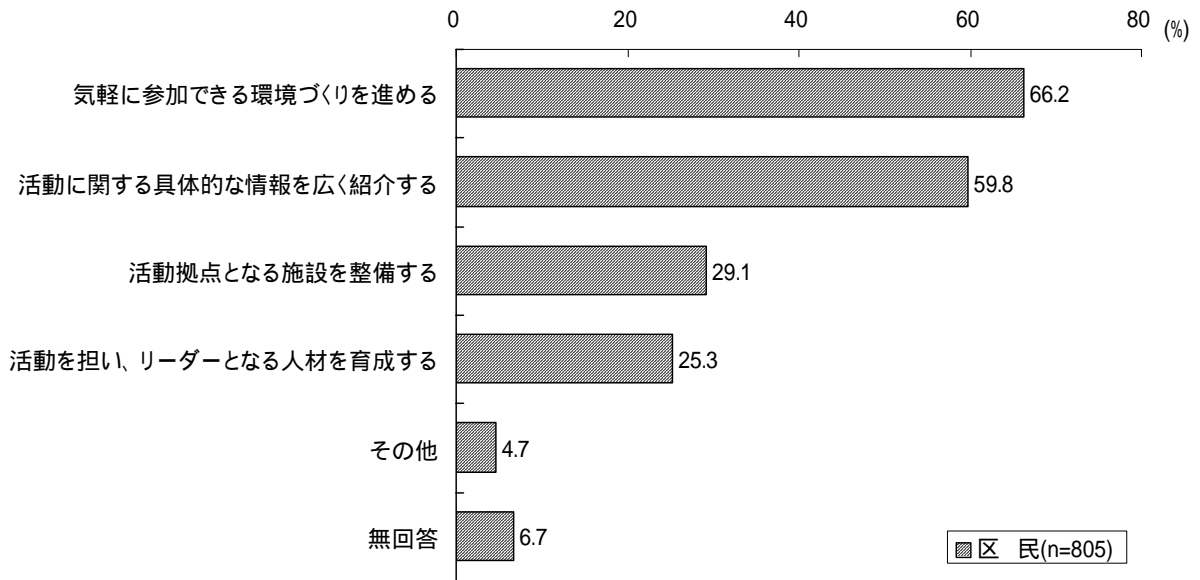
居住歴別にみると、それぞれ「参加する時間的な余裕がないから」の割合が高いものの、その他の理由として豊島区にずっと住んでいる人は「人間関係がわずらわしいから」（26.2%）、他の地域からきた人は「地域の人との付き合いがほとんどないから」（35.8%）、「一緒に活動する仲間がいないから」（21.9%）、「参加する方法がわからないから」（28.9%）の割合がそれぞれ高くなっている。

	件数	らな参加する時間的	わ参加する方が	ん付地合のいい人がほと	ら仲間緒に活な動いすかる	ら人間関係がわらず	味地がな活か動らに興	き行こだ政うに思任たうせ活かる動らべは	その他	無回答
全体	318	63.5	25.5	32.1	18.6	18.2	2.5	6.3	11.3	3.8
ずっと住んでいる	126	67.5	20.6	27.0	14.3	26.2	3.2	6.3	10.3	3.2
他の地域からきた	187	61.0	28.9	35.8	21.9	13.4	2.1	6.4	12.3	3.7

複数回答

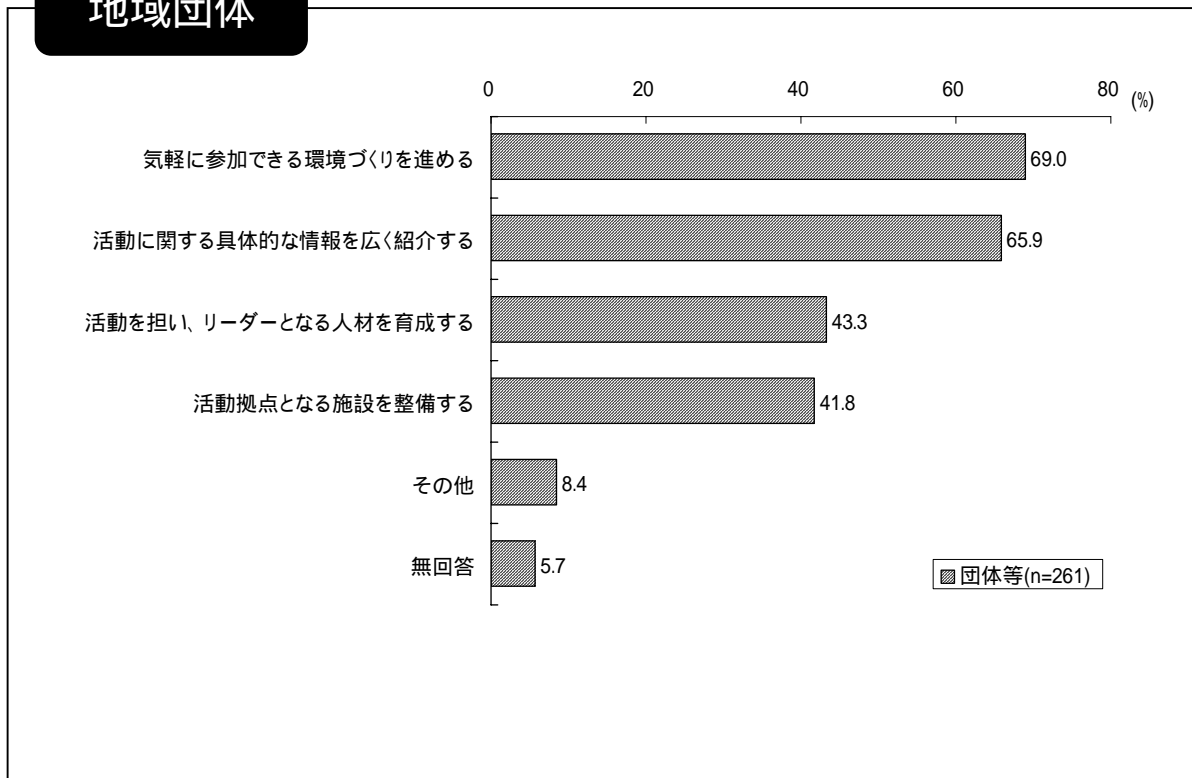
(4) 地域活動により多くの人に参加できるようにするために必要なこと

地域活動への区民参加を推進するために必要なことについては、「気軽に参加できる環境づくりを進める」が最も多く 66.2%あり、「活動に関する具体的な情報を広く紹介する」(59.8%) もほぼ同じ割合を示している。次いで「活動拠点となる施設を整備する」(29.1%)、「活動を担い、リーダーとなる人材を育成する」(25.3%)と続く。



複数回答

地域団体



【年齢別】

年齢別にみると、20～29歳では「活動拠点となる施設を整備する」(37.5%)、40～49歳では「活動に関する具体的な情報を広く紹介する」(70.1%)、50～59歳では「活動に関する具体的な情報を広く紹介する」(64.5%)、「活動を担い、リーダーとなる人材を育成する」(29.1%)、「活動拠点となる施設を整備する」(34.9%)、60～69歳では「活動を担い、リーダーとなる人材を育成する」(29.3%)の割合がそれぞれ全体に比べて高い。

	件数	活動に関する具体的な情報を広く紹介する	活動に関する具体的な情報を広く紹介する	活動を担い、リーダーとなる人材を育成する	活動を担い、リーダーとなる人材を育成する	活動を担い、リーダーとなる人材を育成する	活動を担い、リーダーとなる人材を育成する	その他	無回答
全体	805	59.8	66.2	25.3	29.1	4.7	6.7		
20～29歳	64	62.5	65.6	12.5	37.5	6.3	6.3		
30～39歳	105	63.8	64.8	21.0	29.5	8.6	1.0		
40～49歳	127	70.1	71.7	22.8	25.2	3.1	0.8		
50～59歳	172	64.5	68.6	29.1	34.9	3.5	2.9		
60～69歳	157	55.4	68.2	29.3	29.9	5.1	6.4		
70歳以上	164	48.8	59.8	28.0	22.0	4.3	16.5		

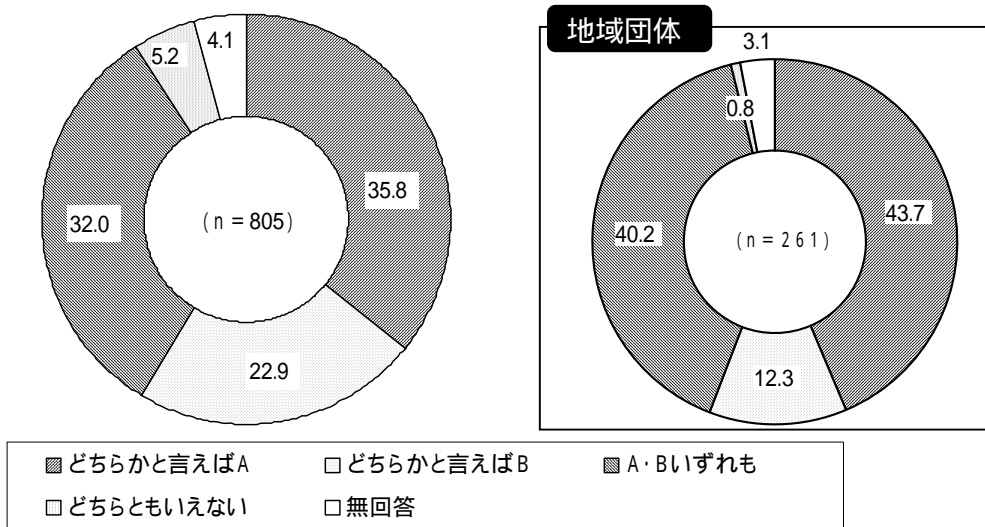
複数回答

(5) 地域の課題を解決していくために活発になるべき地域活動

次のA・Bふたつの組織について、地域における様々な課題を解決していくためにどちらが活発になっていくべきか聞いた。

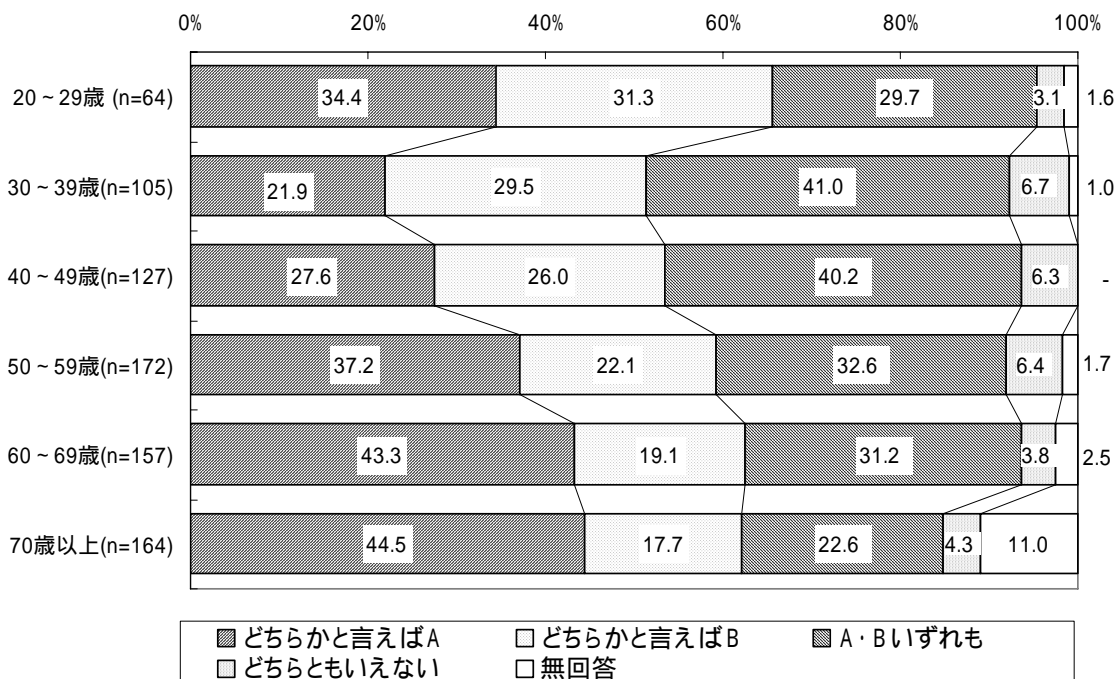
A	町会・自治会等のように一定の地域に暮らす住民同士が力を合わせて活動する組織
B	環境・福祉・教育など、特定のテーマに関心のある人が、住んでいる地域に関わらず集まって活動する組織

地域で活発となっていくべき組織については、「どちらかと言えばA」が35.8%、「どちらかと言えばB」が22.9%、「A・Bいずれも」が32.0%、「どちらともいえない」が5.2%となっている。



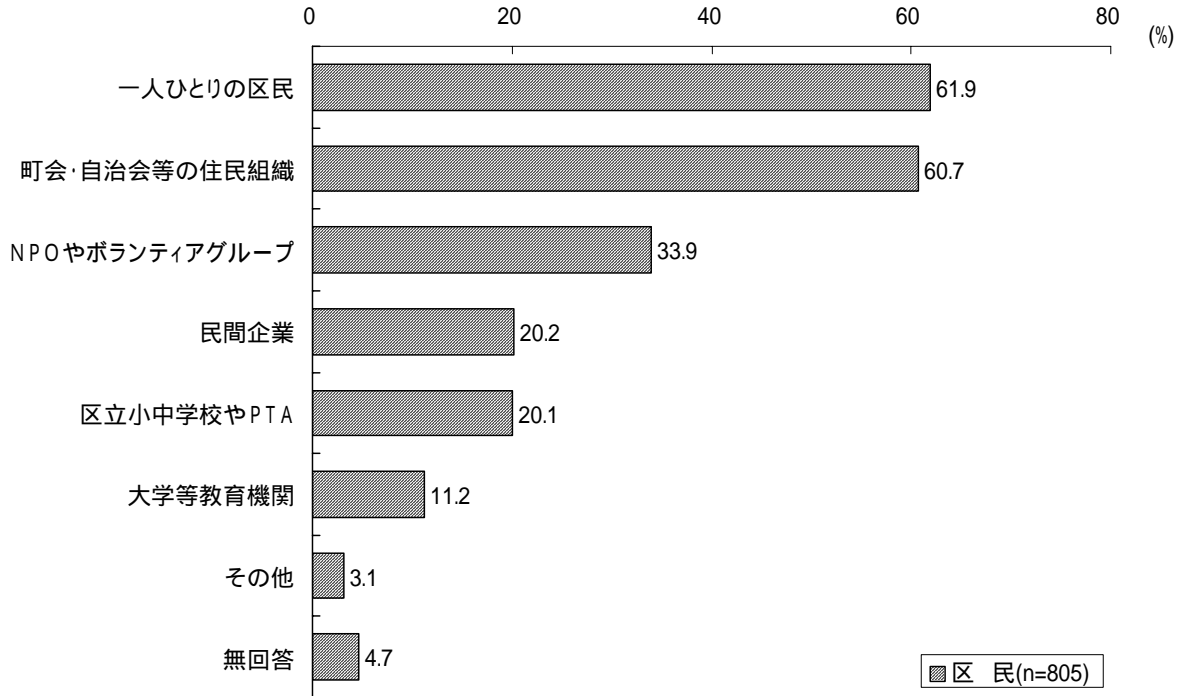
【年齢別】

年齢別にみると、20～29歳で「どちらかと言えばB」(31.3%)、30～39歳、40～49歳では「A・Bいずれも」(それぞれ41.0%、40.2%)、50～59歳は全体とほぼ同じ傾向だが「どちらかと言えばA」の割合が高く(37.2%)、60歳以上では明らかに「どちらかと言えばA」の割合が高くなる傾向にある。

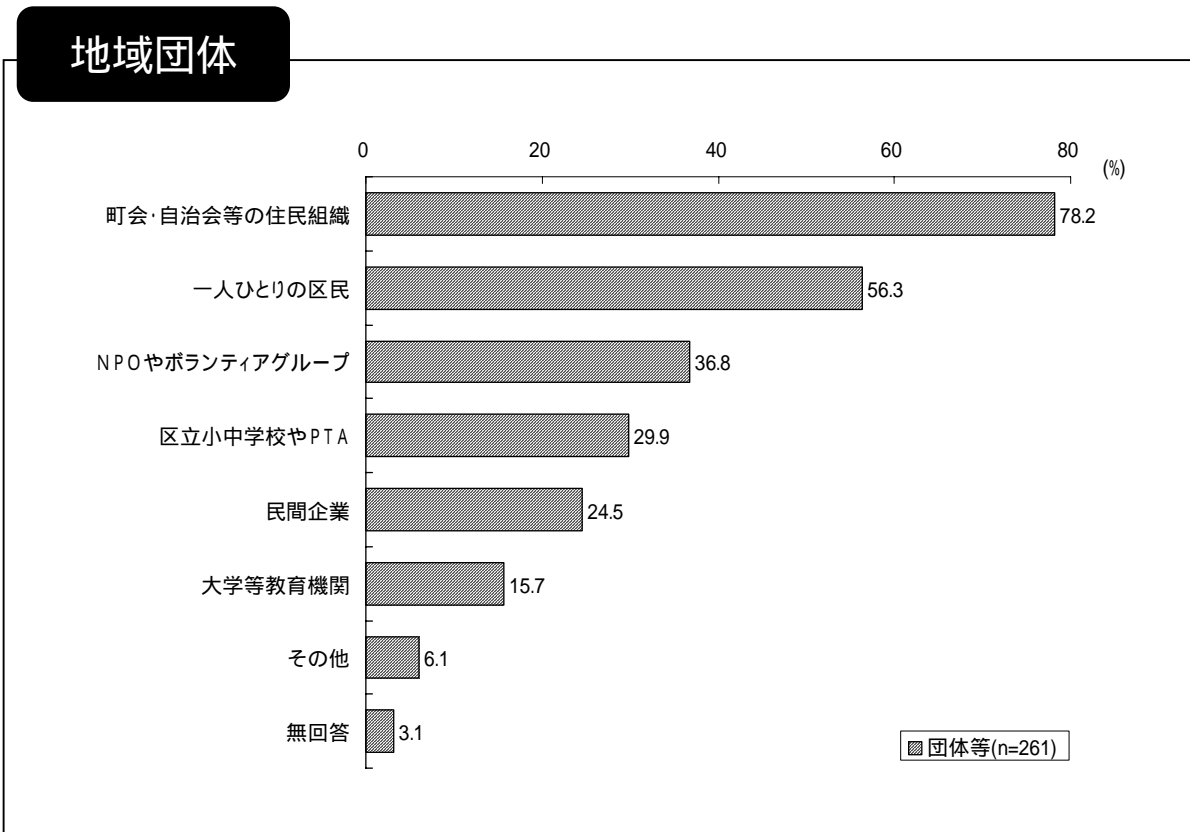


(6) これからの地域のまちづくりを担っていく主体

地域のまちづくりを担っていく主体については、「一人ひとりの区民」が最も多く(61.9%)、「町会・自治会等の住民組織」もほぼ同じ割合を示している。次いで、「NPOやボランティアグループ」(33.9%)、「民間企業」(20.2%)、「区立小学校やPTA」(20.1%)が2割~3割台で続く。



複数回答



【年齢別】

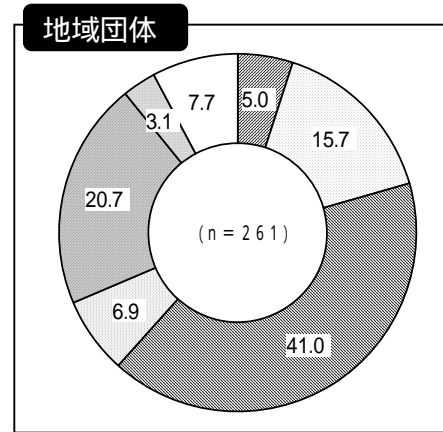
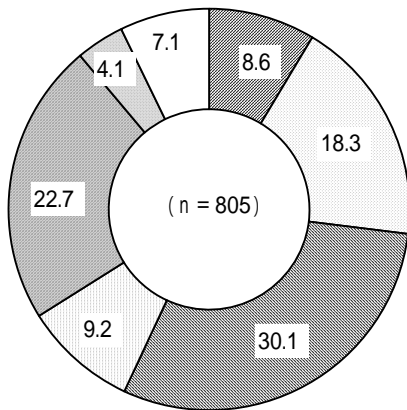
年齢別にみると、20～29歳では「区立小学校やPTA」(28.1%)、「民間企業」(34.4%)、30～39歳では「一人ひとりの区民」(73.3%)、「民間企業」(28.6%)、40～49歳では「区立小学校やPTA」(26.8%)、50～59歳では「一人ひとりの区民」(64.5%)、60～69歳、70歳以上では「町会・自治会等の住民組織」(それぞれ70.1%、69.5%)の割合がそれぞれ全体に比べて高い。

	件数	一人ひとりの区民	町会・自治会等の住民組織	区立小学校やPTA	NPOやボランティア	民間企業	大学等教育機関	その他	無回答
全体	805	61.9	60.7	20.1	33.9	20.2	11.2	3.1	4.7
20～29歳	64	65.6	53.1	28.1	31.3	34.4	10.9	0.0	3.1
30～39歳	105	73.3	49.5	14.3	35.2	28.6	14.3	6.7	3.8
40～49歳	127	61.4	59.8	26.8	35.4	26.0	10.2	1.6	1.6
50～59歳	172	64.5	55.2	19.8	34.9	16.3	10.5	4.1	2.3
60～69歳	157	61.8	70.1	17.8	36.9	15.3	10.8	3.8	3.8
70歳以上	164	53.7	69.5	17.7	30.5	14.6	11.6	1.8	7.9

複数回答

(7) 地域の課題を解決する場合の住民と行政の役割分担のあり方

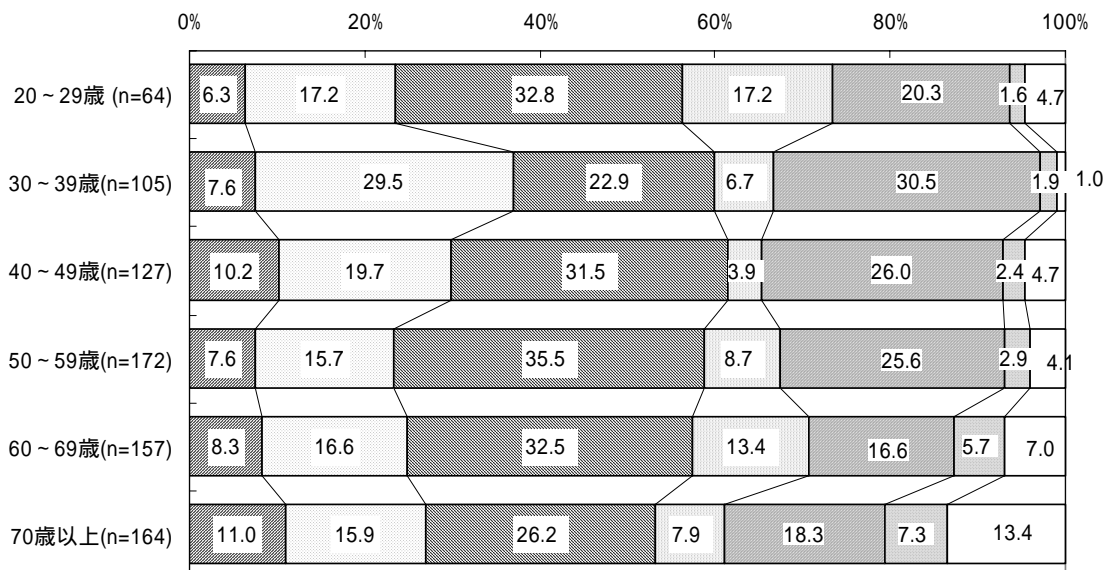
地域課題を解決する場合の住民と行政との役割分担については、“行政が行う”が26.9%（「基本的に行政が行う」8.6% + 「区民の参加を広げながら行政主体で行う」18.3%）、「住民と行政とが協力し、協働して行う」が30.1%、「住民が主体的に活動し、行政はそれを支援する」が9.2%、「課題の内容によって、住民主体か行政主体かを区別する」が22.7%、「よくわからない」が4.1%となっている。



- 基本的に行政が行う
- 住民と行政とが協力し、協働して行う
- 課題の内容によって、住民主体か行政主体かを区別する
- 無回答
- 区民の参加を広げながら行政主体で行う
- 住民が主体的に活動し、行政はそれを支援する
- よくわからない

【年齢別】

年齢別にみると、20～29歳では「住民が主体的に活動し、行政はそれを支援する」(17.2%)、30～39歳では「行政が行う」(37.1%)、「課題の内容によって、住民主体か行政主体かを区別する」(30.5%)、40～49歳でも「課題の内容によって、住民主体か行政主体かを区別する」(26.0%)、50～59歳で「住民と行政とが協力し、協働して行う」(35.5%)の割合がそれぞれ全体に比べて高い。

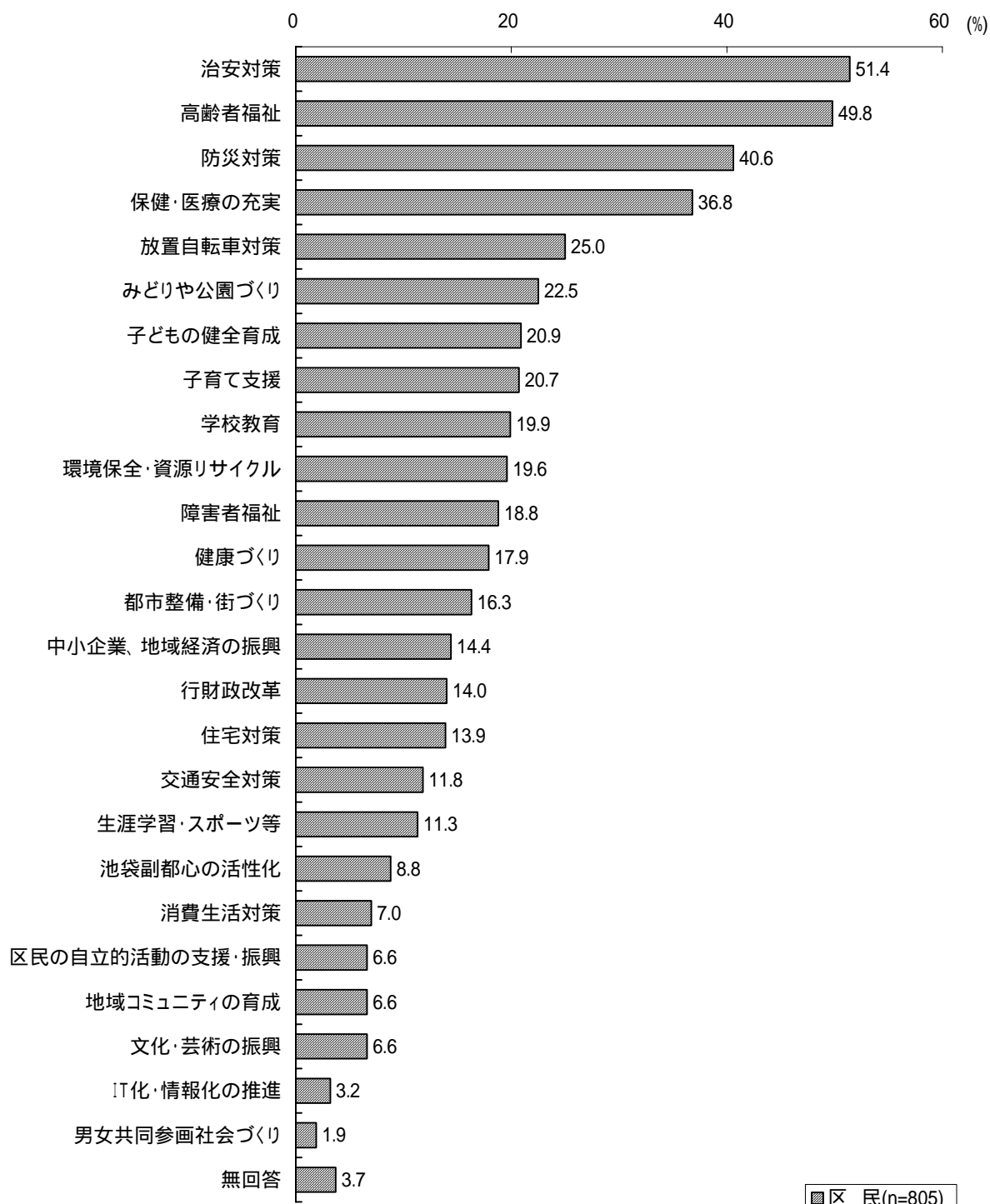


- 基本的に行政が行う
- 区民の参加を広げながら行政主体で行う
- 住民と行政とが協力し、協働して行う
- 住民が主体的に活動し、行政はそれを支援する
- 課題の内容によって、住民主体か行政主体かを区別する
- よくわからない
- 無回答

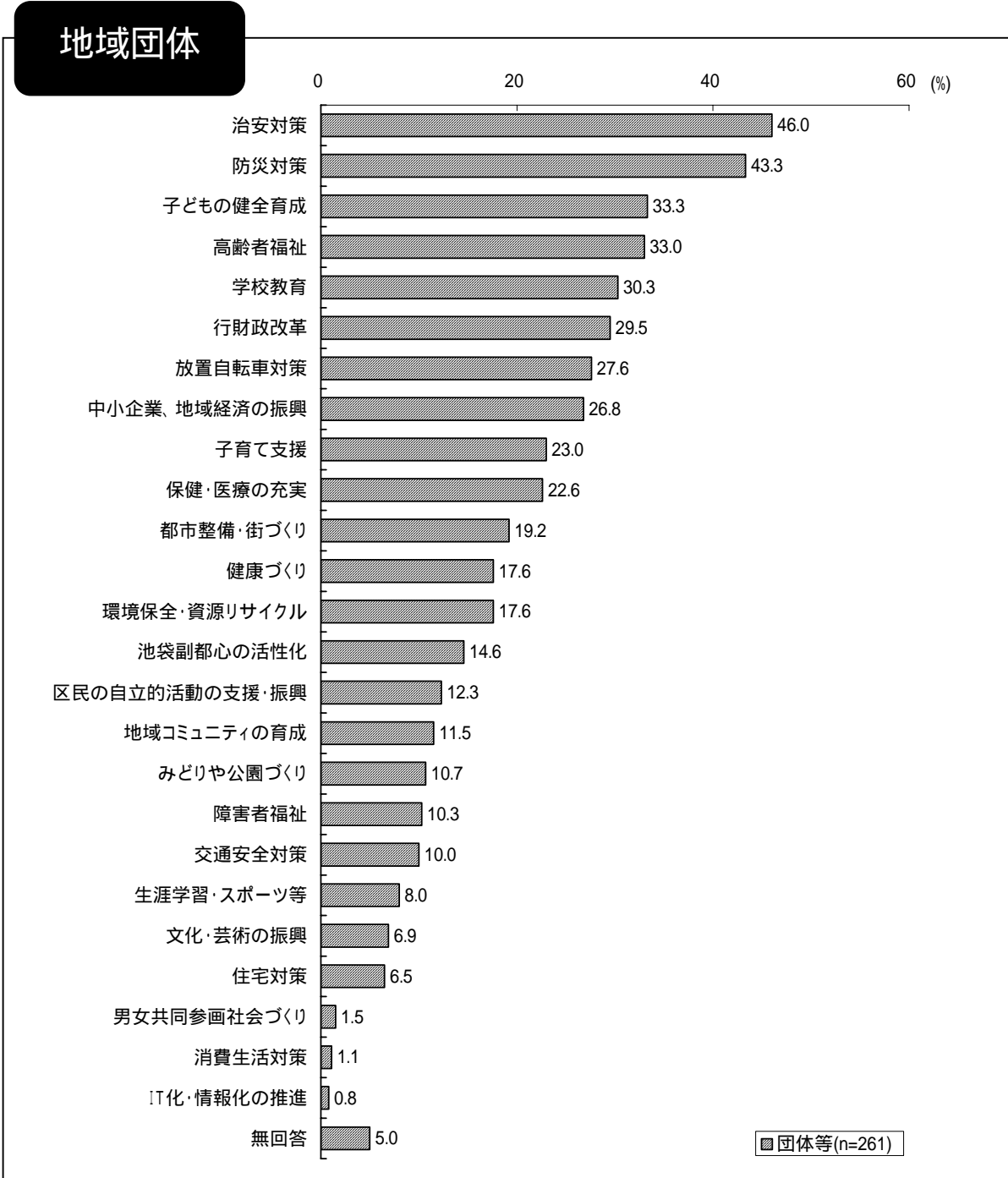
第4章 区政について

(1) 区政全般への要望

区政全般を考えた場合、特に力を入れて欲しい分野について聞いたところ、「治安対策」が最も多く 51.4%あり、「高齢者福祉」(49.8%)、「防災対策」(40.6%)も4割台を示している。次いで、「保健・医療の充実」(36.8%)、「放置自転車対策」(25.0%)、「みどりや公園づくり」(22.5%)、「子どもの健全育成」(20.9%)、「子育て支援」(20.7%)「学校教育」(19.9%)と続く。



5つを選択



【年齢別】

年齢別にみると、20～29歳では「子育て支援」(32.8%)、「環境保全・資源リサイクル」(31.3%)、「都市整備・街づくり」(26.6%)、「池袋副都心の活性化」(20.3%)、「文化・芸術の振興」(17.2%)、30～39歳では「子育て支援」(34.3%)、「環境保全・資源リサイクル」(31.4%)、「住宅対策」(20.0%)、40～49歳では「学校教育」(30.7%)、「みどりや公園づくり」(33.9%)、「防災対策」(52.0%)、「治安対策」(63.0%)、50～59歳では「中小企業、地域経済の振興」(21.5%)、60～69歳では「健康づくり」(24.8%)、「高齢者福祉」(66.9%)、「区民の自立的活動の支援」(11.5%)、70歳以上では「健康づくり」(26.8%)、「高齢者福祉」(59.8%)、「保健・医療の充実」(43.3%)、「交通安全対策」(18.9%)の割合がそれぞれ全体に比べて高い。

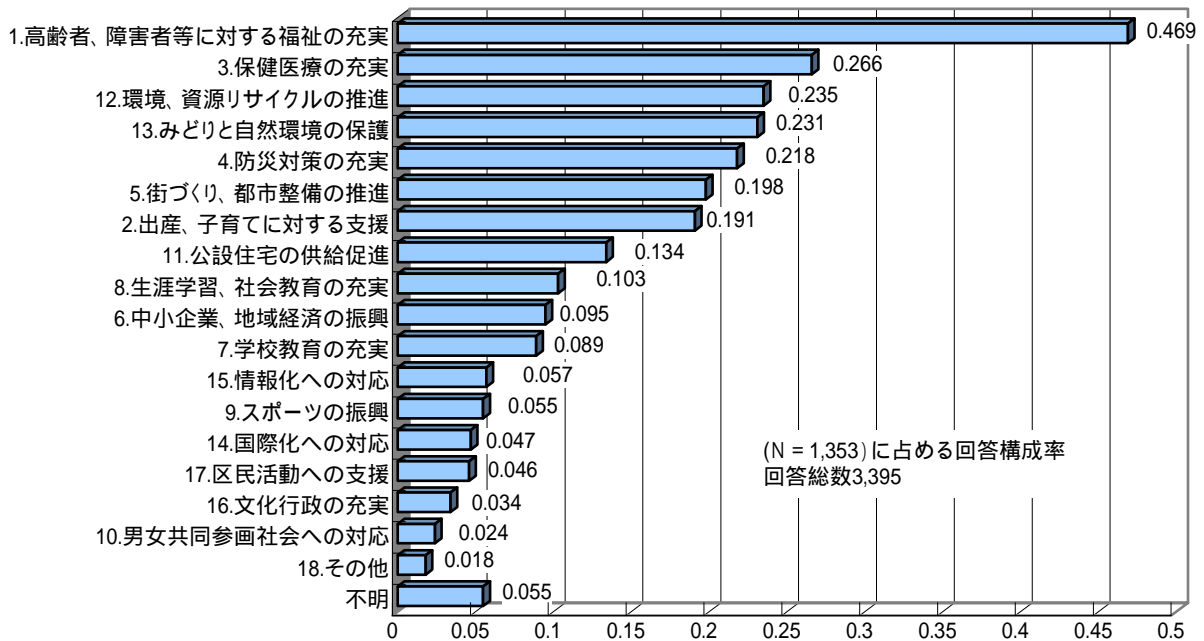
	件数	健康づくり	高齢者福祉	障害者福祉	保健・医療の充実	子どもの健全育成	子育て支援	学校教育	区民の自立的活動の支援・振興	地域コミュニティの育成	男女平等参画社会づくり	みどりや公園づくり	環境保全・資源リサイクル	都市整備・街づくり
全体	805	17.9	49.8	18.8	36.8	20.9	20.7	19.9	6.6	6.6	1.9	22.5	19.6	16.3
20～29歳	64	6.3	28.1	20.3	28.1	18.8	32.8	18.8	0.0	3.1	6.3	26.6	31.3	26.6
30～39歳	105	12.4	36.2	18.1	35.2	23.8	34.3	16.2	4.8	6.7	1.9	25.7	31.4	22.9
40～49歳	127	10.2	40.2	16.5	33.9	24.4	21.3	30.7	3.1	7.1	3.1	33.9	20.5	13.4
50～59歳	172	17.4	48.3	22.1	37.2	18.6	18.6	10.5	9.9	8.7	2.3	18.6	25.0	18.0
60～69歳	157	24.8	66.9	17.8	36.9	22.3	20.4	24.2	11.5	7.6	0.6	19.1	12.1	14.6
70歳以上	164	26.8	59.8	17.1	43.3	19.5	9.8	20.7	4.9	4.3	0.0	17.7	9.8	11.0
	件数	住宅対策	交通安全対策	放置自転車対策	池袋副都心の活性化	中小企業、地域経済の振興	消費生活対策	防災対策	治安対策	文化・芸術の振興	生涯学習・スポーツ等	IT化・情報化の推進	行財政改革	無回答
全体	805	13.9	11.8	25.0	8.8	14.4	7.0	40.6	51.4	6.6	11.3	3.2	14.0	3.7
20～29歳	64	18.8	10.9	20.3	20.3	9.4	6.3	37.5	53.1	17.2	12.5	7.8	10.9	4.7
30～39歳	105	20.0	9.5	19.0	6.7	11.4	8.6	38.1	53.3	2.9	11.4	2.9	11.4	4.8
40～49歳	127	13.4	7.1	22.0	9.4	13.4	7.1	52.0	63.0	4.7	11.8	3.1	11.0	1.6
50～59歳	172	18.0	8.1	27.3	8.1	21.5	5.2	39.5	51.2	7.0	15.1	3.5	19.2	1.7
60～69歳	157	13.4	14.6	26.8	7.0	17.8	7.6	33.1	47.1	4.5	8.9	3.2	15.3	1.3
70歳以上	164	4.9	18.9	28.7	7.3	9.1	7.9	43.9	48.2	8.5	7.3	1.8	14.0	6.7

5つを選択

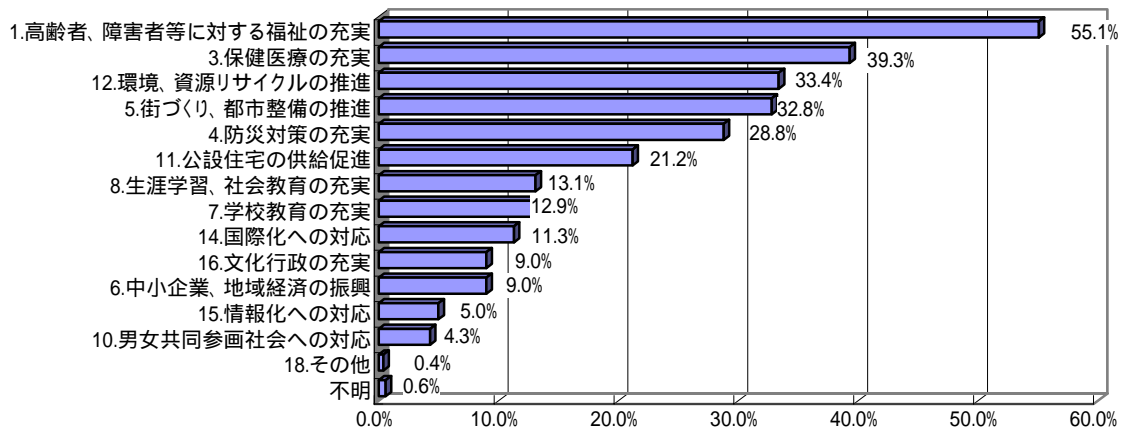
平成 14 年豊島区住民意識置意向調査より

【問】今後の区の施策として、あなたが特に力を入れてほしいのはどのようなことでしょうか。
（ は3つまで）

今後、特に力を入れて欲しい施策



平成4年調査：今後特に力を入れてほしい施策



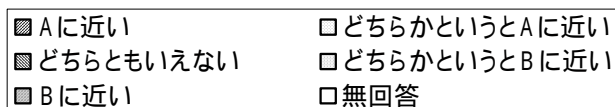
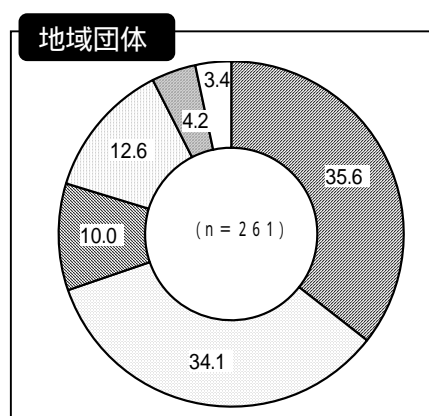
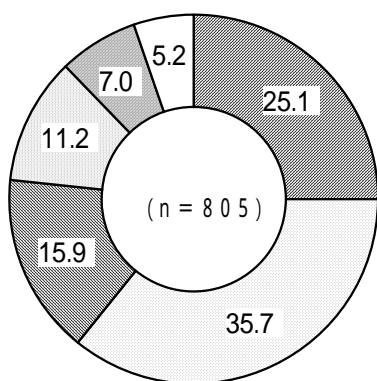
(2) これからの行政のあり方

行政と民間の役割分担

これからの行政と民間の役割分担について次のAとBのどちらの意見に近いかを聞いた。

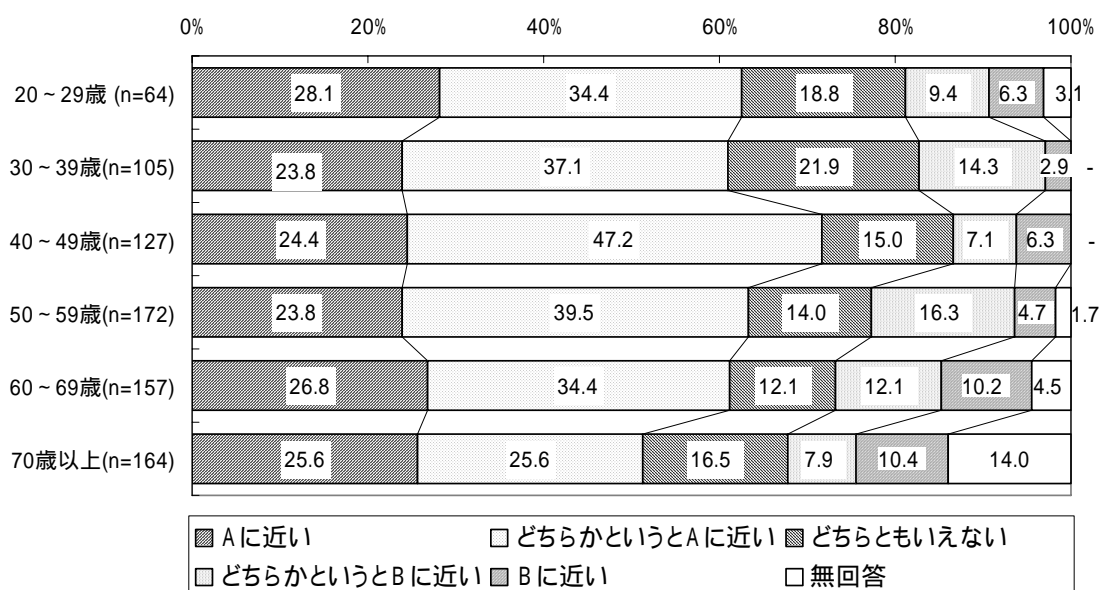
分野	Aの意見	Bの意見
行政と民間の役割	民間でできることは民間に任せ、行政は行政でなければならないことに集中すべきだ	民間にサービスの提供を任せることには不安があるので、これまで通り行政が担っていくべきだ

「行政は行政でなければならないことに集中すること」に関しては、考え方が近いとする割合が60.8%（「近い」(25.1%) + やや近い(35.7%)）であり、「民間にサービスの提供を任せることには不安があるので、これまで通り行政が担っていくべきだ」は18.2%（「近い」(7.0%) + やや近い(11.2%)）となっている。



【年齢別】

行政の役割について年齢別にみると、40～49歳では『民間でできることは民間に任せ、行政は行政でなければならないことに集中するべきだ』と回答した人が全体に比べて高く71.6%となっている。

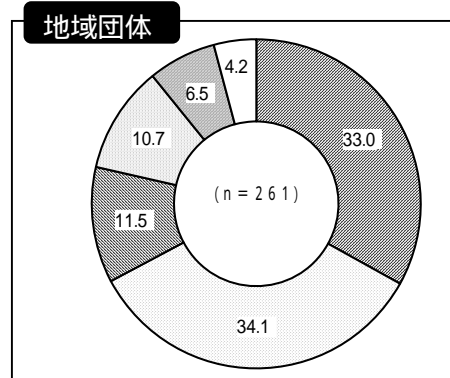
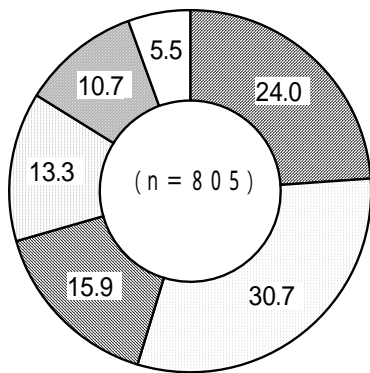


行政サービスのあり方

これからの行政サービスのあり方について次のAとBのどちらの意見に近いかを聞いた。

分野	Aの意見	Bの意見
優先度を考慮したメリハリのあるサービス	財源が限られる中では、行政はあれもこれもではなく、優先度や重要度を考慮し、メリハリをつけてサービスを行うべきだ	行政は、区民のニーズに応じて広く網羅的にサービスを行うべきだ

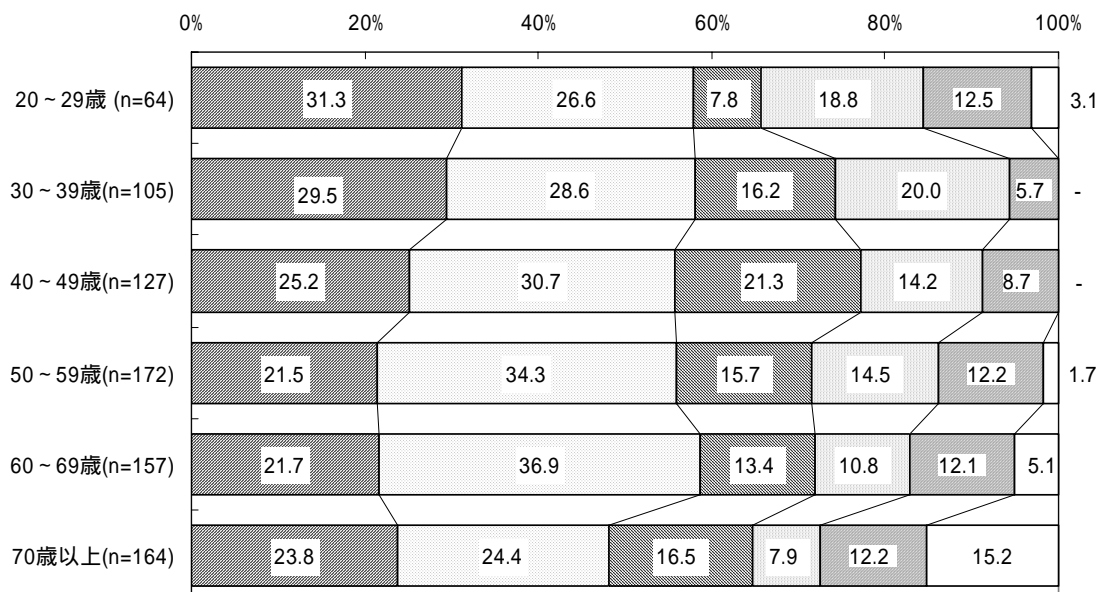
「優先度や重要度を考慮し、メリハリをつけてサービスを行うべきだ」は、考え方が近いとする割合が 54.7%（「近い」(24.0%) + やや近い (30.7%)）であり、「行政は、区民のニーズに応じて広く網羅的にサービスを行うべきだ」は 24.0%（「近い」(10.7%) + やや近い (13.3%)）となっている。



- Aに近い
- どちらかというともいえない
- Bに近い
- どちらかというともAに近い
- どちらかというともBに近い
- 無回答

【年齢別】

優先度や重要度の明確化によるメリハリのあるサービスについて年齢別にみると、あまり大きな違いはみられないものの、20～29歳、30～39歳でより『行政は区民ニーズに応じて広く網羅的にサービスを行うべきだ』と考える人の割合が高くなっている。



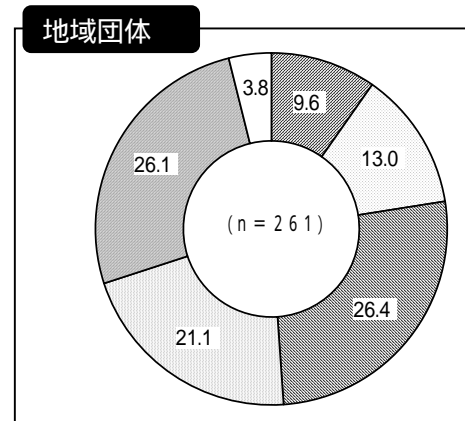
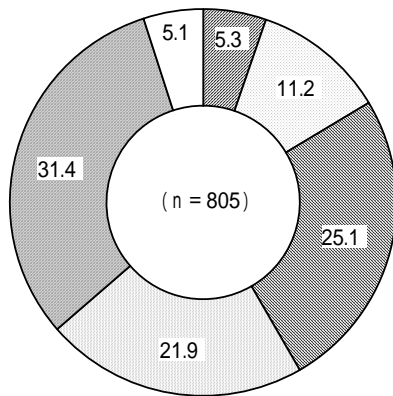
- Aに近い
- どちらかというともAに近い
- どちらかというともBに近い
- どちらかというともBに近い
- Bに近い
- 無回答

行政サービスと負担の関係

これからの行政サービスと負担の関係について次のAとBのどちらの意見に近いかを聞いた。

分野	Aの意見	Bの意見
税金等の負担増	行政サービスの水準が向上するなら税金等の負担が増えてもしかたない	行政サービスの規模や水準を見直してでも税金等の負担が増えないようにすべきだ

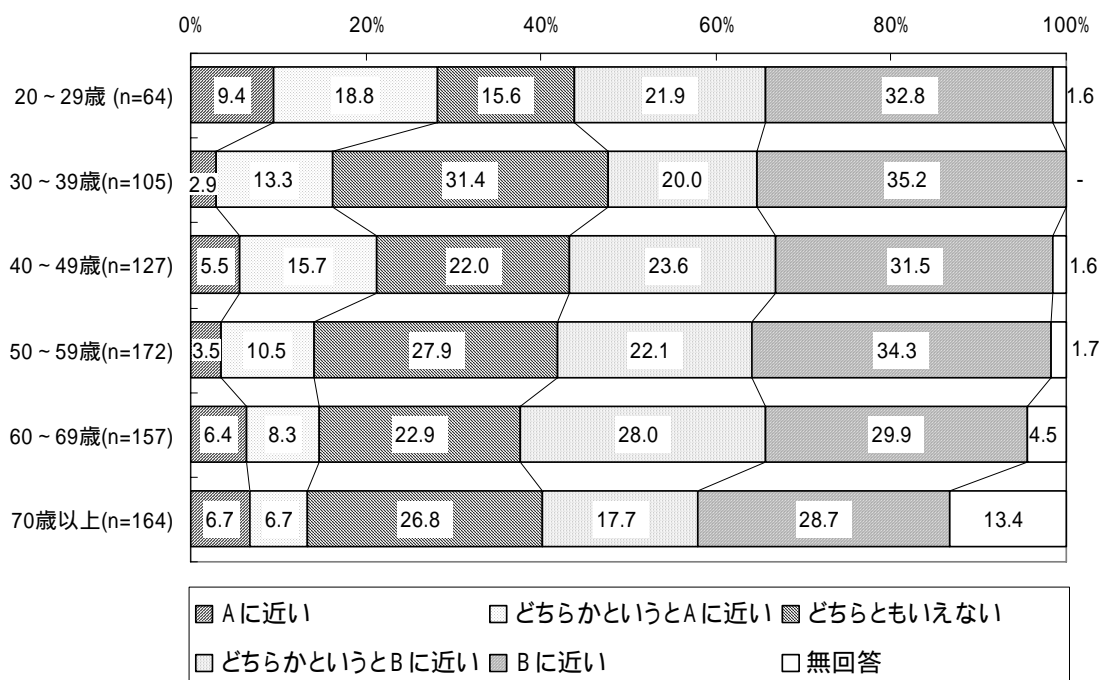
「行政サービスの水準が向上するなら税金等の負担が増えてもしかたない」は、考え方が近いとする割合が 16.5%（「近い」(5.3%) + やや近い(11.2%)）であり、「行政サービスの規模や水準を見直してでも税金等の負担が増えないようにすべきだ」は 53.3%（「近い」(31.4%) + やや近い(21.9%)）となっている。



■ Aに近い	□ どちらかというAに近い	■ どちらともいえない
□ どちらかというBに近い	□ Bに近い	□ 無回答

【年齢別】

税金の負担について年齢別にみると、20～29歳では『行政サービスの水準が向上するなら税金等の負担が増えてもしかたない』と回答した人が全体に比べて高く 28.2%となっている。

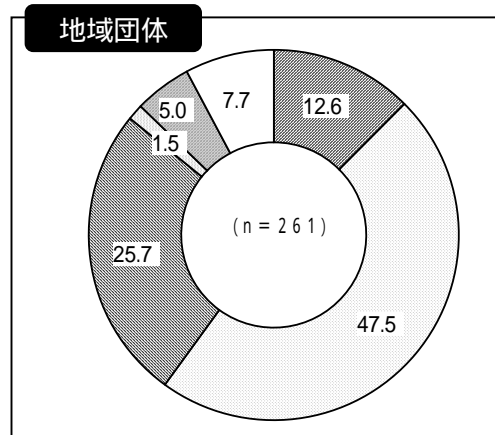
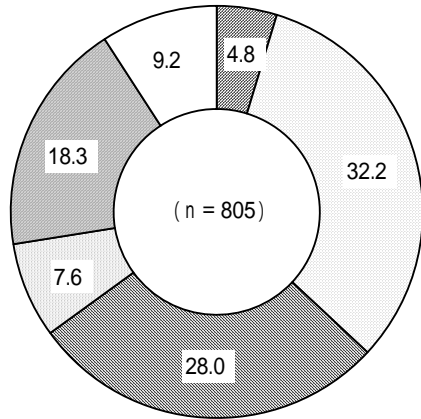


■ Aに近い	□ どちらかというAに近い	■ どちらともいえない
□ どちらかというBに近い	□ Bに近い	□ 無回答

(3) 区民参加

区政への参加意向

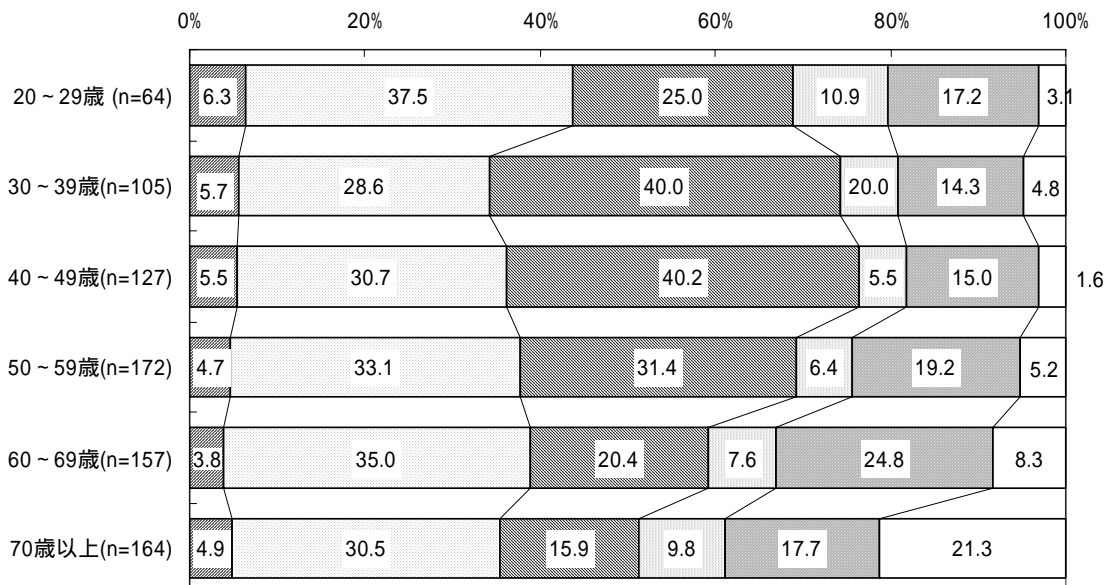
区政に意見を反映させる機会があれば参加したいかと聞いたところ、「参加したい」が65.0%（「積極的に参加したい」4.8% + 「テーマや関心によっては参加したい」32.2% + 「参加したい気持ちはあるが時間がないなどの理由で難しい」28.0%）、「参加したくない」が7.6%、「どちらとも言えない」が18.3%となっている。



- 積極的に参加したい
- 参加したい気持ちはあるが時間がないなどの理由で難しい
- テーマや関心によっては参加したい
- 参加したくない
- どちらとも言えない
- 無回答

【年齢別】

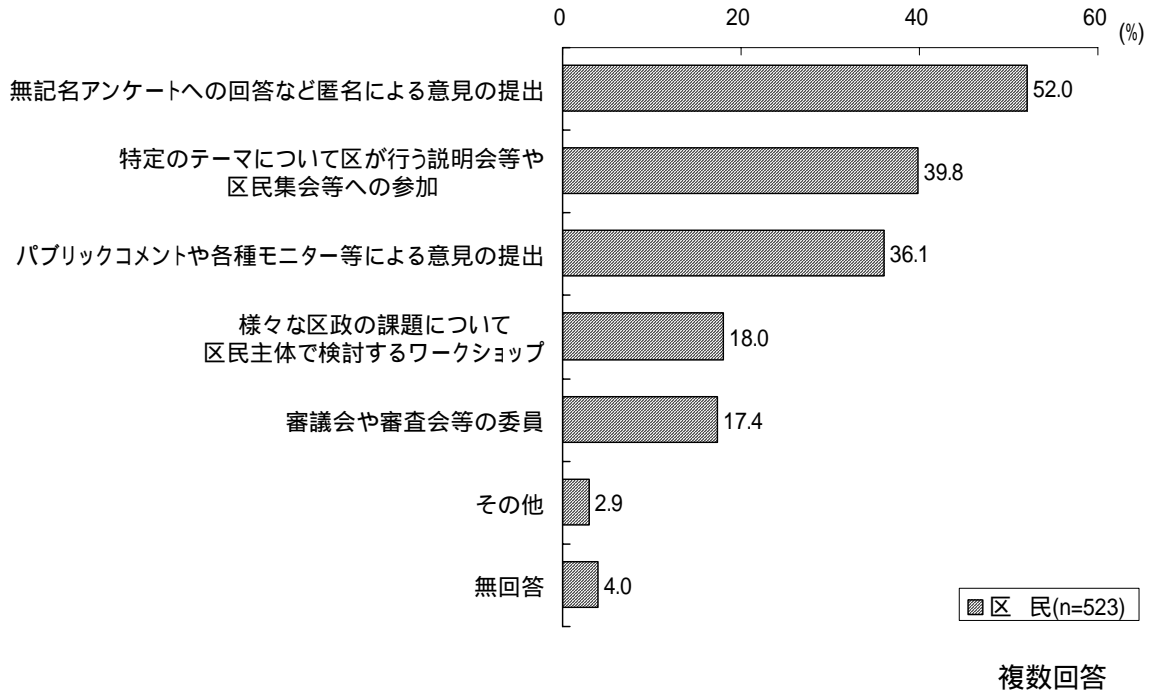
年齢別にみると、20～29歳、30～39歳、40～49歳では「参加したい」の割合が全体に比べて高くそれぞれ68.8%、74.3%、76.4%となっている。特に20～29歳では「積極的に参加したい」や「テーマや関心によっては参加したい」の割合が高めである。



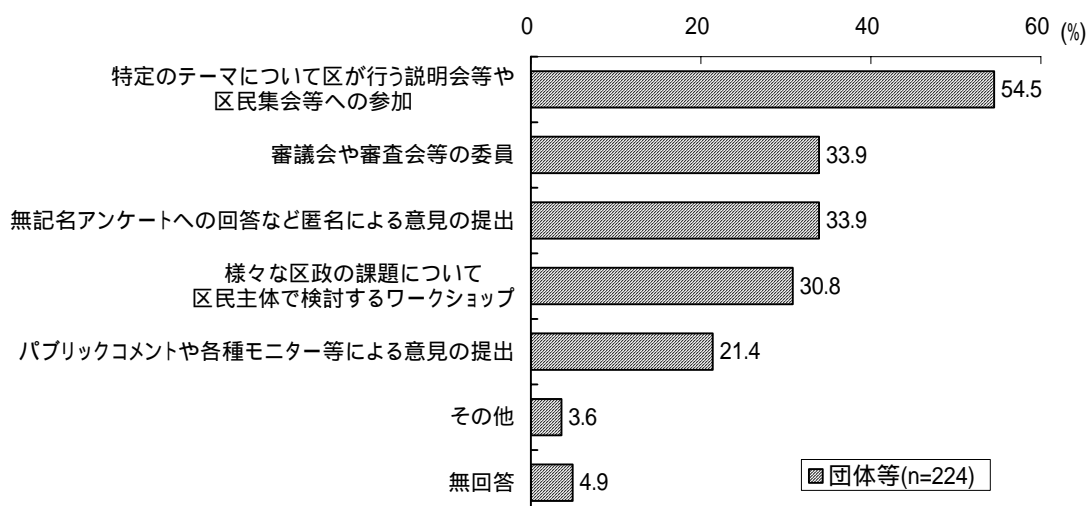
- 積極的に参加したい
- テーマや関心によっては参加したい
- 参加したい気持ちはあるが時間がないなどの理由で難しい
- 参加したくない
- どちらとも言えない
- 無回答

区政への参加形態

で参加意向があると答えた方にどのような形なら参加してもよいか聞いたところ、「無記名アンケートへの回答など匿名による意見の提出」が最も多く 52.0%である。次いで「特定のテーマについて区が行う説明会等や区民集会等への参加」(39.8%)、「パブリックコメントや各種モニター等による意見の提出」(36.1%)、「様々な区政の課題について区民主体で検討するワークショップ」(18.0%)、「区の基本的な計画や施策等を検討するための審議会や審査会等の委員」(17.4%)の順となっている。



地域団体



【年齢別】

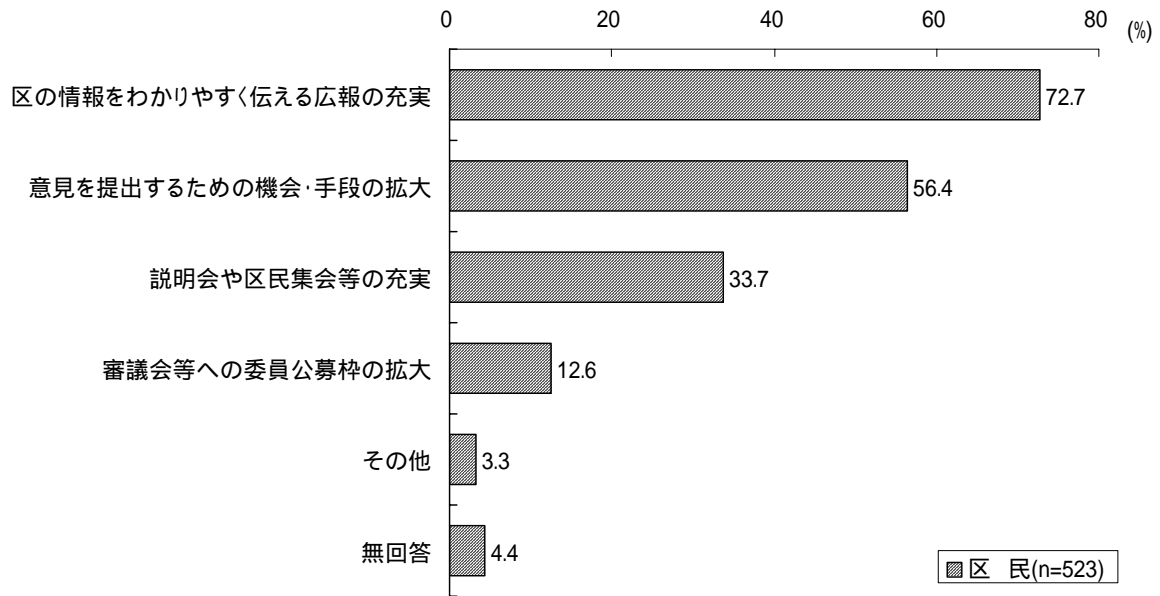
年齢別にみると、20～29歳、30～39歳では「パブリックコメントや各種モニター等による意見の提出」(それぞれ56.8%、60.3%)、「無記名アンケートへの回答など匿名による意見の提出」(それぞれ68.2%、62.8%)の割合がそれぞれ全体に比べて高く、40～49歳でも「パブリックコメントや各種モニター等による意見の提出」(44.3%)の割合が全体に比べて高い。一方、50～59歳、60～69歳では「様々な区政の課題について区民主体で検討するワークショップ」(それぞれ22.7%、22.6%)、「特定のテーマについて区が行う説明会等や区民集会等への参加」(それぞれ42.9%、49.5%)の割合が全体に比べて高い。70歳以上においても「特定のテーマについて区が行う説明会等や区民集会等への参加」(44.0%)の割合が高くなっている。

	件数	員審議会や審査会等の委員	るいてワークショップで検討する	様々な区政の課題について	民区特定のテーマについて	意各パ見回無記名アンケートへの	見回無記名アンケートへの	その他	無回答
全体	523	17.4	18.0	39.8	36.1	52.0	2.9	4.0	
20～29歳	44	11.4	9.1	31.8	56.8	68.2	4.5	0.0	
30～39歳	78	23.1	15.4	35.9	60.3	62.8	2.6	1.3	
40～49歳	97	19.6	17.5	29.9	44.3	53.6	0.0	4.1	
50～59歳	119	16.8	22.7	42.9	28.6	52.1	1.7	2.5	
60～69歳	93	15.1	22.6	49.5	17.2	39.8	3.2	4.3	
70歳以上	84	15.5	11.9	44.0	25.0	45.2	7.1	10.7	

複数回答

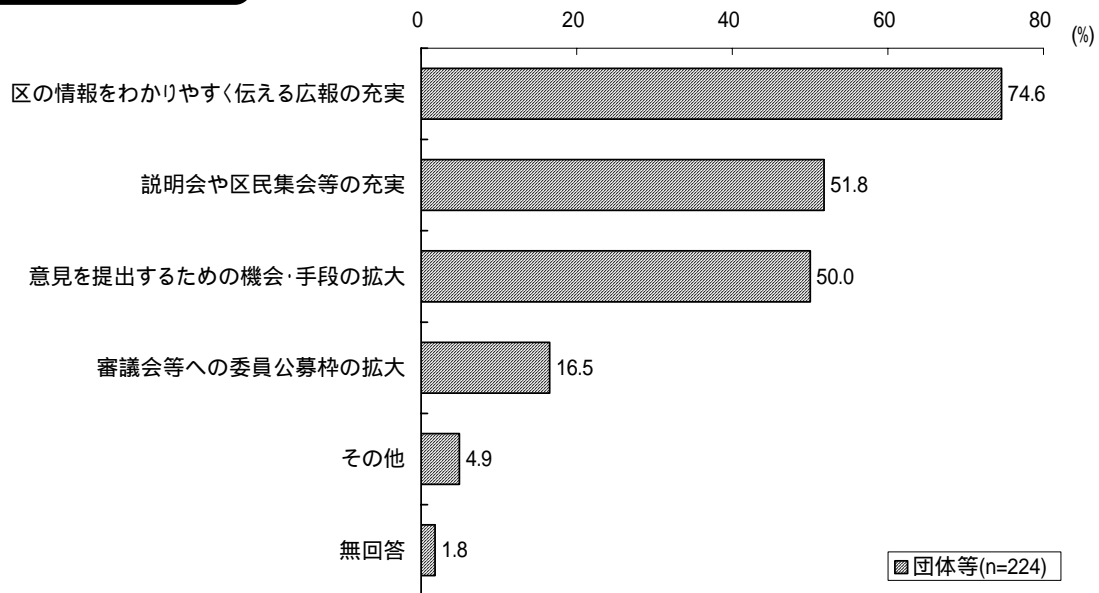
区政への区民参加を促進するために必要なこと

で参加意向があると答えた方に区政への区民参加を促進するために必要なことについて聞いたところ、「区の情報をわかりやすく伝える広報の充実」が最も多く 72.7%あり、次いで「意見を提出するための機会・手段の拡大」(56.4%)、「説明会や区民集会等の充実」(33.7%)、「審議会等への委員公募枠の拡大」(12.6%)の順となっている。



複数回答

地域団体



【年齢別】

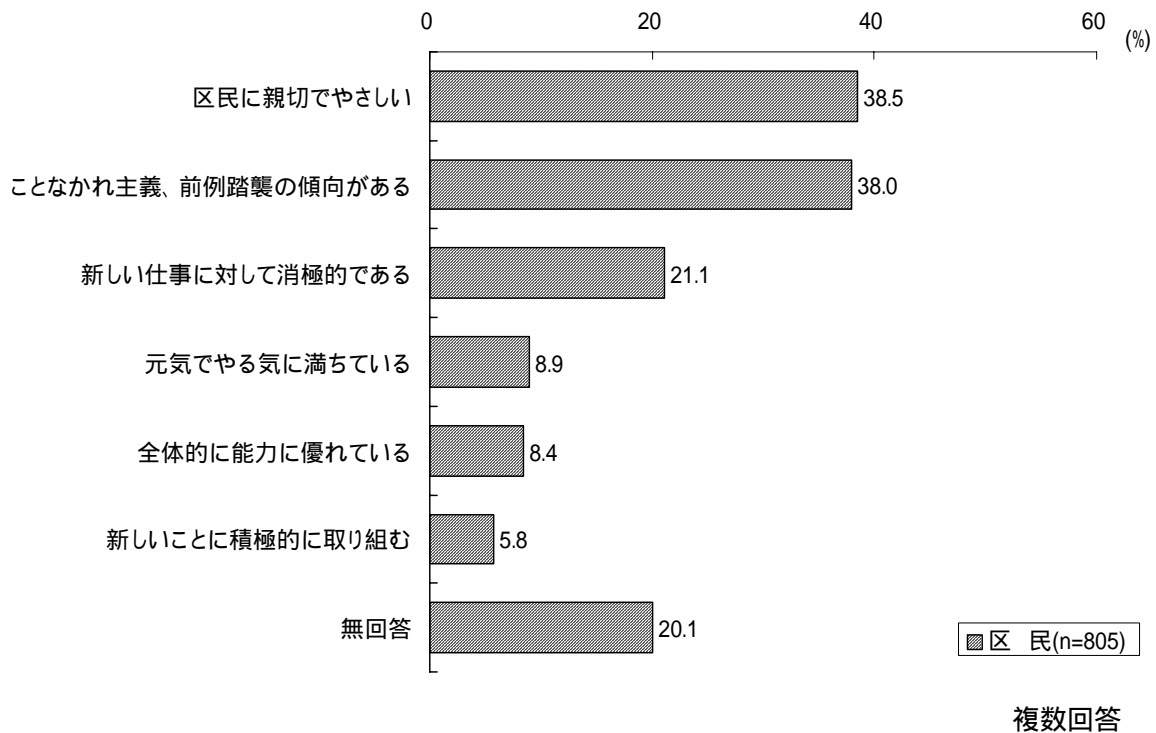
年齢別にみると、20～29歳、30～39歳、40～49歳では「意見を提出するための機会・手段の拡大」(それぞれ77.3%、67.9%、64.9%)、60～69歳、70歳以上では「説明会や区民集会等の充実」(それぞれ38.7%、47.6%)の割合がそれぞれ全体に比べて高い。50～59歳ではすべての項目について全体の割合を上回っている。

	件数	区の情報を報わたりやすくなる	意見を提出するための機会・手段の拡大	審議会等への委員公募の拡大	説明会や区民集会等の充実	その他	無回答
全体	523	72.7	56.4	12.6	33.7	3.3	4.4
20～29歳	44	77.3	77.3	11.4	13.6	2.3	0.0
30～39歳	78	74.4	67.9	9.0	30.8	7.7	1.3
40～49歳	97	70.1	64.9	10.3	26.8	1.0	5.2
50～59歳	119	74.8	58.0	18.5	37.0	1.7	4.2
60～69歳	93	71.0	41.9	14.0	38.7	3.2	5.4
70歳以上	84	71.4	36.9	10.7	47.6	2.4	8.3

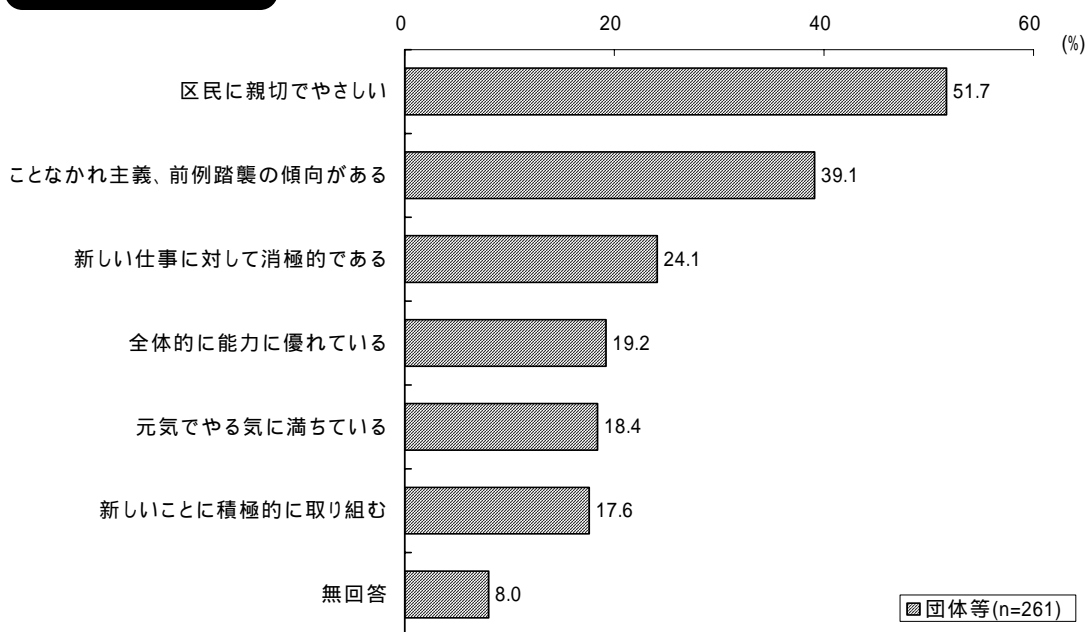
複数回答

(4) 区職員のイメージ

区職員のイメージについて聞いたところ、「区民に親切でやさしい」が最も多く 38.5%であるが、「ことなかれ主義、前例踏襲の傾向がある」(38.0%) もほぼ同じ割合となっている。次いで「新しい仕事に対して消極的である」(21.1%)、「元気でやる気に満ちている」(8.9%)、「全体的に能力に優れている」(8.4%)、「新しいことに積極的に取り組む」(5.8%)の順となっている。



地域団体



【年齢別】

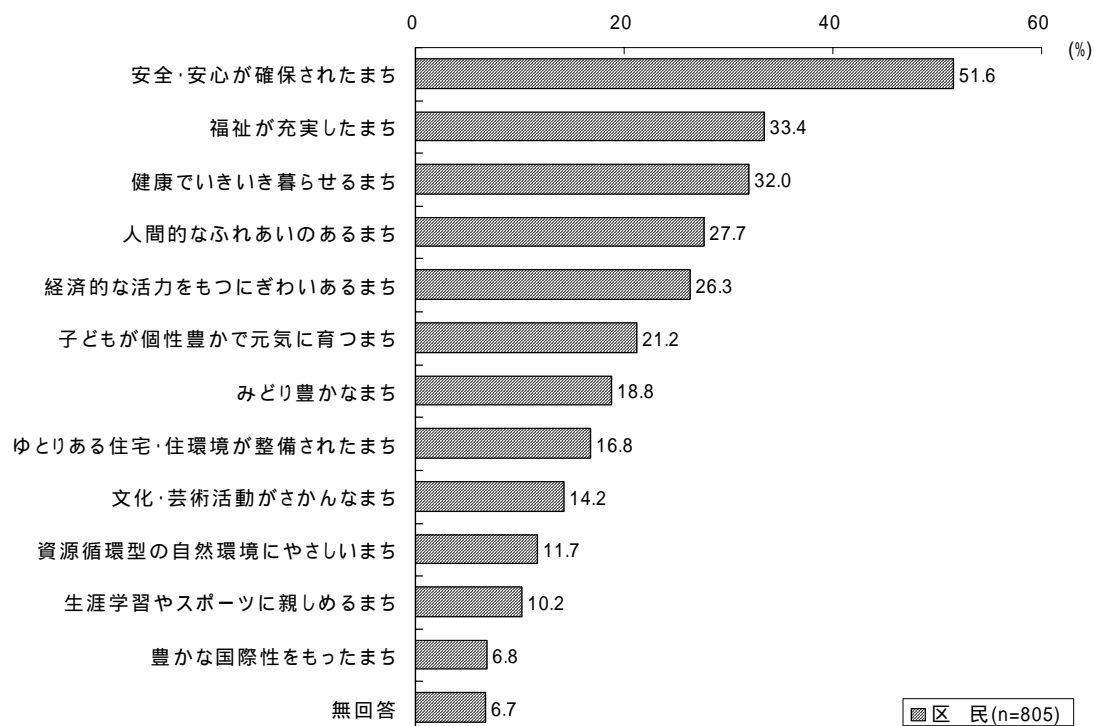
年齢別にみると、20～29歳では、「新しい仕事に対して消極的である」(28.1%)、30～39歳では「ことなかれ主義、前例踏襲の傾向がある」(48.6%)、「新しい仕事に対して消極的である」(29.5%)の割合が全体に比べて高く、40～49歳、50～59歳でも「ことなかれ主義、前例踏襲の傾向がある」(それぞれ43.3%、47.1%)の割合が全体に比べて高い。これに対して、60～69歳、70歳以上では「区民に親切でやさしい」(それぞれ51.0%、50.0%)、「元気でやる気に満ちている」(それぞれ13.4%)、「全体的に能力に優れている」(それぞれ11.5%、14.0%)の割合が全体に比べて高い。

	件数	区民に親切でやさしい	元気でやる気に満ちている	新しい組むことに積極的に	全体的に能力に優れている	ことなかれ主義、前例踏襲の傾向がある	新しい仕事に対して消極的である	無回答
全体	805	38.5	8.9	5.8	8.4	38.0	21.1	20.1
20～29歳	64	42.2	4.7	0.0	6.3	32.8	28.1	15.6
30～39歳	105	21.9	3.8	2.9	4.8	48.6	29.5	25.7
40～49歳	127	34.6	11.8	4.7	7.9	43.3	22.8	12.6
50～59歳	172	30.2	4.1	4.7	3.5	47.1	20.3	24.4
60～69歳	157	51.0	13.4	12.1	11.5	31.8	20.4	16.6
70歳以上	164	50.0	13.4	6.1	14.0	28.0	14.0	19.5

複数回答

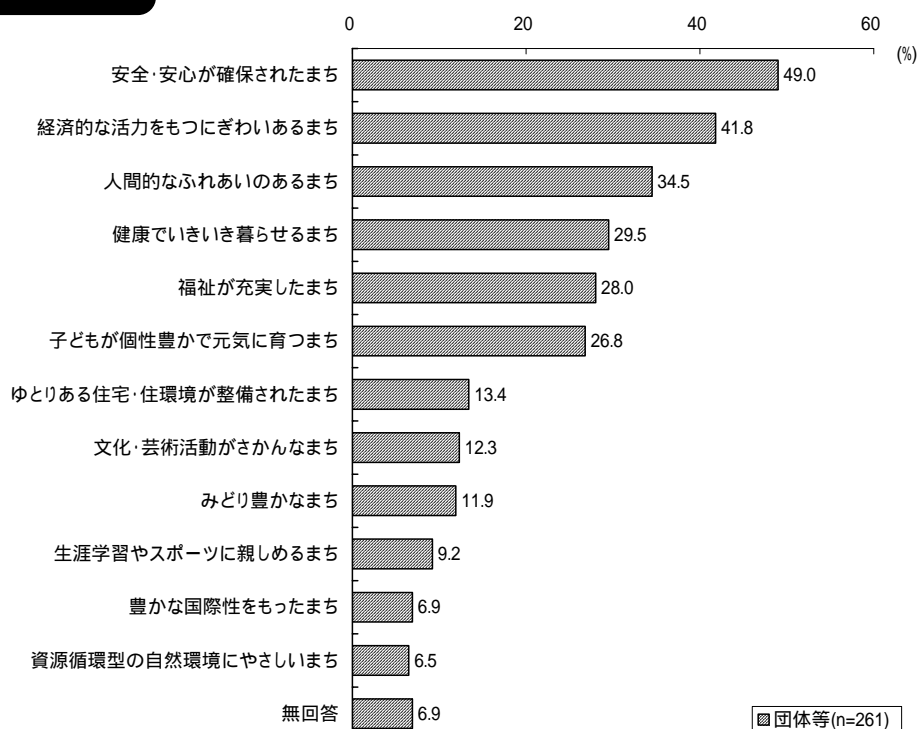
(5) 豊島区の将来像

望ましい豊島区の将来像についてについて聞いたところ、「安全・安心が確保されたまち」が最も多く 51.6%あり、次いで「福祉が充実したまち」(33.4%)、「健康でいきいき暮らせるまち」(32.0%)、「人間的なふれあいのあるまち」(27.7%)、「経済的な活力をもつにぎわいあるまち」(26.3%)、「子どもが個性豊かで元気に育つまち」(21.2%)と続く。



3つまで回答

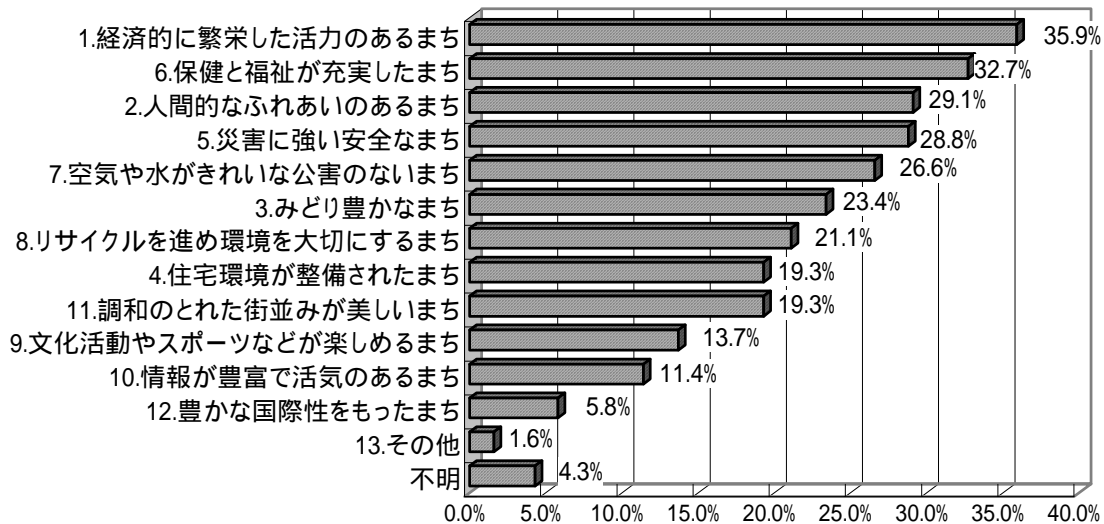
地域団体



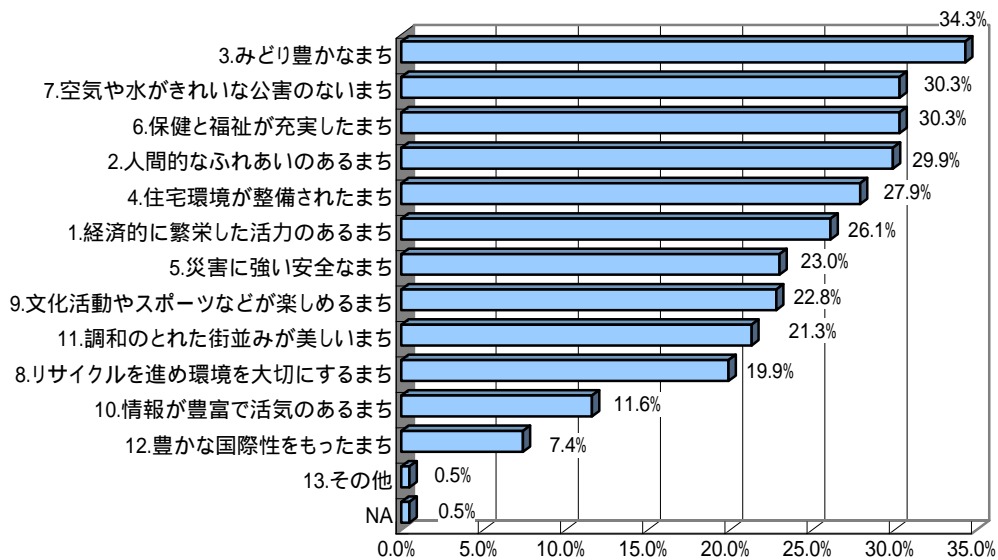
平成 14 年豊島区住民意識置意向調査より

【問】豊島区の将来像はどのようになっていることが、あなたにとって望ましいですか。
(は3つまで)

望ましい豊島区の将来像



前回調査：望ましい豊島区の将来像



【年齢別】

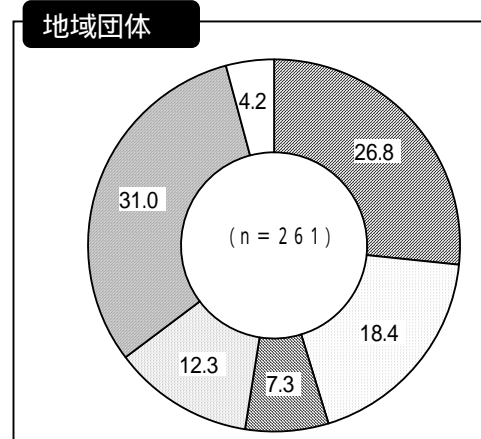
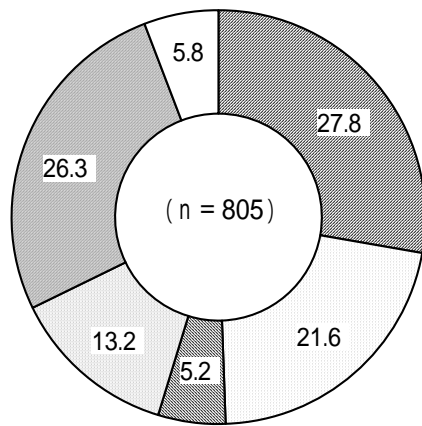
年齢別にみると、20～29歳では「文化・芸術活動がさかんなまち」(21.9%)、「みどり豊かなまち」(32.8%)、「安全・安心が確保されたまち」(60.9%)、「資源循環型の自然環境にやさしいまち」(23.4%)、30～39歳では「ゆとりある住宅・住環境が整備されたまち」(27.6%)、「安全・安心が確保されたまち」(59.0%)、40～49歳では「子どもが個性豊かで元気に育つまち」(26.8%)、50～59歳では「経済的な活力をもつにぎわいあるまち」(33.1%)、60～69歳では「子どもが個性豊かで元気に育つまち」(26.1%)、「健康でいきいき暮らせるまち」(40.1%)、「福祉が充実したまち」(40.1%)、70歳以上は「人間的なふれあいのあるまち」(32.3%)の割合がそれぞれ全体に比べて高い。

	件数	ぎわいあるまち	経済的な活力をもつに	人間的なふれあいのあ	子どもが個性豊かで元	親しめるまち	生涯学習やスポーツに	文化・芸術活動がさか	健康でいきいき暮らせ	福祉が充実したまち	みどり豊かなまち	ゆとりある住宅・住環境が整備されたまち	安全・安心が確保され	資源循環型の自然環境	豊かな国際性をもった	無回答
全体	805	26.3	27.7	21.2	10.2	14.2	32	33.4	18.8	16.8	51.6	11.7	6.8	6.7		
20～29歳	64	15.6	25	20.3	15.6	21.9	21.9	20.3	32.8	21.9	60.9	23.4	9.4	1.6		
30～39歳	105	25.7	23.8	23.8	7.6	9.5	29.5	27.6	22.9	27.6	59	12.4	7.6	3.8		
40～49歳	127	26.8	22	26.8	12.6	15.7	29.9	27.6	18.1	16.5	58.3	13.4	10.2	4.7		
50～59歳	172	33.1	29.7	16.9	10.5	18	32.6	37.8	17.4	13.4	52.9	15.7	6.4	4.1		
60～69歳	157	28	28.7	26.1	9.6	8.9	40.1	40.1	14.6	17.2	48.4	8.3	5.1	6.4		
70歳以上	164	22.6	32.3	17.1	7.3	15.2	34.1	37.8	17.7	12.8	40.2	5.5	4.9	11.6		

3つまで
回答

(6) 豊島区のイメージカラー

豊島区の将来イメージカラーについて聞いたところ、「みどり色、深いみどり色など」が最も多く 27.8%あり、「さくら色、つつじ色など」(26.3%)もほぼ同じ割合を示している。次いで、「黄緑色、萌黄色など」(21.6%)、「空色、水色など」(13.2%)、「青色、紺色など」(5.2%)の順となっている。

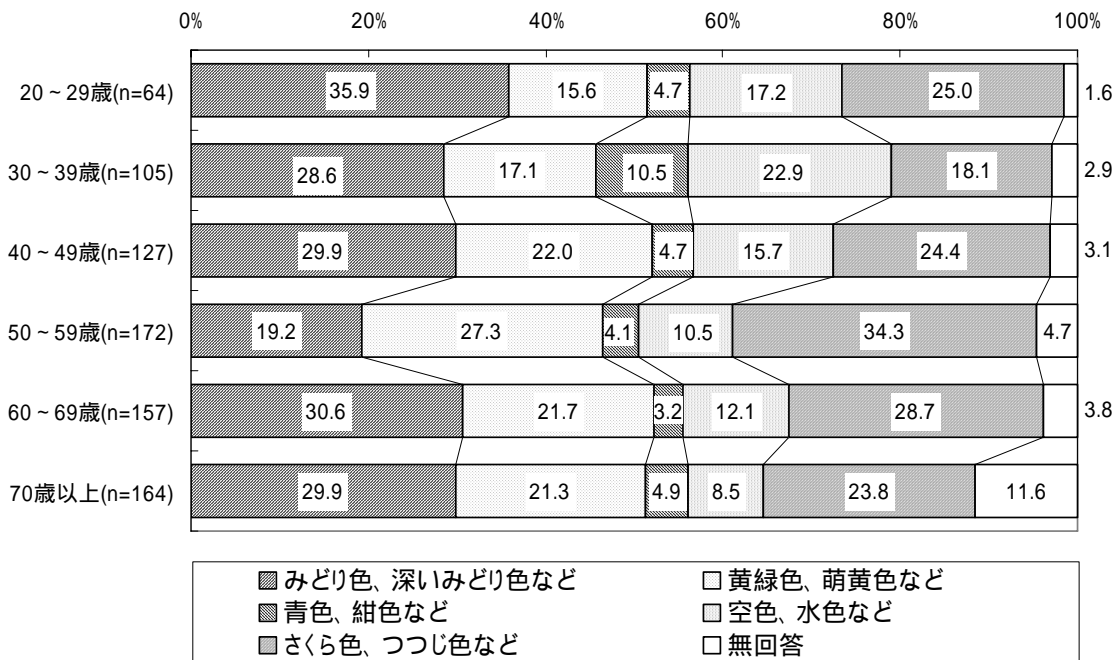


みどり色、深いみどり色など
 黄緑色、萌黄色など
 青色、紺色など

空色、水色など
 さくら色、つつじ色など
 無回答

【年齢別】

年齢別にみると、20～29歳では「みどり色、深いみどり色など」(35.9%)、30～39歳では「空色、水色など」(22.9%)の割合が全体に比べてそれぞれ高く、50～59歳では「さくら色、つつじ色など」(34.3%)の割合が体に比べて高い。



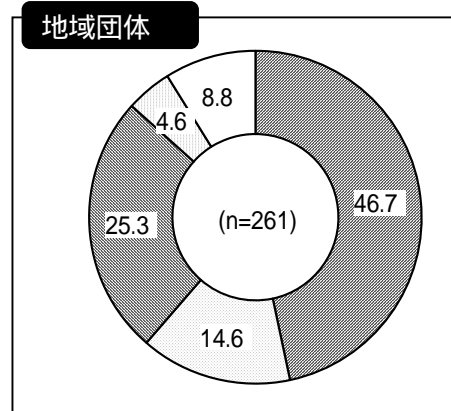
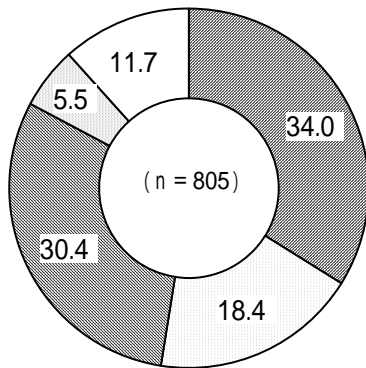
みどり色、深いみどり色など
 黄緑色、萌黄色など

青色、紺色など
 空色、水色など

さくら色、つつじ色など
 無回答

(7) 豊島区独自の自動車ナンバーの考え

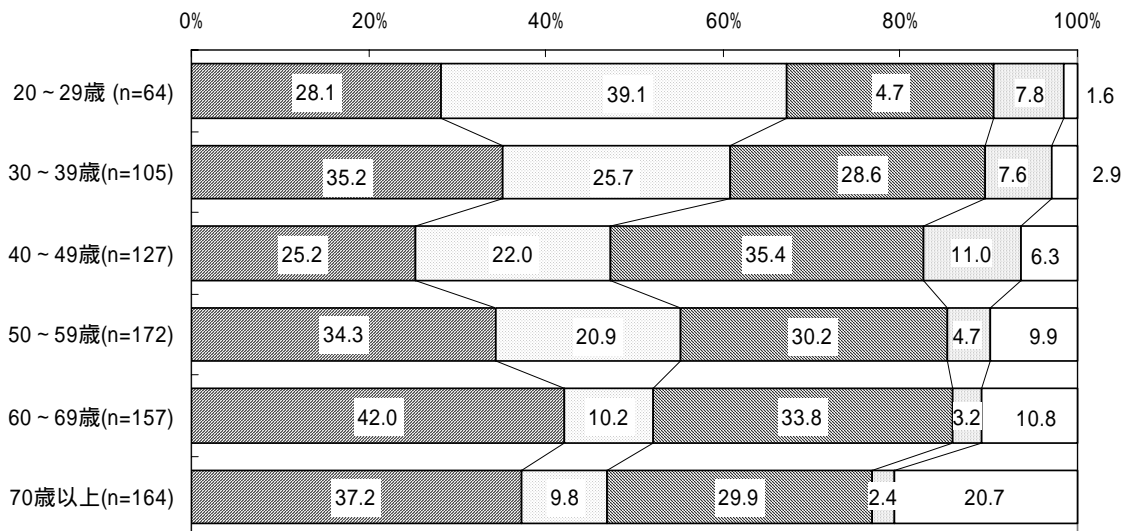
豊島区独自の自動車ナンバーについて聞いたところ、「検討すべき」が 52.4%、「(豊島区独自のナンバーが可能となるよう検討すべき) 34.0% + 「新たな地名をつけるのはよいが地区を含めもう少し広い範囲で検討すべき」 18.4%) 「今のままでよい」が 30.4%となっている。



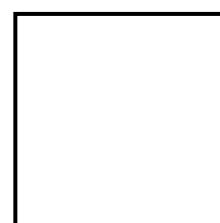
豊島区独自のナンバーが可能となるよう検討すべき
 他区を含めもう少し広い範囲で検討すべき
 今のままでよい
 その他
 無回答

【年齢別】

年齢別にみると、20～29歳、30～39歳では「検討すべき」(それぞれ 67.2%、60.9%)の割合が全体に比べて高い。これに対して、40～49歳では「今のままでよい」(35.4%)の割合が全体に比べて高い。



豊島区独自のナンバーが可能となるよう検討すべき
 他区を含めもう少し広い範囲で検討すべき
 今のままでよい
 その他
 無回答



調查票

協働のまちづくりに関する区民意識調査

ご協力をお願い

区民の皆さまには、日ごろから区政の運営にご理解とご協力をいただきありがとうございます。地方分権が進むなか、住民自治に基づく真に豊かな地域社会づくりに向け、一人ひとりの区民をはじめ、町会や自治会、商店街、NPO、企業、学校など、地域の多様な主体の参加と協働を広げ、地域の課題や情報を共有しながら、力を合わせていくことが必要です。

こうした地域の皆さんとの協働を基本とした新しい区政運営の実現に向け、地域社会への参画が感動を生むような幅広い協働の仕組みを、区民の皆さんとともに作りあげていきたいと考えています。

今回の調査は、日常生活のなかで感じになっている地域の生活環境、身近なまちづくりへの参加・協働のあり方等について、広くご意見・ご要望をおうかがいし、これからの計画づくりや行政

サービスのあり方の検討、区民との協働の仕組みづくり等の基礎として、活かしていくために実施するものです。

豊島区の未来を切り開くのは、ほかでもない、区民一人ひとりのまちづくりへの参加、そして協働であると思います。

お忙しい時期とは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようよろしくお願い申し上げます。



平成 17 年 3 月

豊島区長 高野之夫

《ご記入にあたって》

1. この調査は、20 歳以上の区民の中から無作為に選ばせていただいた 3,000 人と、区内の各種団体の代表者等を対象として、実施するものです。
2. アンケートの回答は、原則としてご本人が行ってください。（ご本人の回答が困難な場合には、ご家族の方がお答えいただいても結構です。）
3. 回答の内容は、全て統計的に処理し、回答者が特定されることはありません。お考えになっていることや、感じになっていることをお答えください。
4. NPO 法人等の代表者で区内にお住まいでない方は、区内の事務所等の活動拠点に住んでいることを前提としてお答えください。

ご記入いただいた調査票は、お手数ですが同封の返信用封筒に入れ、3月23日（水）までにポストにご投函ください。

なお、記入上の不明な点、調査についてのお問い合わせは下記までお願いします。

【連絡先】 豊島区 政策経営部 企画課 企画調整係

電話：03 - 3981 - 4201（直通）

・豊島区の印象について

1. 住み心地

問1 - 1 あなたにとって豊島区の住み心地はどうか。(1つに)

1. 住み良い
2. どちらかといえば住み良い
3. どちらかといえば住みにくい
4. 住みにくい
5. わからない

問1 - 2 その理由として代表的なことについて、一つお答えください。(自由回答)

2. 定住意向

問2 あなたはこれからも豊島区に住み続けたいと思いますか。(1つに)

1. いつまでも住み続けたいと思っている
2. 当分住み続けたいと思っている
3. 住み続けたいが転居せざるをえない事情がある
4. 他の区市町村に転居したいと思っている
5. わからない

3. 地域への愛着

問3 あなたが現在住んでいる地域に対して感じている愛着について、次のうちからあてはまるものを選んでください。(1つに)

1. 愛着を感じている
2. やや愛着を感じている
3. あまり愛着を感じていない
4. 愛着を感じていない
5. どちらともいえない



・地域の生活環境について

問4 地域の生活環境についておたずねします。

以下の設問は、地域の生活環境を10のグループに分けた上で、そのグループごとに評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿を表したものです。

あなたの生活実感やイメージにもとづき、最も近いと思われるものを選んでください。

「現在の評価」、「4～5年前と比べた評価」の欄は、あてはまる場所に、1つずつをつけてください。

最近転入され、居住期間が4～5年に満たない方は転入当時と比べてお答えください。

各グループの総合評価は、そのグループ全体としての評価についてお答えください。

「今後の優先度」の欄は、各グループから今後優先的に良くしていくべきと考える項目の番号をご記入ください。

もし、回答がわからない場合は、空欄のままにしてください。

グループ	番号	評価の対象となる (目指すべき) 生活環境の姿	現在の評価			4～5年前と 比べた評価			今後の優先度
			どちらかという と そう思う	どちらとも いえない	どちらかという と そう思わない	きて いる	良 くな って	変 わ ら な い	
保健・福祉・医療	1	健康づくりに取り組むための、 多様な機会や場、情報がある	1	2	3	1	2	3	各グループの中で、 今後優先的に良く していくべきと思う 項目の番号を選んで 下さい。 1～9の中から3 つ選んで、番号を書 いてください。 <div style="border: 1px solid black; height: 30px; width: 100%;"></div> <div style="border: 1px solid black; height: 30px; width: 100%;"></div> <div style="border: 1px solid black; height: 30px; width: 100%;"></div>
	2	介護予防に取り組むための、 多様な機会や場、情報がある	1	2	3	1	2	3	
	3	保健福祉や介護等に関する ボランティア活動が活発である	1	2	3	1	2	3	
	4	保健福祉や介護等に関する 情報や相談窓口が多様である	1	2	3	1	2	3	
	5	ホームヘルプサービスなどの 在宅福祉サービスが安心して 利用できる	1	2	3	1	2	3	
	6	高齢者や障害者が自立した生活がで き、社会参加もしやすい	1	2	3	1	2	3	
	7	道路の段差解消や駅施設への エレベーターの設置など、街の バリアフリー化が進んでいる	1	2	3	1	2	3	
	8	食品衛生や化学物質等に 不安を感じることがない	1	2	3	1	2	3	
	9	地域の医療機関やサービスが 充実している	1	2	3	1	2	3	
		全体として保健。福祉・医療 の機能が高まっている	1	2	3	1	2	3	

グループ	番号	評価の対象となる (目指すべき) 生活環境の姿	現在の評価			4～5年前と 比べた評価			今後の優先度
			どちらかという と そう思う	どちらとも いえ ない	どちらかという と そう思 わない	き て い る	良 く な っ て	あ ま り 変 わ ら な い	
子育て・ 教育	10	いじめや虐待がなく、家庭や学校、地域の中で子どもの人間性が尊重されている	1	2	3	1	2	3	各グループの中で、今後優先的に良くしていくべきと思う項目の番号を選んで下さい。 10～18の中から2つ選んで、番号を書いてください。 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>
	11	子どもが、友だちと安心してのびのびと遊ぶことができる	1	2	3	1	2	3	
	12	地域社会が子どもを見守り、子育てを支援している	1	2	3	1	2	3	
	13	保護者が子育てに関して気軽に相談する場や交流できる機会がある	1	2	3	1	2	3	
	14	一時保育や延長保育など多様な保育サービスが利用できる	1	2	3	1	2	3	
	15	学校では子どもの学習意欲を高める授業をしている	1	2	3	1	2	3	
	16	子どもたちがいきいきと学校生活を送っている	1	2	3	1	2	3	
	17	保護者や地域住民と連携した学校づくりが行われている	1	2	3	1	2	3	
	18	学校施設や通学路が安全である	1	2	3	1	2	3	
			全体として子育て・教育の機能が高まっている	1	2	3	1	2	
コミュニ ティ・ 協働	19	地域における住民主体の活動が活発であり、参加する機会も多い	1	2	3	1	2	3	19～24の中から2つ選んで、番号を書いてください。 <input type="text"/> <input type="text"/>
	20	NPO(特定非営利団体)が地域で活発に活動している	1	2	3	1	2	3	
	21	高齢者と若い世代など多様な世代が交流している	1	2	3	1	2	3	
	22	地域で外国人との交流があり、共生している	1	2	3	1	2	3	
	23	地域活動のための施設やスペースがある	1	2	3	1	2	3	
	24	男女が共同で社会に参画できる	1	2	3	1	2	3	
			全体としてコミュニティ・協働の機能が高まっている	1	2	3	1	2	

グループ	番号	評価の対象となる (目指すべき) 生活環境の姿	現在の評価			4～5年前と 比べた評価			今後の優先度
			そう思う どちらかという と	どちらとも いえ ない	どちらかという と そう 思 わ な い	き て い る	良 く な っ て	あ ま り 変 わ ら な い	悪 く な っ て き て い る
みどり・環境・リサイクル	25	小規模な公園やひろばが身近にある	1	2	3	1	2	3	25~30の中から2つ 選んで、番号を書いて ください。 <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%;"></div> <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%;"></div>
	26	子どもから高齢者までがそれぞれが 楽しむ事のできるような規模の大き な公園がある	1	2	3	1	2	3	
	27	街の中に緑が多く、小鳥や昆虫など 自然と触れ合うことができる	1	2	3	1	2	3	
	28	騒音、大気汚染などに悩まされるこ とがない	1	2	3	1	2	3	
	29	道路や公園、街角などにポイ捨て等 がなくきれいである	1	2	3	1	2	3	
	30	ごみを減らす努力やリサイクル活動 が活発に行われている	1	2	3	1	2	3	
全体としてみどり・環境・リサイク ルの機能が高まっている			1	2	3	1	2	3	
都市整備	31	住宅地が落ち着いた街並みで景観が 美しい	1	2	3	1	2	3	31~39の中か ら3つ選んで、番 号を書いてくだ さい。 <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%;"></div> <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%;"></div> <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%;"></div>
	32	商業地や鉄道駅周辺地域の街並みが 美しく、にぎわっている	1	2	3	1	2	3	
	33	まちの中で地域の個性や文化、歴史 を感じることができる	1	2	3	1	2	3	
	34	良質な住宅を適切な負担で購入、賃 貸することができる	1	2	3	1	2	3	
	35	地震や火災などの災害に強い安全な 市街地が形成されている	1	2	3	1	2	3	
	36	身近な道路が快適に歩行できる	1	2	3	1	2	3	
	37	幹線道路が整備され、都市内の移動 がスムーズに行える	1	2	3	1	2	3	
	38	駅周辺に駐輪場が整備され放置自転 車がない	1	2	3	1	2	3	
	39	鉄道・バス等の交通が便利である	1	2	3	1	2	3	
全体として都市整備 の機能が高まっている			1	2	3	1	2	3	

グループ	番号	評価の対象となる (目指すべき) 生活環境の姿	現在の評価			4～5年前と 比べた評価			今後の優先度
			どちらかという と そう思う	どちらとも いえ ない	どちらかという と そう思 わない	良 く な っ て き て い る	あ ま り 変 わ ら な い	悪 く な っ て き て い る	各グループの中で、 今後優先的に良く していくべきと思う 項目の番号を選んで 下さい。
池袋副都心	40	街並みが美しく、歩きやすい	1	2	3	1	2	3	40~45の中から2 つ選んで番号を書い てください。 <input type="text"/> <input type="text"/>
	41	多くの来外者でにぎわい、快適にシ ョッピングや食事ができる	1	2	3	1	2	3	
	42	ひったくりや客引き、風俗店等が少 なく安心できる	1	2	3	1	2	3	
	43	若者に人気のあるお店や情報が多い	1	2	3	1	2	3	
	44	大人がゆっくり楽しめるお店や情報 が多い	1	2	3	1	2	3	
	45	劇場や映画館など、魅力ある文化芸 術施設が多い	1	2	3	1	2	3	
	全体として池袋副都心 の機能が高まっている			1	2	3	1	2	3
観光・産業	46	区内に訪れたいと思える観光スポッ トや名所・旧跡が多い	1	2	3	1	2	3	46~51の中から2 つ選んで番号を書い てください。 <input type="text"/> <input type="text"/>
	47	魅力やアピール性のある祭りやイベ ントが活発である	1	2	3	1	2	3	
	48	テレビや新聞などで、豊島区をイメ ージアップする情報がよく紹介され る	1	2	3	1	2	3	
	49	中小企業が元気に事業展開している	1	2	3	1	2	3	
	50	身近な地域に、活力ある商店街があ る	1	2	3	1	2	3	
	51	消費生活でトラブルに悩まされない	1	2	3	1	2	3	
	全体として環境・産業 の機能が高まっている			1	2	3	1	2	3



グループ	番号	評価の対象となる (目指すべき) 生活環境の姿	現在の評価			4～5年前と 比べた評価			今後の優先度 各グループの中で、 今後優先的に良く していくべきと思う 項目の番号を選んで 下さい。
			どちらかという と そう思う	どちらとも いえ ない	どちらかとい うと そう思わ ない	き て い る	良 く な っ て	変 わ ら な い	
安心・安全	52	各家庭で防災意識や災害発生時の行動力が高い	1	2	3	1	2	3	<input type="text"/>
	53	震災時の避難、救援体制など街全体で備えができています	1	2	3	1	2	3	
	54	犯罪の不安がなく、安心して暮らせる	1	2	3	1	2	3	
	55	交通事故が少ない	1	2	3	1	2	3	
	全体として安心・安全の機能が高まっている		1	2	3	1	2	3	
文化・生涯学習	56	地域での文化・芸術活動が活発である	1	2	3	1	2	3	56-60の中から2つ選んで、番号を書いてください。 <input type="text"/> <input type="text"/>
	57	歴史的文化財や文化資源が保存・活用されている	1	2	3	1	2	3	
	58	芸術・文化に親しむことのできる機会が多様である	1	2	3	1	2	3	
	59	興味や関心に応じた多様な生涯学習の機会がある	1	2	3	1	2	3	
	60	地域でスポーツに親しむ環境や機会がある	1	2	3	1	2	3	
全体として文化・生涯学習の機能が高まっている		1	2	3	1	2	3		
行政サービス	61	公共施設やサービス、計画・財政など、区政に関する分かりやすい情報が提供されている	1	2	3	1	2	3	61-65の中から2つ選んで、番号を書いてください。 <input type="text"/> <input type="text"/>
	62	区政に参加・参画する機会が多く、区民に開かれた行政運営が行われている	1	2	3	1	2	3	
	63	区民の声が区政に反映され、活かされている	1	2	3	1	2	3	
	64	生活に関する様々なことで区に気軽に相談できる	1	2	3	1	2	3	
	65	区職員の接客姿勢がよい	1	2	3	1	2	3	
全体として行政サービスの機能が高まっている		1	2	3	1	2	3		

・地域におけるコミュニティや協働について

問5 最近、防犯パトロールや放置自転車対策、カラス対策など、近隣住民（ご近所）が自主的に力を合わせて、地域の課題の解決に取り組む事例が紹介されています。あなたは、こうした取り組みについてどのようにお考えですか。（1つに ）

- 1．身近な問題を解決する上で重要な取り組みだと思う
- 2．重要だとは思いますが、近所の力を合わせることは難しい
- 3．近所で力を合わせても解決できない問題の方が多いと思う
- 4．どちらともいえない

問6 区内各地域では、近隣住民が主体的に、また区民と行政とが協働するかたちで様々な地域活動が行われていますが、こうした活動としてどのような活動が重要だと思いますか。（あてはまるものすべてに ）

- 1．防犯パトロールや環境浄化活動
- 2．交通安全運動や放置自転車対策
- 3．防災訓練や災害時の弱者対策
- 4．地域清掃、美化活動
- 5．ごみ減量・リサイクルや省エネ活動
- 6．公園等の草花の手入れ
- 7．ひとり暮らし高齢者や子育てを地域の中でサポートする活動
- 8．学校と連携した子どもたちの健全育成活動
- 9．地域の歴史や伝統文化の保存継承
- 10．講座や趣味のサークル、スポーツ等の活動
- 11．お祭りや各種イベント等の活動
- 12．その他（具体的に： _____）

問7 こうした活動にあなた自身は参加したことがありますか。(1つに)

1. 日常的・定期的に参加している
2. たまに参加したことがある(1年に数回程度)
3. 参加したことはないが、機会があれば参加したいと思っている
4. 参加したいと思うが、参加できない
5. 参加したくない

▶ 問7で「1」～「3」とお答えの方におたずねします

問7-1 どのような理由で参加している、または参加したいと思うのですか。(あてはまるものすべてに)

1. 地域の中で助け合うことが大切だと思うから
2. 地域の中でのお付き合いが楽しいから
3. 地域の役に立つことで、やりがいや生きがいをかんじるから
4. ご近所や友人から誘われたから
5. 活動そのものに興味があるから
6. その他(具体的に:)

▶ 問7で「4」又は「5」とお答えの方におたずねします

問7-2 どのような理由で参加できない、参加したくないのですか。(あてはまるものすべてに)

1. 参加する時間的な余裕がないから
2. 参加する方法がわからないから
3. 地域の人とお付き合いがほとんどないから
4. 一緒に活動する仲間がないから
5. 人間関係がわずらわしいから
6. 地域の活動に興味がないから
7. こうした活動は行政に任せるべきだと思うから
8. その他(具体的に:)

問8 地域の活動により多くの人に参加できるようにするには、どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに)

1. 活動に関する具体的な情報を広く紹介する
2. 気軽に参加できる環境づくりを進める
3. 活動を担い、リーダーとなる人材を育成する
4. 活動拠点となる施設を整備する
5. その他(具体的に:)

問 9 一般的に、地域で活動する組織には、次の A・B ふたつがあると言われています。

A	町会・自治会等のように一定の地域に暮らす住民同士が力を合わせて活動する組織
B	環境・福祉・教育など、特定のテーマに関心のある人が、住んでいる地域に関わらず集まって活動する組織

地域における様々な課題を解決していくために、今後 A・B どちらの活動が活発になっていくべきだと思いますか。(1つに)

1. どちらかと言えば A
2. どちらかと言えば B
3. A・B いずれも
4. どちらともいえない

問 10 あなたはこれからの地域のまちづくりを担っていく主体としてどのような主体が重要な役割を担っていくべきだと思いますか。(あてはまるものすべてに)

1. 一人ひとりの区民
2. 町会・自治会等の住民組織
3. 区立小中学校や P T A
4. N P O やボランティアグループ
5. 民間企業
6. 大学等教育機関
7. その他(具体的に:)

問 11 あなたは、お住まいの地域における様々な課題を解決する場合、住民と行政との役割分担はどうあるべきだと思いますか。(1つに)

1. 基本的に行政が行う
2. 区民の参加を広げながら行政主体で行う
3. 住民と行政とが協力し、協働して行う
4. 住民が主体的に活動し、行政はそれを支援する
5. 課題の内容によって、住民主体か行政主体かを区別する
6. よくわからない

．区政について

1．区政全般への要望

問 12 あなたは、区政全体について考えた場合、ここに掲げた項目のうち特に力を入れてほしいのはどのようなことですか。(5つ選んで)

1．健康づくり	14．住宅対策
2．高齢者福祉	15．交通安全対策
3．障害者福祉	16．放置自転車対策
4．保健・医療の充実	17．池袋副都心の活性化
5．子どもの健全育成	18．中小企業、地域経済の振興
6．子育て支援	19．消費生活対策
7．学校教育	20．防災対策
8．区民の自立的活動の支援・振興	21．治安対策
9．地域コミュニティの育成	22．文化・芸術の振興
10．男女平等参画社会づくり	23．生涯学習・スポーツ等
11．みどりや公園づくり	24．IT化・情報化の推進
12．環境保全・資源リサイクル	25．行財政改革
13．都市整備・街づくり	

2．これからの行政のあり方

問 13 行政の役割やサービスのあり方について、以下のようなAとBの異なる意見があるとします。あなたは、AとBどちらの意見に近いお考えをお持ちですか。(あてはまる番号に○をつけてください。)

Aの意見	Aの意見に近い	どちらかというところ Aの意見に近い	どちらともいえない	どちらかというところ Bの意見に近い	Bの意見に近い	Bの意見
民間でできることは民間に任せ、行政は行政でなければできないことに集中すべきだ	1	2	3	4	5	民間にサービスの提供を任せることには不安があるので、これまでどおり行政が担っていくべきだ
財源に限られる中では、行政はあれもこれもではなく、優先度や重要度を考慮し、メリハリをつけてサービスを行うべきだ	1	2	3	4	5	行政は、区民のニーズに応じて広く網羅的にサービスを行うべきだ
行政サービスの水準が向上するなら税金等の負担が増えてもかたない	1	2	3	4	5	行政サービスの規模や水準を見直してでも税金等の負担が増えないようにすべきだ

3. 豊島区では、区政に区民の皆さんの声を反映させていくため、広聴やモニター制度、重要政策等に関するパブリックコメント（意見表明）制度、また、重要な計画等を策定するための審議会等への委員公募など、様々な区民参加の取り組みを進めています。

問 14 あなたは、区政に意見を反映させる機会があれば参加したいと思いますか。（1つに ）

- 1. 積極的に参加したい
- 2. テーマや関心によっては参加したい
- 3. 参加したい気持ちはあるが時間がないなどの理由で難しい
- 4. 参加したくない
- 5. どちらとも言えない

} (問 15 へ進む)

問 14 で「1」～「3」と回答した方におたずねします

問 14-1 どのような形で（どのような形なら）参加したい（参加してもよい）と思いますか。
（あてはまるものすべてに ）

- 1. 区の基本的な計画や施策等を検討するための審議会や審査会等の委員
- 2. 様々な区政の課題について区民主体で検討するワークショップ
- 3. 特定のテーマについて区が行う説明会等や区民集会等への参加
- 4. パブリックコメントや各種モニター等による意見の提出
- 5. 無記名アンケートへの回答など匿名による意見の提出
- 6. その他（具体的に： ）

問 14-2 より多くの区民の皆さんが、区政に参加していけるようにするためには、どのようなことが必要だと思いますか。（あてはまるものすべてに ）

- 1. 区の情報を知りやすく伝える広報の充実
- 2. 意見を提出するための機会・手段の拡大
- 3. 審議会等への委員公募枠の拡大
- 4. 説明会や区民集会等の充実
- 5. その他（具体的に： ）

4. 区職員のイメージ

問15 あなたは、豊島区の職員についてどのようなイメージをお持ちですか。(あてはまるものすべてに)

1. 区民に親切でやさしい
2. 元気でやる気に満ちている
3. 新しいことに積極的に取り組む
4. 全体的に能力に優れている
5. ことなかれ主義、前例踏襲の傾向がある
6. 新しい仕事に対して消極的である

5. 豊島区の将来像

問16 あなたにとって望ましい豊島区の将来像について、次のうちからあてはまるものを選んでください。(3つまでに)

1. 経済的な活力をもつにぎわいあるまち
2. 人間的なふれあいのあるまち
3. 子どもが個性豊かで元気に育つまち
4. 生涯学習やスポーツに親しめるまち
5. 文化・芸術活動がさかんなまち
6. 健康でいきいき暮らせるまち
7. 福祉が充実したまち
8. みどり豊かなまち
9. ゆとりある住宅・住環境が整備されたまち
10. 安全・安心が確保されたまち
11. 資源循環型の自然環境にやさしいまち
12. 豊かな国際性をもったまち

6. 豊島区のイメージカラー

問17 豊島区の将来のイメージとして、どのような色がふさわしいと思いますか。(1つに)

1. みどり色、深いみどり色 など
2. 黄緑色、萌黄(もえぎ)色 など
3. 青色、紺色 など
4. 空色、水色 など
5. さくら色、つつじ色 など

7. 豊島区独自の自動車ナンバーについて

問18 現在、23区の地域における自動車のナンバープレートは、「品川」「足立」「練馬」の3つに限定されています。(豊島区では「練馬」です。)

国は、複数の市町村からなる地域において、登録自動車数が10万台を超える場合など、一定条件のもとにナンバープレートの地名の新設を認める方針を出しています。しかし、豊島区では、構造改革特区などを活用し、さらにこの要件を緩和することにより、豊島区独自のナンバーの実現に向けた取り組みを検討しています。

こうした、豊島区独自のナンバーについて、どのように思われますか。(1つに)

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1. 豊島区独自のナンバー(例えば「豊島」)が可能となるよう検討すべき2. 新たな地名をつけるのはよいが、他区を含めもう少し広い範囲で検討すべき3. 今のままでよい4. その他(具体的に) |
|--|

・あなたご自身のことについて（統計的に分析するために使用します。）

あなたの性別をお答えください。（1つに ）

1. 男性	2. 女性
-------	-------

あなたの年齢について、お答えください。（1つに ）

1. 20～29 歳	4. 50～59 歳
2. 30～39 歳	5. 60～69 歳
3. 40～49 歳	6. 70 歳以上

あなたの職業について、お答えください。（1つに ）

1. 自営業主	5. 専業（無職）の主婦（主夫）
2. 家族従業（家事手伝い）	6. 学 生
3. 勤め（全日）	7. その他
4. 勤め（パートタイム）	（具体的に： ）

あなたの世帯の構成について、お答えください。（1つに ）

1. 単身者	3. 親と子	5. その他
2. 夫婦のみ	4. 三世代	（具体的に： ）



で「3」または「4」とお答えの方におたずねします

あなたの家族に中学生以下のお子さんは何人いらっしゃいますか。（1つに ）

1. いない	3. 2 人
2. 1 人	4. 3人以上

あなたのお住まいの町名について、お答えください。（1つに ）

1. 池袋	6. 駒込	11. 高松	16. 東池袋
2. 池袋本町	7. 巣鴨	12. 千早	17. 南池袋
3. 要町	8. 千川	13. 長崎	18. 南大塚
4. 上池袋	9. 雑司が谷	14. 西池袋	19. 南長崎
5. 北大塚	10. 高田	15. 西巣鴨	20. 目白

あなたは生まれてからずっと豊島区にお住まいですか。（1つに ）

1. ずっと住んでいる	2. 他の地域からきた
（一時的に豊島区を離れた人も含む）	

あなたの豊島区にお住まいの年数について、お答えください。（1つに ）

1. 2 年未満	4. 10 年以上～20 年未満
2. 2 年以上～5 年未満	5. 20 年以上
3. 5 年以上～10 年未満	

協働のまちづくりに関する区民意識調査

平成17(2005)年6月発行

豊島区政策経営部企画課

東京都豊島区東池袋1-18-1

電話 03(3981)1111

